

平成20年10月27日(月)  
16時00分～18時00分  
中央合同庁舎5号館 9階 省議室

## 第1回 終末期医療のあり方に関する懇談会

### 議 事 次 第

1. 平成19年度「終末期医療に関する調査」結果報告
2. 調査結果についての検討・議論
3. その他

(配付資料)

資料1・・・これまでの経緯

資料2・・・「終末期医療に関する調査」概要

資料3・・・「終末期医療に関する調査」結果

参考1・・・「終末期医療に関する調査」調査票

参考2・・・終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン本編・解説編(厚生労働省)

参考3・・・終末期医療のあり方についてー亜急性型の終末期についてー(日本学術会議)

参考4・・・医師の職業倫理指針[改訂版]【抜粋】(日本医師会)

# 終末期医療のあり方に関する懇談会 開催要綱

医政局総務課

平成20年10月

## 1. 目的

患者の意志を尊重した望ましい終末期医療のあり方について検討を行うため、終末期医療のあり方に関する懇談会を開催する。

## 2. 検討事項

- (1) 終末期医療の現状の問題点と課題を整理し、望ましい終末期医療のあり方を検討
- (2) 国民、医療従事者及び介護・福祉施設職員の終末期医療に関する意識調査とその検討
- (3) 関係者からのヒアリングを実施

## 3. 構成員

厚生労働大臣及び有識者により構成される（有識者については、別紙の通り）。

## 4. 運営

本会議の庶務は、厚生労働省医政局で行う。

議事は公開とする。

# 終末期医療の検討に関する これまでの経緯

# 終末期医療のあり方について ①

## 1 これまでの経緯

- **末期医療に関するケアの在り方の検討会（昭和62年～）**  
座長 森岡 恭彦（東京大学医学部教授：当時）  
主なテーマ
  - ・ 末期医療の現状
  - ・ 末期医療のケア
  - ・ 施設、在宅の末期医療
  - ・ 国民の理解調査の方法 文献調査
  
- **末期医療に関する国民の意識調査等検討会（平成5年～）**  
座長 垣添 忠生（がんセンター中央病院院長：当時）  
主なテーマ
  - ・ 末期医療に対する国民の関心
  - ・ 延命治療
  - ・ 患者の意思の尊重、リビングウィル
  - ・ 尊厳死と安楽死調査の方法 アンケート調査（末期医療に関する国民の意識調査）
  
- **末期医療に関する意識調査等検討会（平成9年～）**  
座長 末舛 恵一（済生会中央病院院長：当時）  
主なテーマ
  - ・ 国民意識の変化
  - ・ 末期医療のあり方
  - ・ 治療方針等の決定
  - ・ 医療従事者、患者の意識の差調査の方法 アンケート調査（末期医療に関する意識調査）

## 終末期医療のあり方について ②

### 2 終末期医療に関する調査等検討会（平成14年～）（概要）

#### ○ 終末期医療に関する意識調査等検討会（平成14年～）

座 長 町野 朔 （上智大学法学部教授）

主なテーマ

- ・ 患者に対する説明と終末期医療の在り方
- ・ 患者の意思の確認
- ・ 医療現場の悩み
- ・ 末期状態における療養の場所

調査の方法 アンケート調査（終末期医療に関する調査）

#### ○ 検討会の開催状況

平成14年10月に第1回目を開催し、平成15年2月から3月にかけて意識調査を実施。

平成16年7月に報告書を取りまとめるまでに、計7回にわたり検討会を開催。

### 3 終末期医療に関する調査等検討会報告書(概要)

#### ① 終末期医療に対する関心

終末期医療に対する関心は、一般国民、医師、看護職員、介護施設職員のいずれにおいても、年齢によらず、また、どの年齢層についても高い。

#### ② 終末期医療の在り方

自分が痛みを伴う末期状態（死期が6か月程度よりも短い期間）の患者になった場合には、単なる延命医療をやめることには肯定的であるが、積極的な方法で生命を短縮させる行為は許容できないというのが、国民の間でほぼ一致していると考えられる。

#### ③ リビング・ウィル

リビング・ウィル（書面による生前の意思表示）の考え方に「賛成する」という回答は過半数となっており、書面で自分の意思を明示しておくというリビング・ウィルの考え方が国民の間に受け入れられつつあると考えられる。

しかしながら、書面による本人の意思表示という方法について、「そのような書面が有効であるという法律を制定すべきである」とする国民は、半数を下回っている。

何らかの形で自己の終末期医療について意思を表明した場合には、その人の意向は尊重されることが重要であり、このような考え方が社会の大きな流れになって医療現場に定着してゆくことが大切。

## 終末期医療のあり方について ④

### 3 終末期医療に関する調査等検討会報告書(概要)

#### ④ 医療現場の悩み

延命のための医療行為を開始しないこと（医療の不開始）や、行っている延命のための医療行為を中止すること（医療の中止）に関して、どういう手順を踏んで決定するのが妥当なのか、どのような行為が合法なのか判断基準が明らかでなく、医師が悩む場面は多い。

終末期における望ましい医療の内容は、専門学会、医療機関、医師会等が協力してガイドラインを作成し、その普及を図っていくことが考えられなければならない。

#### ⑤ 終末期医療体制の充実について

適切な終末期医療の普及のために今後充実していくべき点として、医師看護師等は、共通して、①「在宅終末期医療が行える体制づくり」、②「緩和ケア病棟の設置と拡充」、③「患者、家族への相談体制の充実」、④「医師・看護師等医療従事者や、介護施設職員に対する、卒前・卒後教育や生涯研修の充実」を挙げており、これらの施策を進めていくことが必要。

# 終末期医療の決定プロセスのあり方についての検討経緯

## ○ これまでの検討状況

終末期医療のあり方については、昭和62年以降概ね5年おきに4回にわたって検討し、終末期における医療のあり方や、書面による生前の意思表示（リビング・ウィル）等について検討を行ってきたが、国民のコンセンサスが得られていないところ

## ○ 今回のガイドライン策定の背景

平成18年3月に報道された、富山県射水市民病院における人工呼吸器取り外し事件を契機として、「尊厳死」のルール化の議論が活発化したことから、現時点において、コンセンサスの得られる範囲に限ったルール作りを進めることとし、平成18年9月に、厚生労働省として、患者の意思の確認方法や治療内容の決定プロセスに限った、ガイドライン（たたき台）を公表

## ○ ガイドライン取りまとめの経緯

平成19年1月より3回にわたり検討会を開催し、ガイドライン（たたき台）を基に議論し、4月9日におおむね合意



## ○ ガイドラインのポイント

◇今回のガイドラインは、コンセンサスの得られる範囲に限った、終末期医療の決定プロセスに関して取りまとめたもの

◇「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」は本編と解説編の二部構成

(主な内容)

- ・適切な情報の提供と説明に基づいて患者が医療従事者と話し合いを行い、患者本人による決定を基本とする
- ・終末期医療の内容は、医師の独断ではなく、医療・ケアチームによって慎重に判断する

## ○ 今後の対応等

今後、「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」を関係者に対し周知

なお、終末期の定義や、終末期における医療のあり方、法的責任のあり方などの終末期医療に関する諸問題については、国民に対する意識調査をはじめ、引き続き検討を行っていく

# 終末期医療の決定プロセスのあり方に関する検討会について

## 1 趣旨

本検討会は、回復の見込みのない末期状態の患者に対する意思確認の方法や医療内容の決定手続きなどについての標準的な考え方を整理するために設置するものである。

なお、本検討会においては、平成18年9月15日に厚生労働省が発表した「終末期医療に関するガイドライン(たたき台)」を基に、国民からの意見募集等の状況を踏まえて、幅広く議論を行っていくこととしている。

## 2 検討会委員 (○:座長) 50音順、敬称略

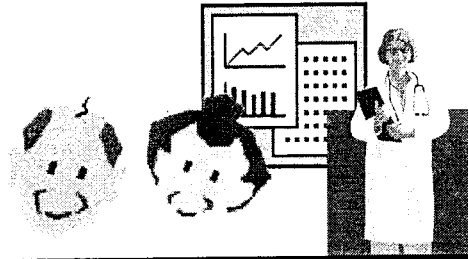
岩渕 勝好	東北福祉大学教授
大井 利夫	社団法人日本病院会 副会長
沖野 眞己	学習院大学法務研究科教授
川島 孝一郎	仙台往診クリニック院長
木村 厚	社団法人全日本病院協会 常任理事
佐伯 仁志	東京大学大学院法学政治学研究科教授
谷野 亮爾	社団法人日本精神科病院協会 副会長
田村 里子	医療法人東札幌病院MSW課長
土屋 文人	社団法人日本薬剤師会 常務理事
永池 京子	社団法人日本看護協会 常任理事
○樋口 範雄	東京大学大学院法学政治学研究科教授
日野 頌三	社団法人日本医療法人協会 副会長
宝住 与一	社団法人日本医師会 副会長
南 砂	読売新聞東京本社編集局解説部次長

## 3 開催状況

- 平成19年1月 第1回目開催
- 平成19年3月 第2回目開催
- 平成19年4月 第3回目開催

# 「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」 における手続きの流れ(イメージ図)

患者の意思が  
確認できる場合



○患者の意思決定を基本とし、医療・ケアチームで検討

- ・患者と十分な話し合いを行う
- ・合意内容を文書にまとめておく
- ・病状の変化等に応じてその都度説明する

医療・ケアチームで  
病態等のため決定が  
困難な場合

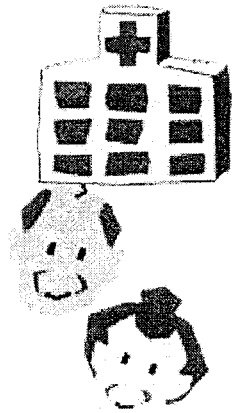
多専門職種から  
なる委員会



- ・複数の専門職で構成
- ・治療方針等について  
検討・助言を行う

助言

家族の中で意見が  
まとまらない場合等



患者の意思が  
確認できない場合

○患者の意思が推定できる場合は尊重する  
○患者の意思が推定できない場合は家族と十分に話し合う 等

終末期医療及びケアの方針決定

# 「終末期医療に関する調査」概要

# 平成20年「終末期医療に関する調査」について

平成20年3月実施

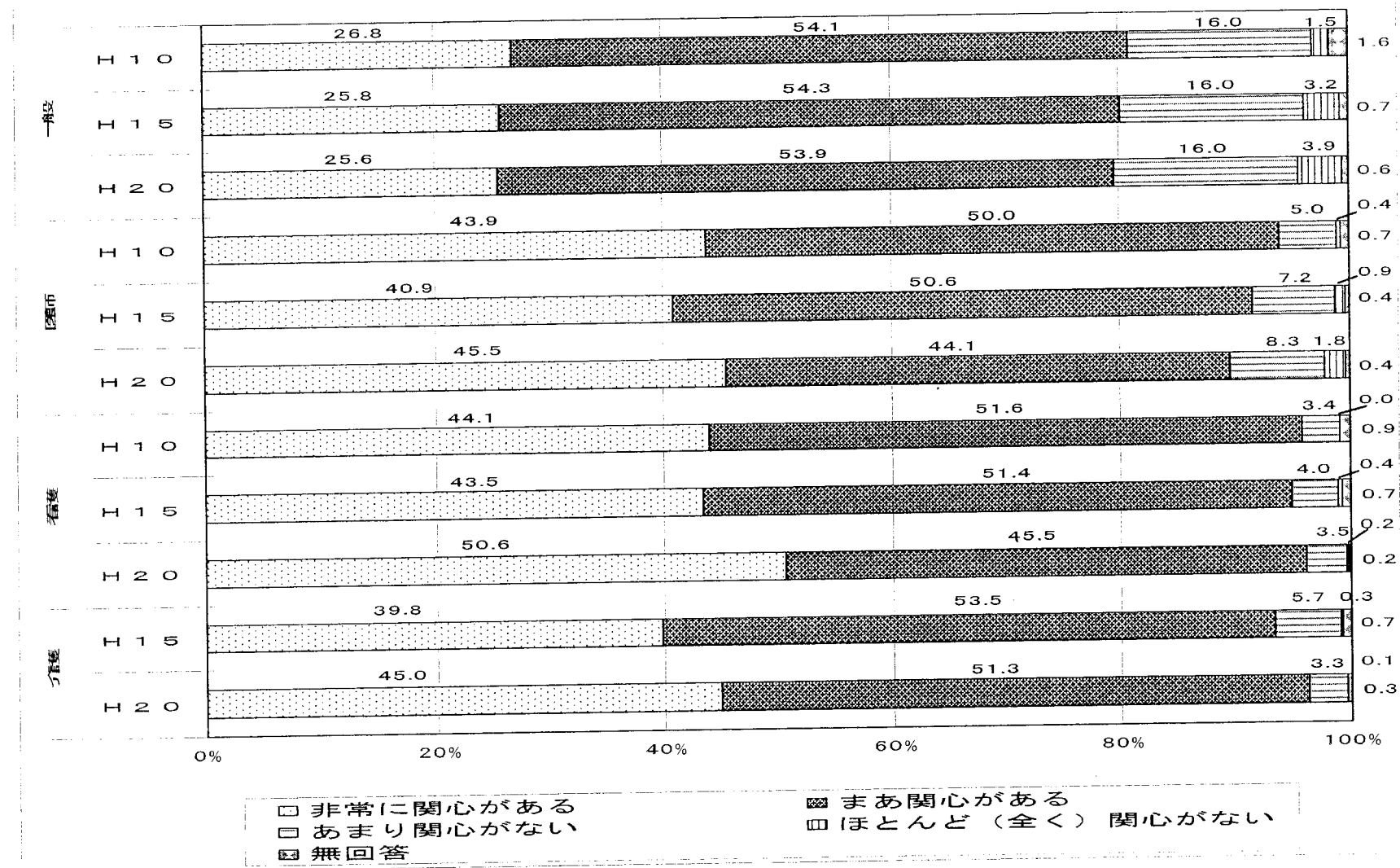
対象数と回収数:

	対象数	回収数	回収率(%)
一般国民	5,000	2,527	50.5
(うち70歳以上)	--	(457)	--
医師	3,201	1,121	35.0
看護師	4,201	1,817	43.3
介護職員	2,000	1,155	57.8
計	14,402	6,620	46.0

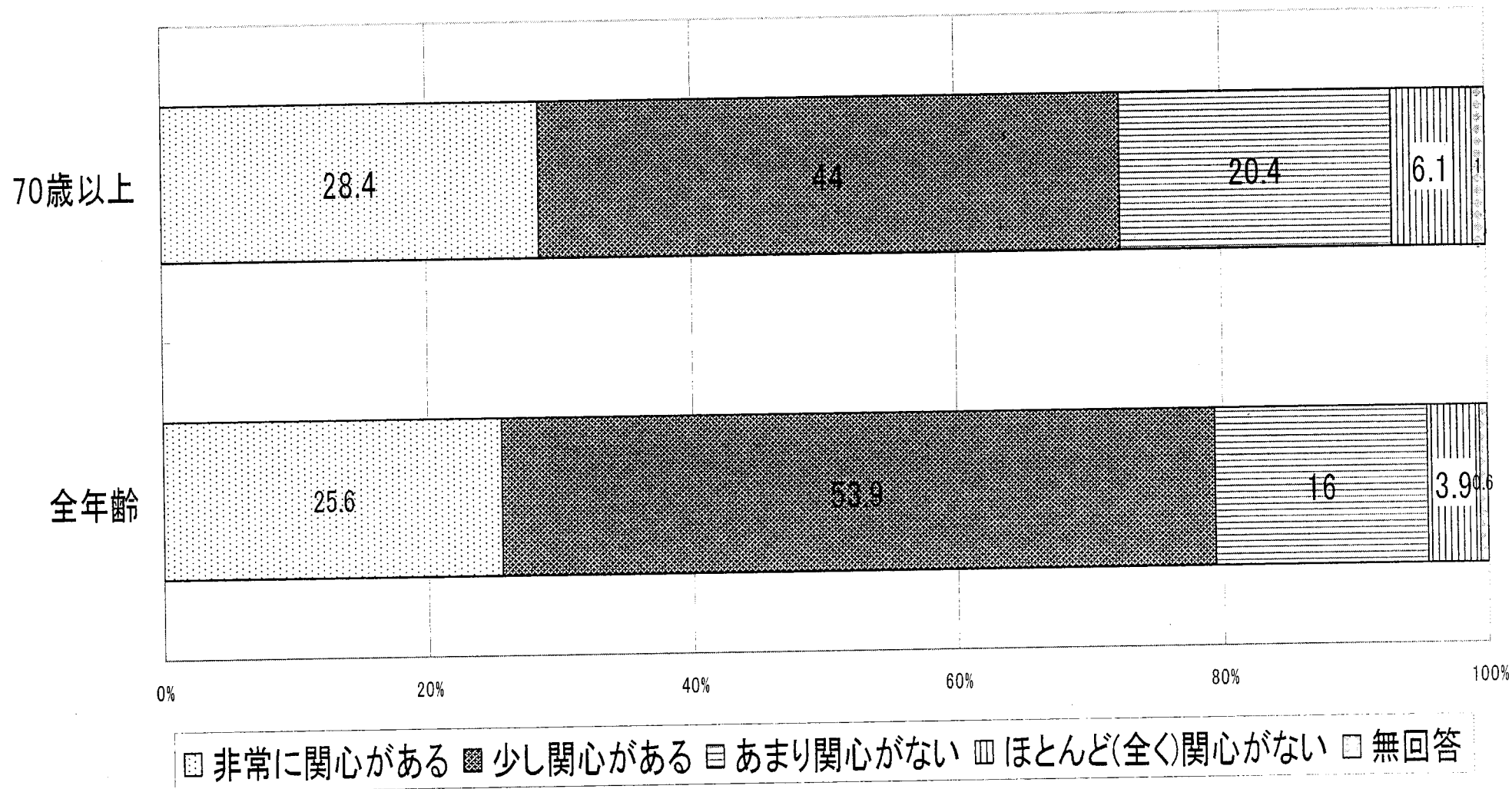
郵送調査、無作為抽出による

# 1 終末期医療への関心

終末期医療について、①大多数の国民が感心を持ち、②医療関係者は、一般国民に比して関心は高い。

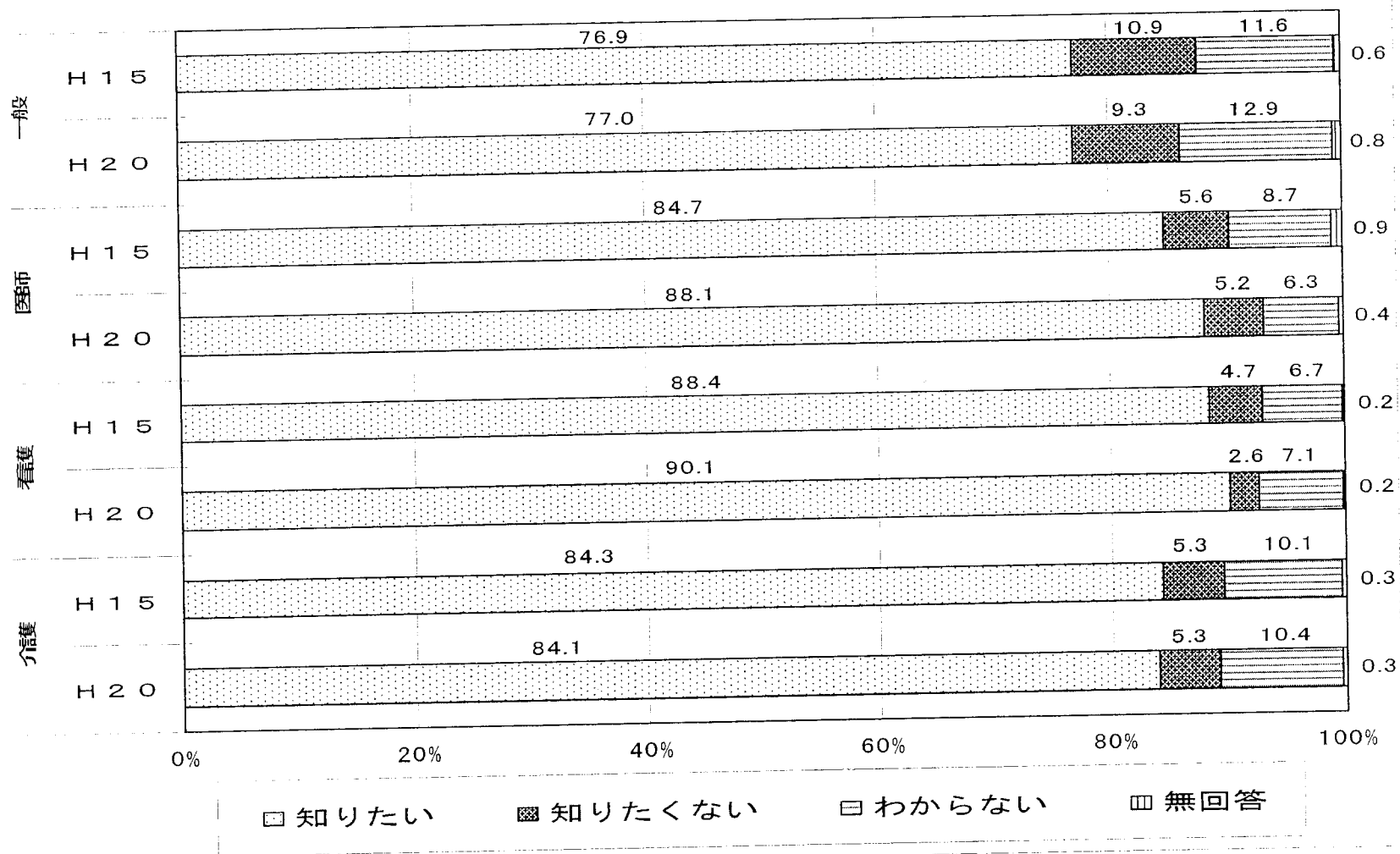


70歳以上で、終末期医療に関心を持つ者は72%である。



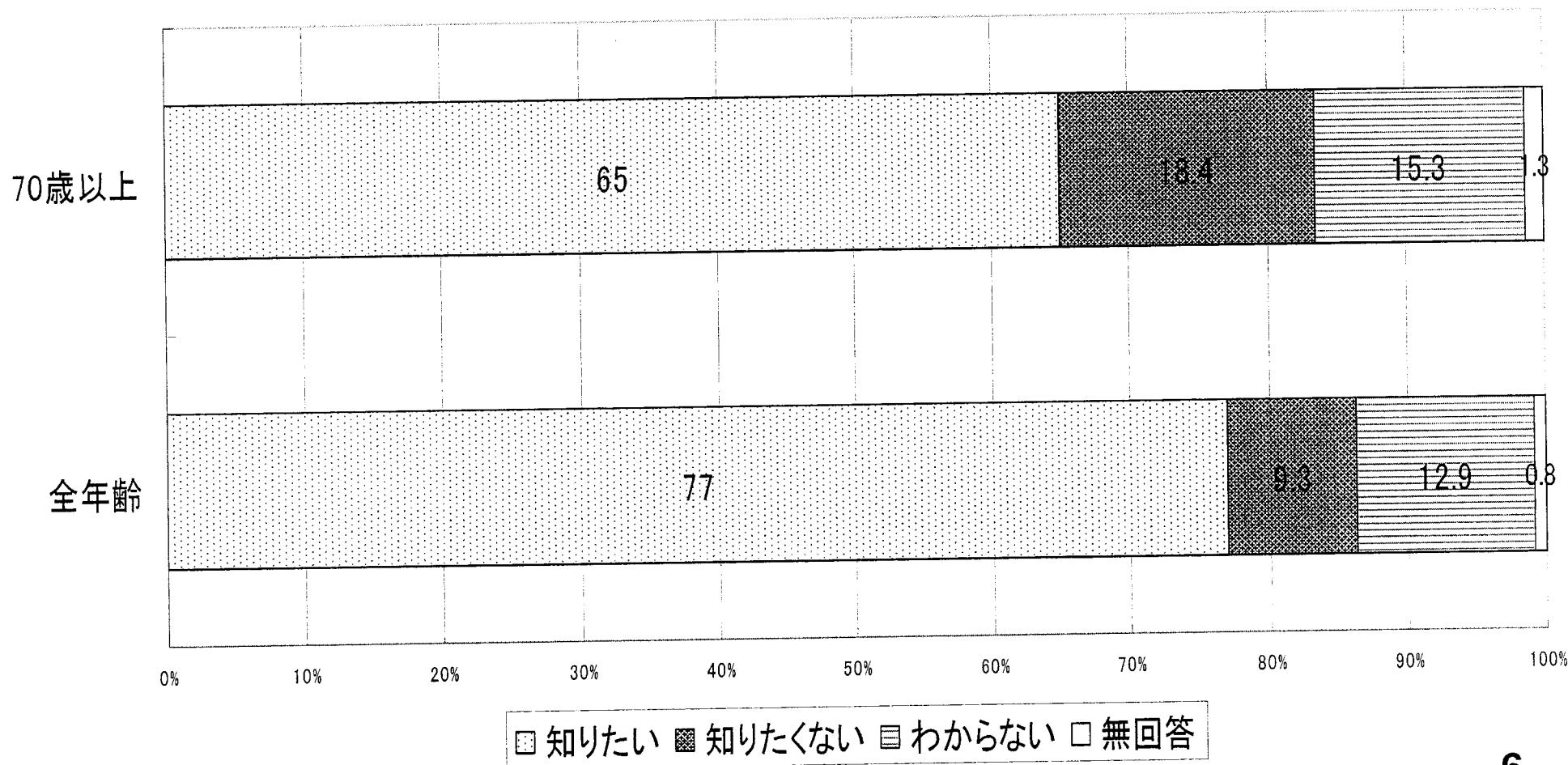
## 2 生命・医療・療養に関する情報提供・告知

前回(平成15年)と同様、大多数の国民が自分の病名や見通し(治療期間、余命)について知りたいと思っている。



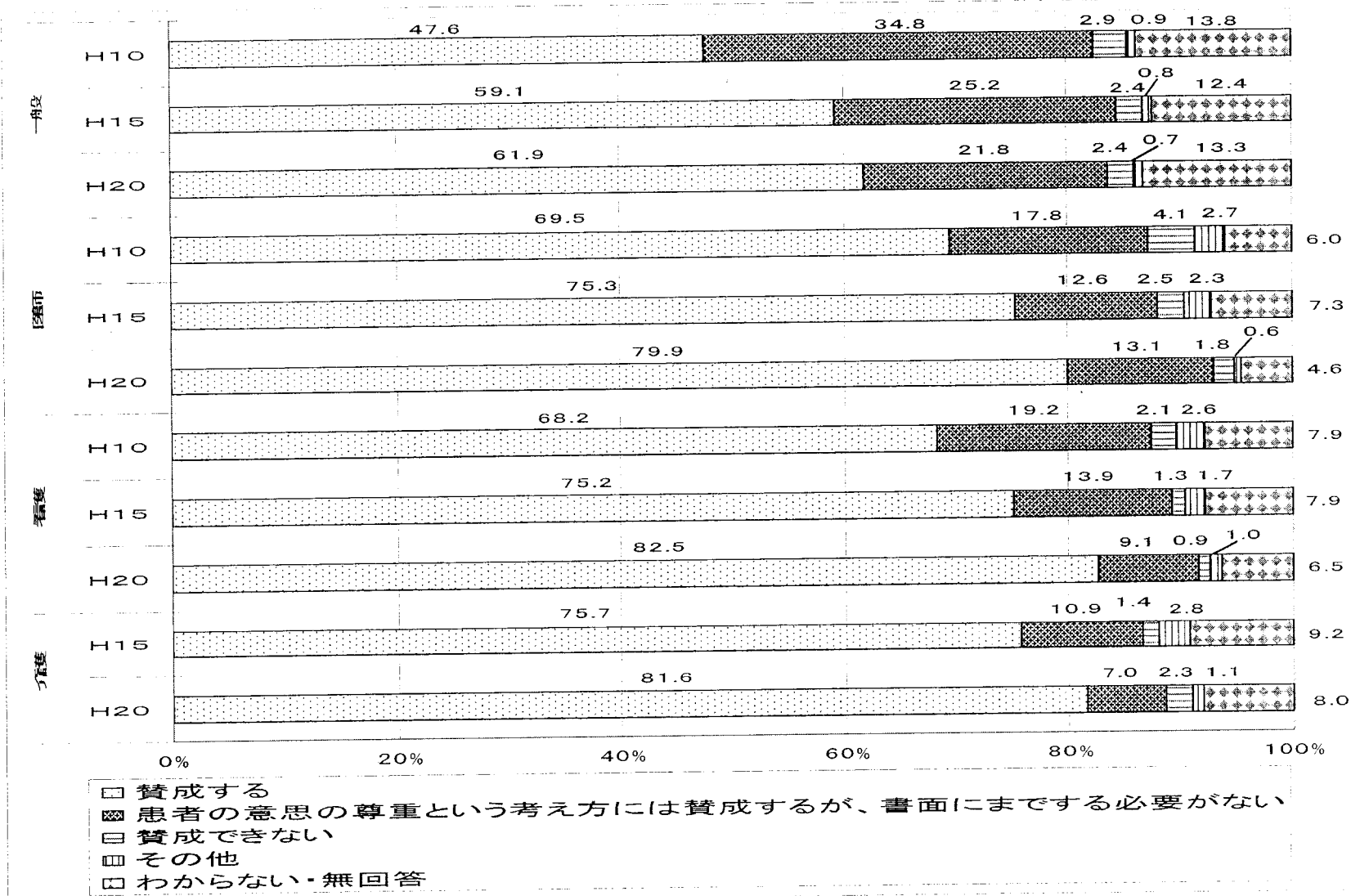


70歳以上で、自分の病名や見通し(治療期間、余命)について知りたい者は65%である。

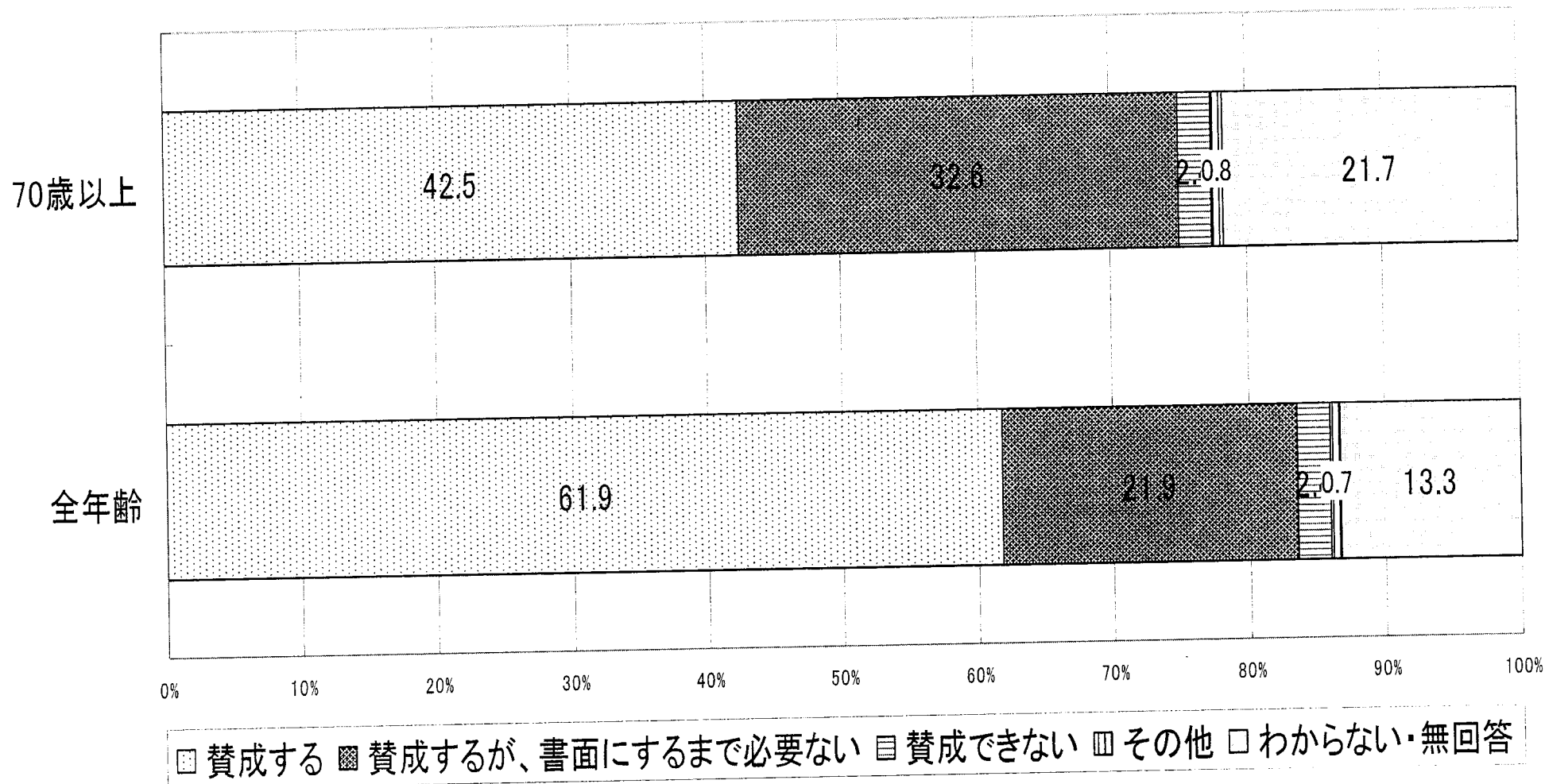


# 3 リビングウィル

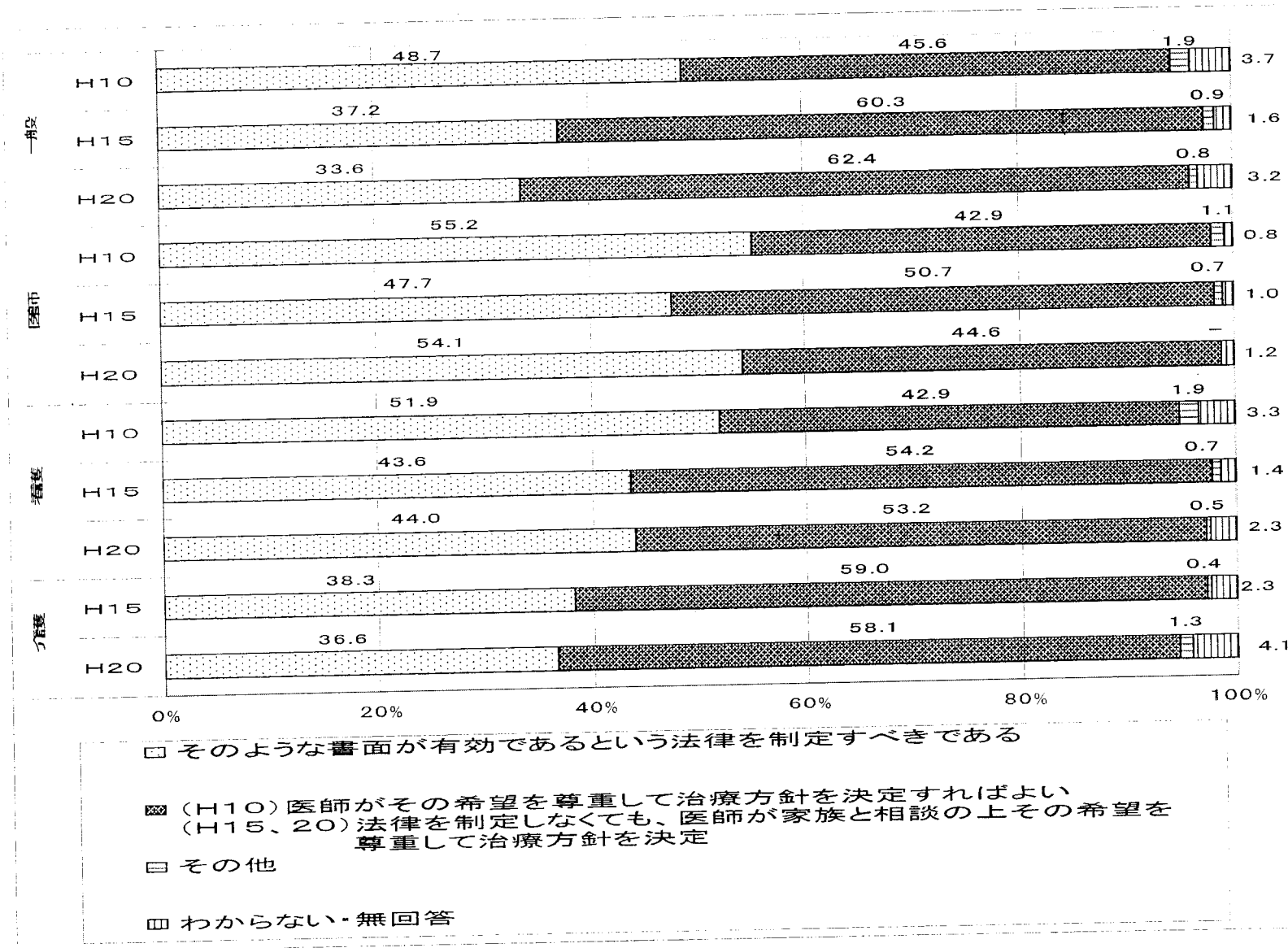
リビングウィル(予め意思を書面にし、終末期にはそれに従って治療方針を決定)の考え方に賛成する者は多く、増加傾向にある。



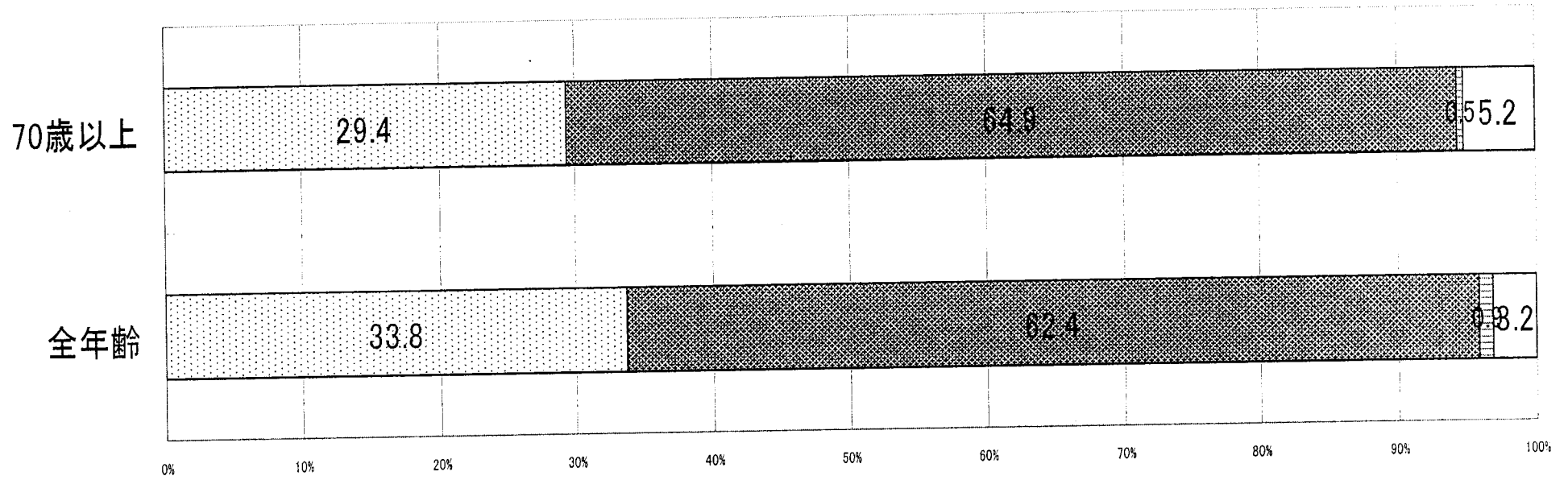
70歳以上で、リビングウィル(予め意思を書面にし、終末期にはそれに従って治療方針を決定)の考え方に賛成する者は42%である。



リビングウィルに賛成する者のうち、法整備を求める者は34%（医療従事者は54%）、求めない者は62%（医療従事者は44%）と意見が分かれている。



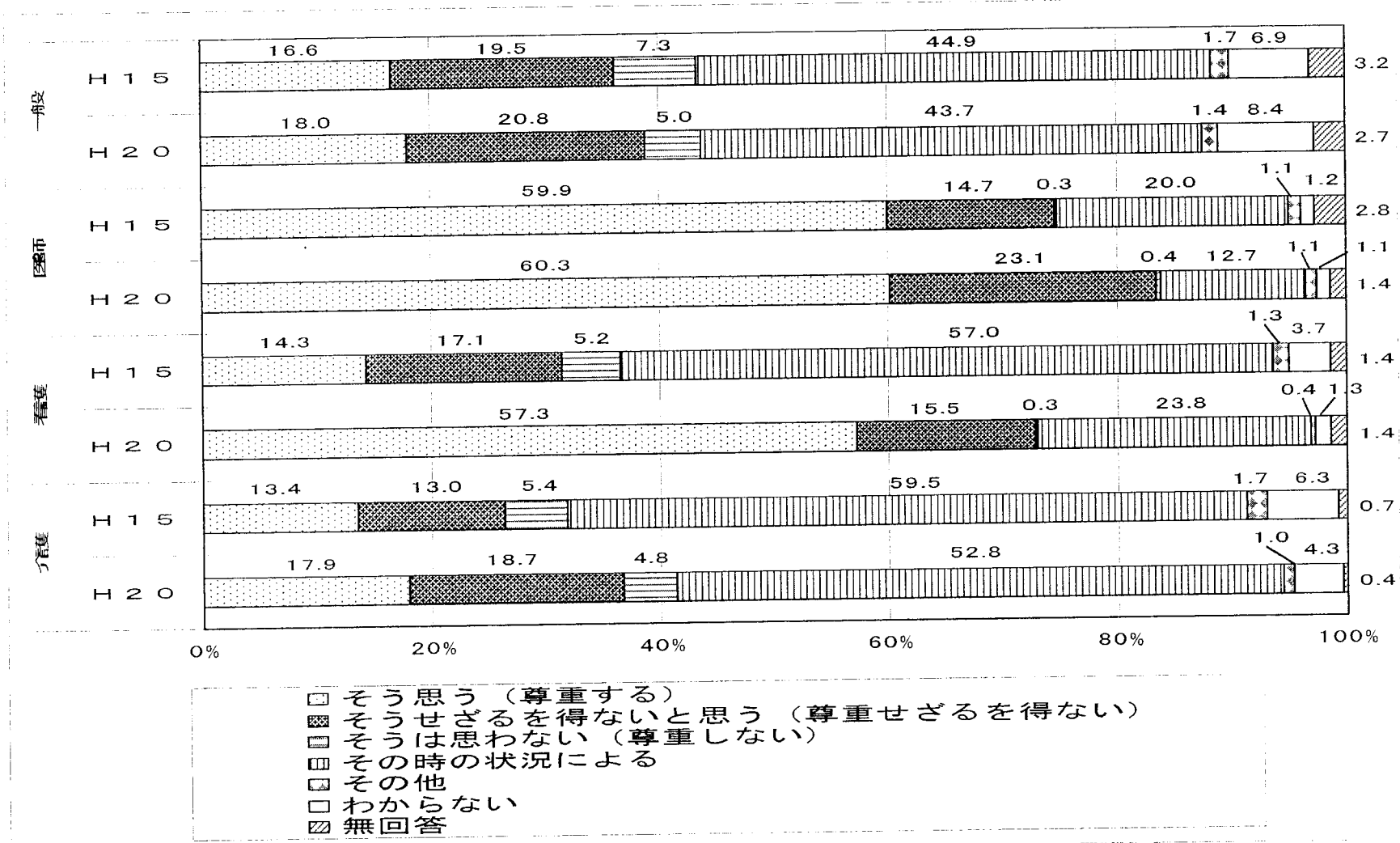
70歳以上で、リビングウィルに賛成する者のうち法整備を求める者は29%である。



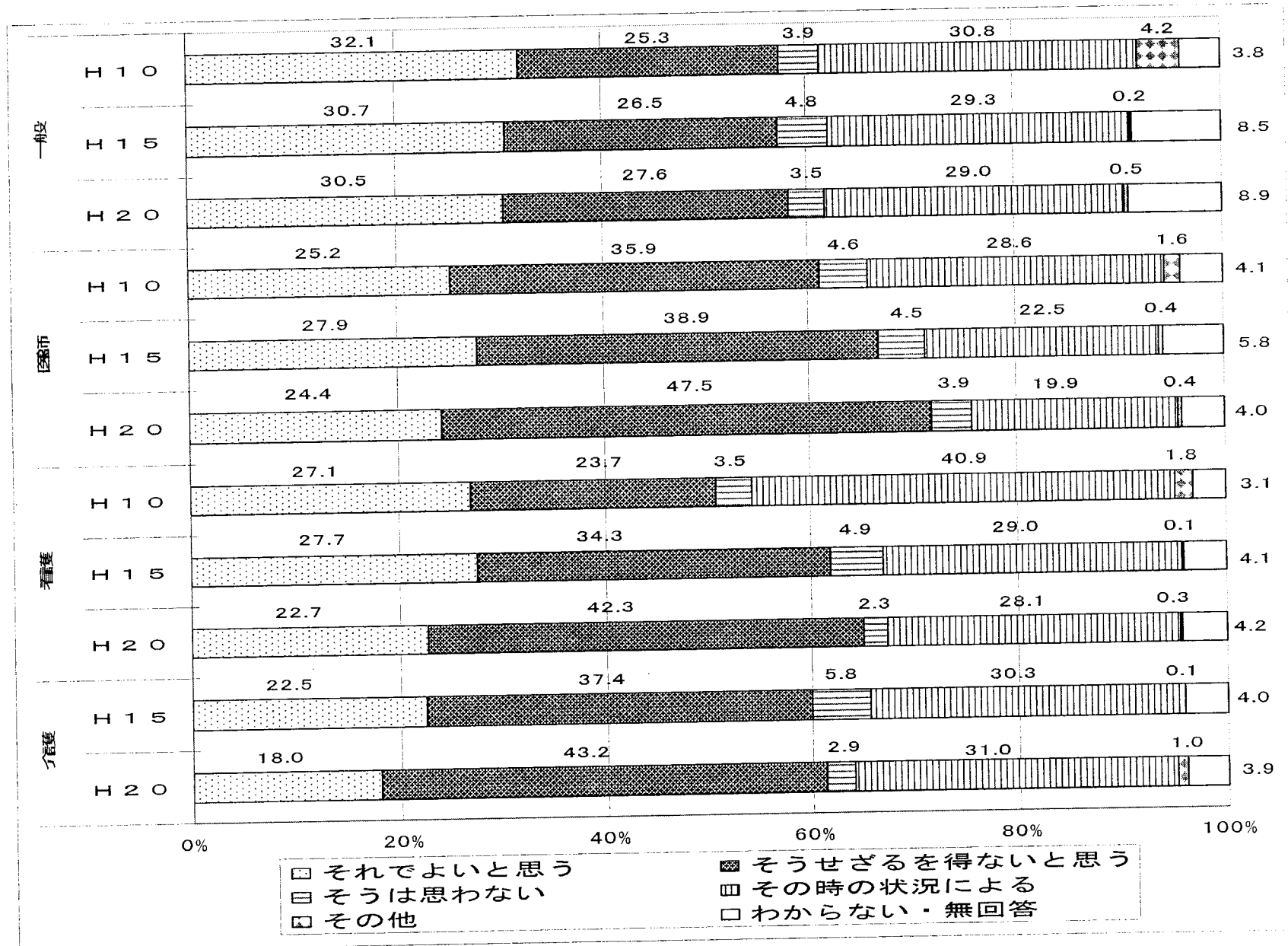
- 法律を制定すべき
- 法律を制定しなくても医師が家族と相談の上その希望を尊重して治療方針を決定する
- その他
- わからない・無回答

# 4-1 終末期医療内容の決定

リビングウィルの書面の内容について、医師が尊重すると思う一般国民は約40%であるのに対し、医師は80%以上が尊重するとしており、乖離がみられる。

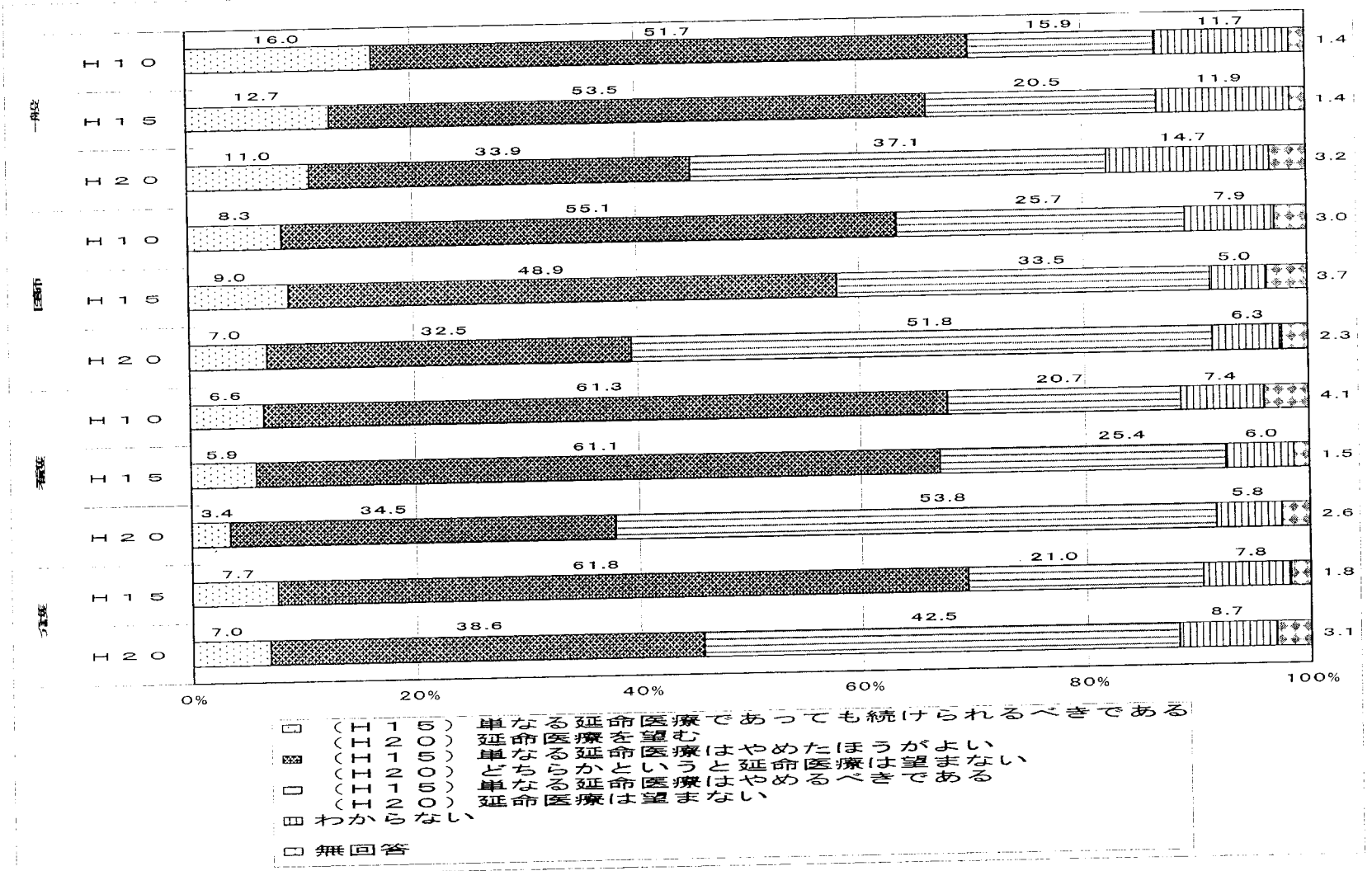


事前に本人の意思が確認できなかった場合、家族・後見人の(延命治療中止の)意思を本人の意思の代わりとして治療方針を決定することに58% (医師は72%)が賛成である。



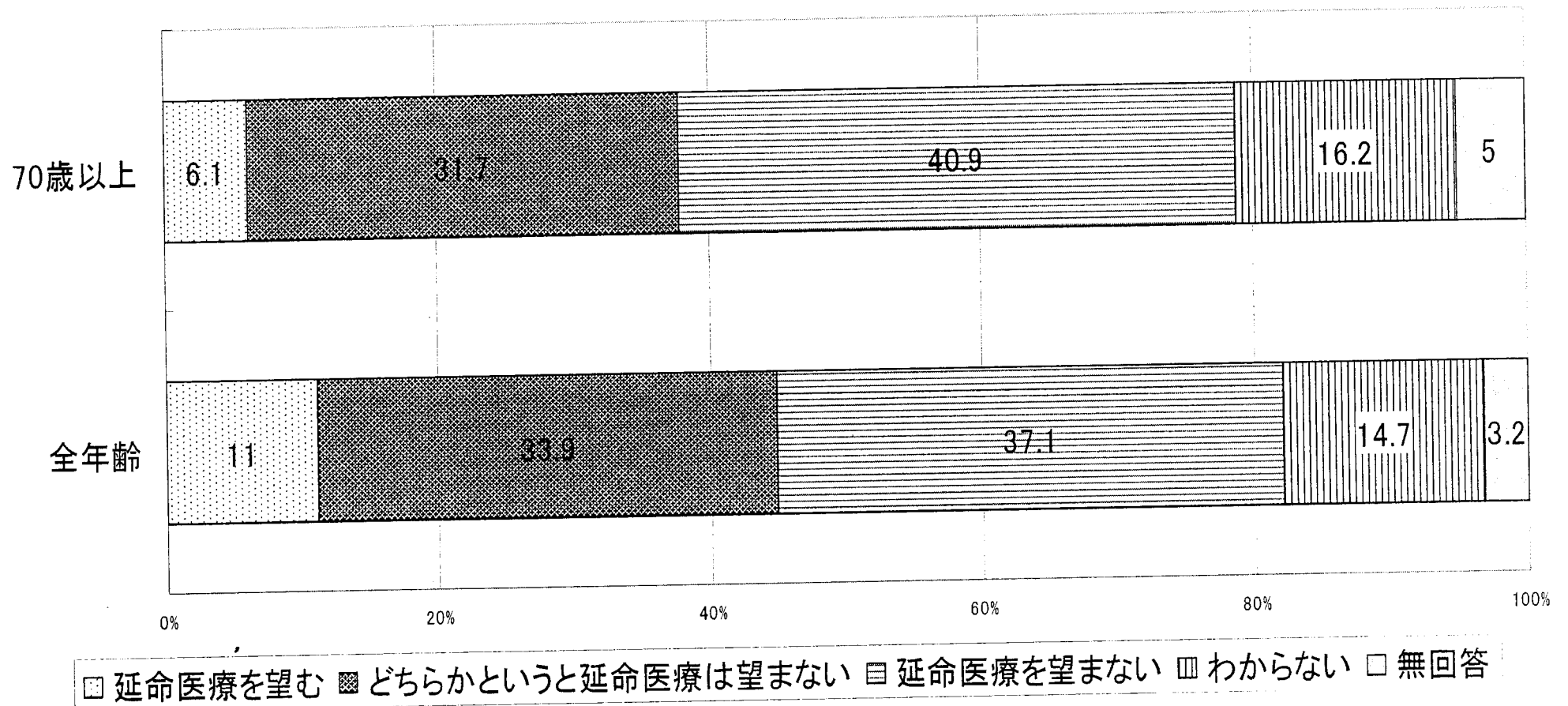
# 4-2 終末期治療の実施

自分が余命6ヶ月以内の末期状態の患者になった場合、延命医療を望まない者が多い。

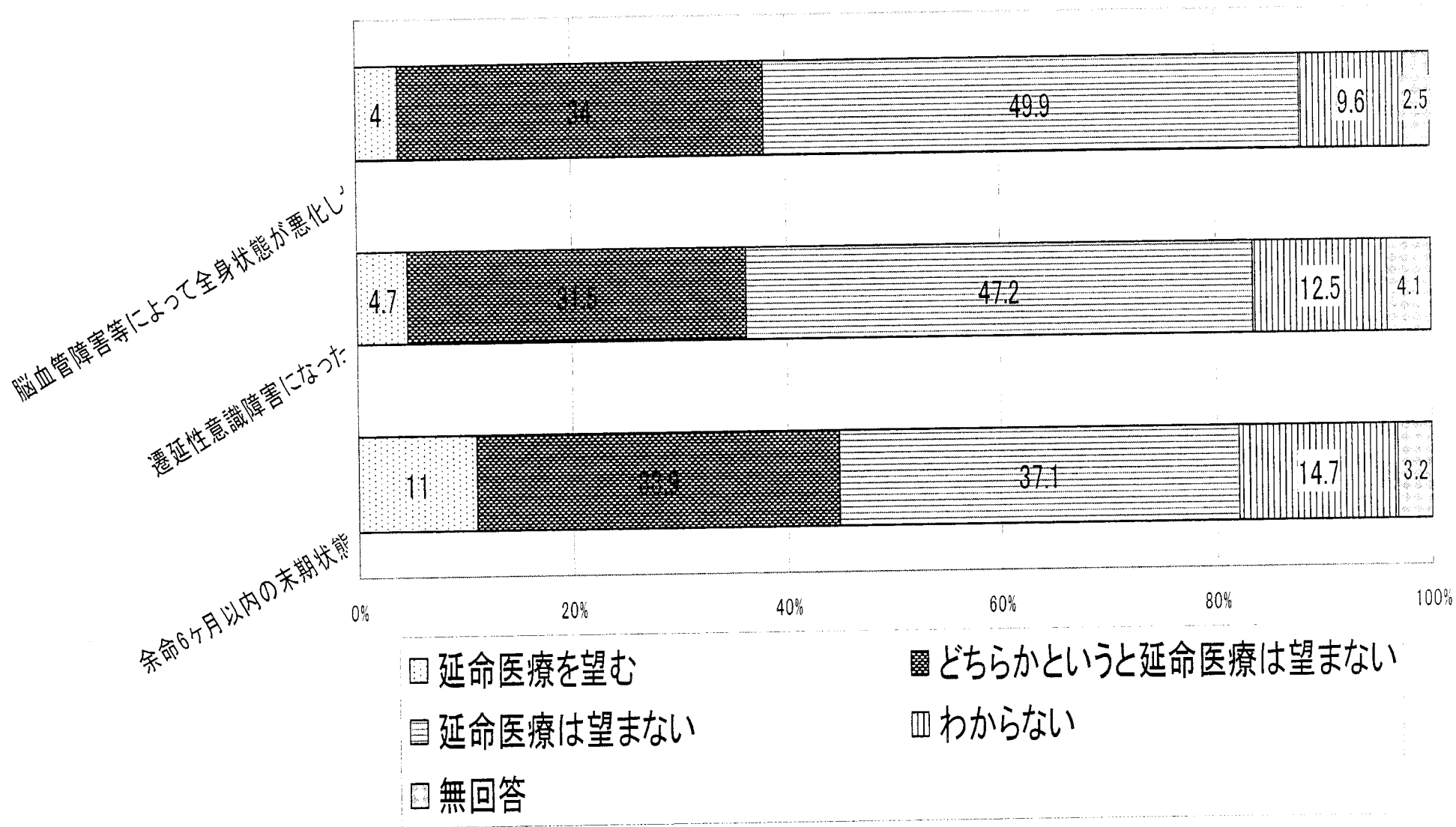




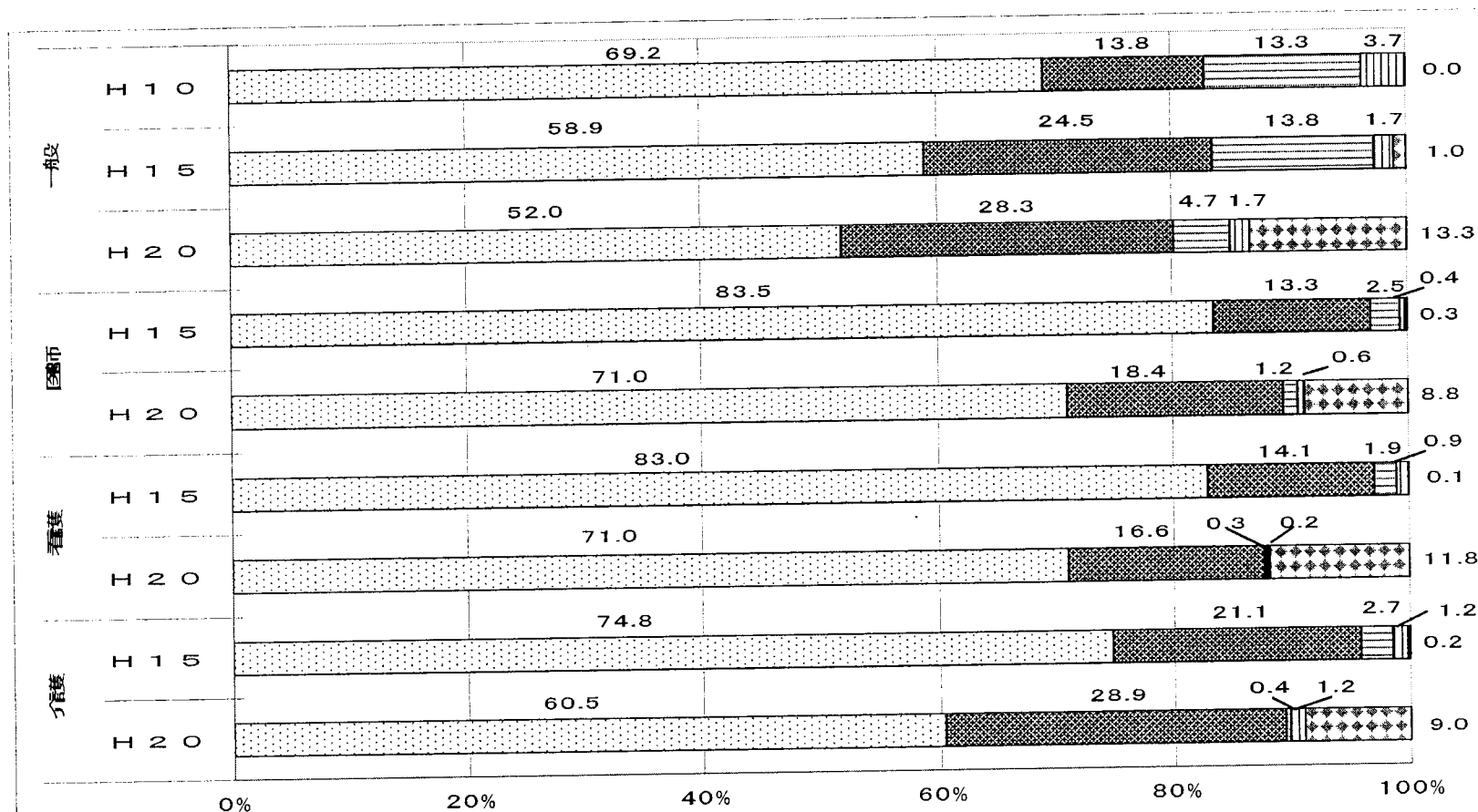
70歳以上で、自分が余命6ヶ月以内の末期状態の患者になった場合延命医療を望まない者は72%である。



自分が脳血管障害や遷延性意識障害の患者になった場合は、延命医療を望まない者の割合は、末期状態よりもさらに多い。



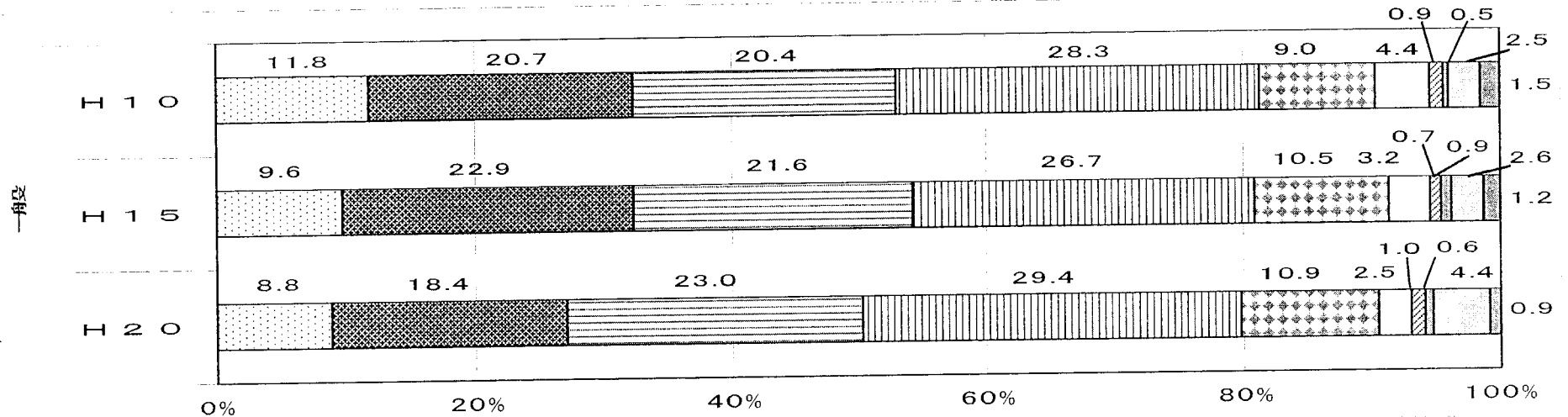
余命6ヶ月以内の医療については、緩和ケア、自然に死期迎えるケアの順に希望しているが、後者の割合が年々増加傾向にある。



- 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
- 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせる様な方法
- ▨ 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法
- ▩ わからない
- 無回答

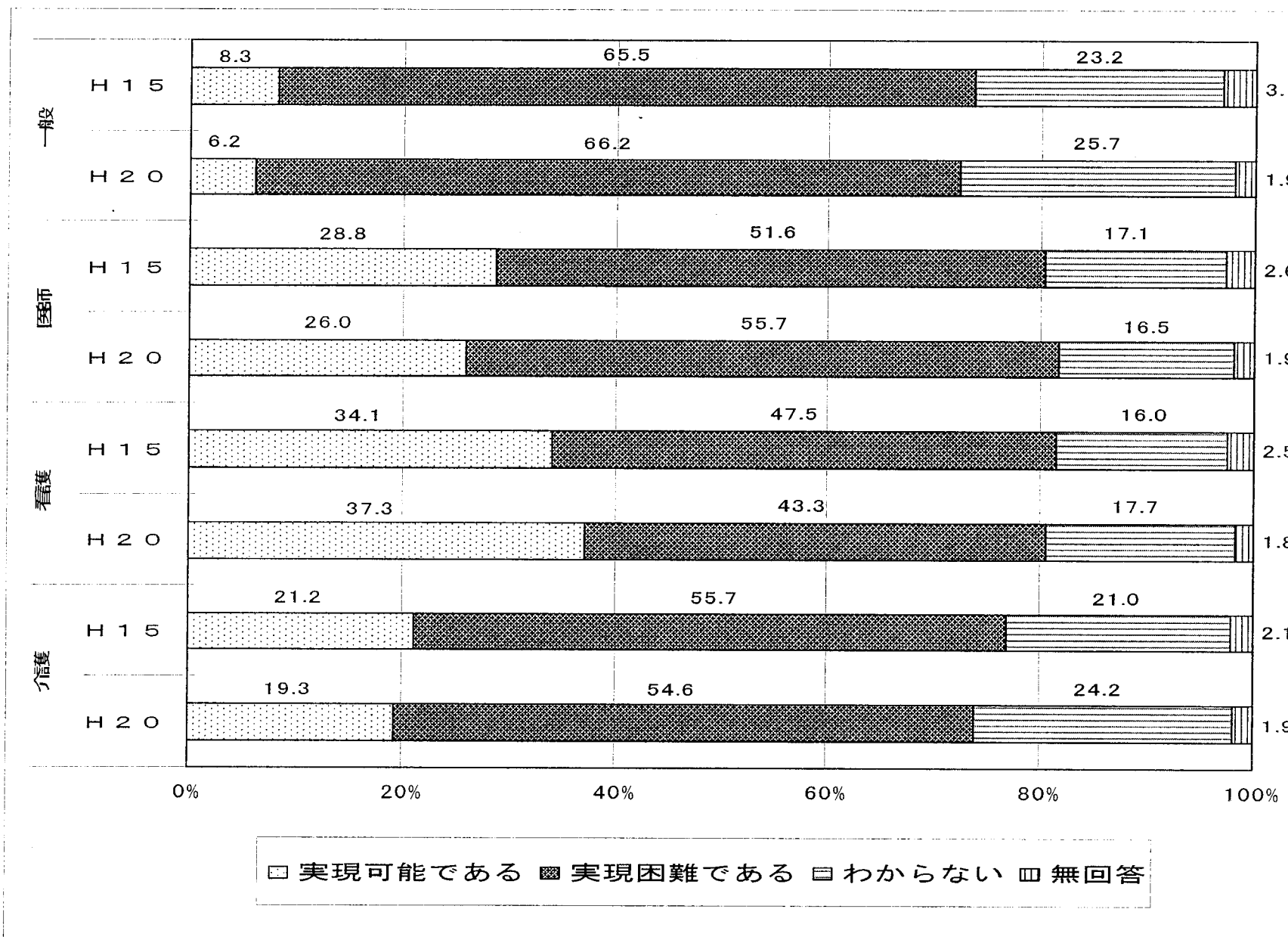
# 5 療養及び看取りの場所

自分が余命6ヶ月以内の末期状態の患者になった場合、療養の場として63%が自宅を、看取りの場として80%が緩和ケア・医療機関を希望している。

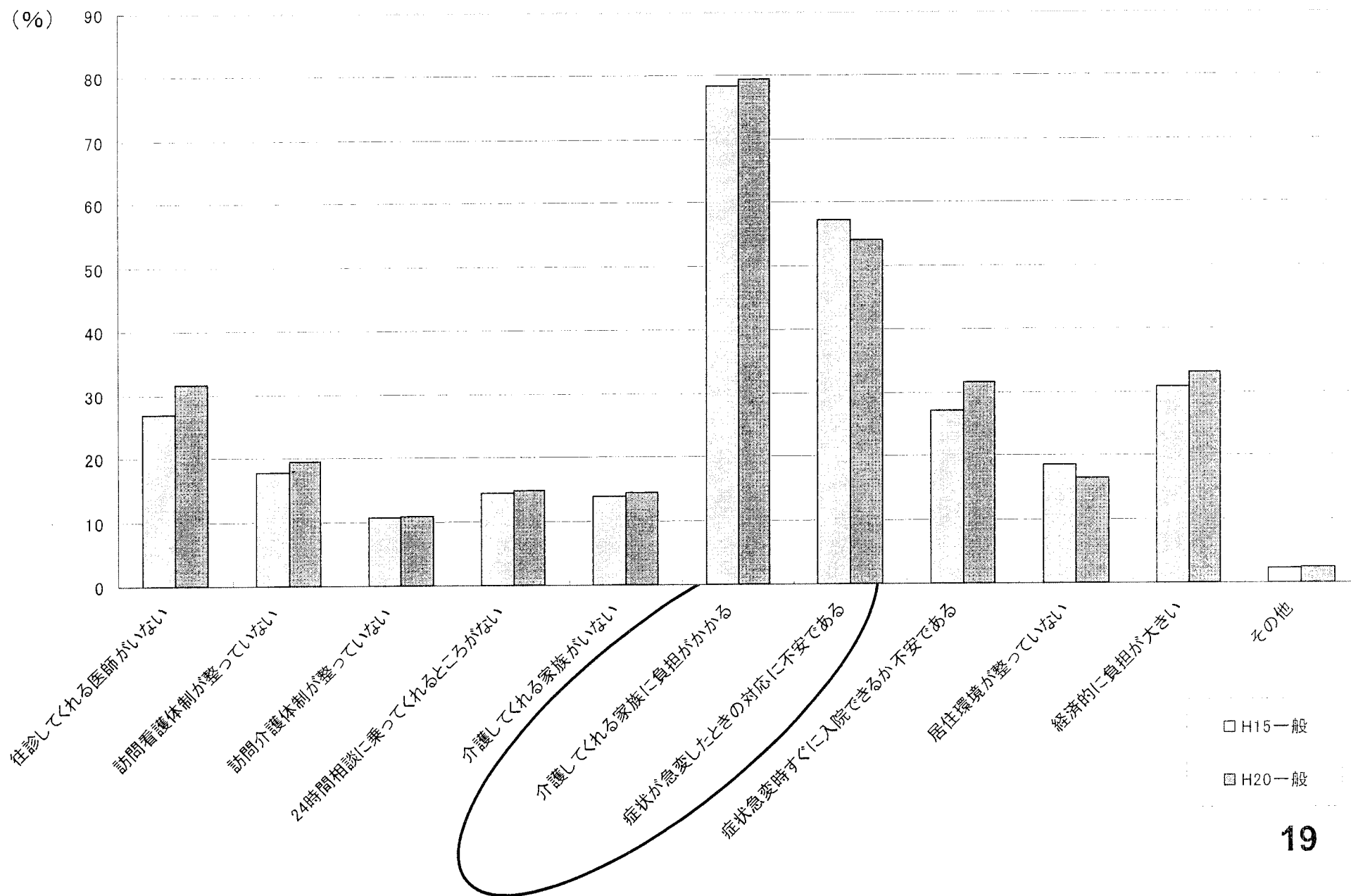


- なるべく早く今まで通った(又は現在入院中の)医療機関に入院したい
- なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい
- 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 自宅で最後まで療養したい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい
- 老人ホームに入所したい
- その他
- わからない
- 無回答

自分が余命6ヶ月以内の末期状態の患者になった場合、66%の国民が最期まで自宅での療養は実現困難と考えている。



# 自宅で最期まで療養することが実現困難な理由(複数回答)



## 「終末期医療に関する調査」結果

本調査について .....	2
 結果	
(1) 終末期医療に対する関心 .....	4
(2) 病名や病気の見通しについての説明 .....	8
(3) 治療方針の決定 .....	10
(4) 死期が迫っている患者に対する医療のあり方 .....	11
(5) 遷延性意識障害の患者に対する医療のあり方 .....	25
(6) 脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した患者に 対する医療のあり方 .....	34
(7) リビング・ウィルと患者の意思の確認方法 .....	43
(8) 終末期医療に対する悩み、疑問 .....	52
(9) 終末期における療養の場所 .....	57
1) 死期が迫っている患者 .....	57
2) 脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した患者 ..	69
(10) がん疼痛治療法とその説明 .....	89
(11) 終末期医療体制の充実 .....	91
調査票と結果の対照表 .....	108

## 本調査について

### (1) 調査目的

- 患者の意思を尊重した望ましい終末期医療のあり方について検討する際に、議論の参考とするために実施。

### (2) 調査対象及び客体

- 前回(平成15年)の調査と同様、一般国民、医師、看護職員及び介護施設職員(介護老人福祉施設の介護職員をいう。以下同じ。)を対象に意識調査を実施した。調査客体の数は計14,402人(前回13,794人)であった。
- 一般国民
  - 全国の市区町村に居住する満20歳以上の男女から5,000人を層化二段無作為抽出法にて抽出し、客体とした。
  - 各地点の標本数が22～39程度となるように国勢調査区(平成17年)から150地点を無作為に選んだ。
  - 150国勢調査区の住民基本台帳から客体を無作為に選んだ。
- 医師、看護職員
  - 病院・診療所・緩和ケア病棟の医師3,201人と病院・診療所・緩和ケア病棟・訪問看護ステーション・介護老人福祉施設の看護職員4,201人を客体とした。
  - 病院については、全国から1,000施設を無作為に選び、各施設で医師2人と看護職員2人を選定した。
  - 診療所については、都道府県ごとに23施設、計1,081施設を無作為に選び、各施設で医師1人、看護職員1人を選定した。
  - 緩和ケア病棟は、全国120施設の全数を対象とし、各施設で医師1人と看護職員1人を選定した。
  - 訪問看護ステーションについては、全国から500施設を無作為に選び、各施設で看護職員1人を選定した。
  - 介護老人福祉施設については、全国から500施設を無作為に選び、各施設で看護職員1人を選定した。
  - 各施設内の調査対象者の選定は各施設に任せた。
- 介護施設職員
  - 介護老人福祉施設については、全国から2,000施設を無作為に選び、各施設で介護職員1人を選定し、2,000人を客体とした。
  - 各施設内の調査対象者の選定は各施設に任せた。

### (3) 調査期間

- 平成20年3月

### (4) 調査項目

- 調査項目については、以下のとおりである。調査対象者の意識の変化が把握できるように



前回調査に沿う内容としたが、「終末期における療養の場所」について、従来の「死期が迫っている場合」に加え、「脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した場合」を加えたほか、具体的な延命医療の中止の時期や内容等の質問を加えた。

- (1) 終末期医療に対する関心
- (2) 病名や病気の見通しについての説明
- (3) 治療方針の決定
- (4) 死期が迫っている患者に対する医療のあり方
- (5) 遷延性意識障害の患者に対する医療のあり方
- (6) 脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した患者に対する医療のあり方
- (7) リビング・ウィルと患者の意思の確認方法
- (8) 終末期医療に対する悩み、疑問
- (9) 終末期における療養の場所
  - 1) 死期が迫っている患者
  - 2) 脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した患者
- (10) がん疼痛治療法とその説明
- (11) 終末期医療体制の充実

(5) 調査の方法

- 郵送法

(6) 結果の集計及び集計客体

- 調査対象者数、回収数は表のとおりであり、回収率は46.0%であった。

表 「終末期医療に関する調査」回収結果

対象者	対象施設	調査人数(人)	回収数(人)	回収率(%)
一般国民	—	5,000(5,000)	2,527(2,581)	50.5(51.6)
医 師	計	3,201(3,147)	1,121(1,363)	35.0(43.3)
	病院	2,000(2,000)		
	診療所	1,081(1,034)		
	緩和ケア	120(113)		
看護職員	計	4,201(3,647)	1,817(1,791)	43.3(49.1)
	病院	2,000(2,000)		
	診療所	1,081(1,081)		
	緩和ケア	120(113)		
	訪問看護ステーション	500(500)		
	介護老人福祉施設	500(-)		
介護施設職	介護老人福祉施設	2,000(2,000)	1,155(1,253)	57.8(62.7)
総 計		14,402(13,794)	6,620(6,988)	46.0(50.7)

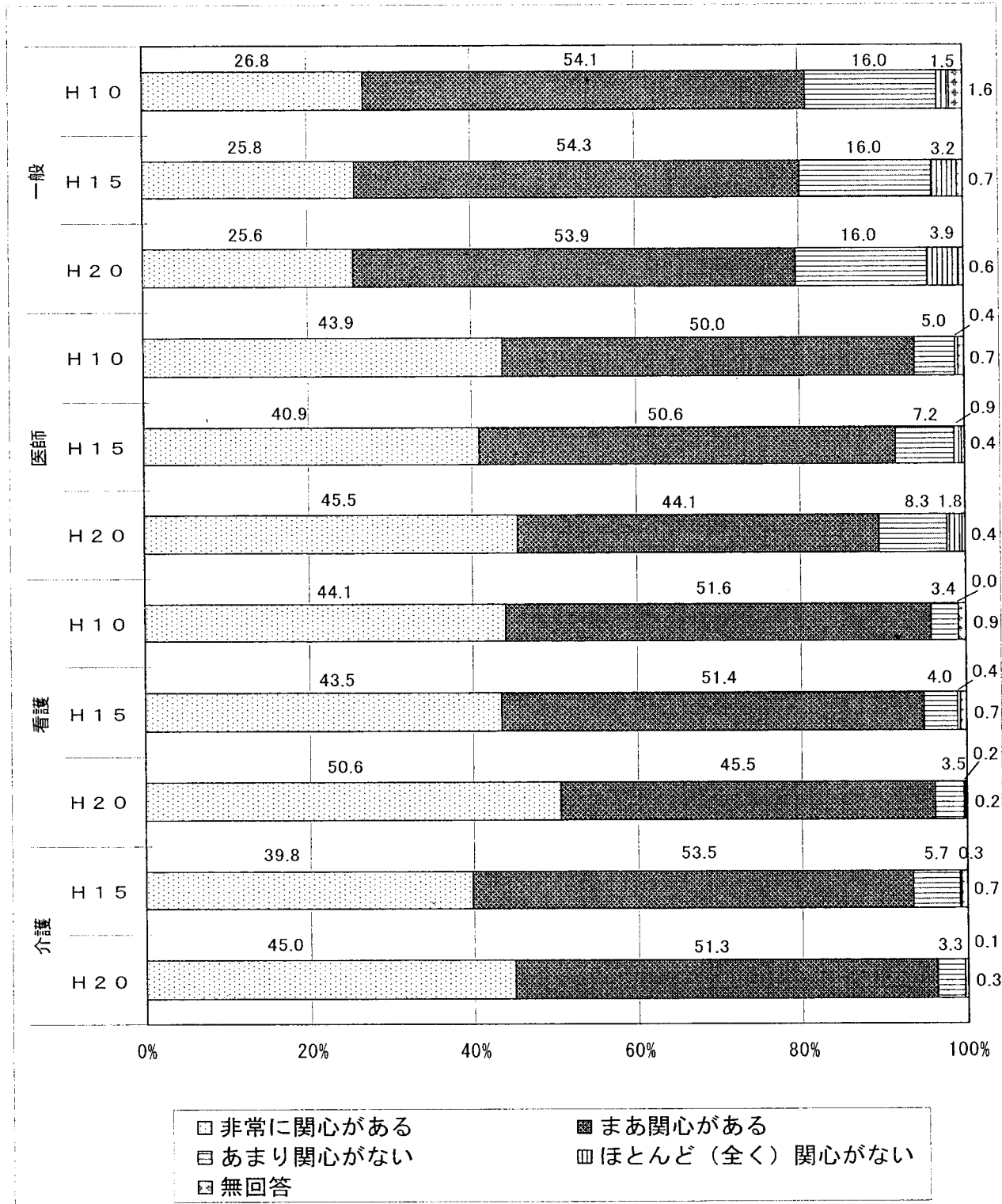
注) ( ) 内は前回調査結果

# 結果

## (1) 終末期医療に対する関心

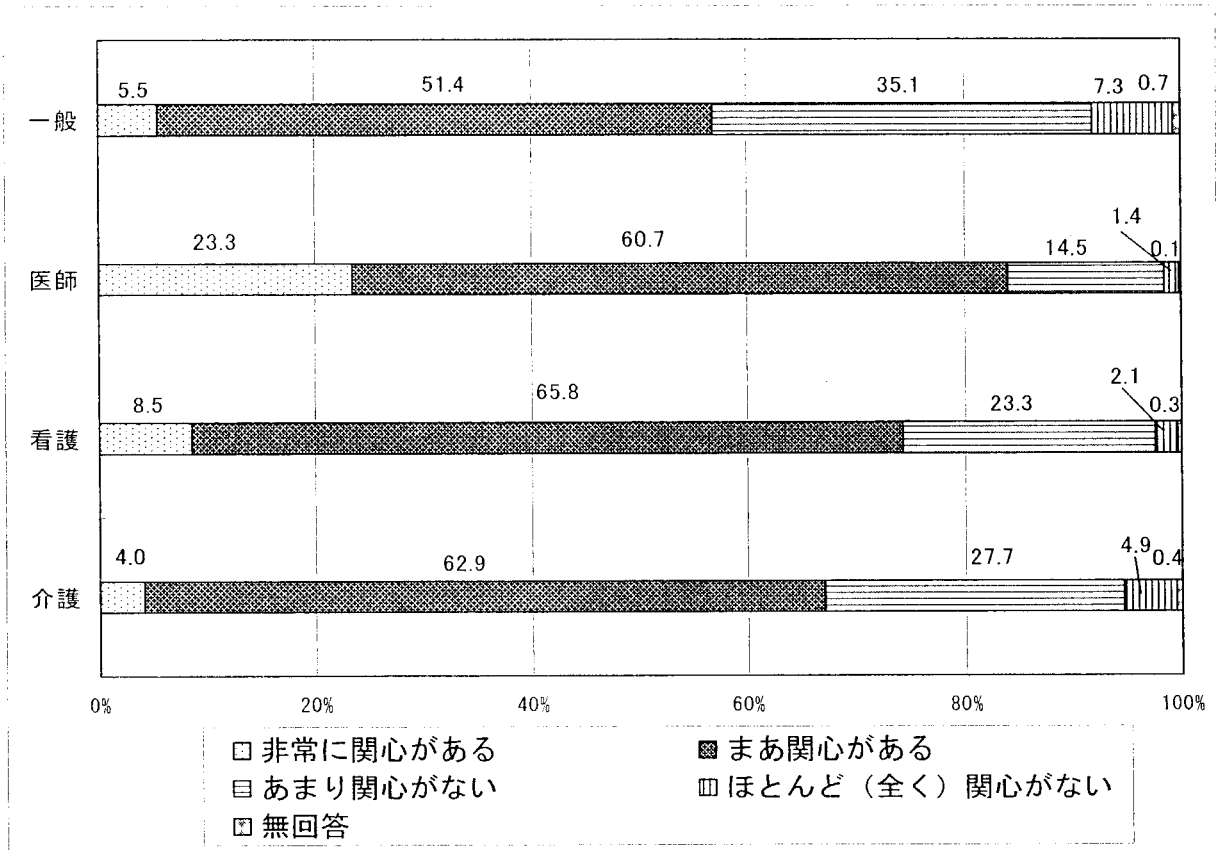
### 【問1】

近年、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、あなたはこれらに関心がありますか。（○は1つ）



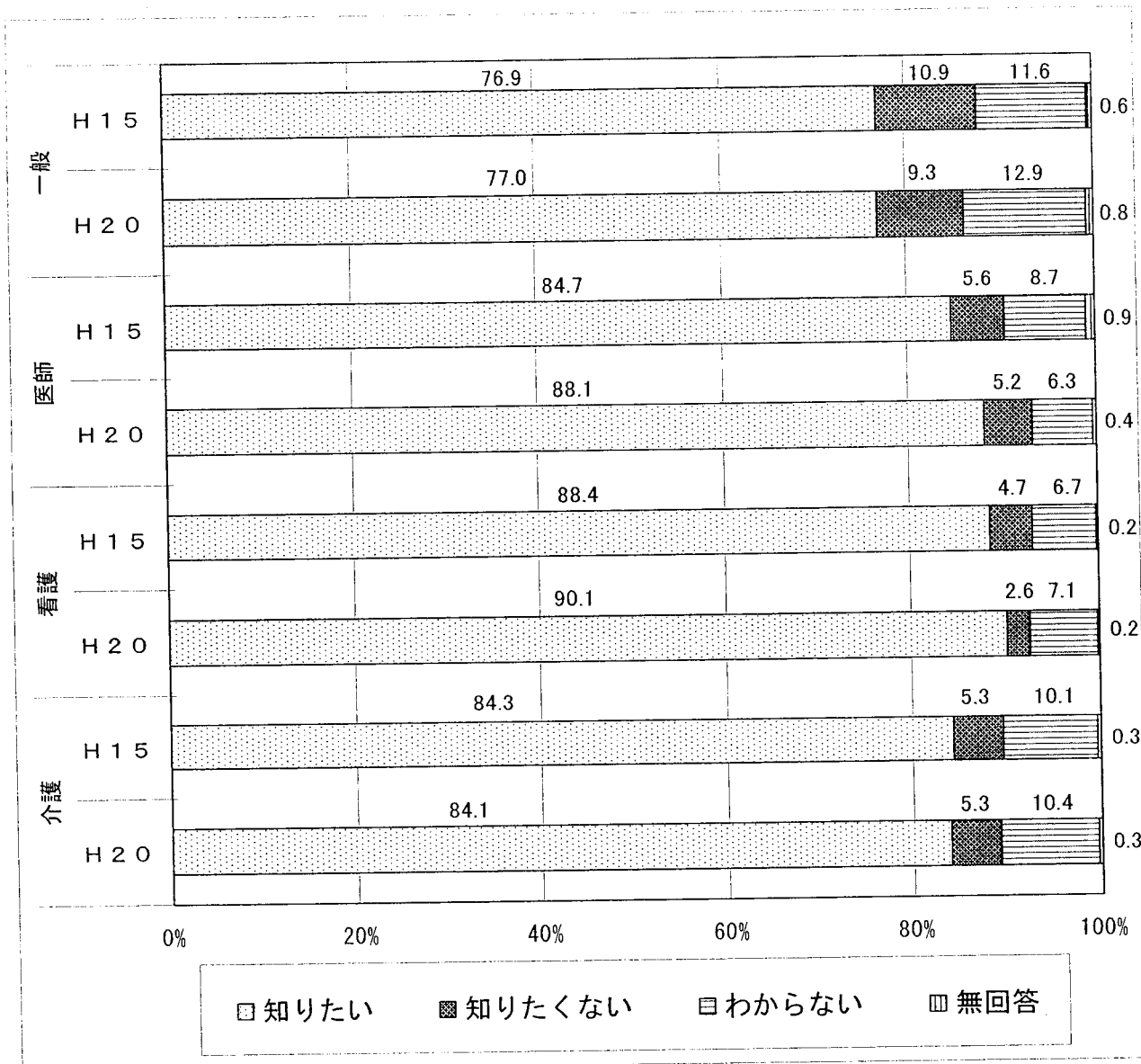
【問1 補問】

(問1で「1非常に興味がある」「2まあ興味がある」をお選びの方に) あなたは、「安楽死」、「尊厳死」、「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの終末期に関する問題に関して、自分自身がどの程度知っているとお考えですか。(〇は1つ)



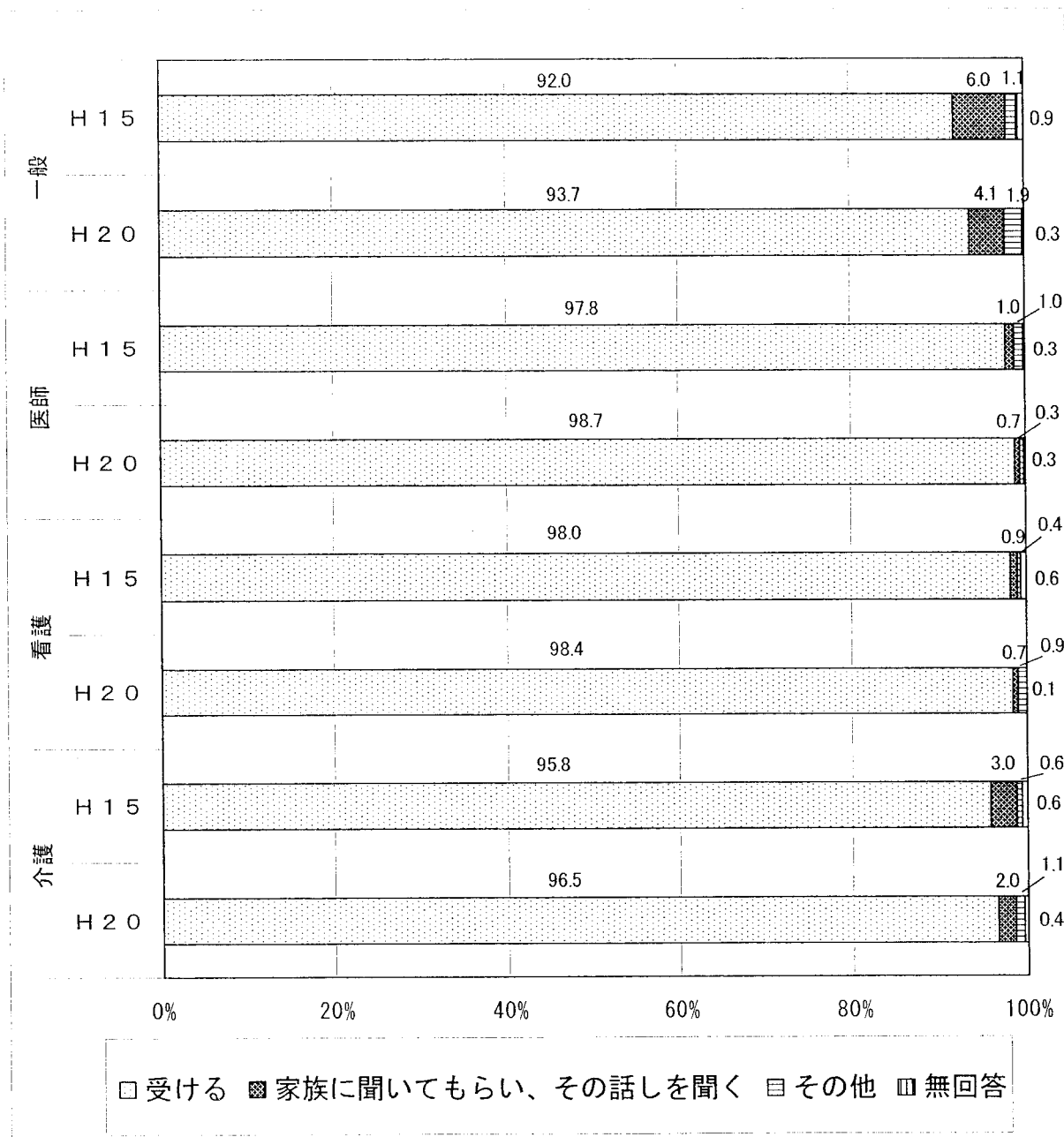
【問2】

あなたご自身が治る見込みがない病気になった場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいとお考えになりますか。（○は1つ）



【問2 補問】

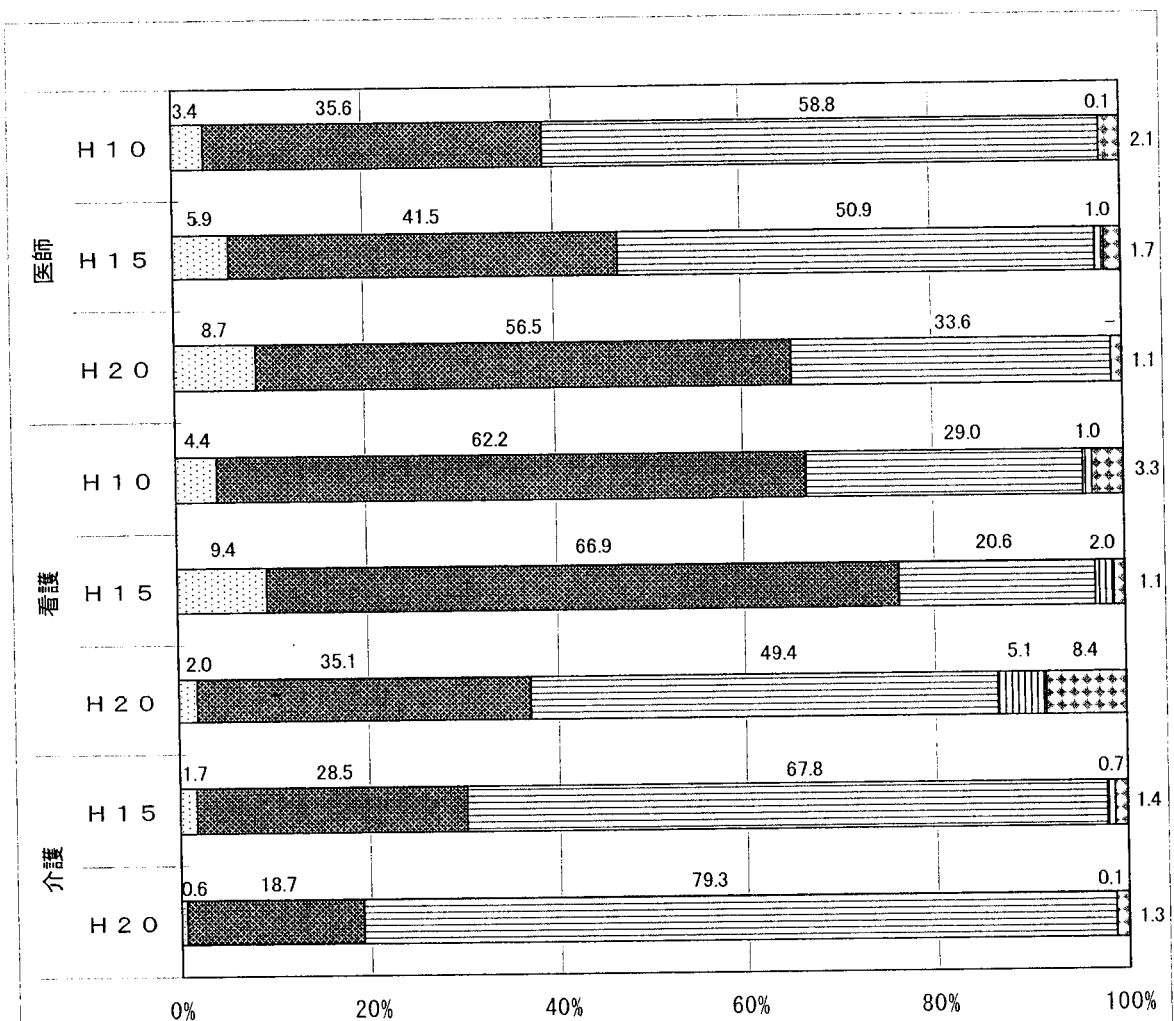
(1「知りたい」をお選びの方に) この場合、病名や病気の見通しについて直接担当医師から説明を受けたいと思いますか。(〇は1つ)



## (2) 病名や病気の見通しについての説明

【(医療従事者) 問6】

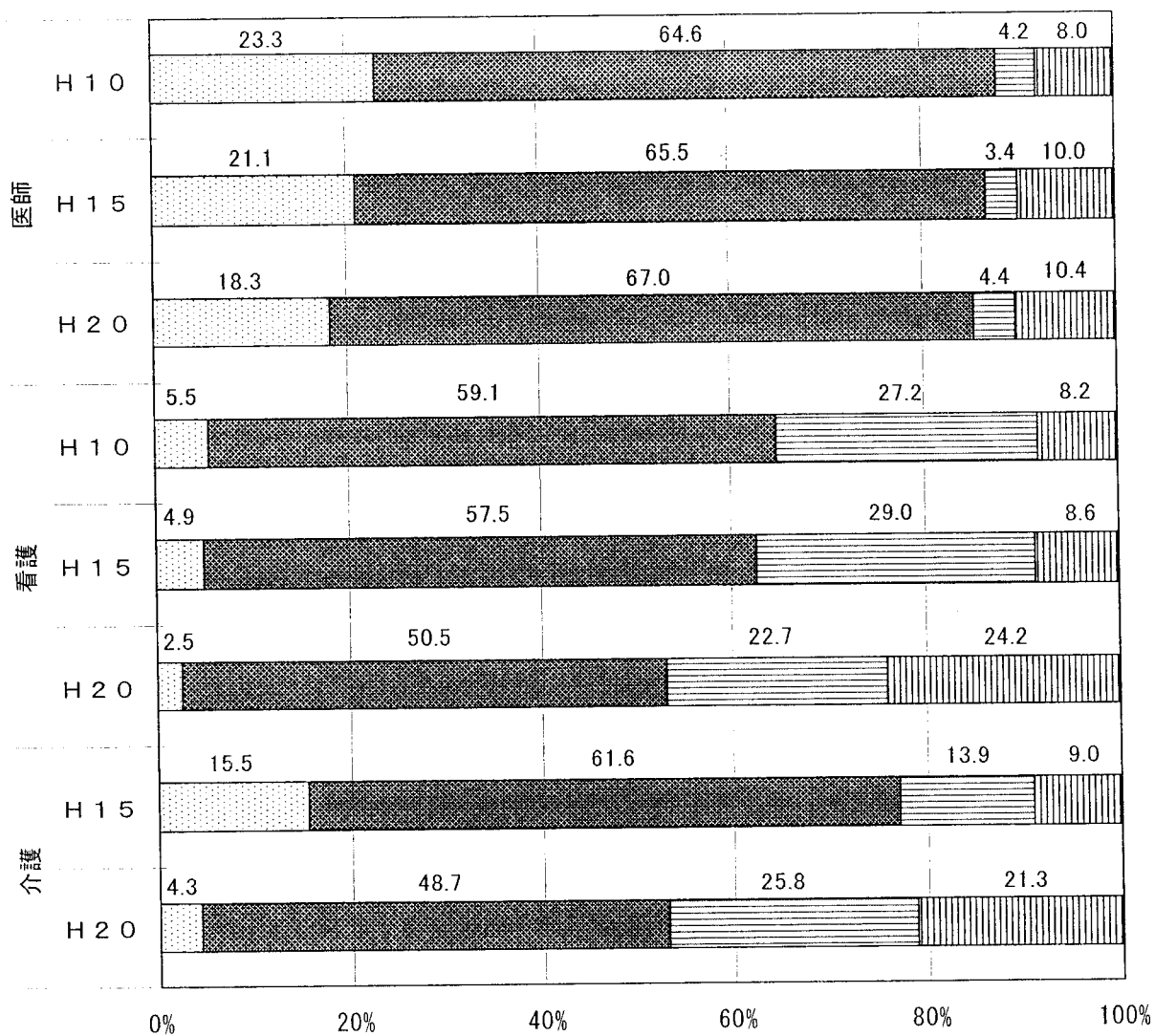
あなたの担当している患者(入所者)が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し(治療期間、余命)について、まずどなたに説明をしますか。(〇は1つ)



- 患者本人に説明する  
(患者・入所者本人に説明すべきである)
- 患者本人の状況を見て患者に説明するかどうか判断する  
(患者・入所者本人の状況を見て患者・入所者に説明するかどうか判断した方がよい)
- 家族に説明する  
(家族に説明した方がよい)
- 患者本人、家族ともに説明しない  
(患者・入所者本人、家族ともに説明しない方がよい)
- わからない・無回答

【(医療従事者) 問7】

あなたは病名や病気の見通しについて、患者（入所者）や家族が納得のいく説明ができていると考えていますか。（○は1つ）

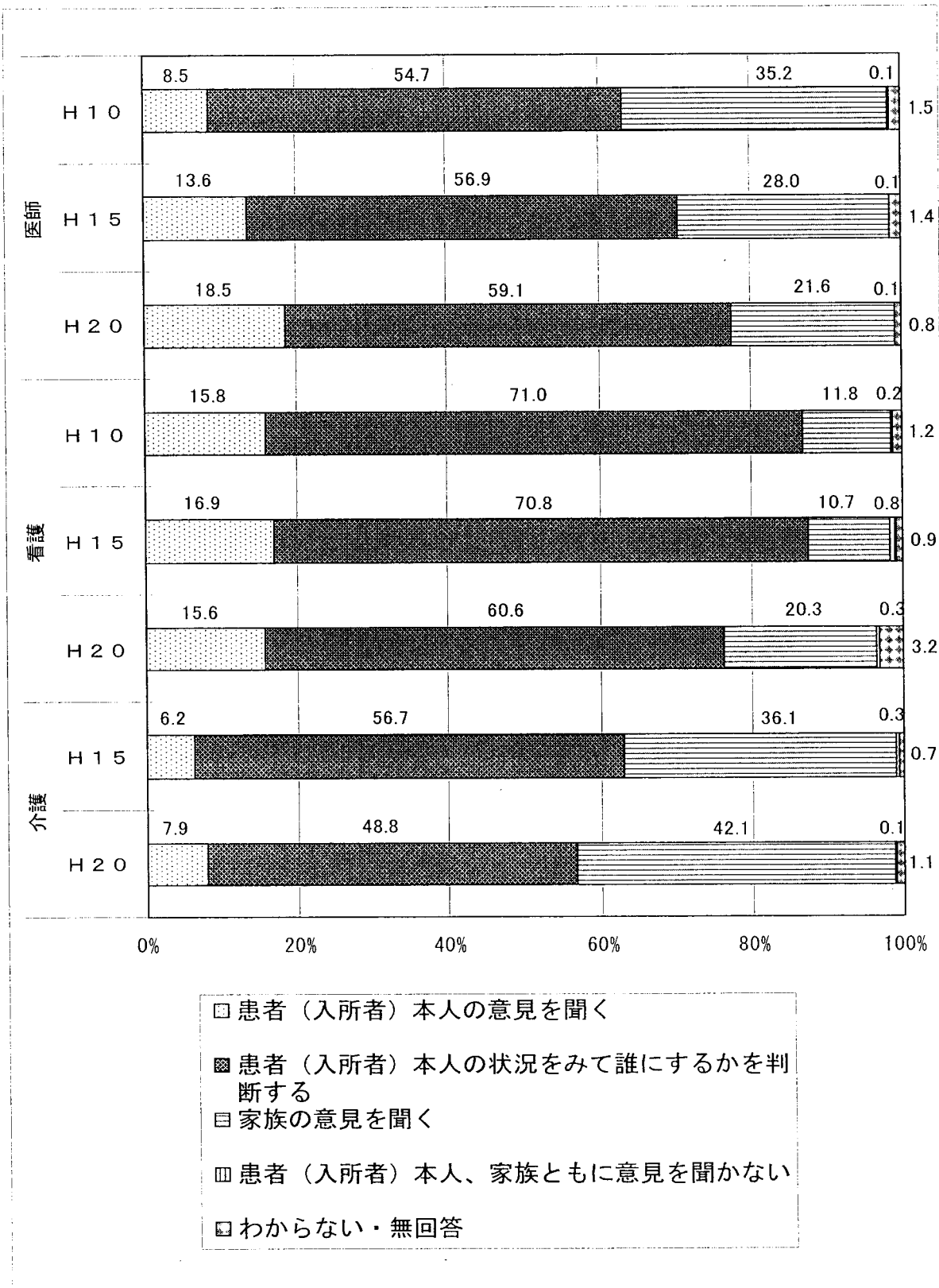


□できている ■ある程度できている ▨できていない ▩わからない・無回答

### (3) 治療方針の決定

【(医療従事者) 問8】

あなたの担当している患者（入所者）が治る見込みがない病気に罹患した場合、その治療方針を決定するにあたり、まずどなたの意見を聞かれますか。（○は1つ）

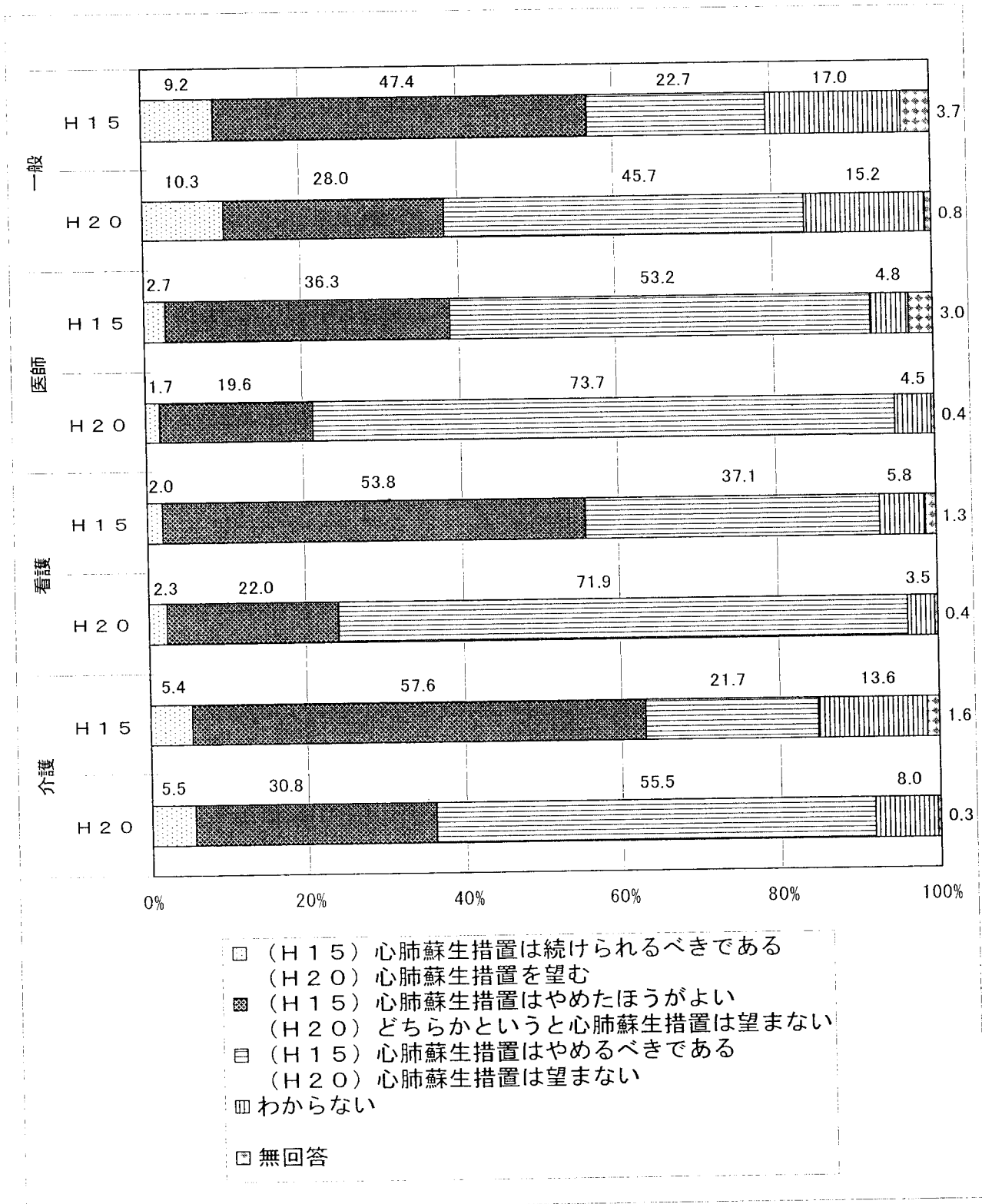




## (4) 死期が迫っている患者に対する医療のあり方

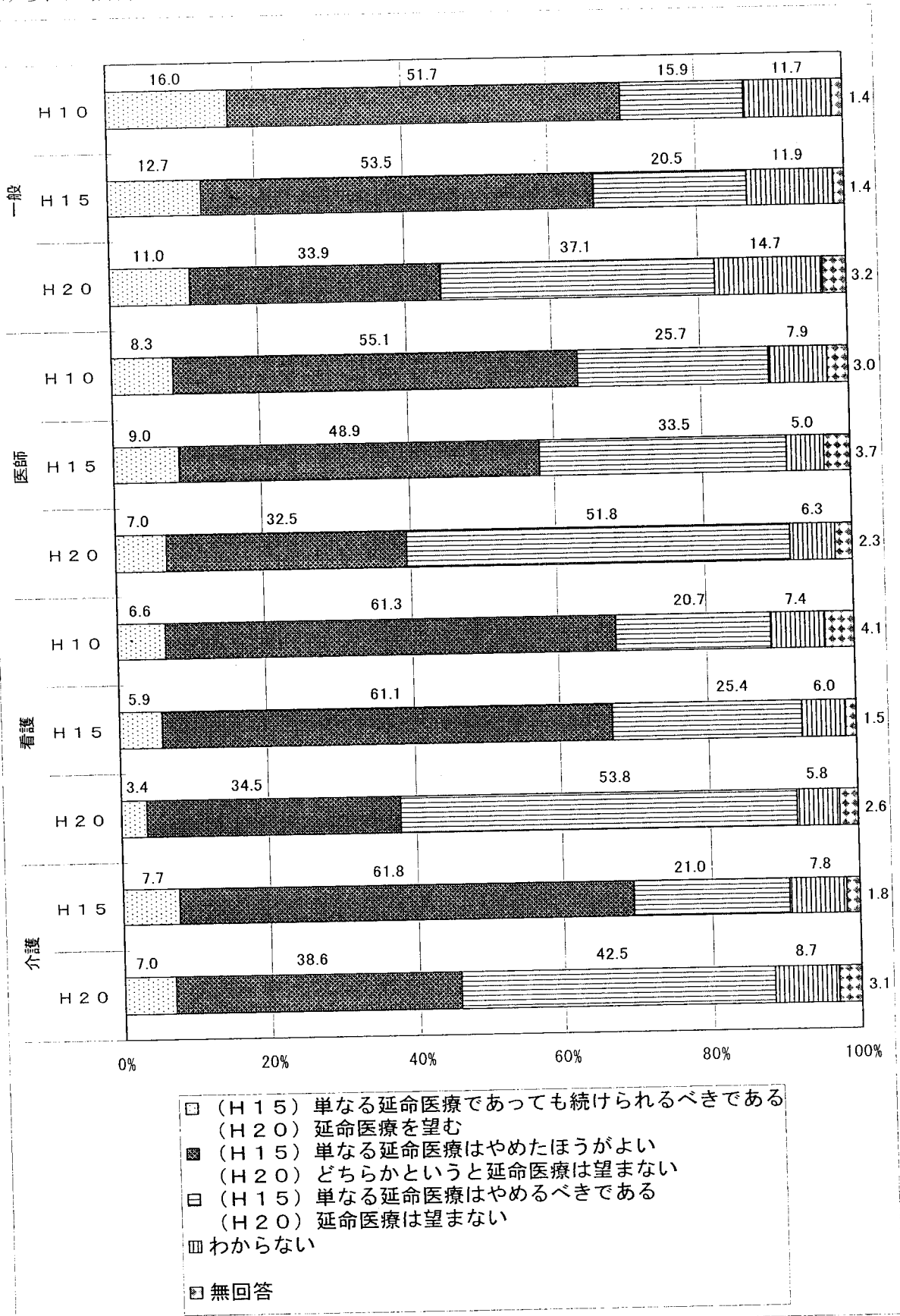
### 【問3】

あなたご自身が突然重い病気や不慮の事故などで、適切な医療の継続にもかかわらず、治る見込みがなく死が間近に迫っている（数日程度あるいはそれより短い期間）と告げられた場合、心肺蘇生措置を望みますか。（〇は1つ）



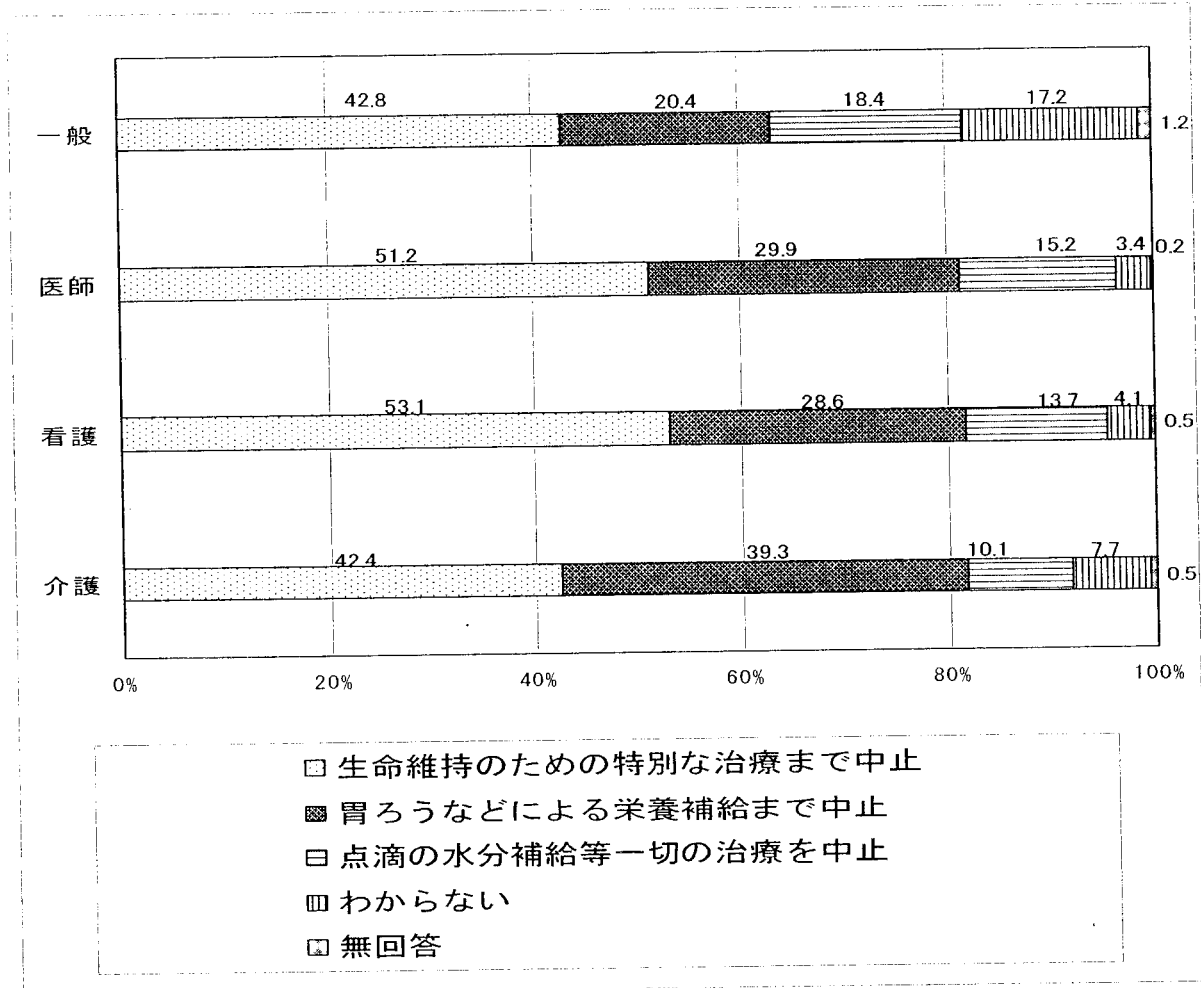
【問4】

あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、延命医療を望みますか。（〇は1つ）



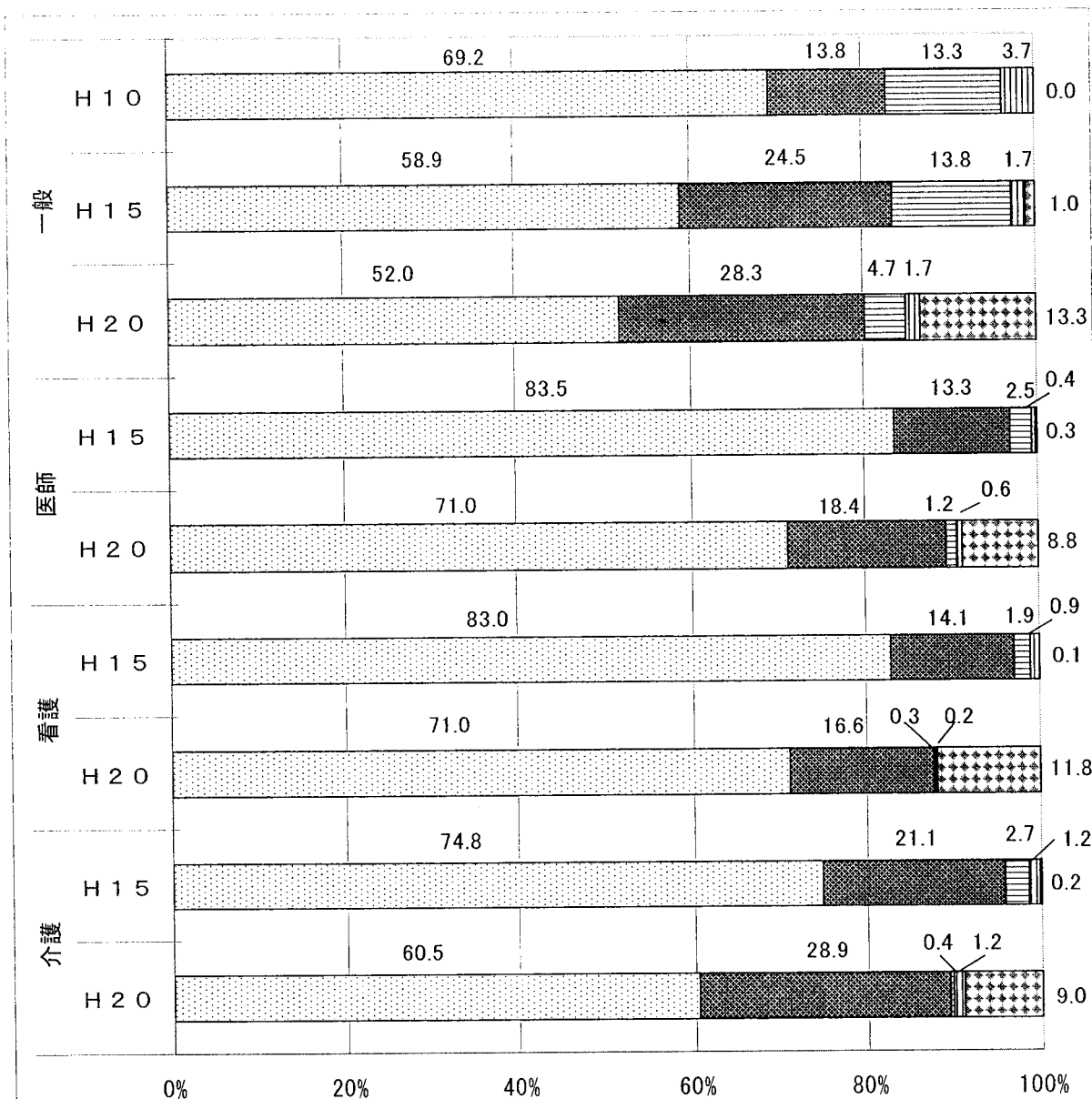
【問4補問1】

(問4で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



【問4補問2】

(問4で「2どちらか」として延命医療を望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)この場合、具体的にどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

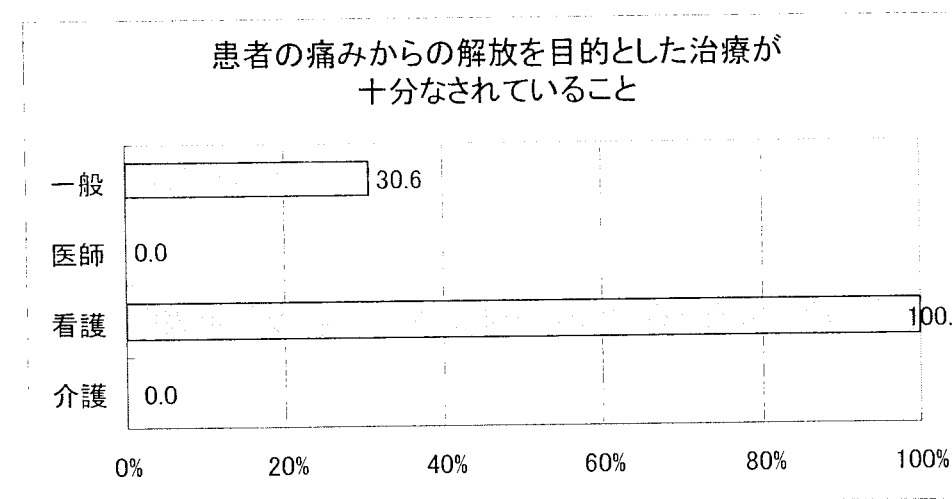
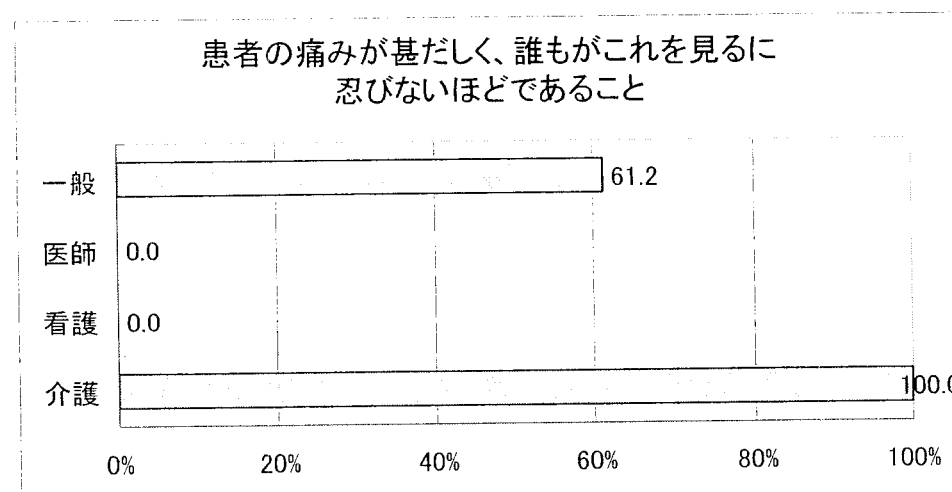
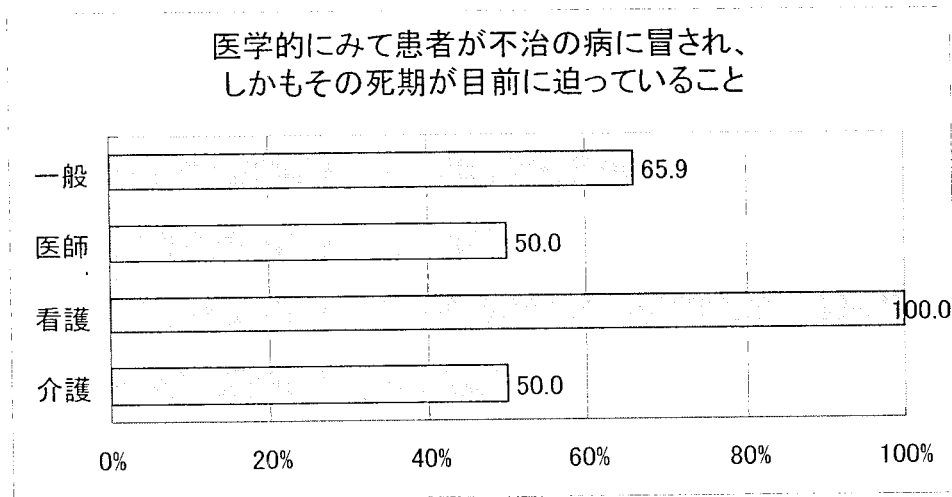


- 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
- 延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせる様な方法
- ▨ 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法
- ▩ わからない
- 無回答

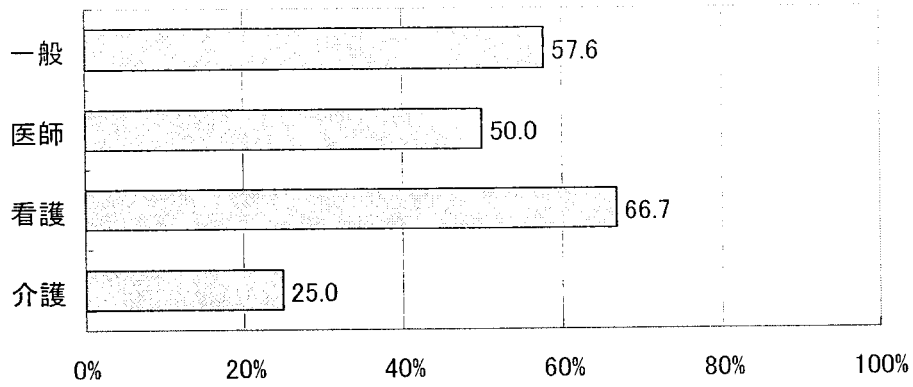
【(一般) 問4 補問3】

【(医療従事者) 問9 補問3】

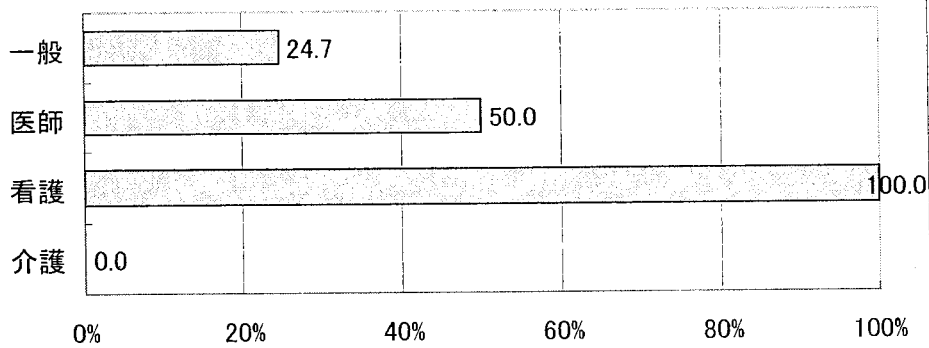
(問4、9の補問2で「3医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法」をお選びの方に) このような方法がなされるとすると、その時にどのような条件が必要になるとお考えでしょうか。あなたのお考えに近いものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)



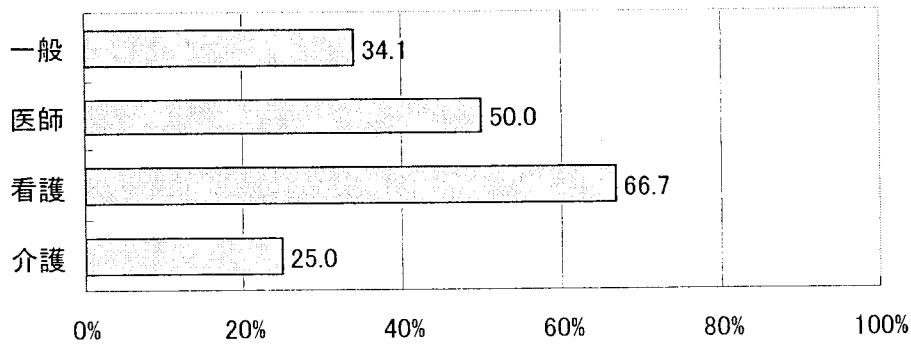
患者本人の強い要請があること



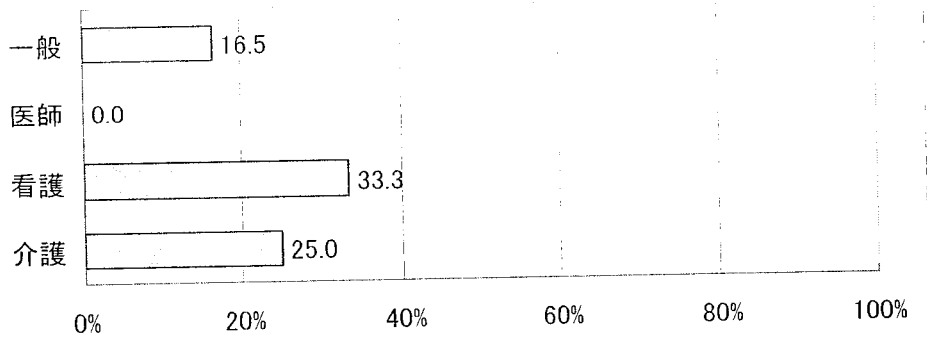
方針の決定は担当医だけではなく、複数の医師又は医療チームによってなされること



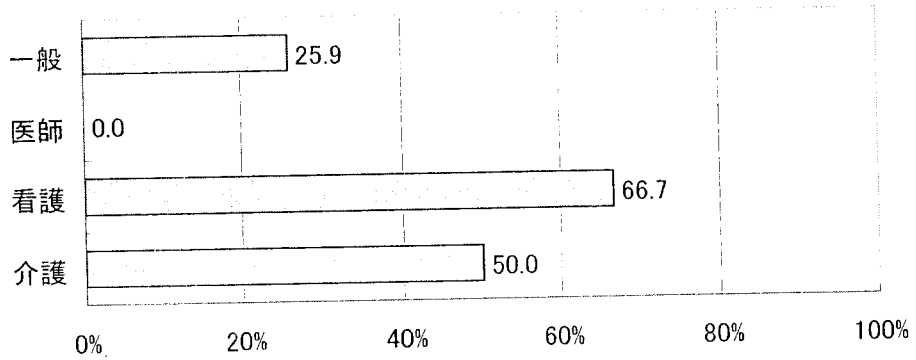
医師が十分に患者に説明して、患者が納得した後で行われること



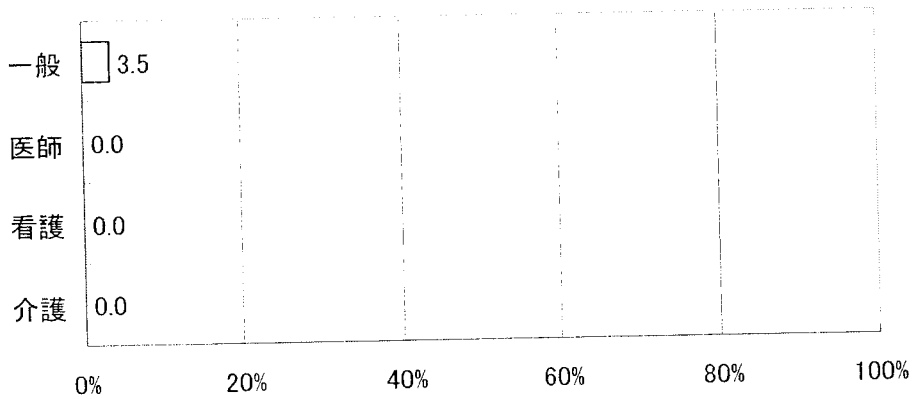
医師の手によることを原則とし、これができない場合は  
世間が納得できるだけの特別の事情があること



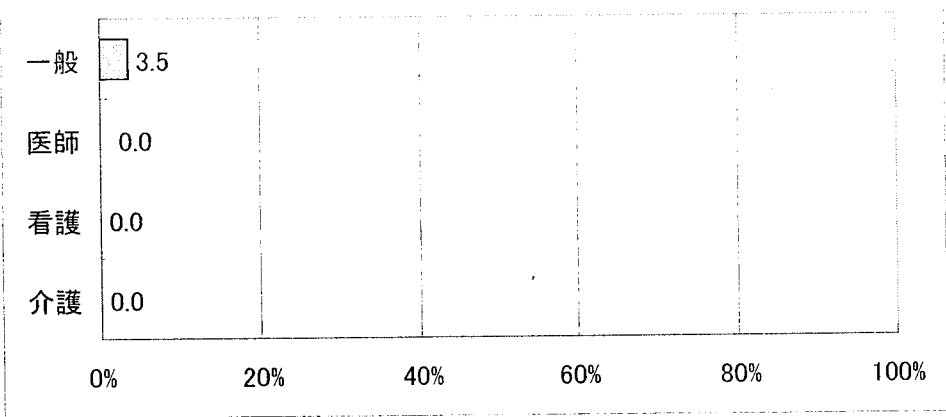
方法が常識的にも妥当なものとして  
認め得るものであること



その他

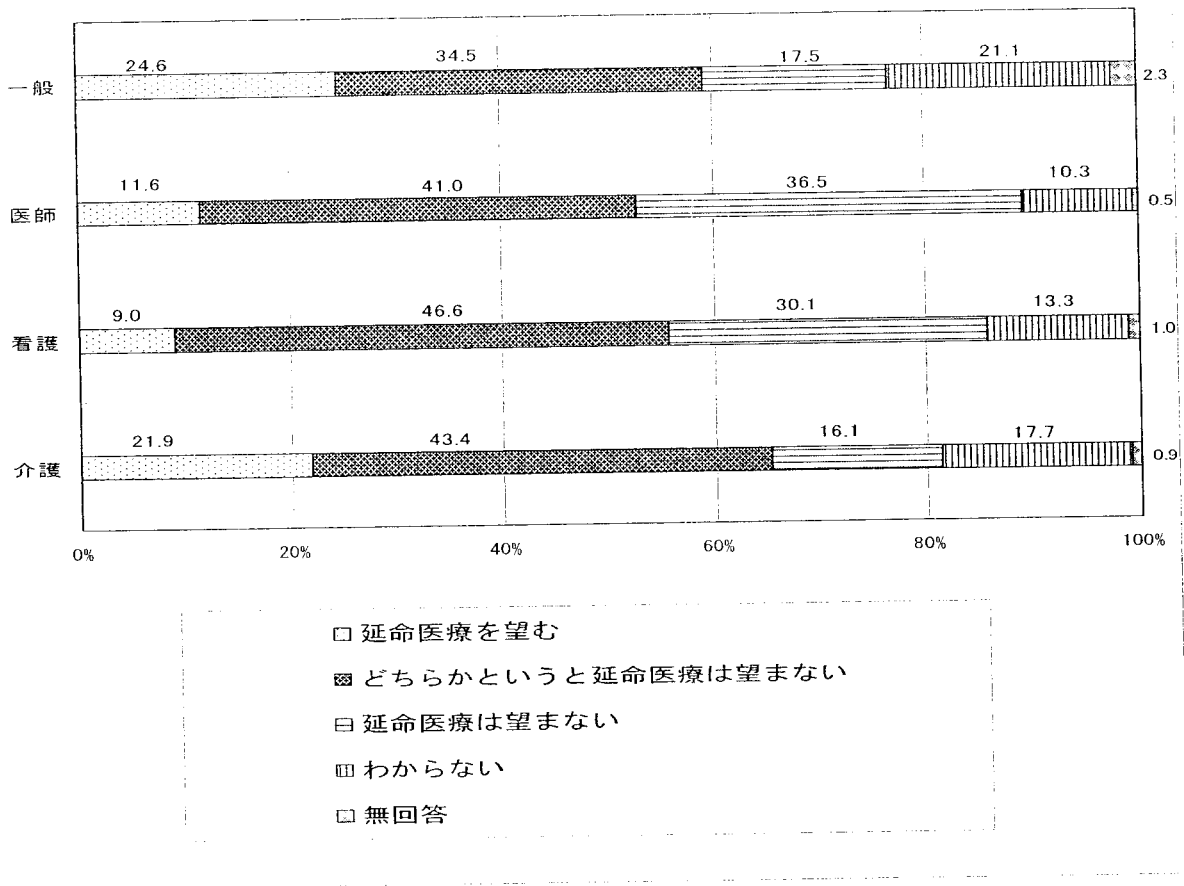


わからない

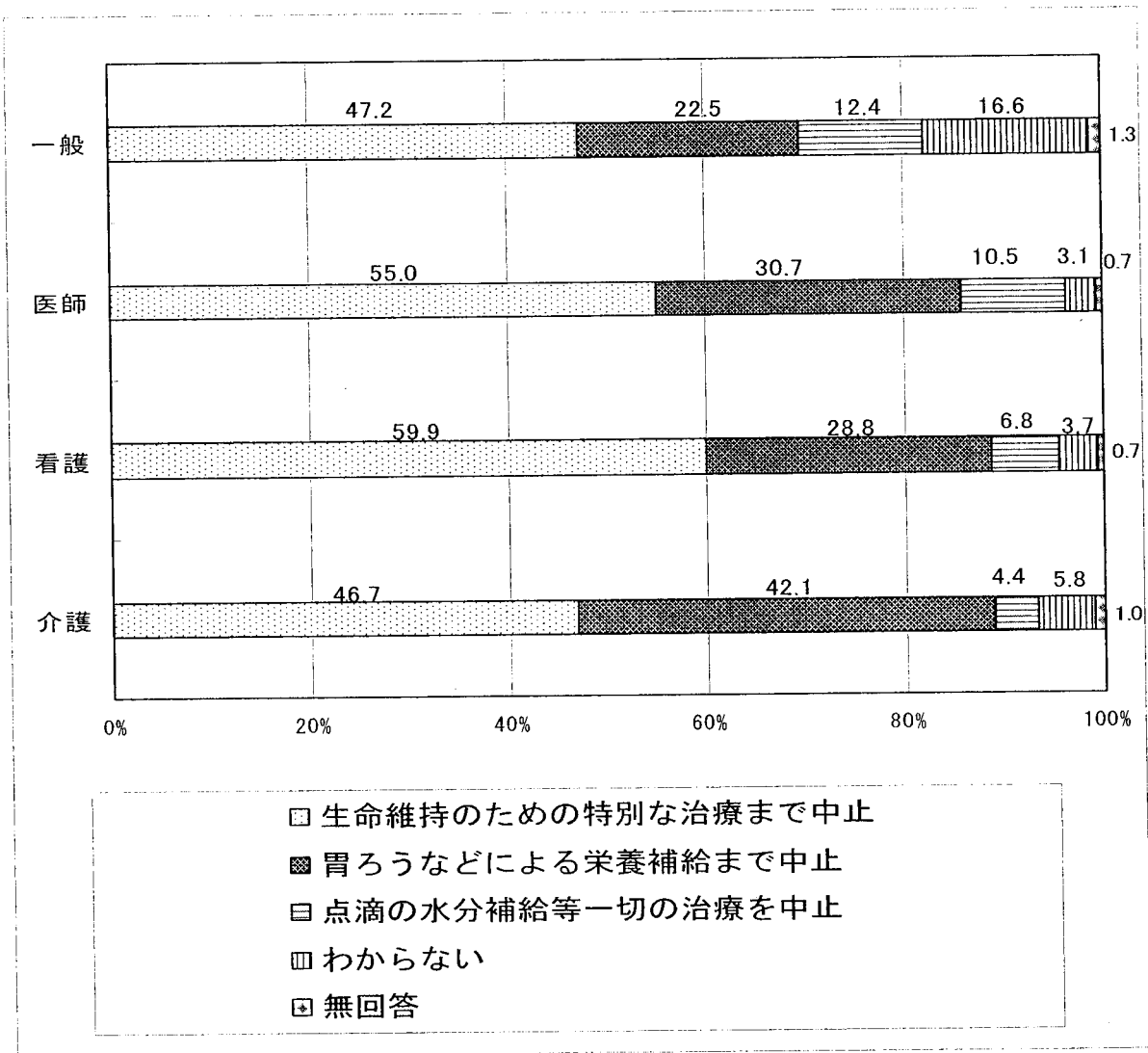




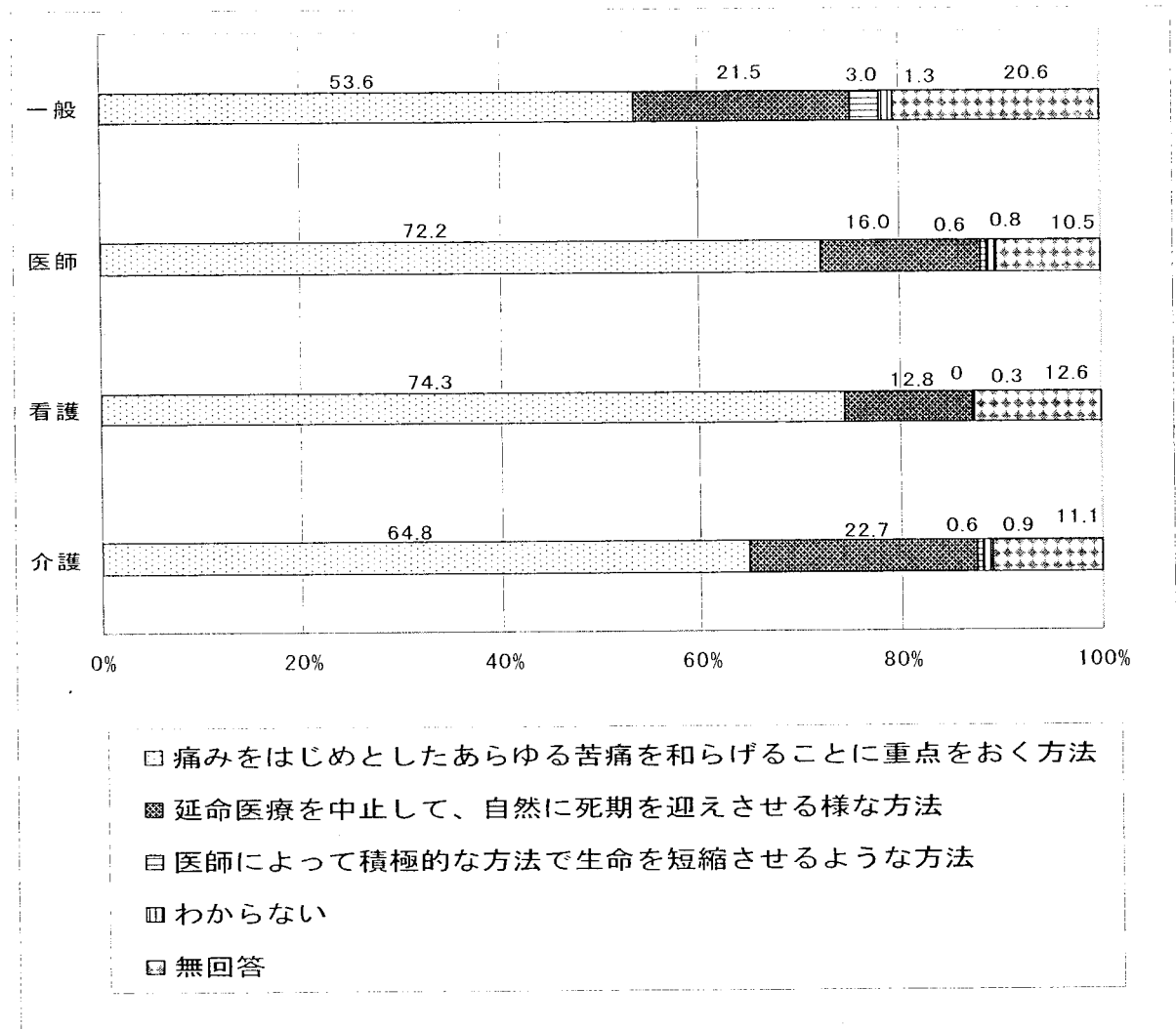
【(一般)問6 (医療従事者)問5】では、あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)



【(一般) 問6 補問1 (医療従事者) 問5 補問1】 (問6、5で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

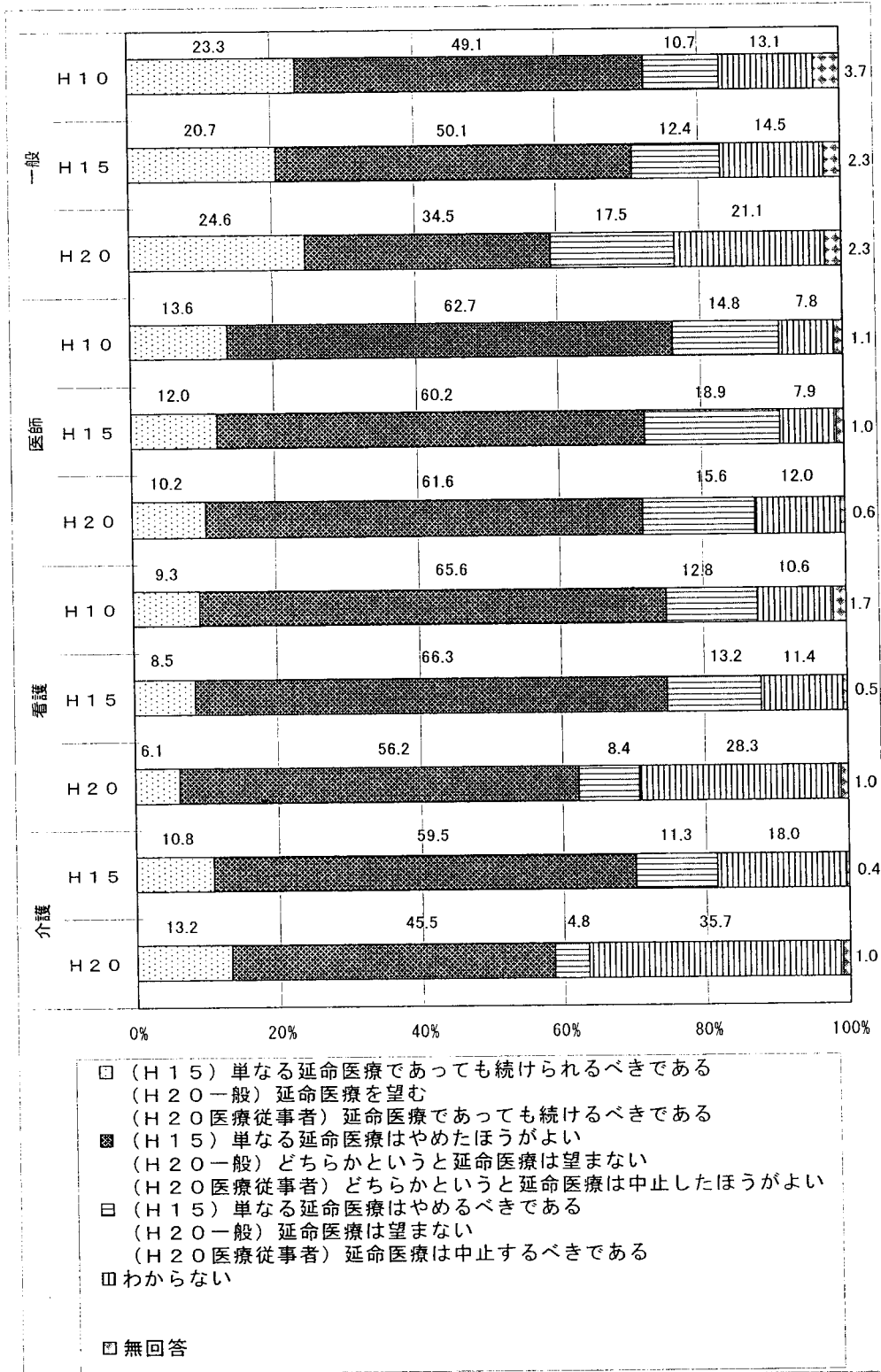


【(一般) 問6 補問2 (医療従事者) 問5 補問2】 (問6、5で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



【(一般) 問6】あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、延命医療を望みますか。(〇は1つ)

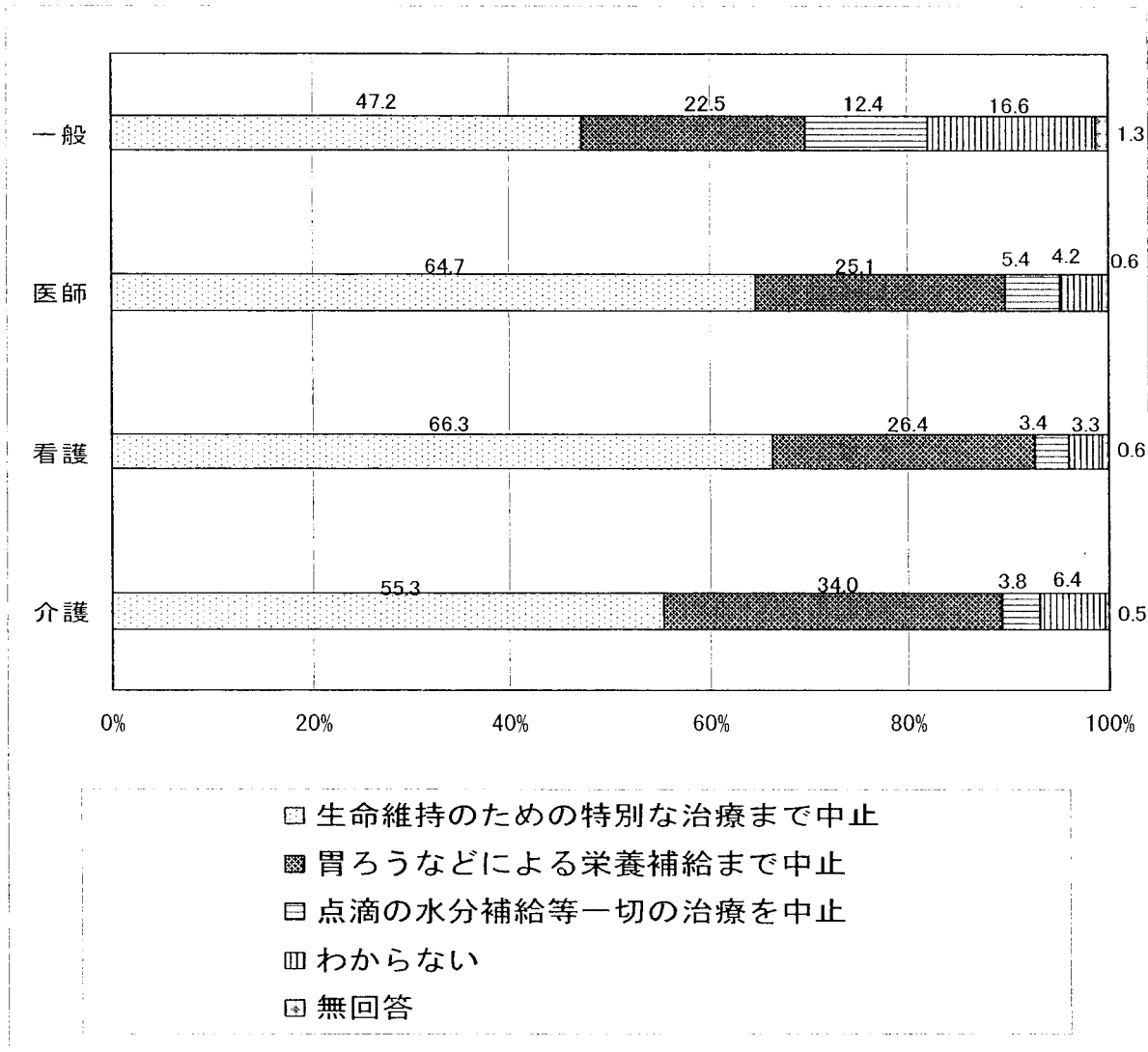
【(医療従事者) 問9】あなたが担当している患者(入所者)が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(〇は1つ)



【(一般) 問6 補問1】

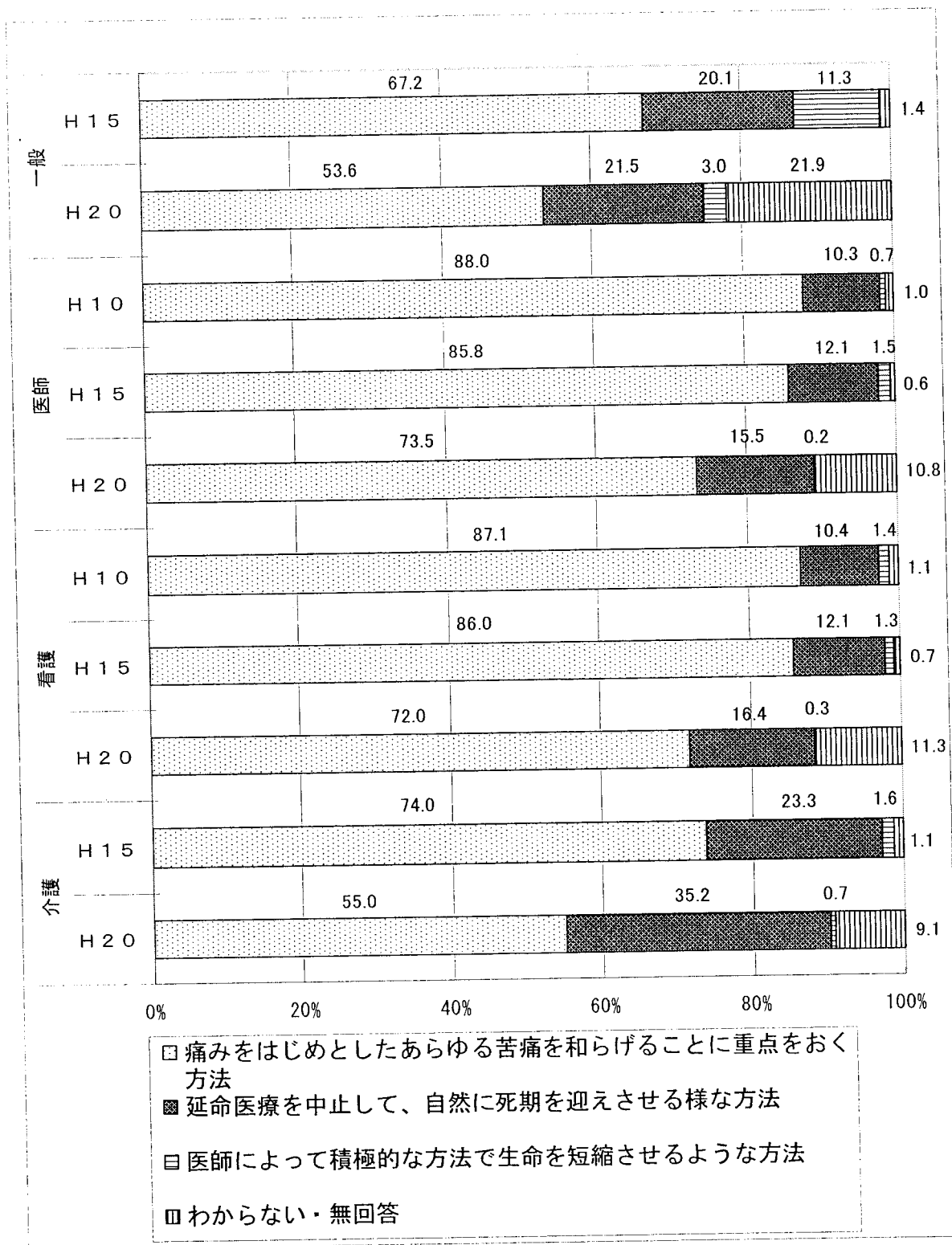
【(医療従事者) 問9 補問1】

(問6、9で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



【(一般)問6補問2】(「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

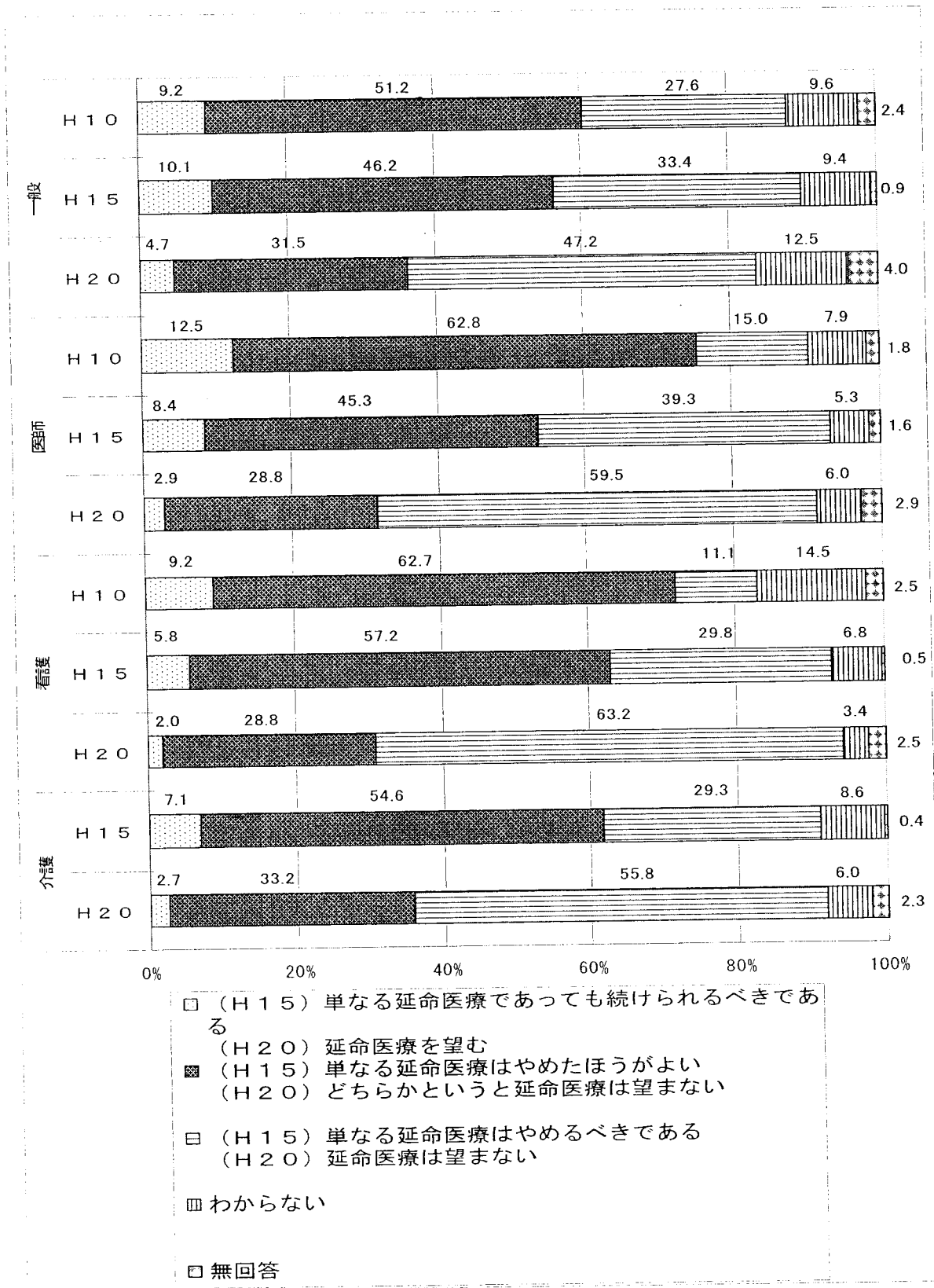
【(医療従事者)問9補問2】(「2どちらかというとな延命医療は中止したほうがよい」「3延命医療は中止するべきである」をお選びの方に)この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法が考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



## (5) 遷延性意識障害の患者に対する医療のあり方

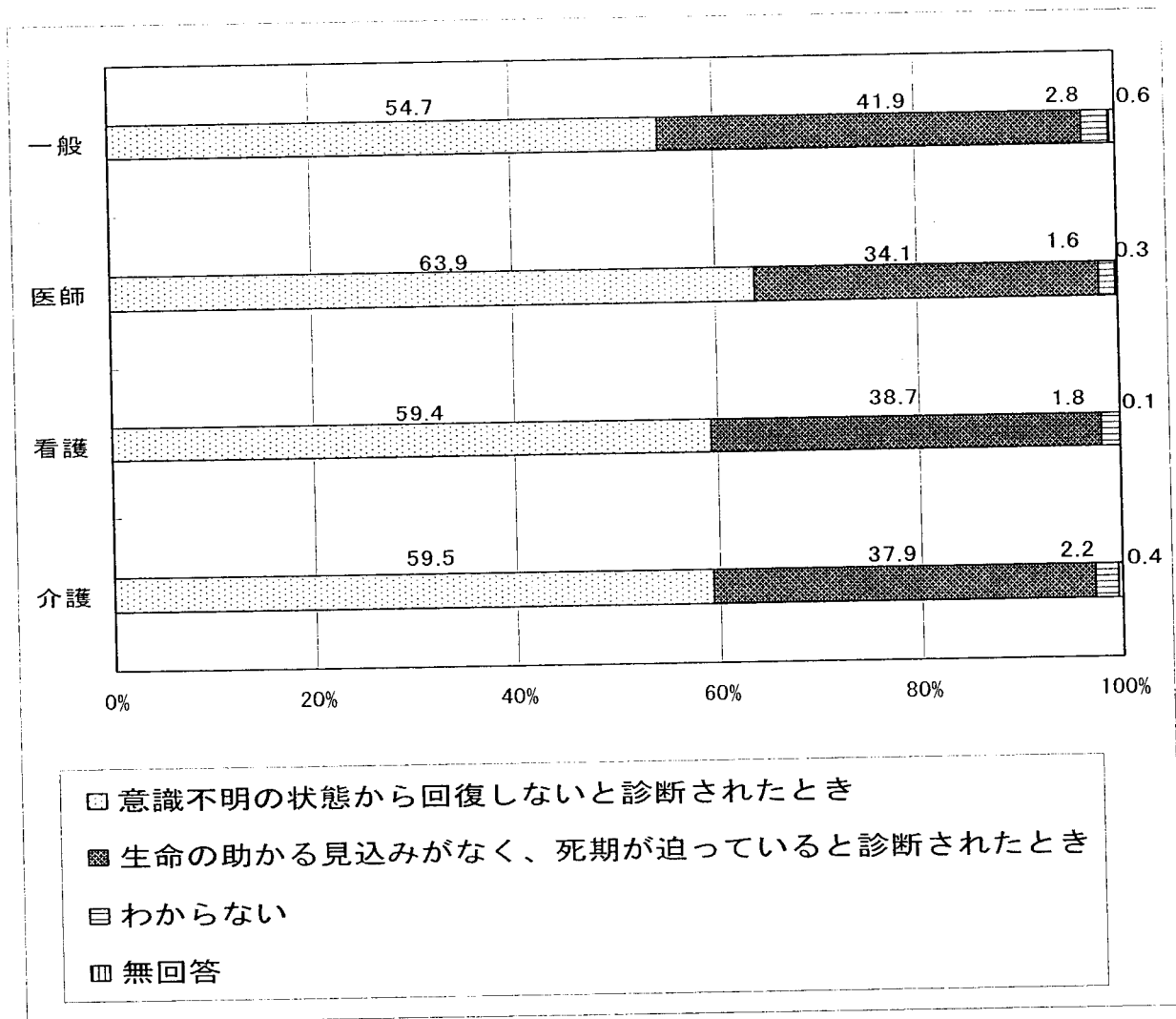
【(一般) 問8, (医療従事者) 問12】

あなたご自身が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)



【(一般) 問8補問1, (医療従事者) 問12補問1】

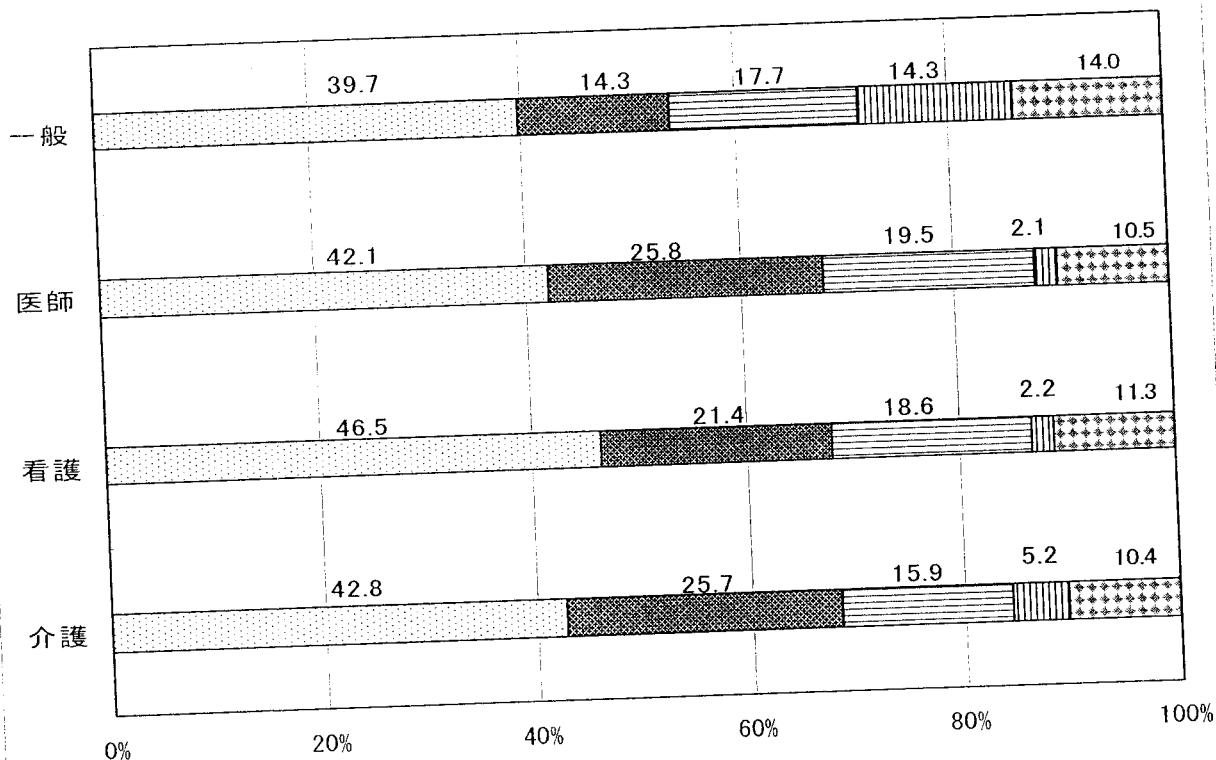
(問8、12で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)  
 この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)





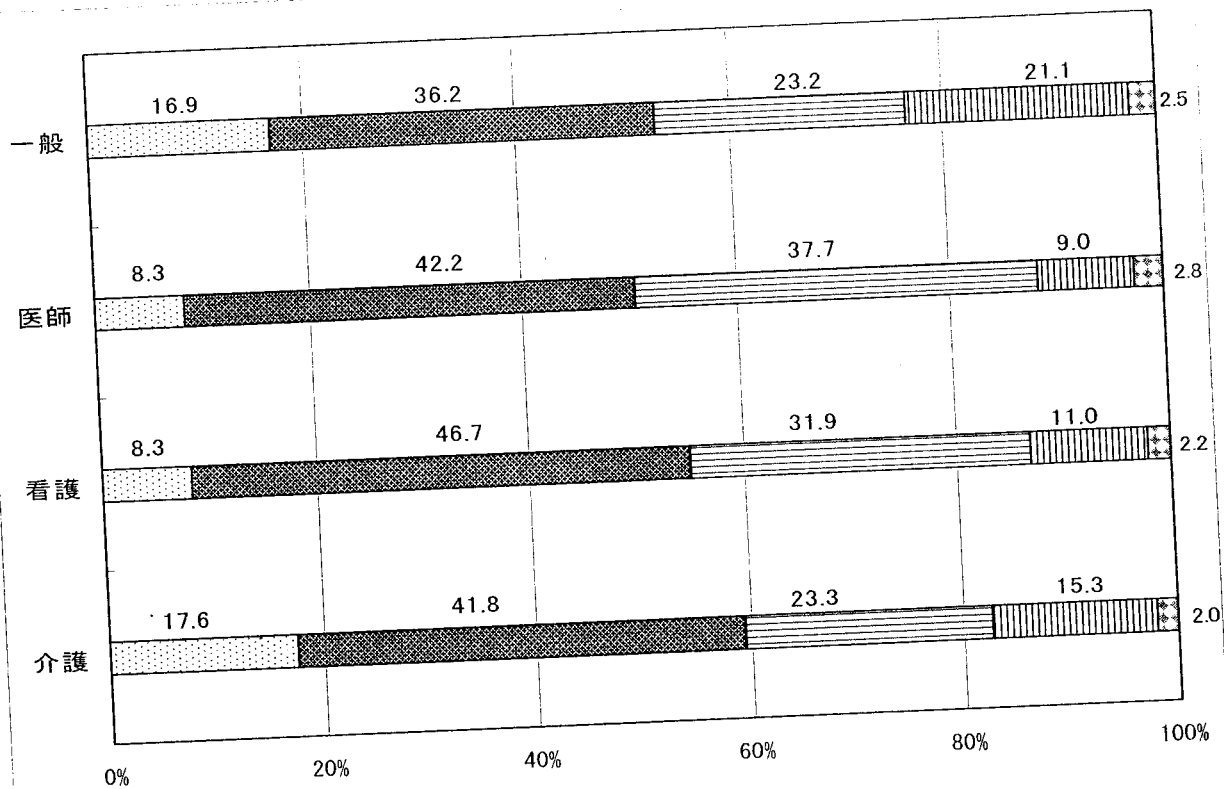
【(一般)問8補問2, (医療従事者)問12補問2】

(問8、12で「2どちらか」というと延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)  
 この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)



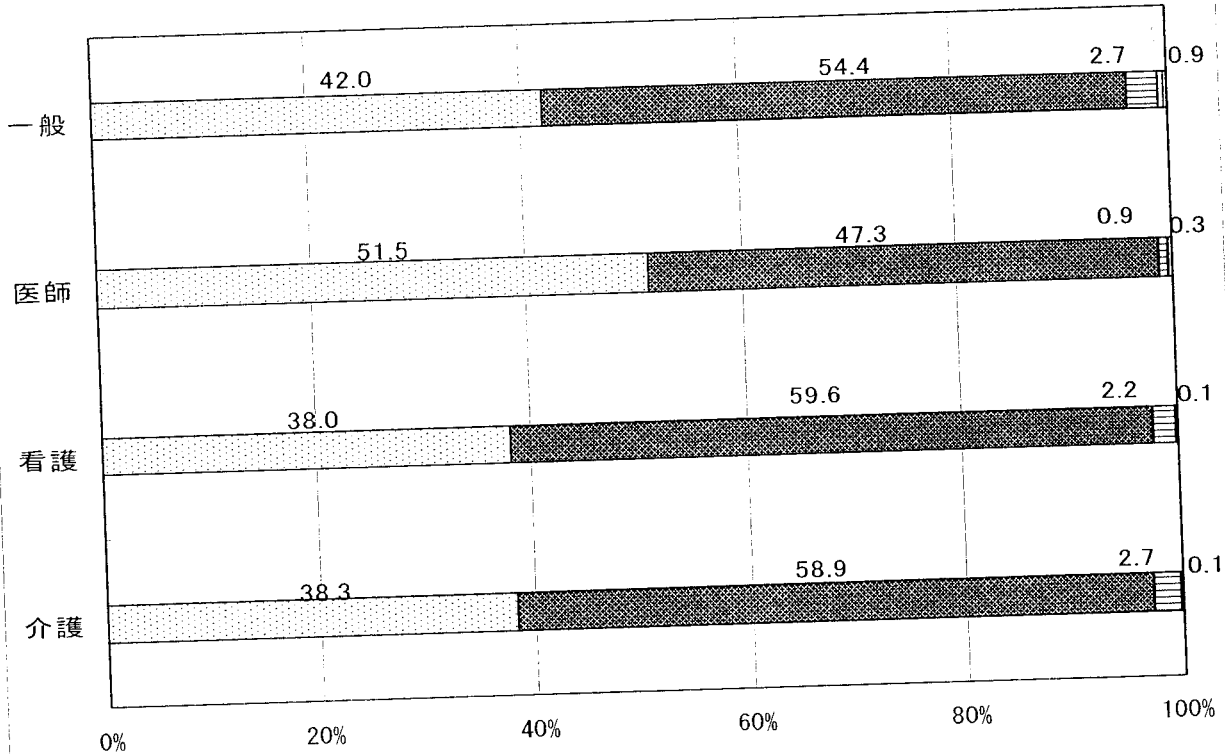
- 生命維持のための特別な治療まで中止
- 胃ろうなどによる栄養補給まで中止
- ▨ 点滴の水分補給等一切の治療を中止
- ▩ わからない
- 無回答

【(一般)問9 (医療関係者)問13】あなたの家族が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(〇は1つ)



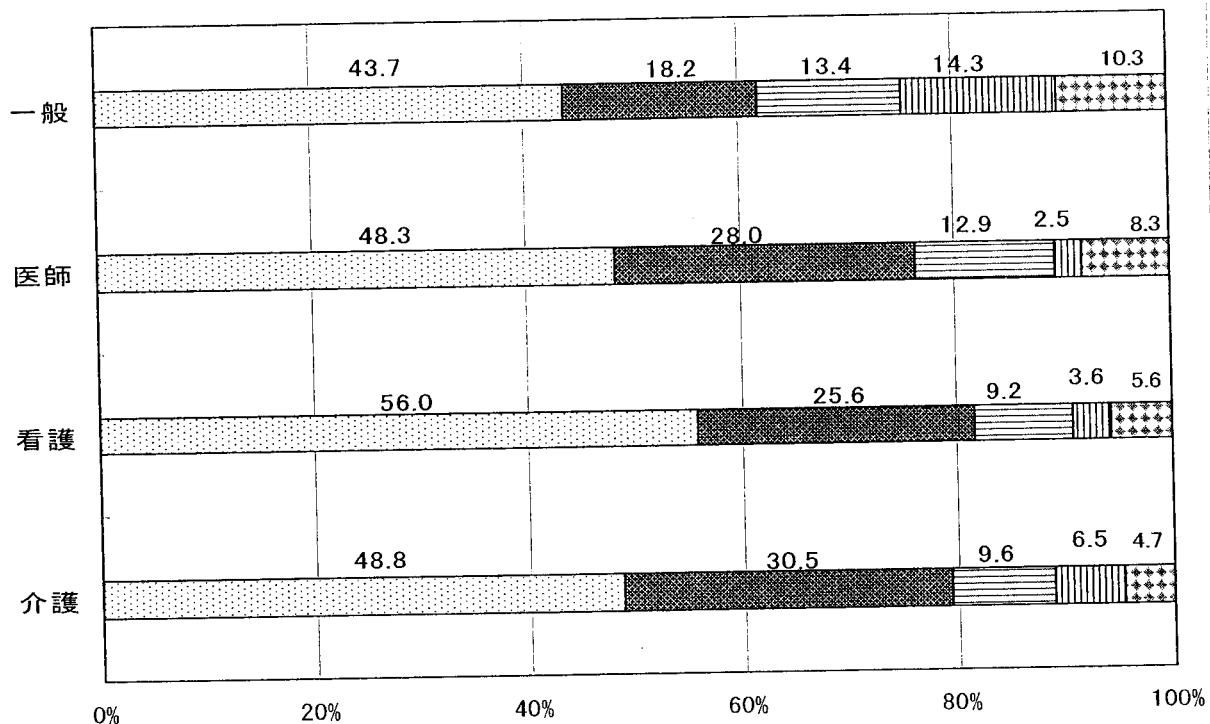
- 延命医療を望む
- どちらかという延命医療は望まない
- 延命医療は望まない
- わからない
- 無回答

【(一般)問9補問1 (医療関係者)問13補問1】 (問9、13で「2どちらか」というと延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



- 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
- 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 目 わからない
- 無回答

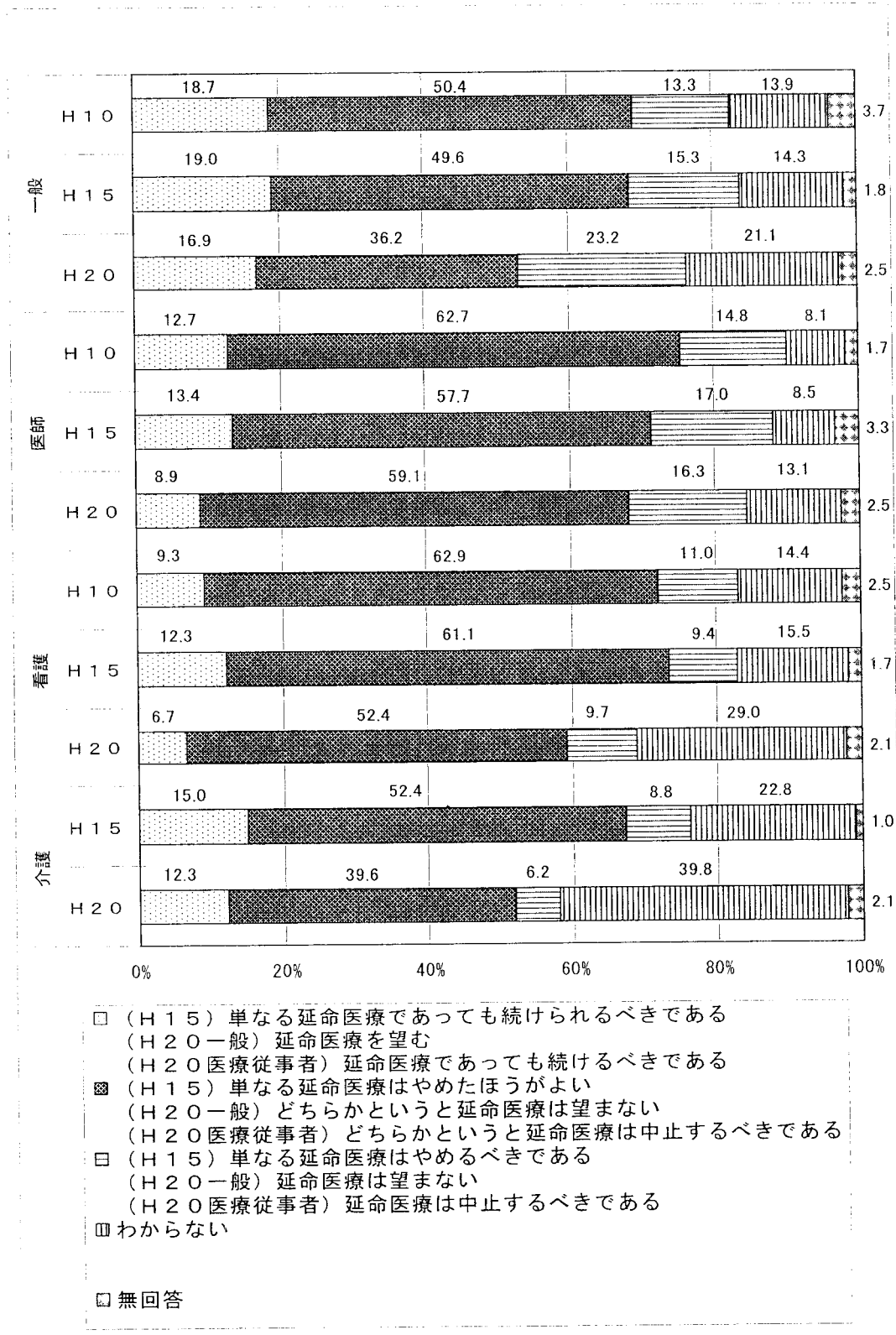
【(一般) 問9 補問2 (医療関係者) 問13 補問2】 (問9、13で「2 延命医療をどちらかという  
と望まない」「3 延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的  
にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



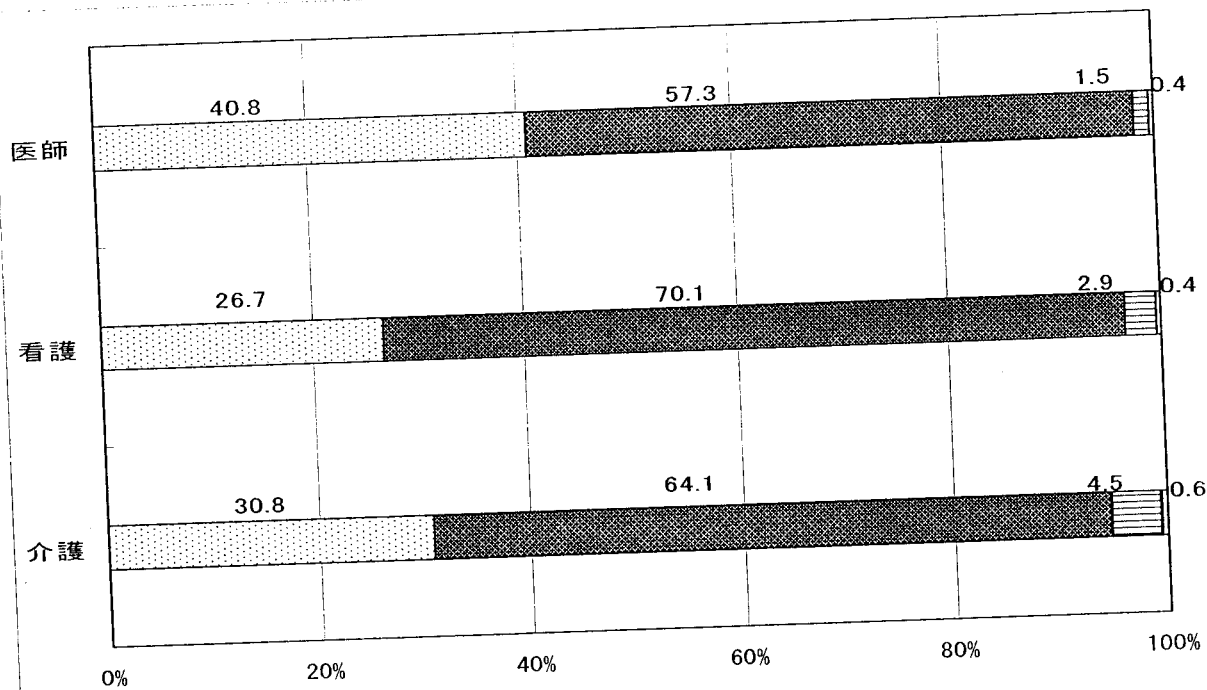
- 生命維持のための特別な治療まで中止
- 胃ろうなどによる栄養補給まで中止
- ▨ 点滴の水分補給等一切の治療を中止
- ▩ わからない
- ⊕ 無回答

【(一般) 問9】あなたの家族が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

【(医療従事者) 問14】あなたの担当している患者が遷延性意識障害で治る見込みがない場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

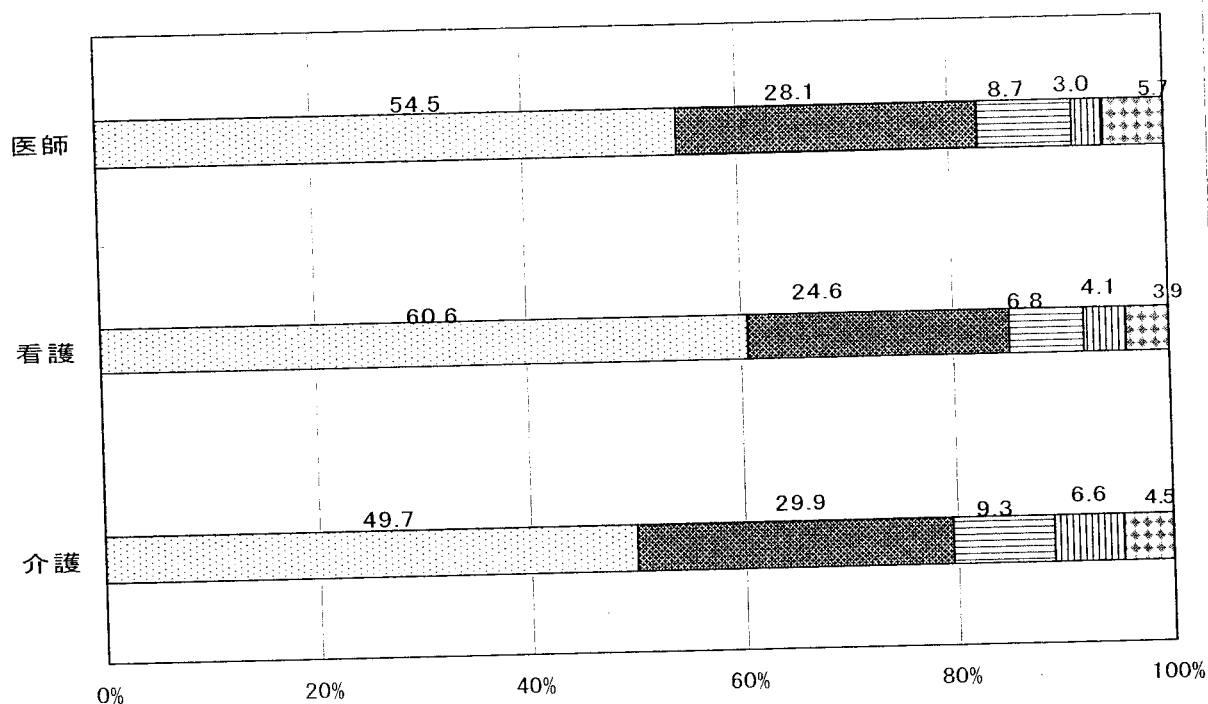


【(医療従事者) 問14補問1】 (問14で「2どちらかというとな延命医療は中止すべきである」「3延命医療は中止すべきである」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



- 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
- 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- わからない
- 無回答

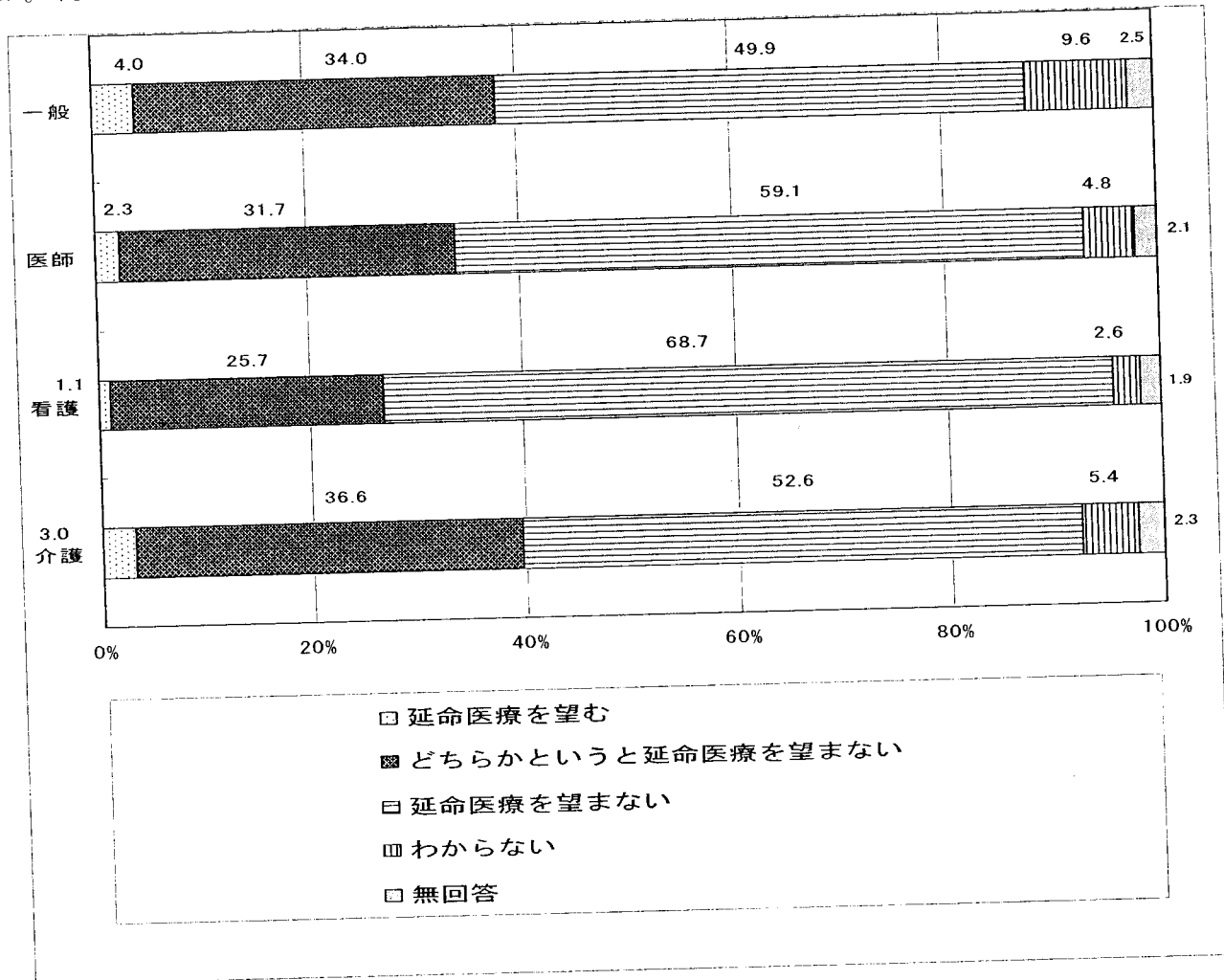
【(医療従事者) 問14補問2】 (問14で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



- 生命維持のための特別な治療まで中止
- 胃ろうなどによる栄養補給まで中止
- ▨ 点滴の水分補給等一切の治療を中止
- ▩ わからない
- 無回答

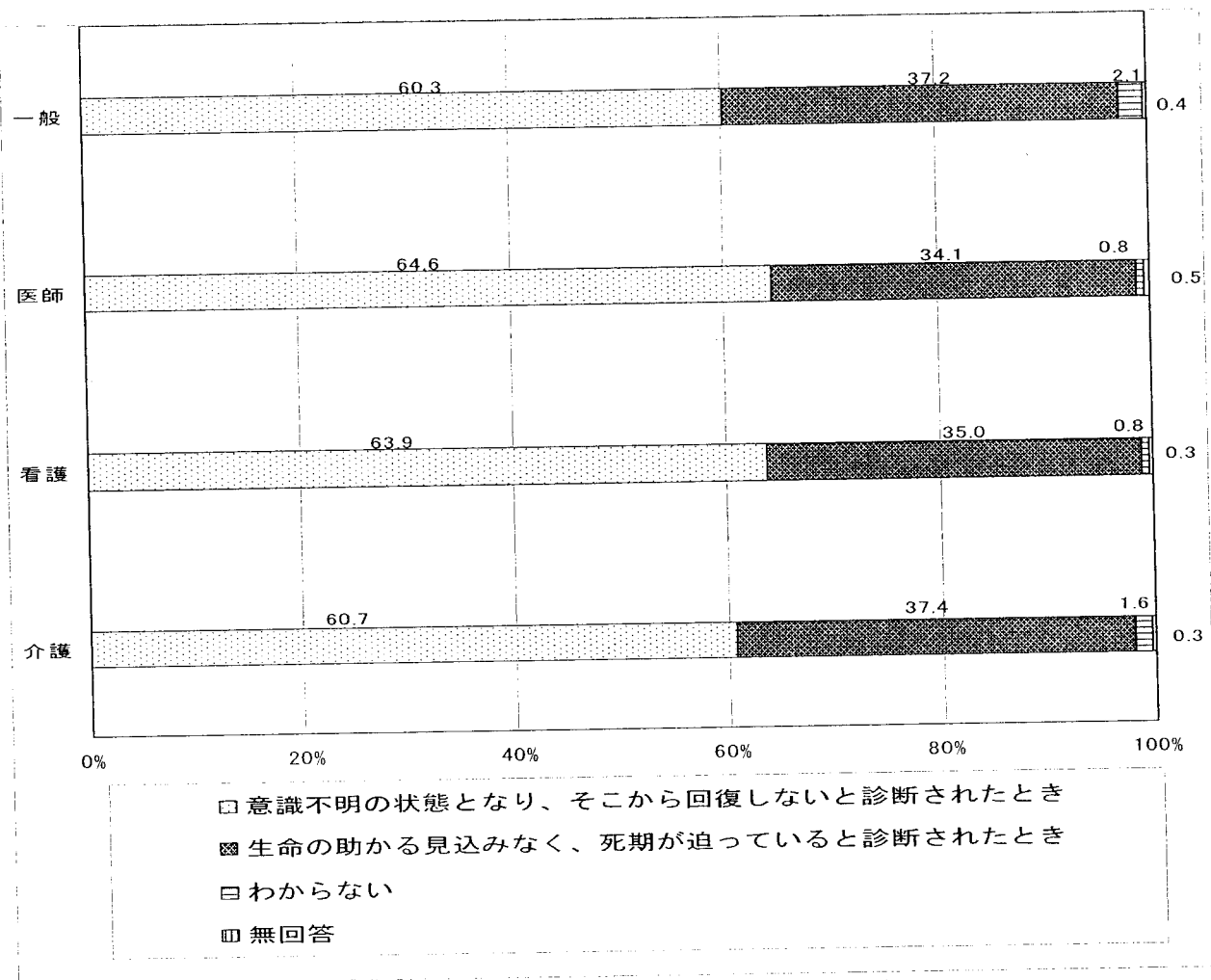
## (6) 脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した患者に対する医療のあり方

【(一般) 問10 (医療関係者) 問15】 あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

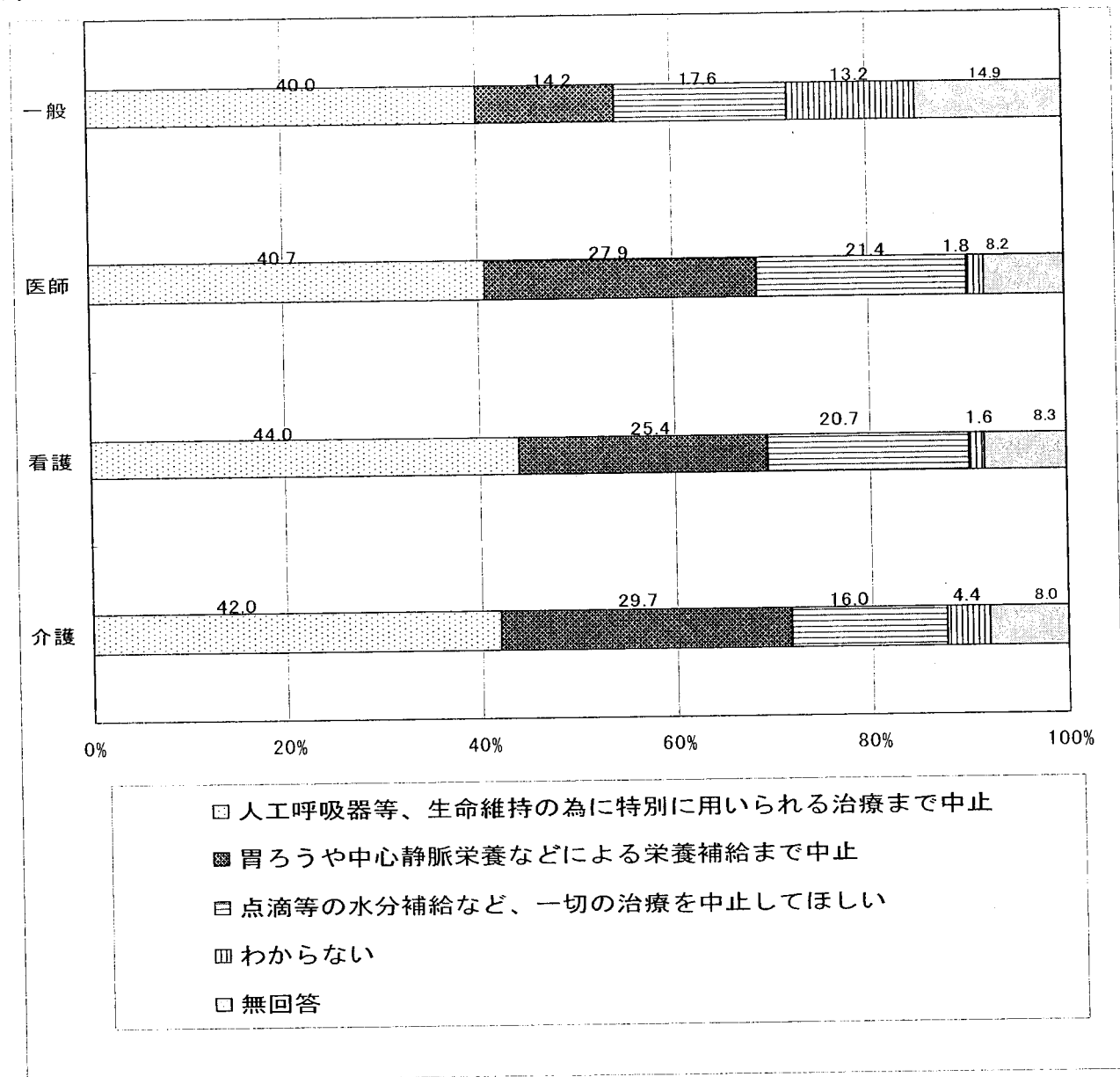




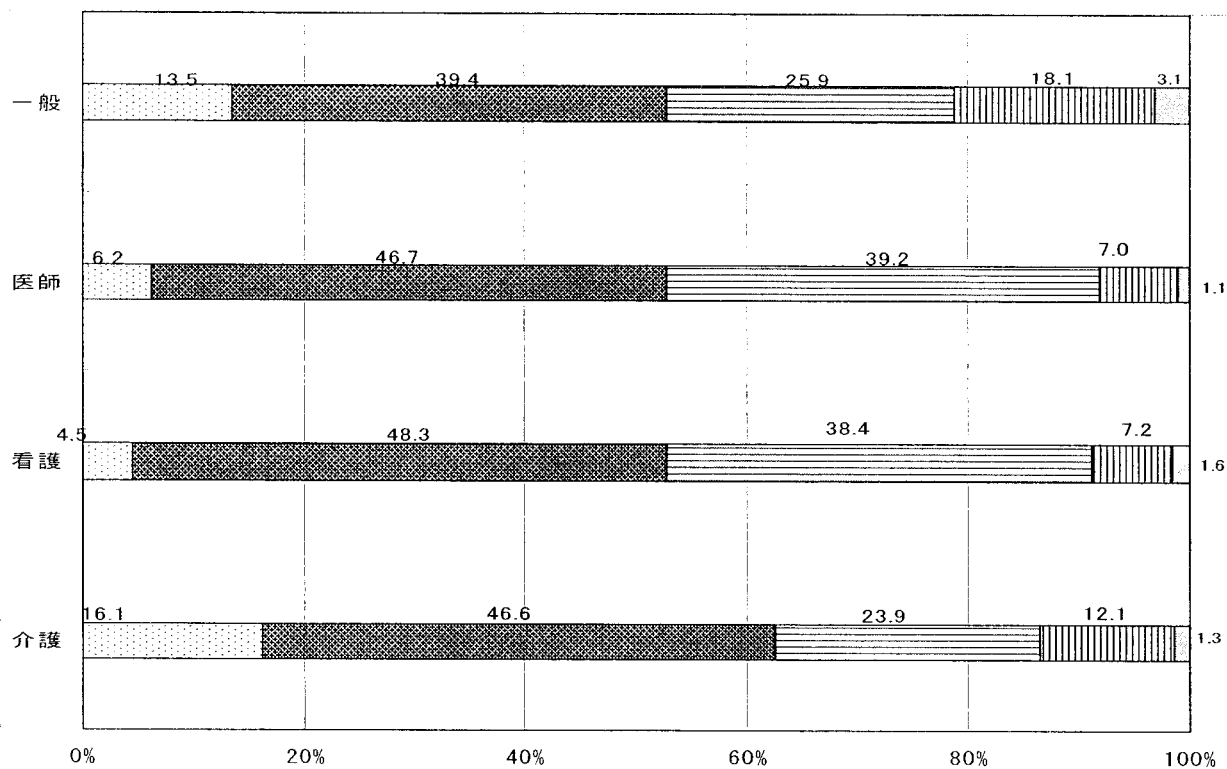
【(一般)問10補問1 (医療関係者)問15補問1】 (問10、15で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



【(一般)問10補問2 (医療関係者)問15補問2】 (問10、15で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

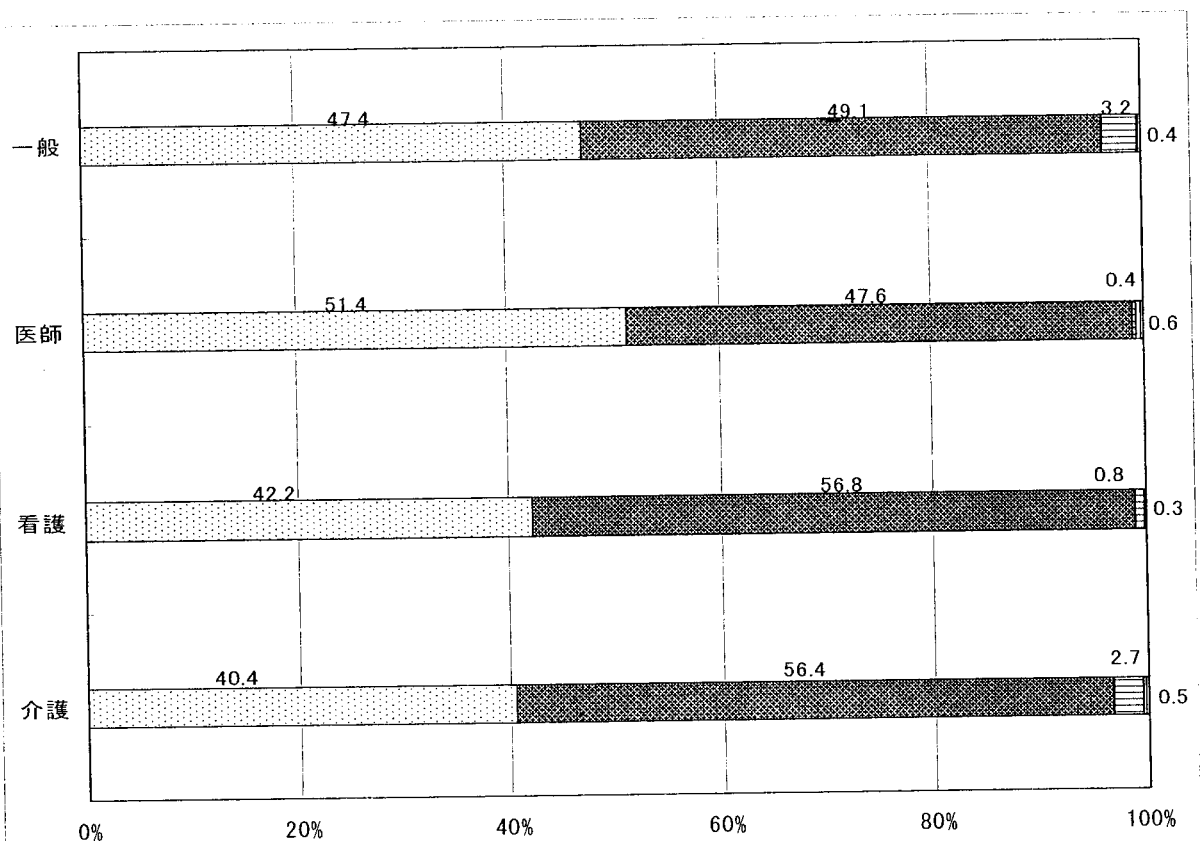


【(一般)問12 (医療関係者)問17】 あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)



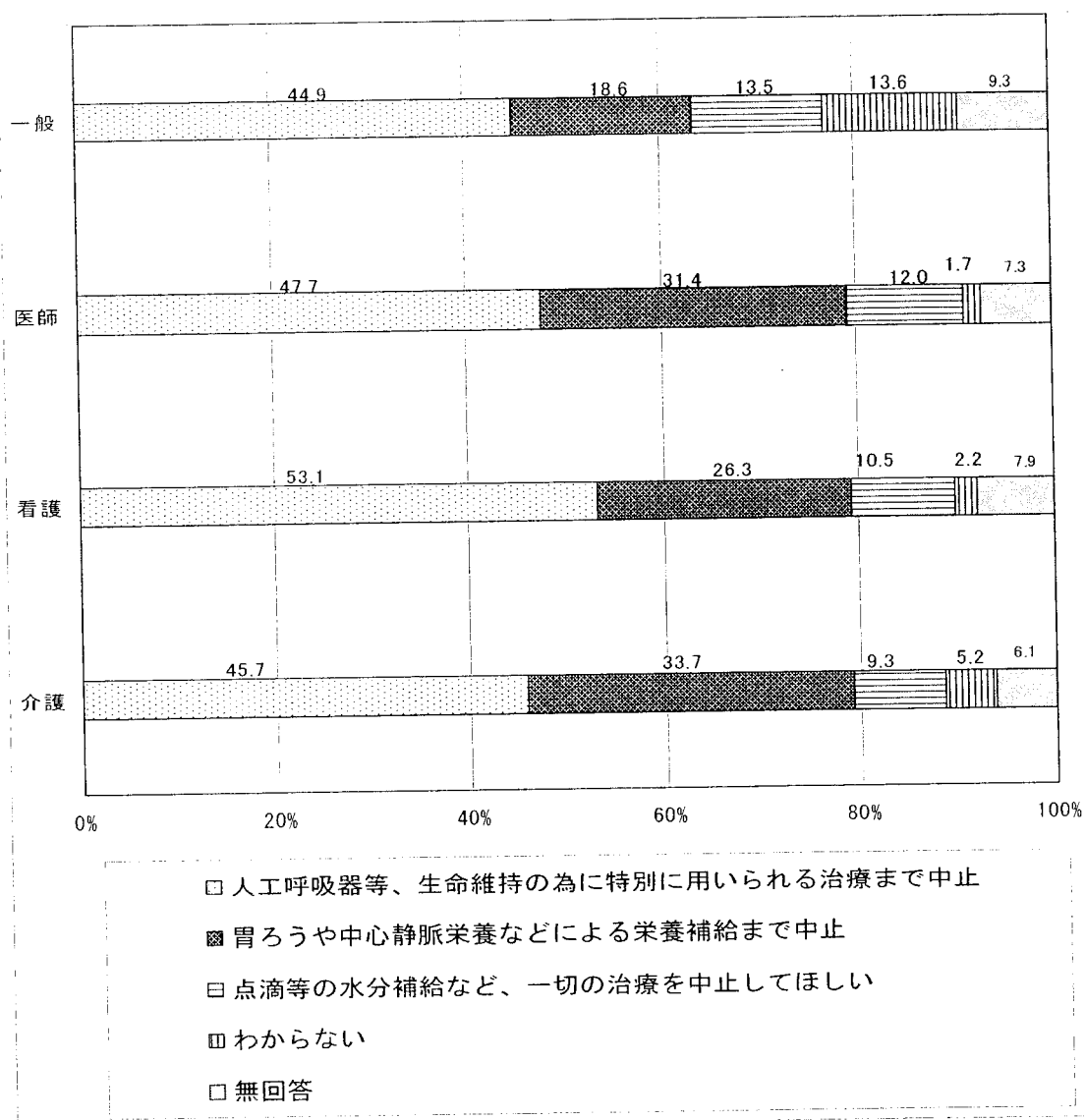
- 延命医療を望む
- どちらかという延命医療を望まない
- 延命医療を望まない
- わからない
- 無回答

【(一般)問12補問1 (医療関係者)問17補問1】 (問12、17で「2延命医療をどちらかというとならない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

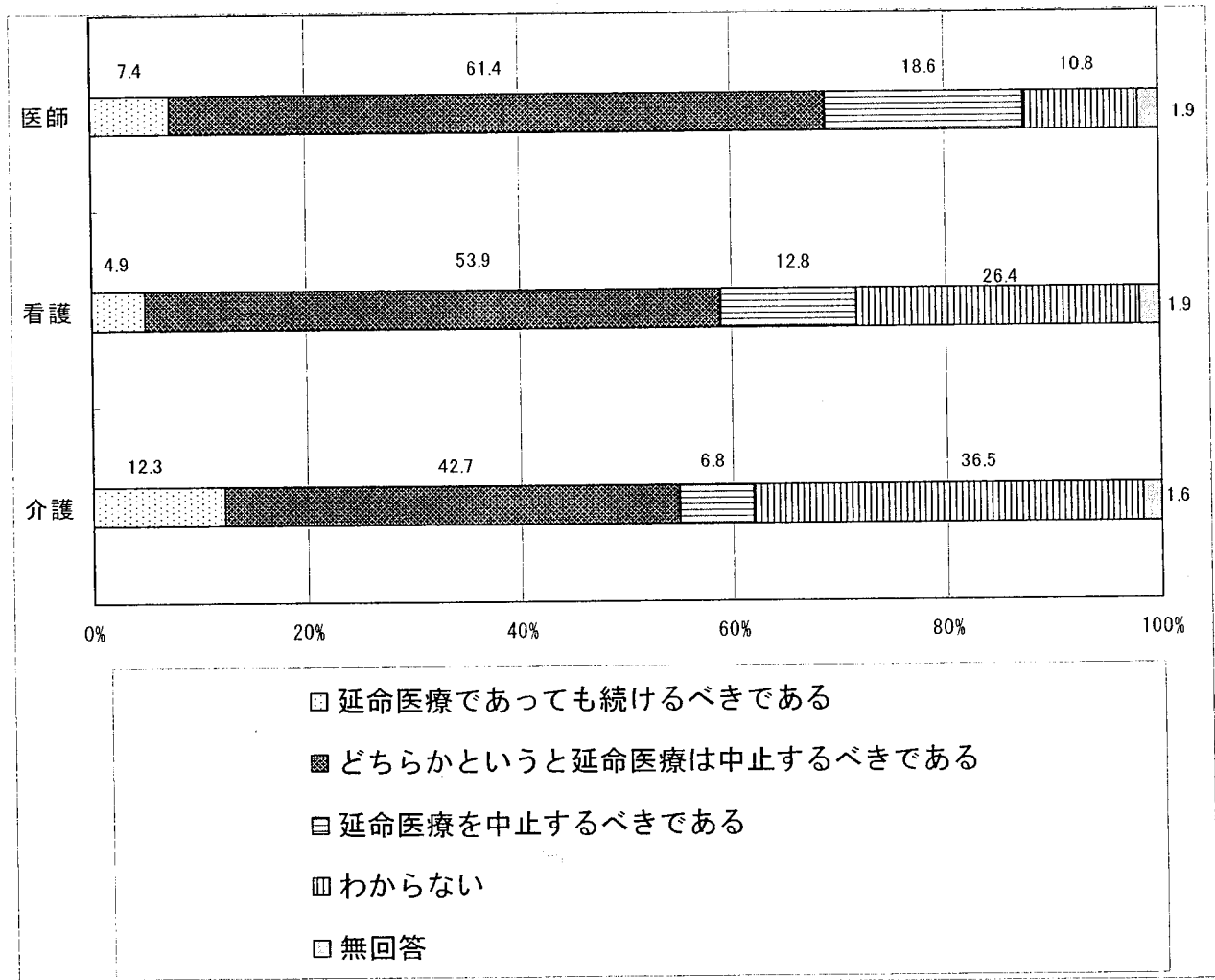


- 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
- 生命の助かる見込みなく、死期が迫っていると診断されたとき
- ▨ わからない
- ▩ 無回答

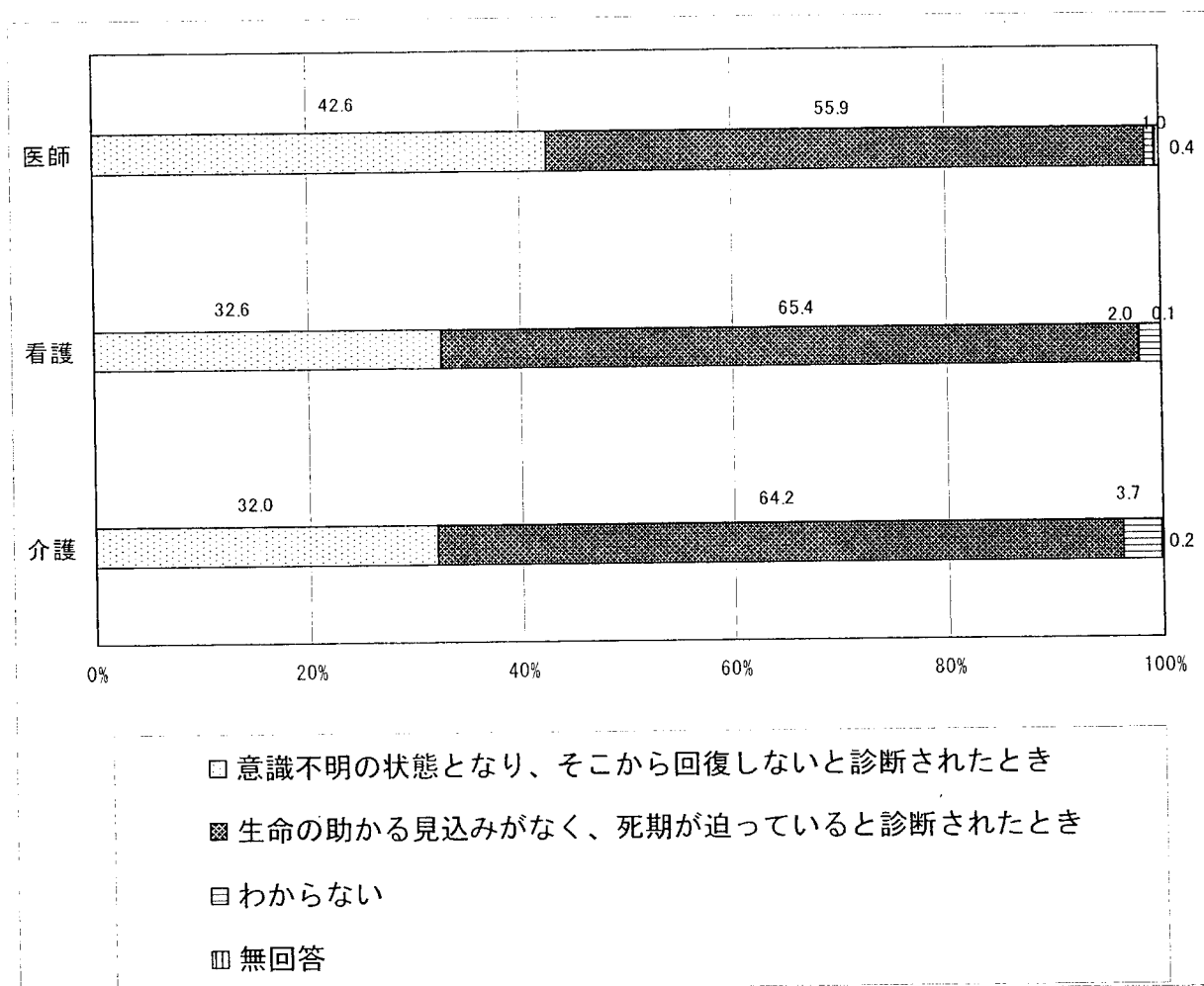
【(一般)問12補問2 (医療関係者)問17補問2】 (問12、17で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



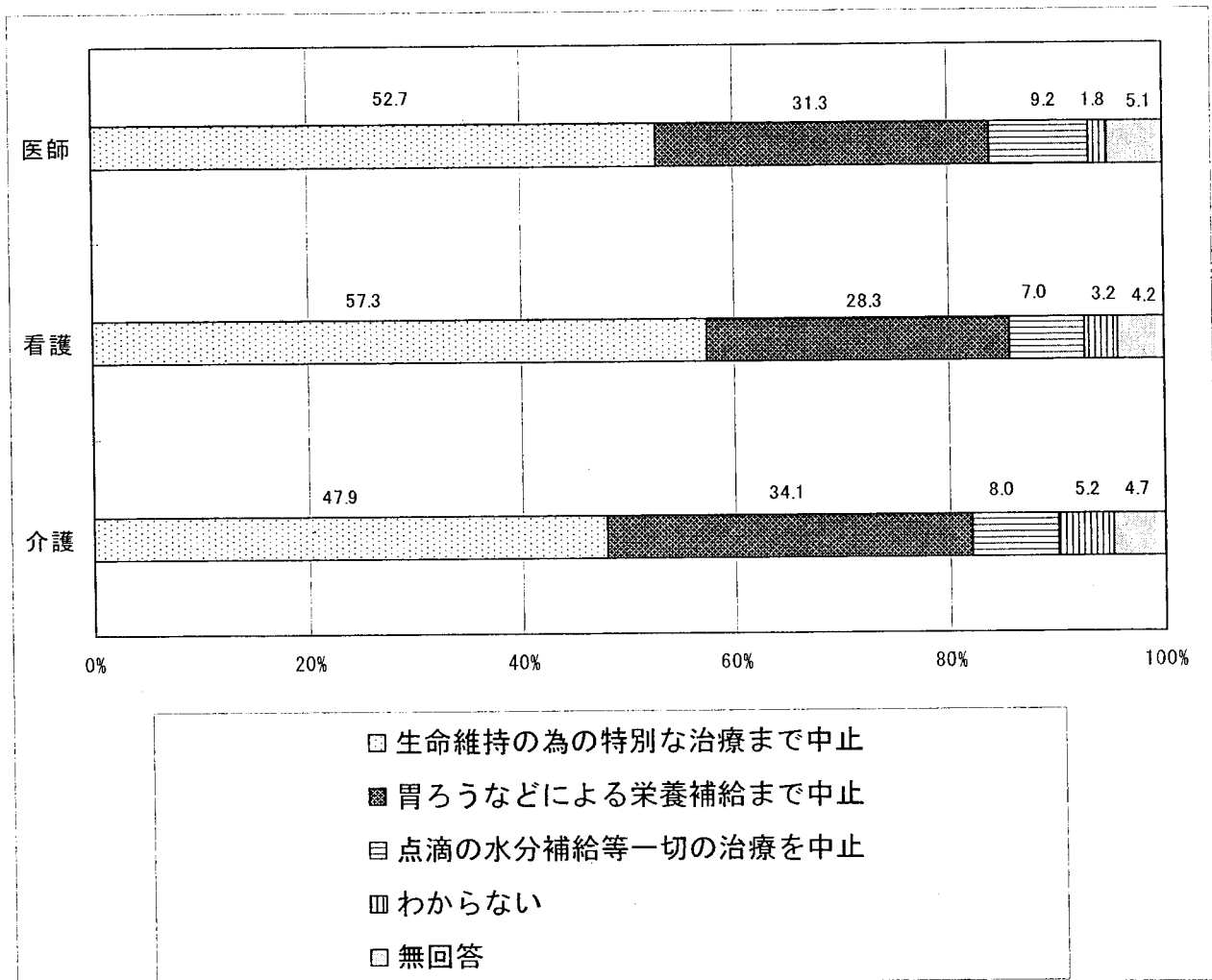
【(医療従事者) 問18】 あなたの担当する患者(入所者)が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)



【(医療従事者) 問18補問1】 (問18で「2 延命医療をどちらかという中止すべきである」「3 延命医療は中止すべきである」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



【(医療従事者) 問18補問2】 (問18で「2延命医療をどちらかという中止すべきである」「3延命医療は中止すべきである」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

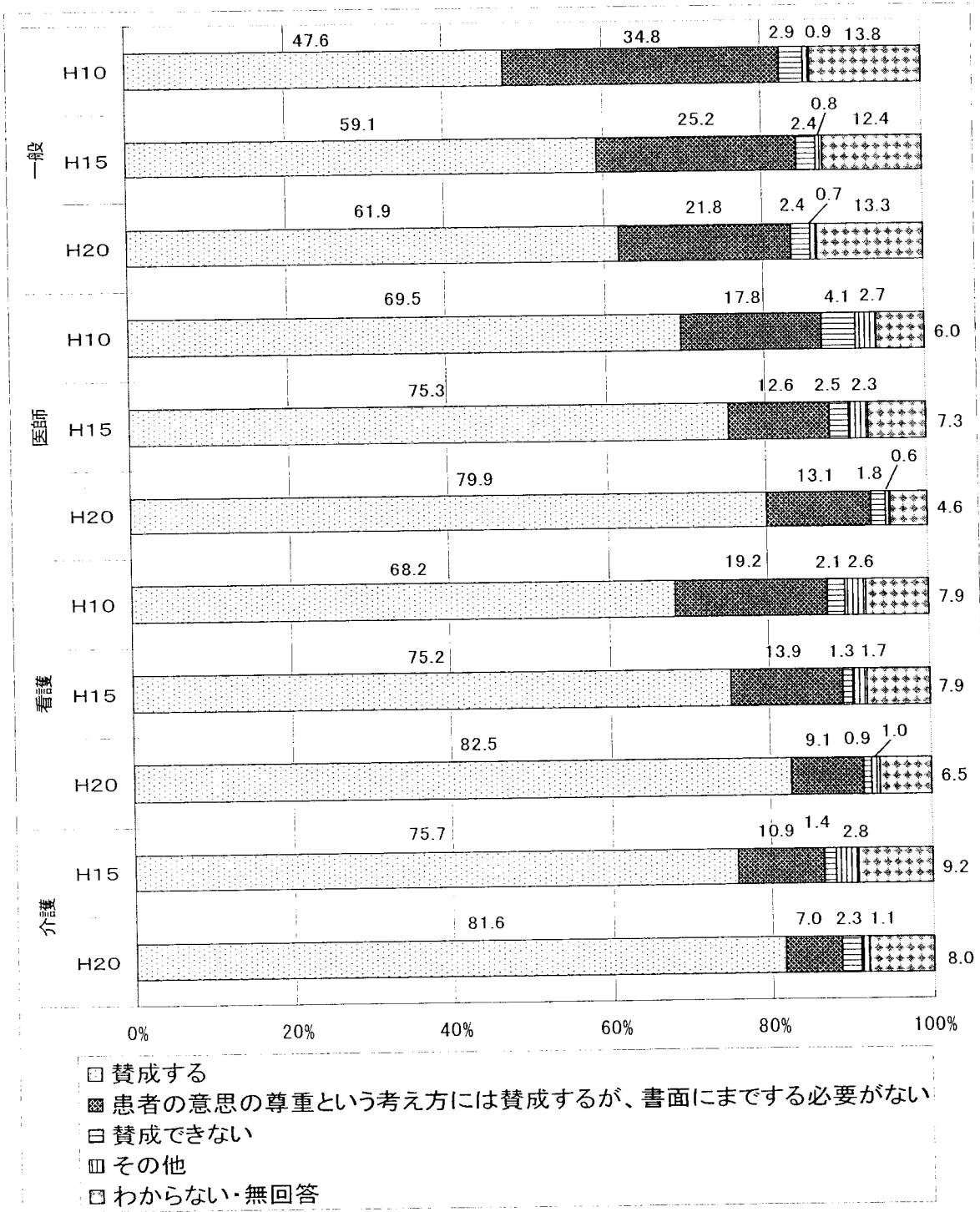




## (7) リビング・ウィルと患者の意思の確認方法

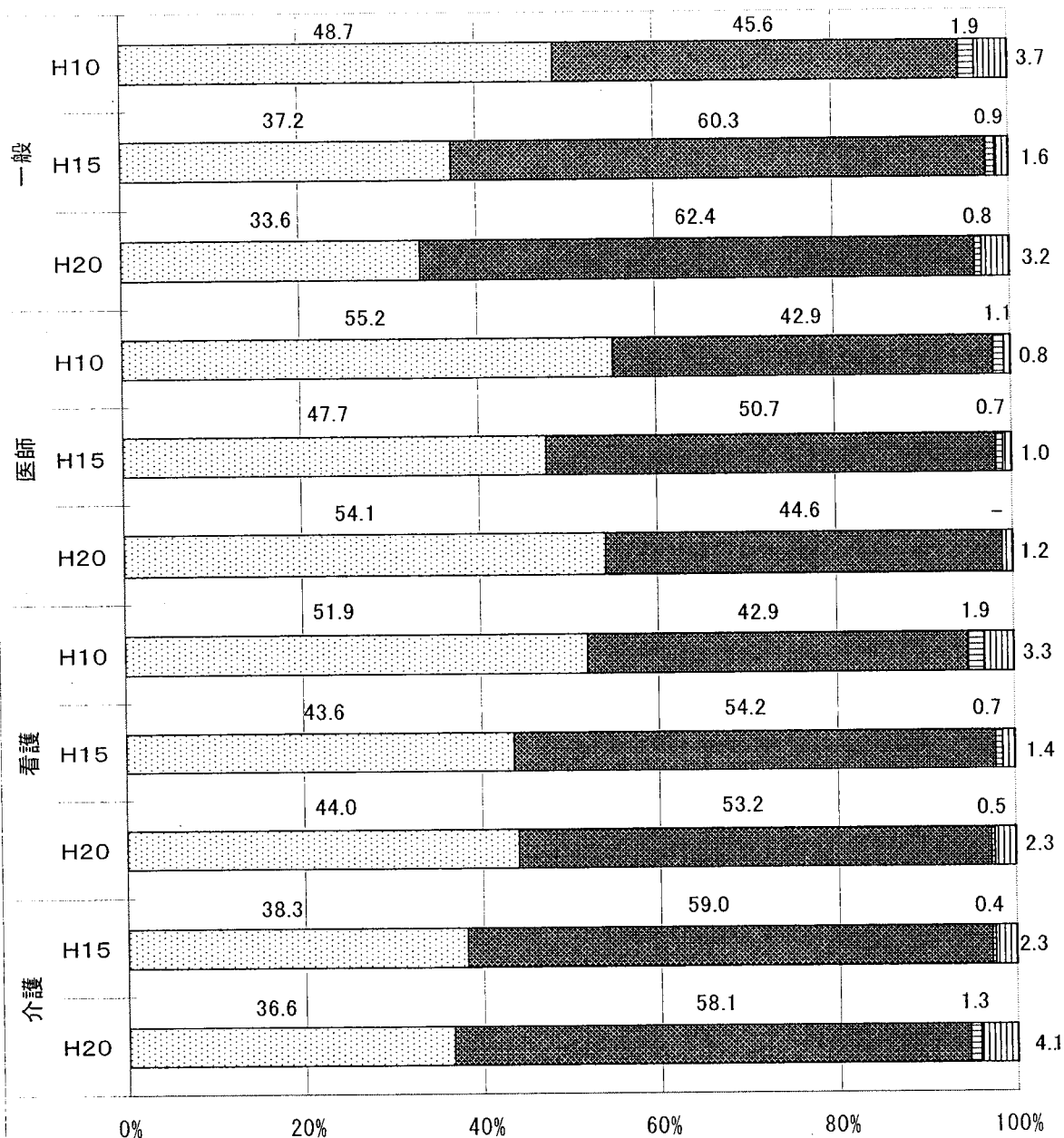
【(一般) 問14-1, (医療従事者) 問20-1】

「治る見込みがなく、死期が近いときには、延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」(リビングウィル) という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)



【(一般) 問14-1補問1, (医療従事者) 問20-1補問1】

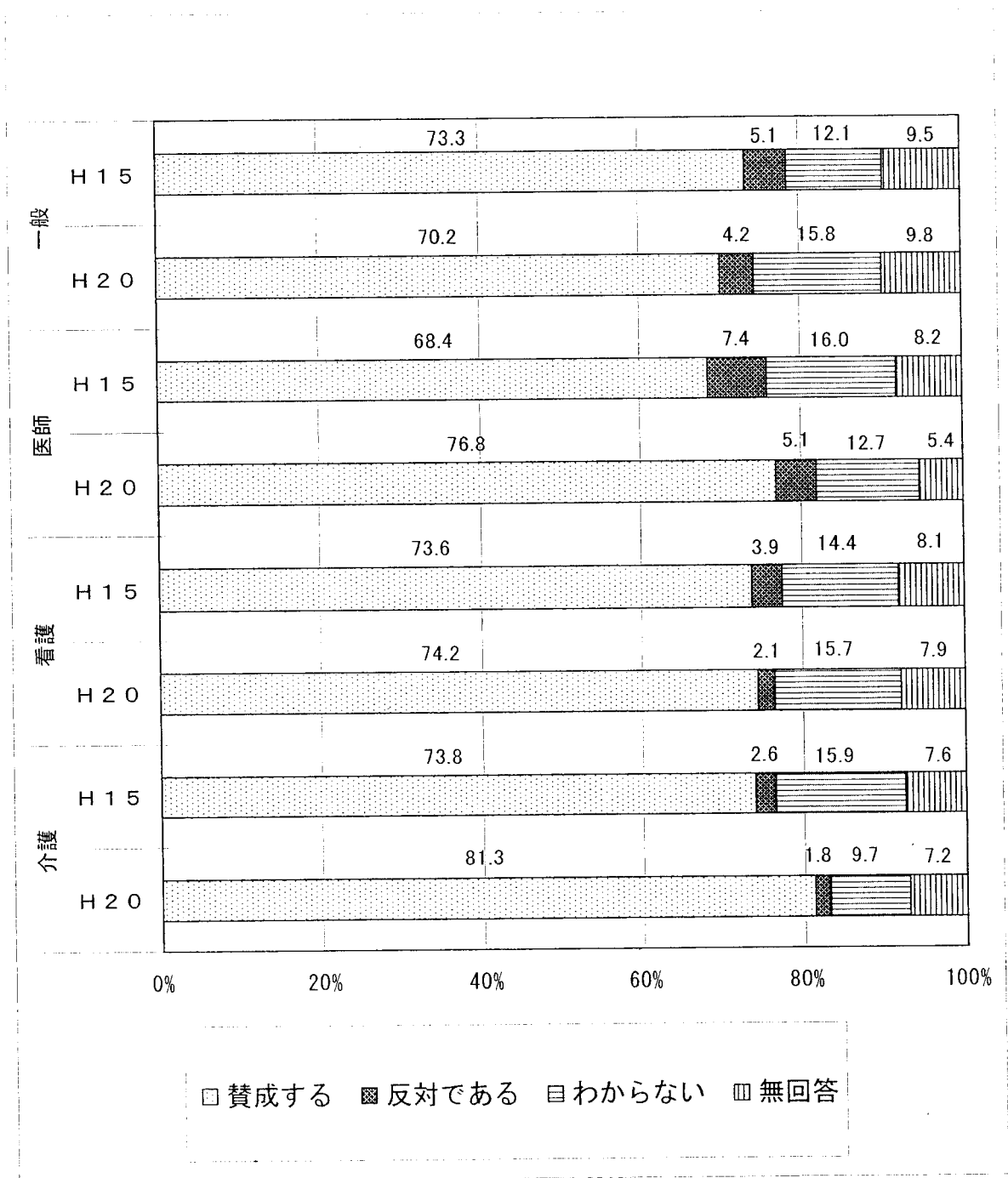
(リビングウィルについて1「賛成する」をお選びの方に) 書面による本人の意思表示という方法について、わが国ではどのように扱われるのが適切だとお考えですか。(○は1つ)



- そのような書面が有効であるという法律を制定すべきである
- (H10) 医師がその希望を尊重して治療方針を決定すればよい  
(H15、20) 法律を制定しなくても、医師が家族と相談の上その希望を尊重して治療方針を決定
- ▨ その他
- ▩ わからない・無回答

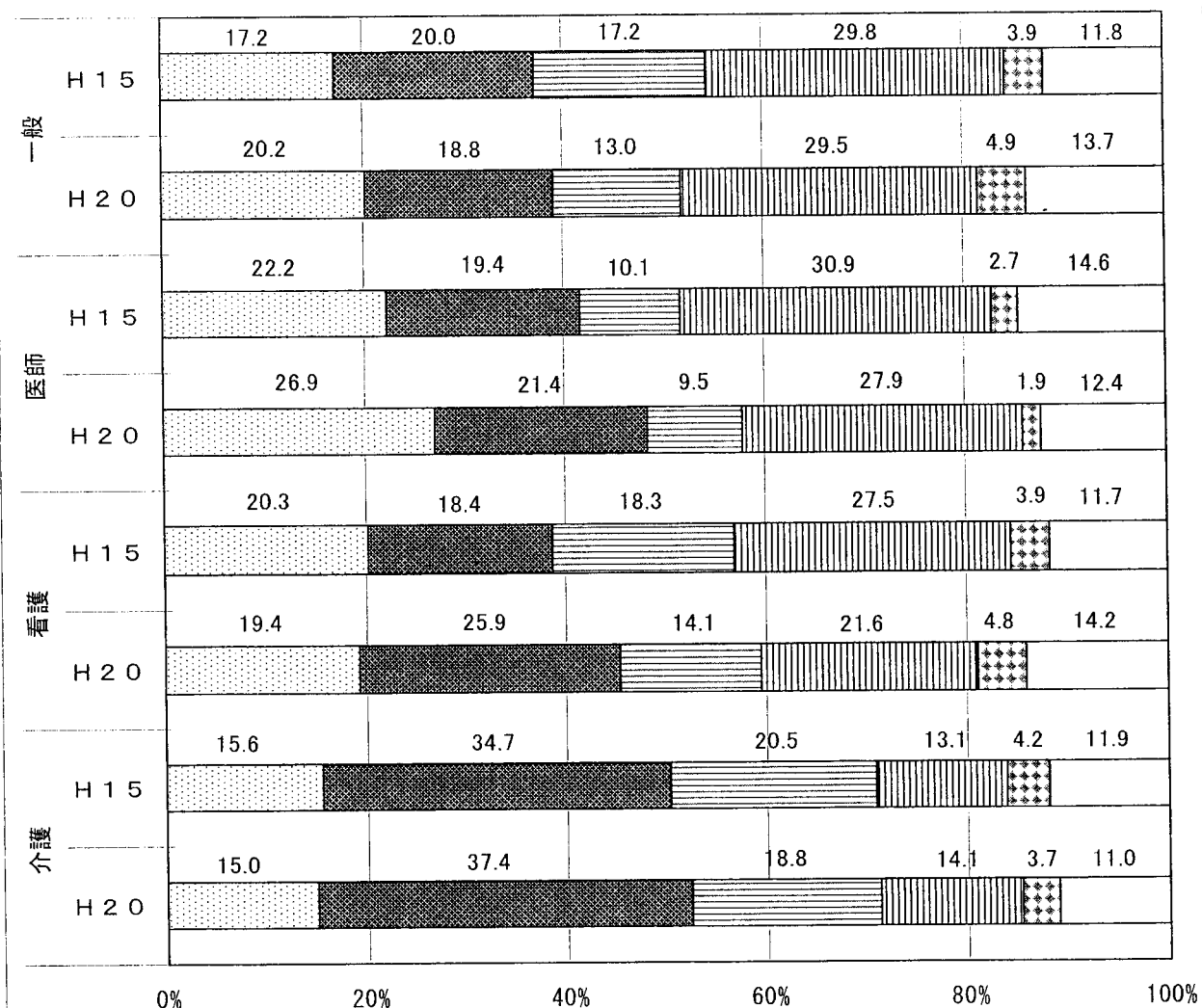
【(一般) 問14-1補問2, (医療従事者) 問20-1補問2】

(リビングウィルについて「賛成する」をお選びの方に) 死期が近い時の治療方針についての意思について入院(入所)前、入院(入所)時、あるいは、入院(入所)後に、病院や介護施設(老人ホーム)から、書面により患者(入所者)の意思を尋ねるといった考え方についてどのように思いますか。(〇は1つ)



【(一般) 問14-1 補問3, (医療従事者) 問20-1 補問3】

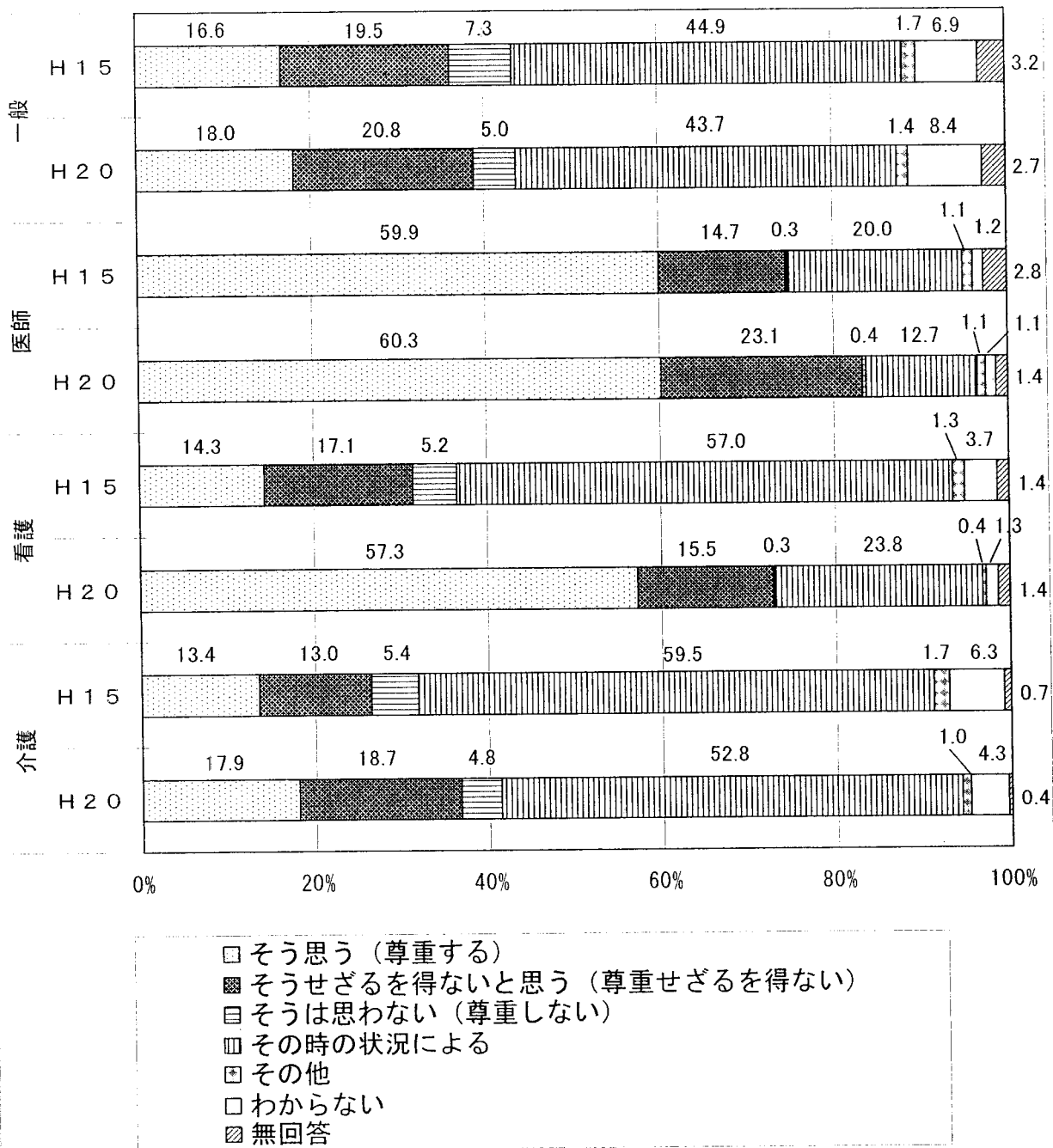
(リビングウィルについて1「賛成する」をお選びの方に) 書面に残すとしたらいつの時期が良いと思いますか。



- 入院（入所）する以前に書面として残した方が良い
- 入院（入所）時に書面として残した方が良い
- ▨ 入院（入所）後、ある時期に書面として残した方が良い
- ▩ 時期は、いつでもかまわない
- ▧ わからない
- 無回答

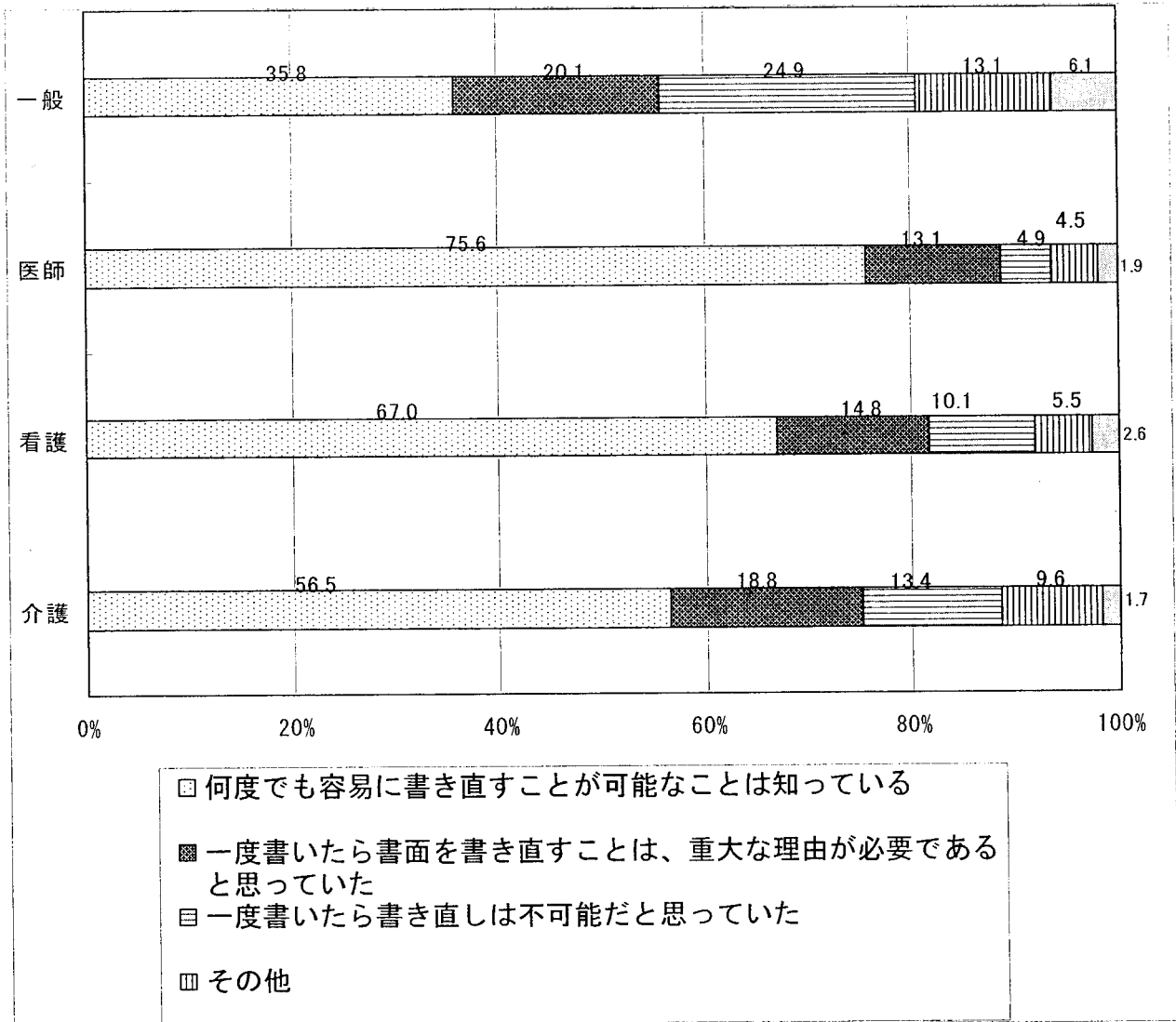
【(一般)問14-2】このような書面を見せれば、医師はその内容を尊重してくれると思いますか。(○は1つ)

【(医療従事者)問20-2】このような書面について、あなた自身はその内容を尊重しますか。(○は1つ)



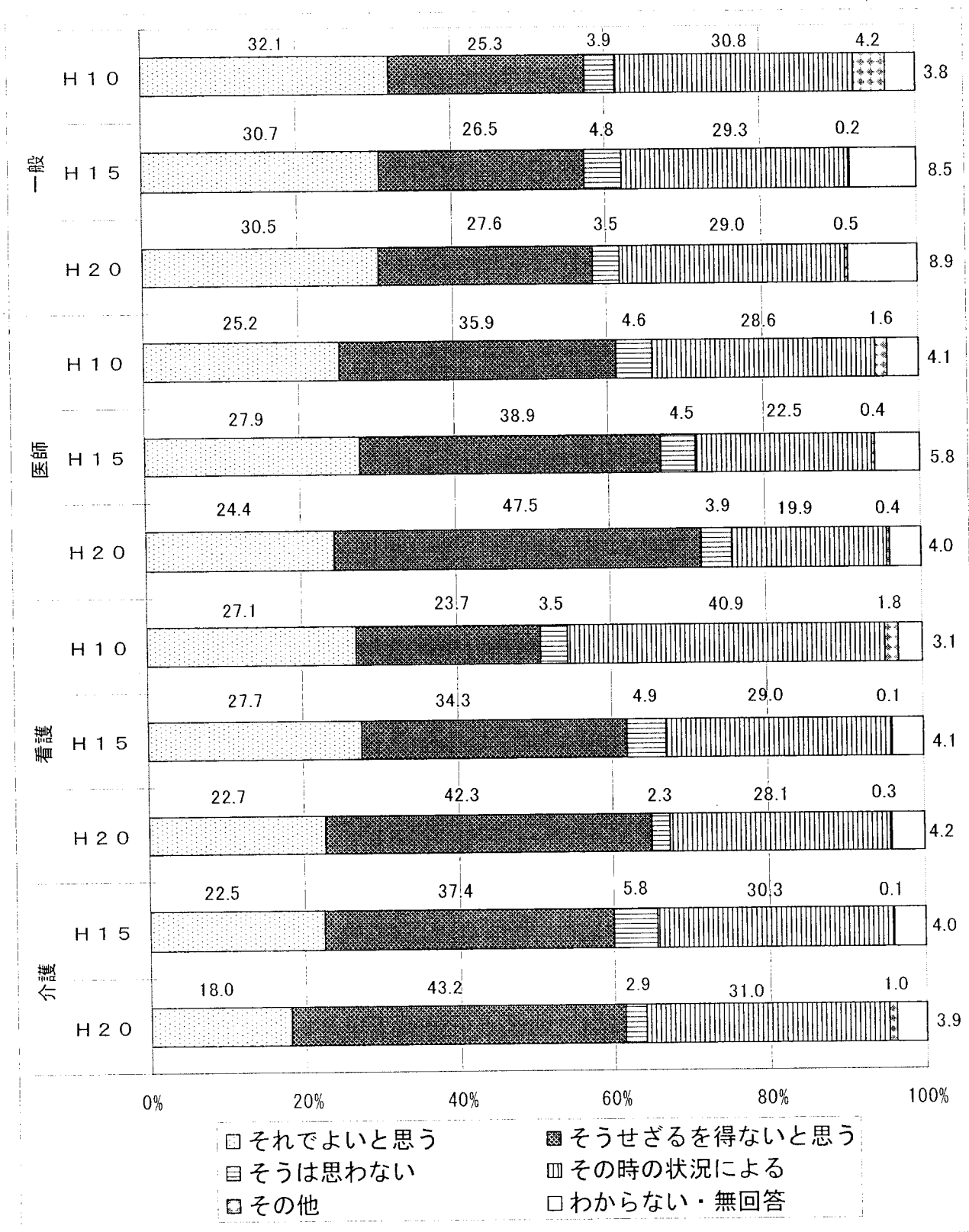
【(一般)問14-3, (医療従事者)問20-3】

あなたは、この書面を作成した後も、状況の変化等によってあなたの考えが変わった場合、何度でも書き直すことが可能であることをご存じですか。(○は1つ)



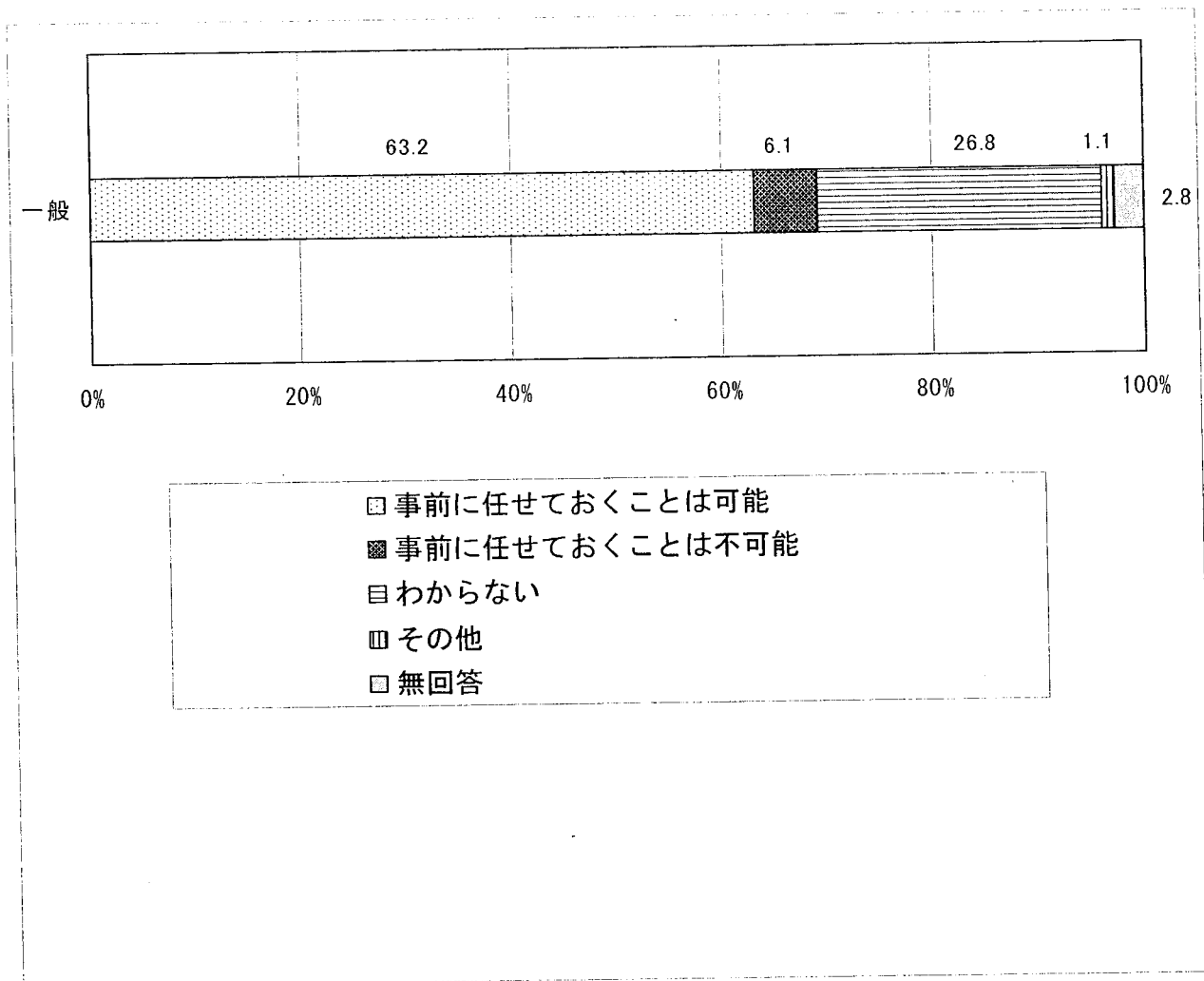
【(一般) 問14-4, (医療従事者) 問20-4】

事前に本人の意思の確認ができなかった患者(入所者)の場合、「家族や後見人が延命医療を拒否したら、それを本人の意思の代わりとして治療方針などを決定すればよい」(書面ではなく代理人による意思表示)という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)



【(一般) 問14-5】

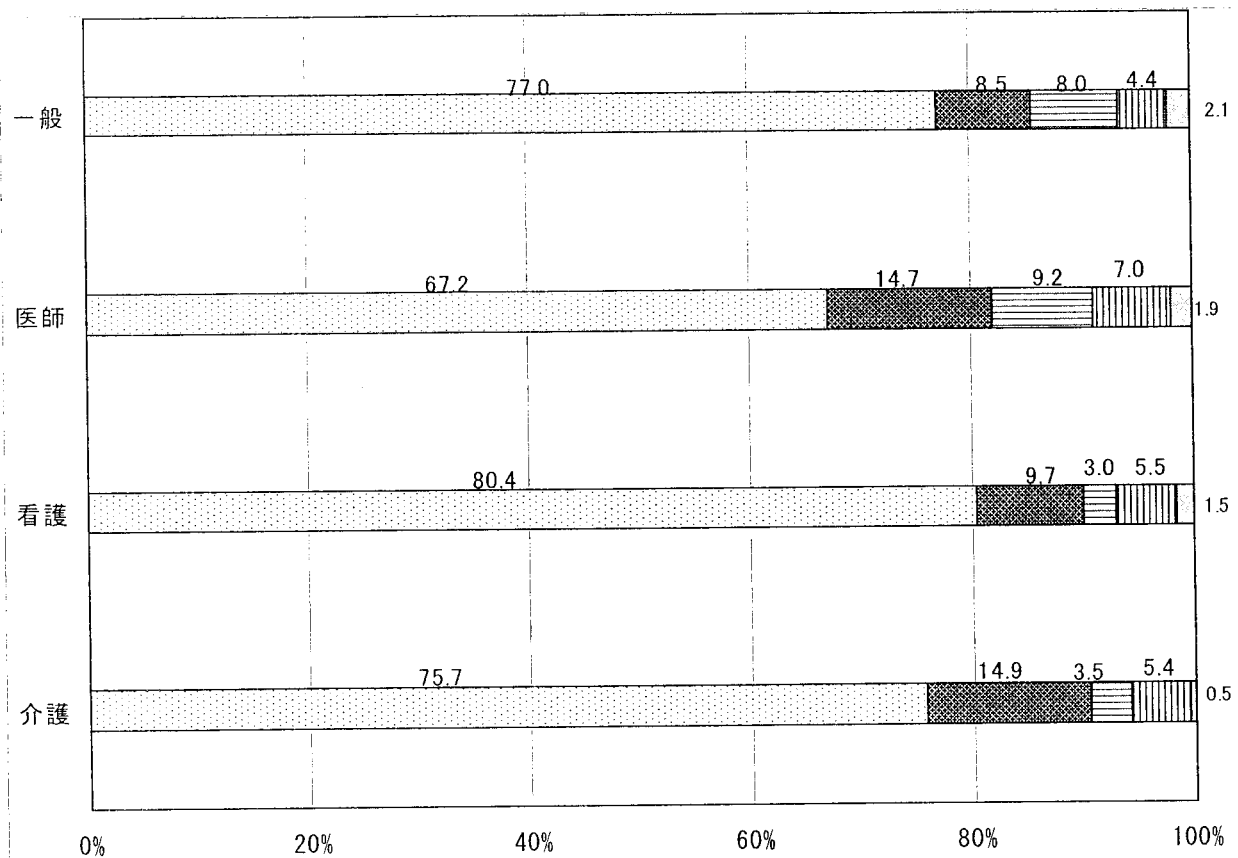
では、あなたは、自分が終末期に明確な意思表示を行うことが困難と思われる場合、事前に治療方針に関する判断をあなた以外の方に任せておくことは可能ですか。





【(一般) 問14-6】 あなたは、自分が終末期に明確な意思表示が示せない場合、治療方針の決定についてどのようにしてほしいですか。(○は1つ)

【(医療従事者) 問20-5】 本人の明確な意思表示が全くわからない場合の終末期における治療方針の決定についてどう思いますか。(○は1つ)

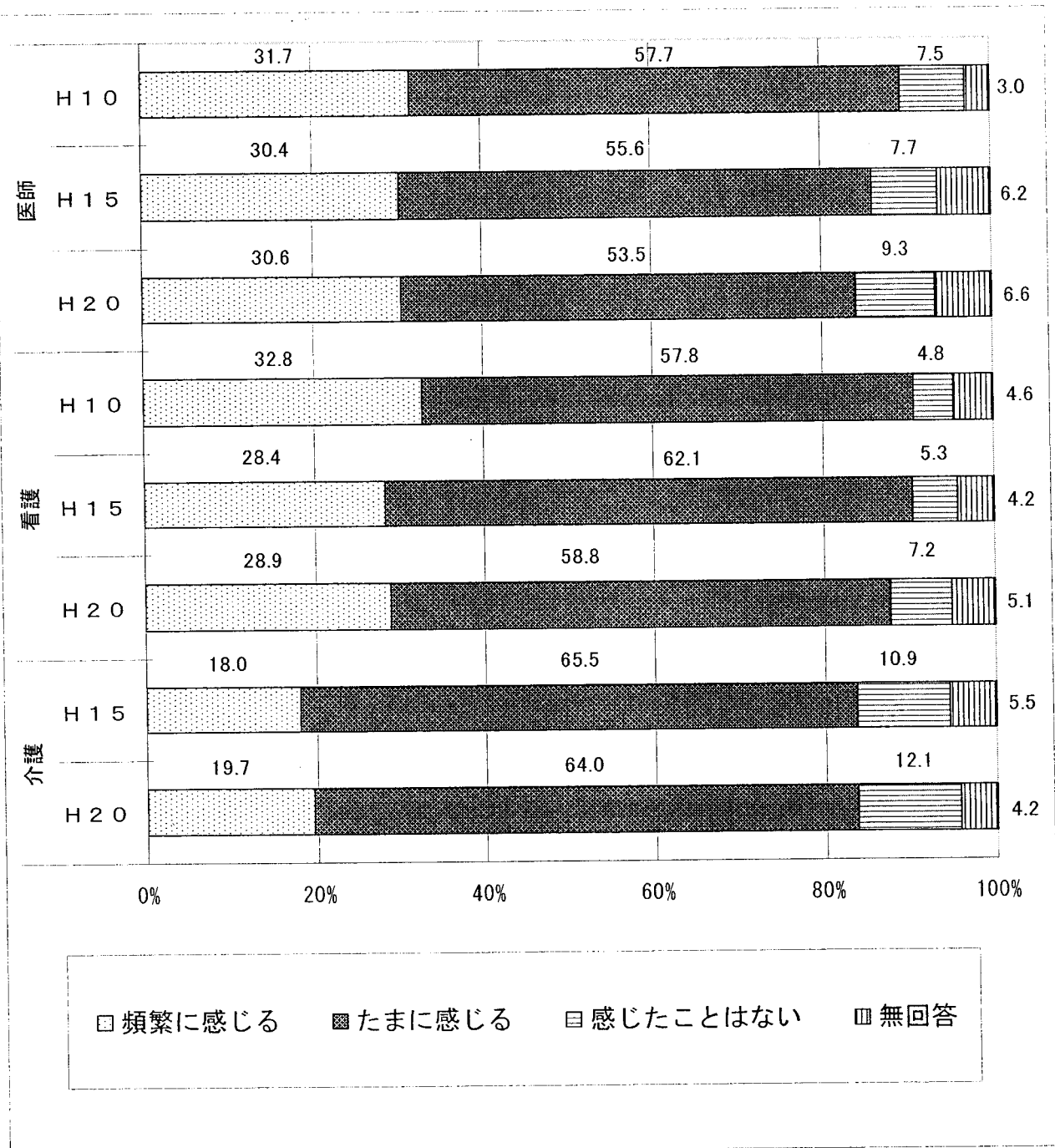


- 配偶者など最も身近な人の意見に従うべき
- 家族や親戚など多数の意見に従うべき
- 担当する医療・ケアチームが慎重に考えて決めるべき
- わからない
- 無回答

## (8) 終末期医療に対する悩み、疑問

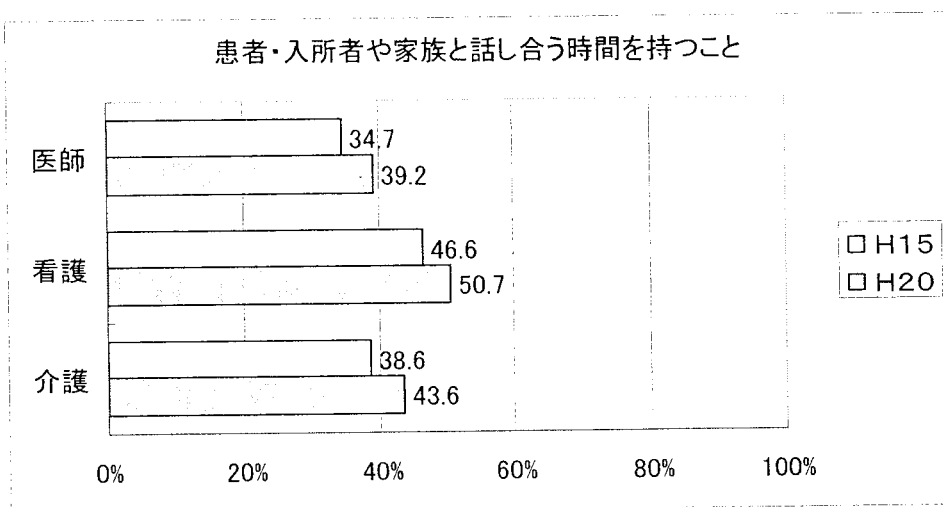
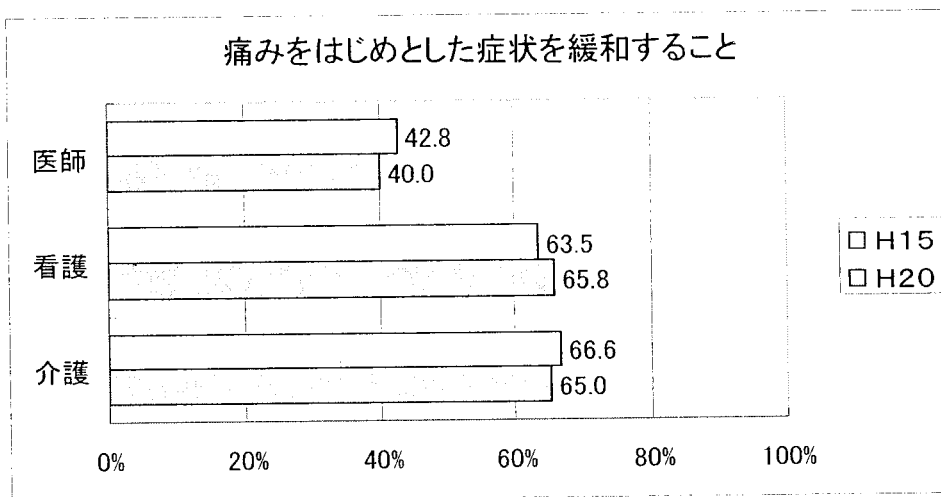
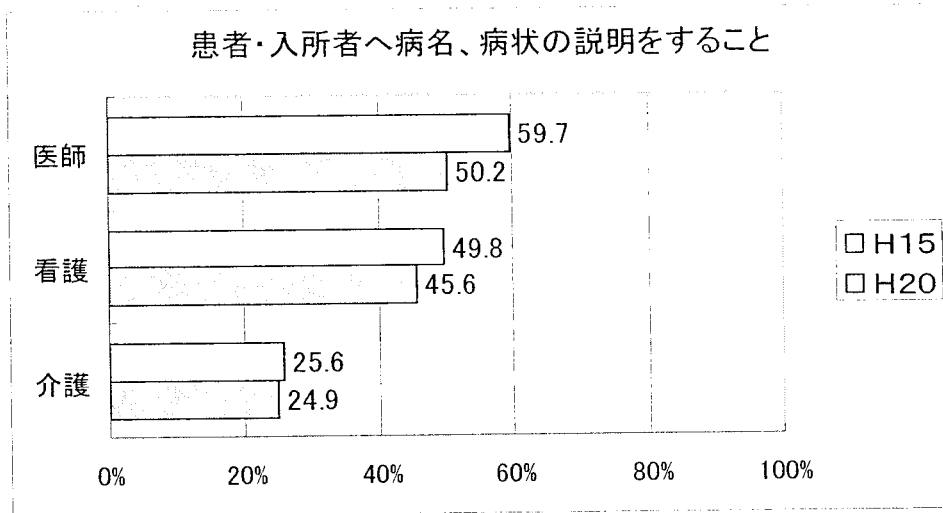
【(医療従事者) 問28】

あなたは、終末期医療に対して、悩みや疑問を感じた経験がありますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

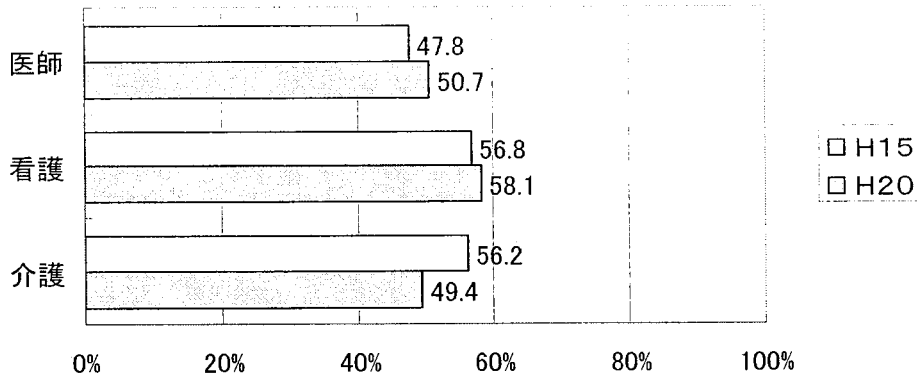


【(医療従事者) 問28補問】

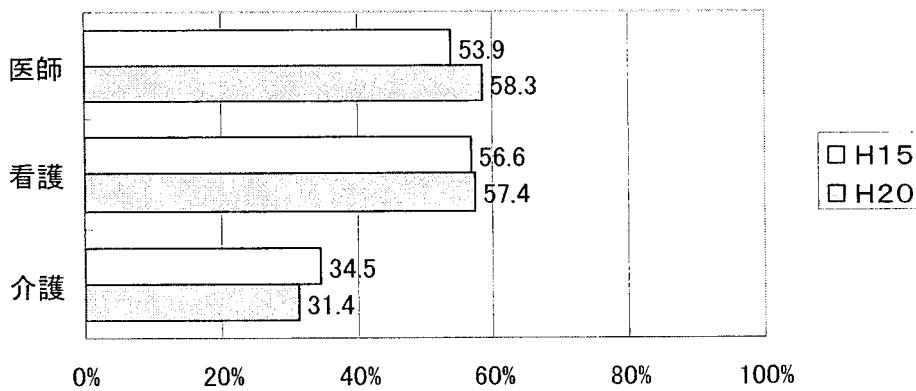
(1「頻繁に感じる」か「2たまに感じる」をお選びの方へ) 痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)患者(入所者)の診療にあなた自身が携わって、どんな難しさを感じていますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)



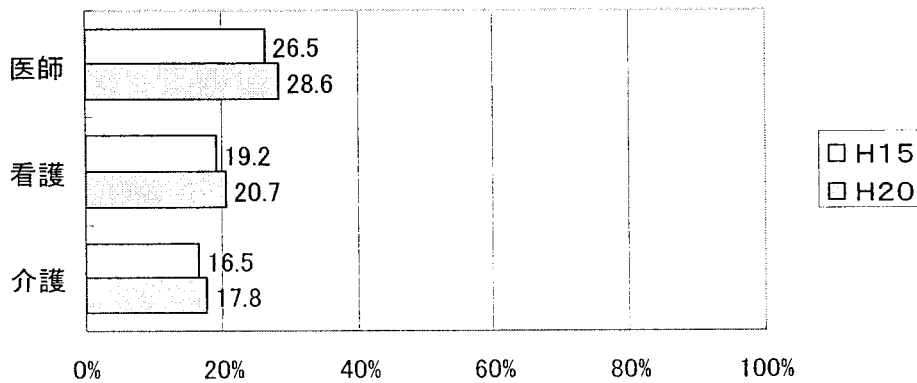
### 病院内の設備や終末期医療の施設が乏しいこと



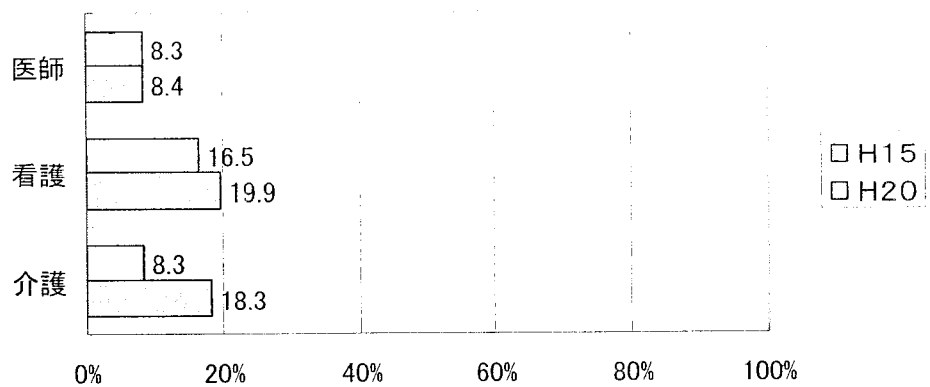
### 在宅医療の体制が十分でないこと



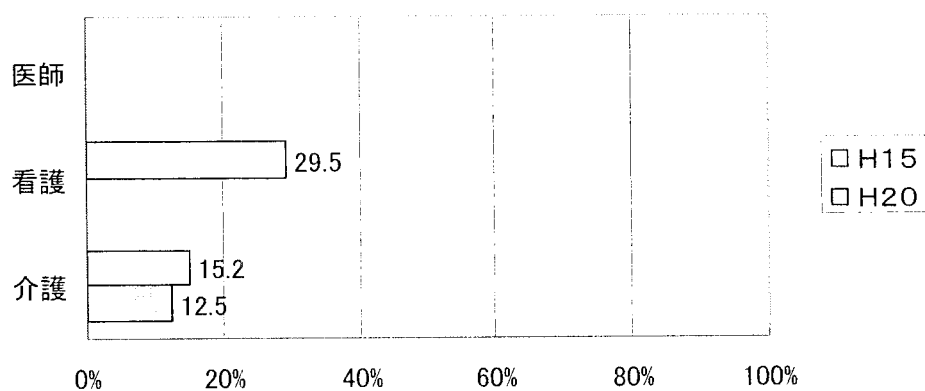
### 延命のための医療を中止すること



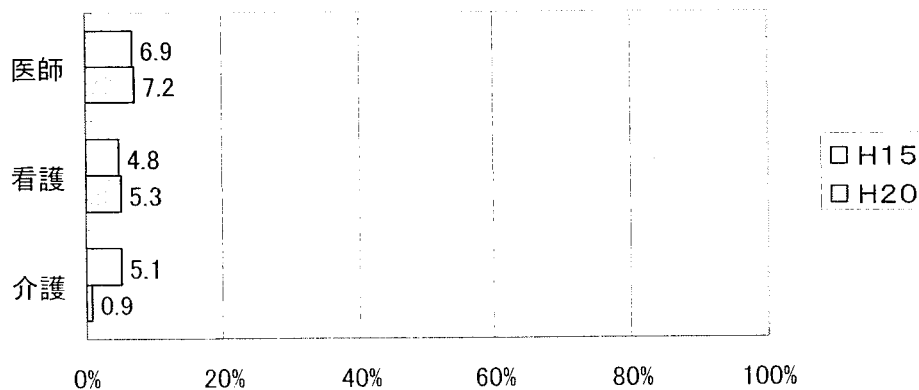
### 医療チームで意見がわかること



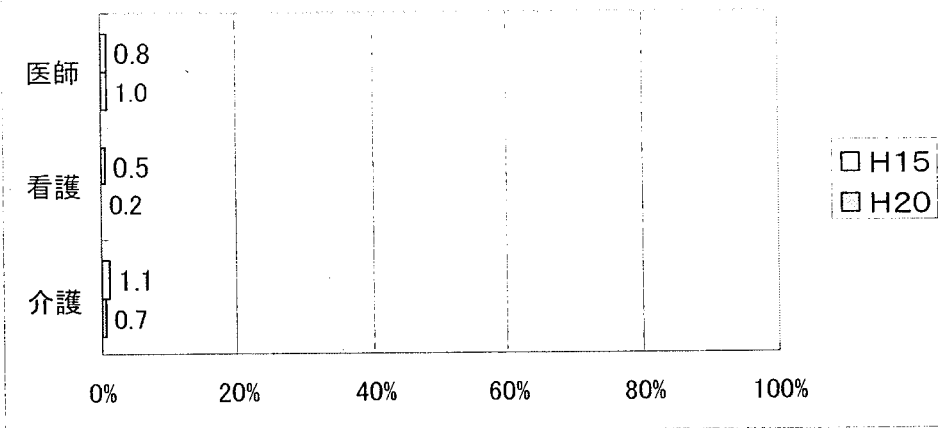
### 医師と患者・入所者との板挟みになること



### その他



特になし

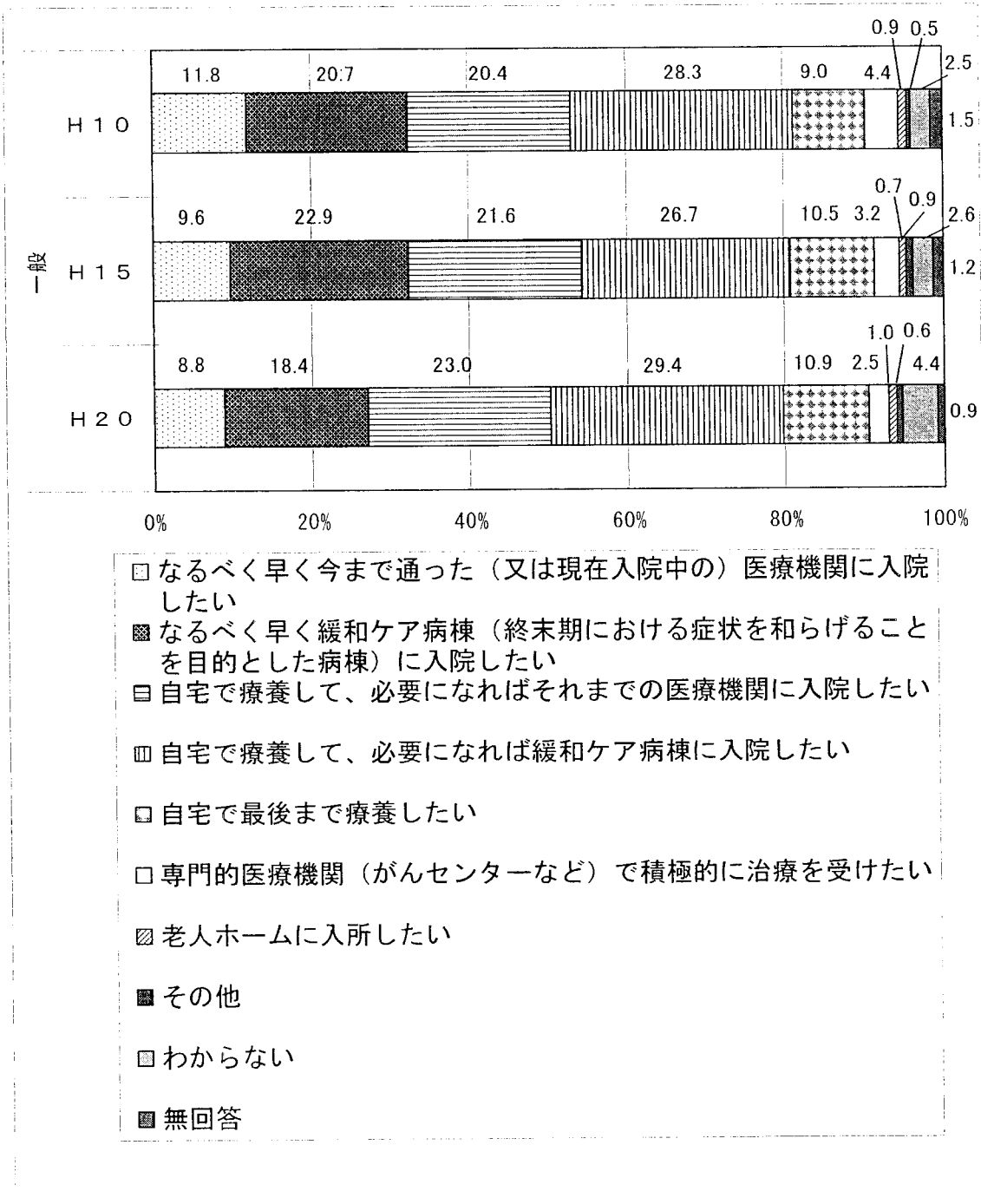


## (9) 終末期における療養の場所

### 1) 死期が迫っている患者

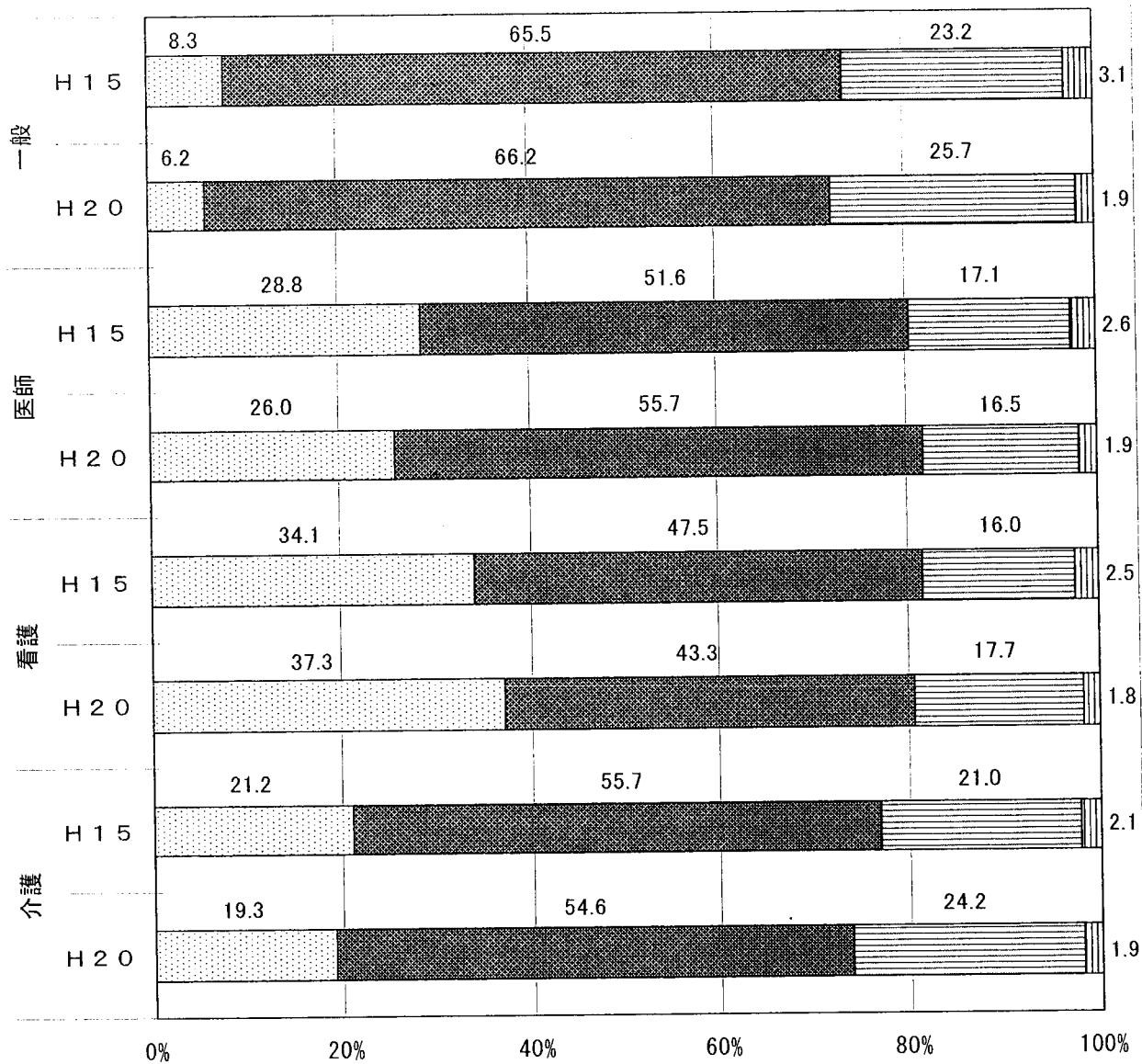
【(一般) 問5-1】

あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。（○は1つ）



【(一般) 問5-2, (医療従事者) 問10-2】

自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(○は1つ)



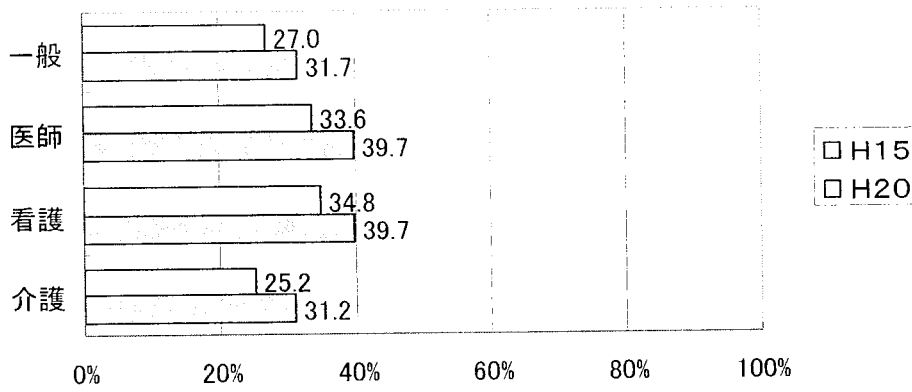
□ 実現可能である ■ 実現困難である ◻ わからない ◻ 無回答



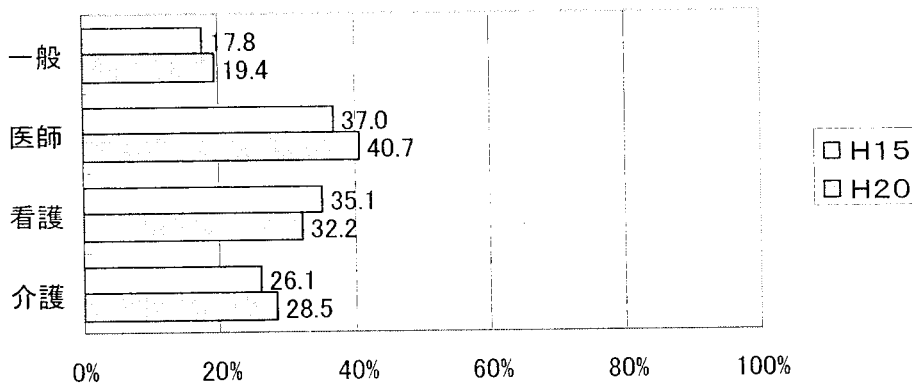
【(一般) 問5-2補問, (医療従事者) 問10-2補問】

(「2実現困難である」をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどんなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

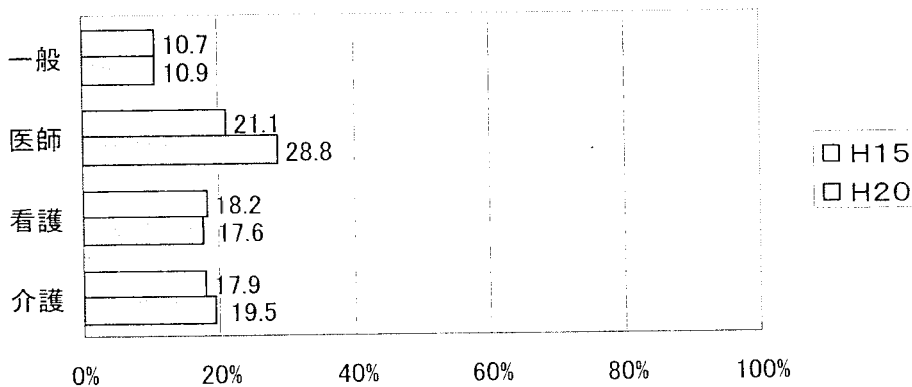
往診してくれる医師がない



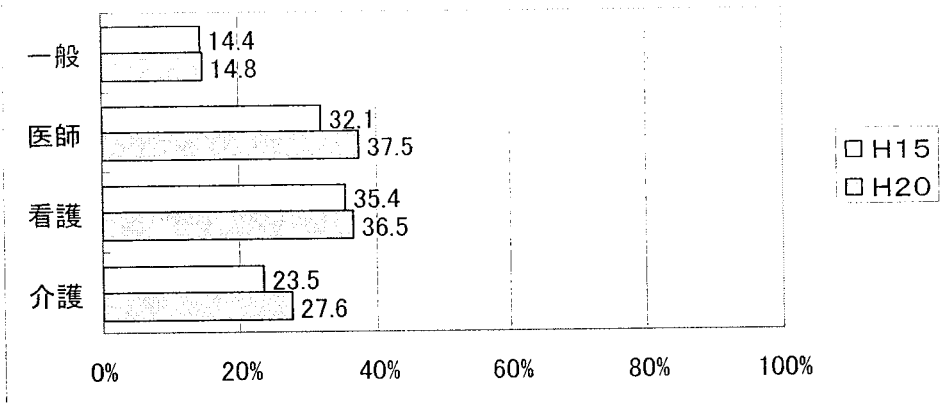
訪問看護体制が整っていない



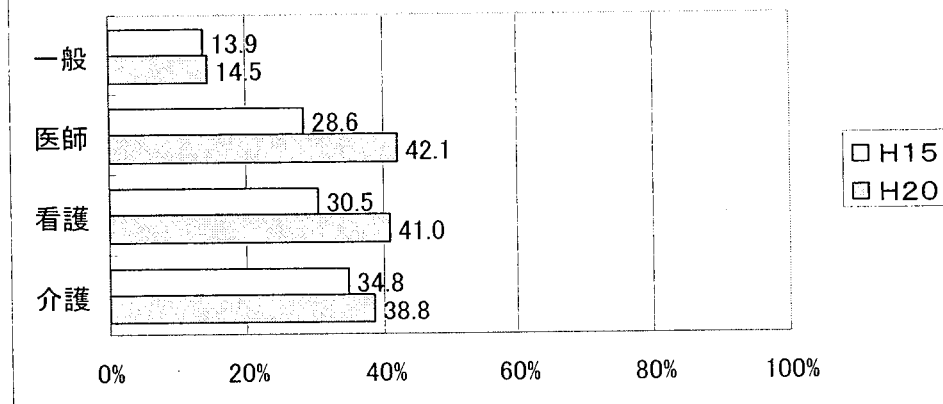
訪問介護体制が整っていない



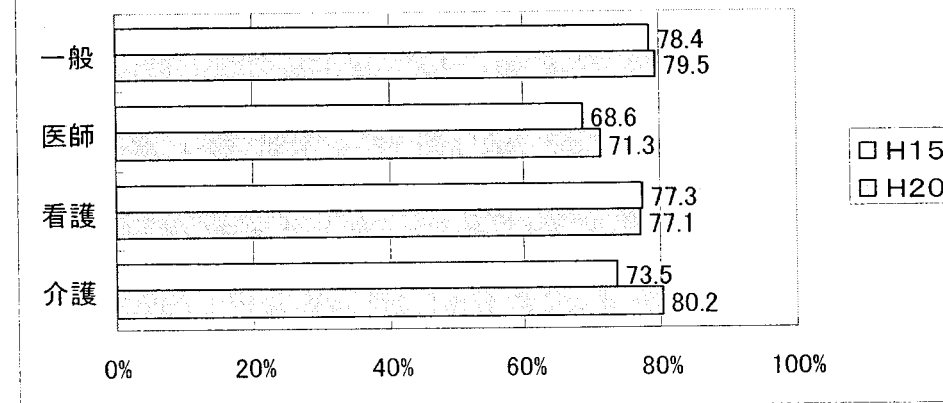
24時間相談にのってくれるところがない



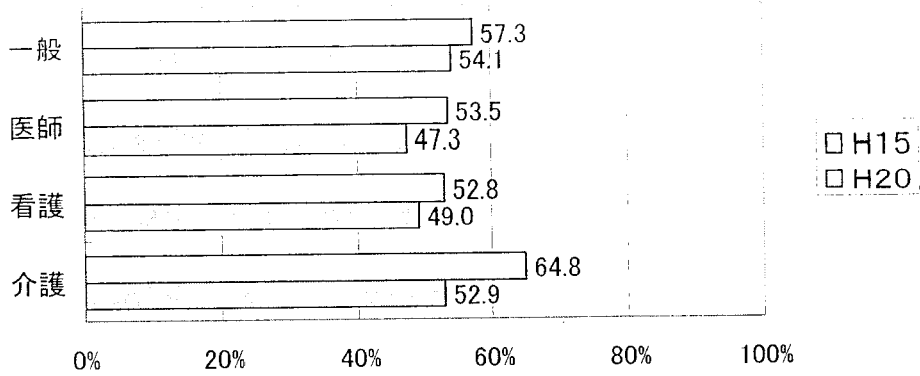
介護してくれる家族がない



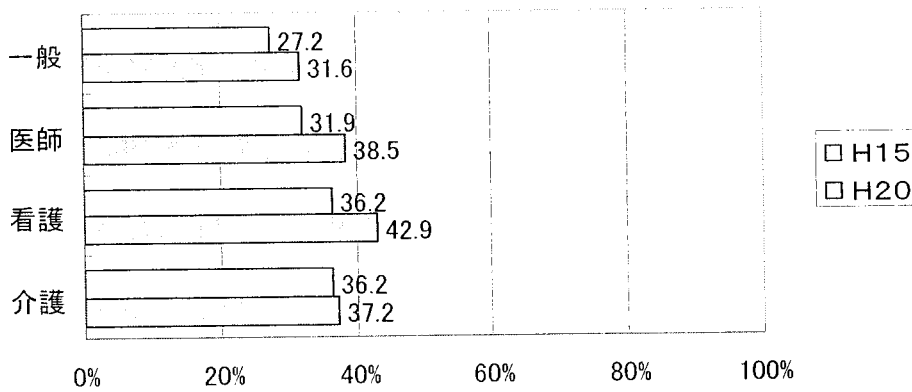
介護してくれる家族に負担がかかる



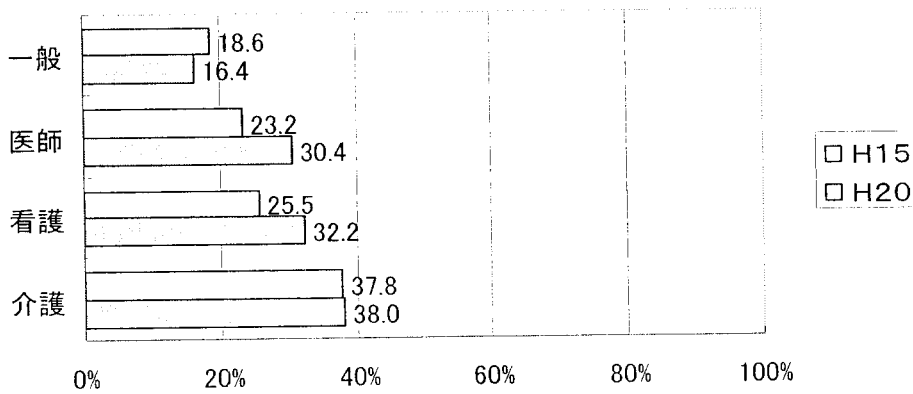
症状が急変したときの対応に不安である



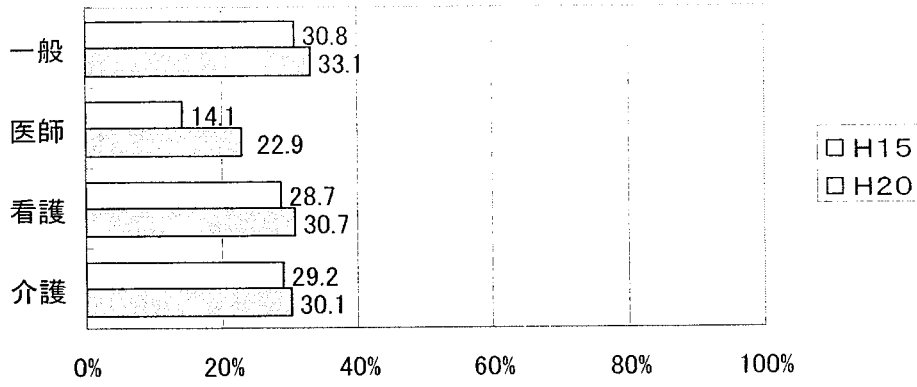
症状急変時すぐに入院できるか不安である



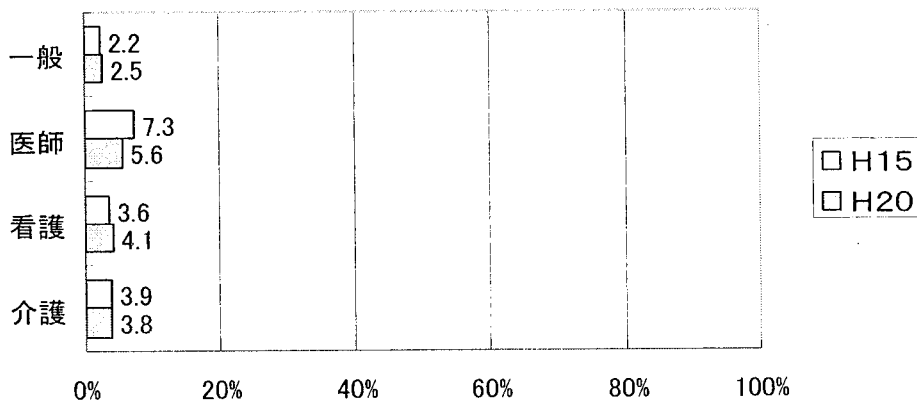
居住環境が整っていない



### 経済的に負担が大きい



### その他

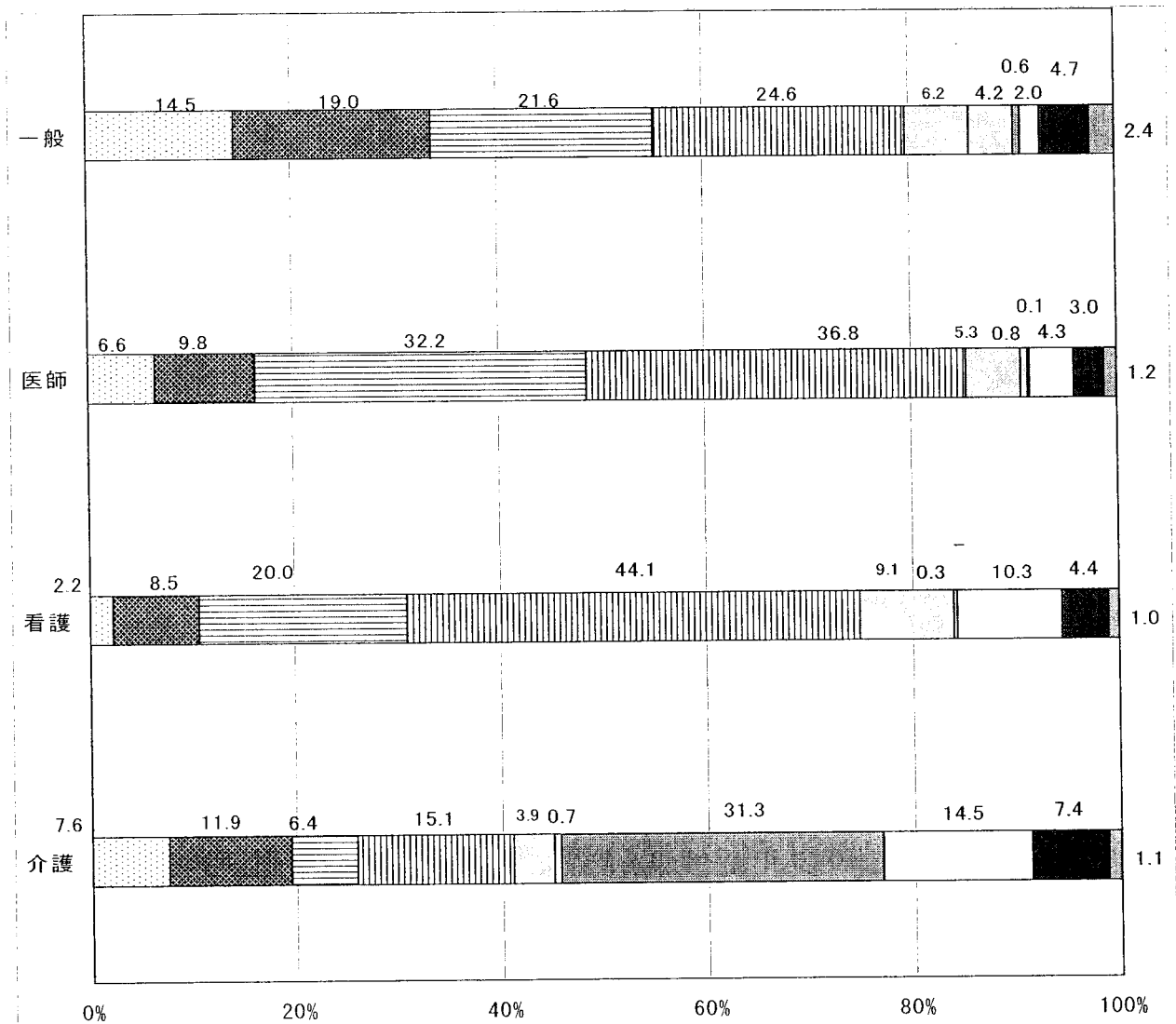


【(一般) 問7-1】

あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、療養生活は最期までどこを薦めますか。（○は1つ）

【(医療従事者) 問10-1】

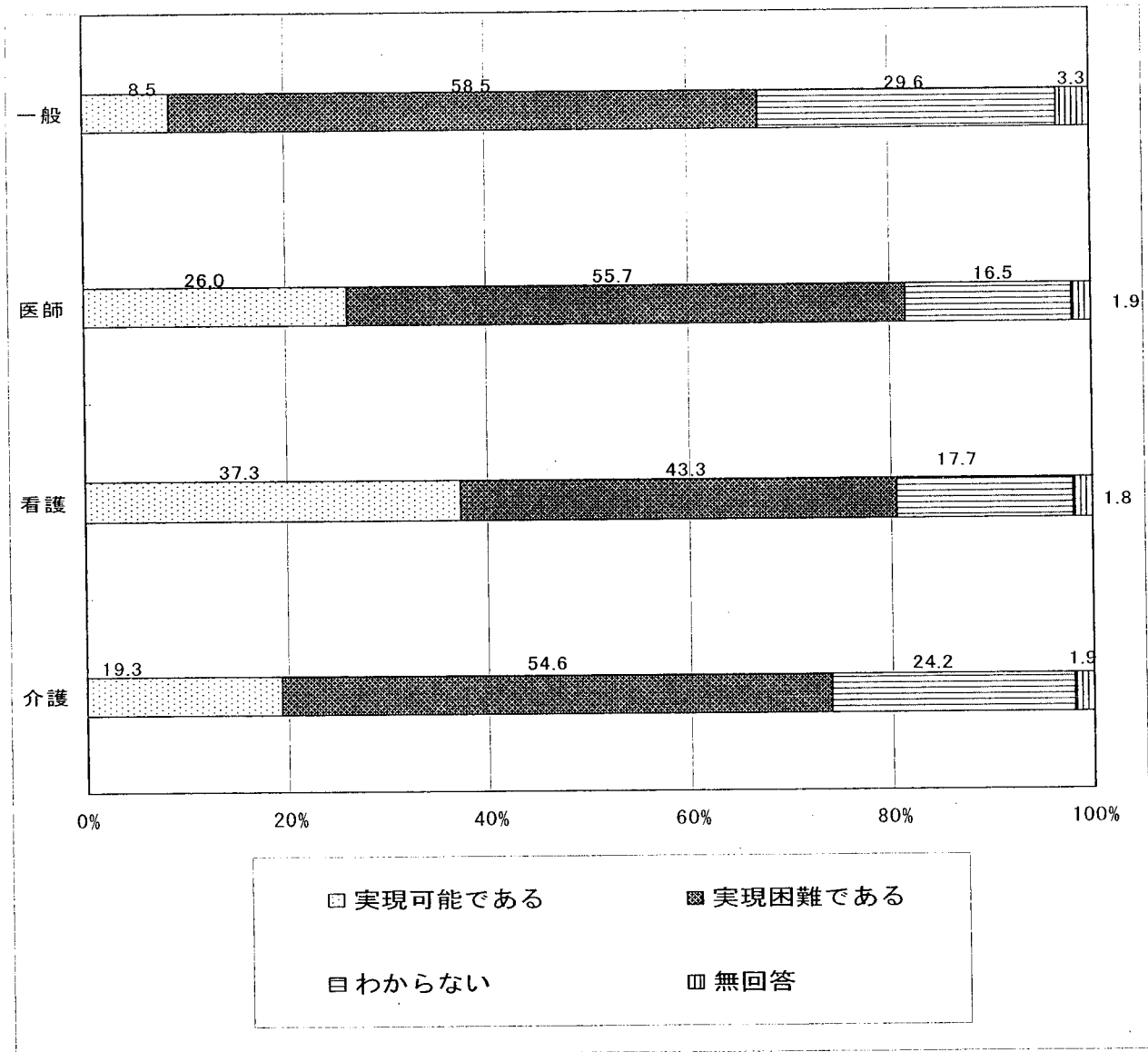
あなたが担当している患者（入所者）が治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）場合、療養生活はどこを薦めますか。（○は1つ）



- なるべく早く今まで通った(又は入院中の)医療機関に入院
- なるべく早く緩和ケア病棟に入院
- ▨ 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院
- ▩ 自宅で療養して必要であれば緩和ケア病棟に入院
- 自宅で最期まで療養
- 専門的医療機関で積極的な治療
- 老人ホームに入所
- その他
- わからない
- 無回答

【(一般) 問7-2 (医療従事者) 問10-2】

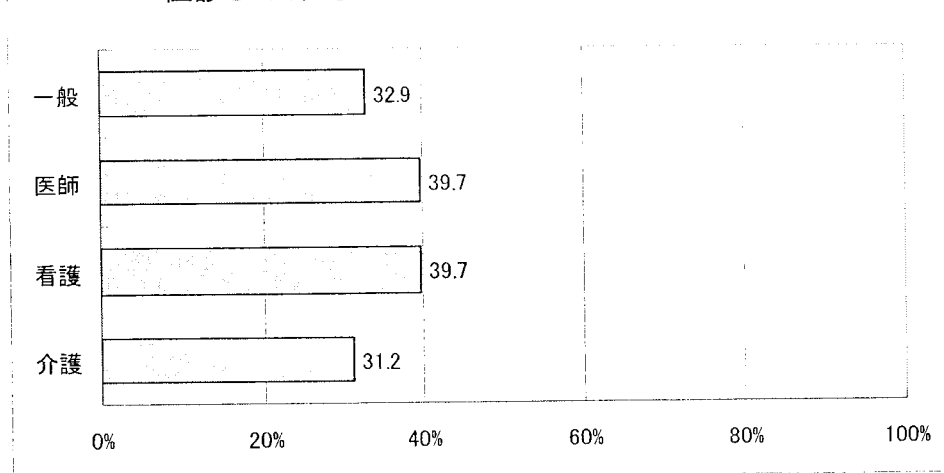
あなたの家族(担当者)は自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(○は1つ)



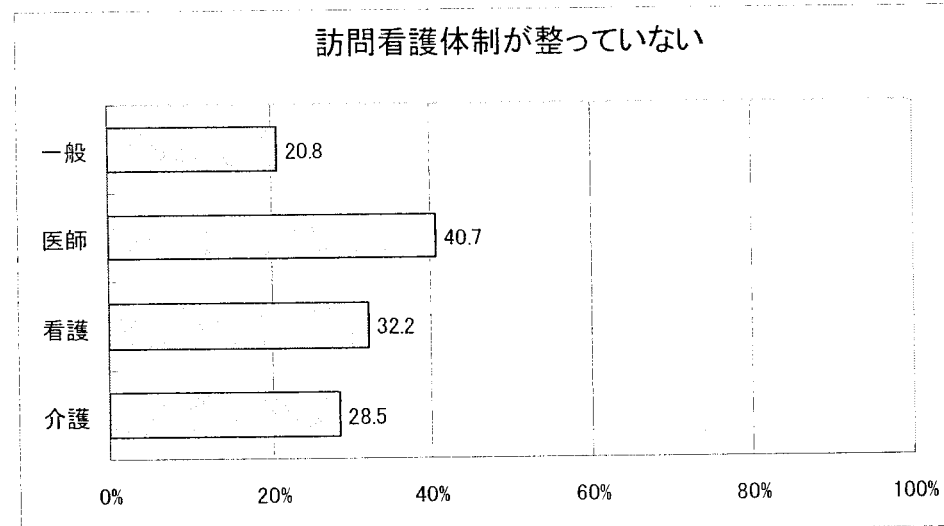
【(一般) 問7-2補問 (医療従事者) 問10-2補問】

(問7-2、10-2で「2実現困難である」をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどのようなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

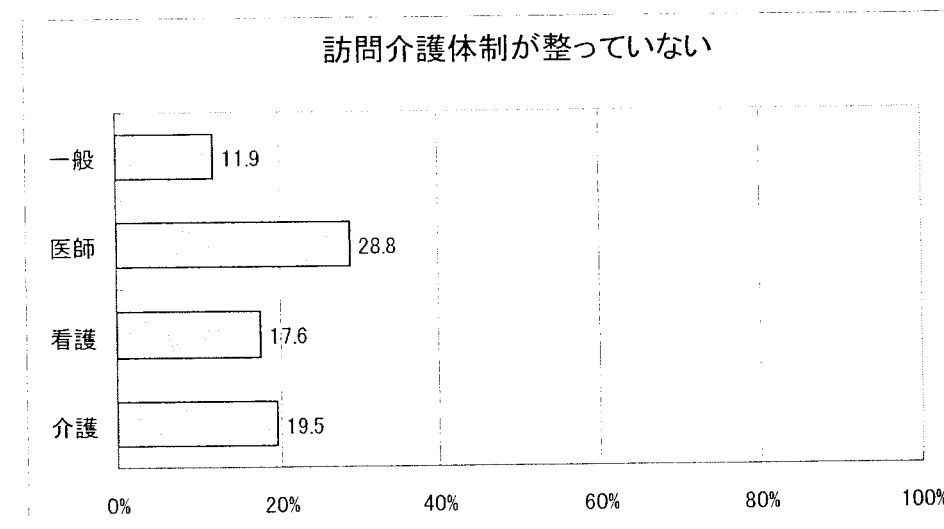
往診してくれるかかりつけの医師がない



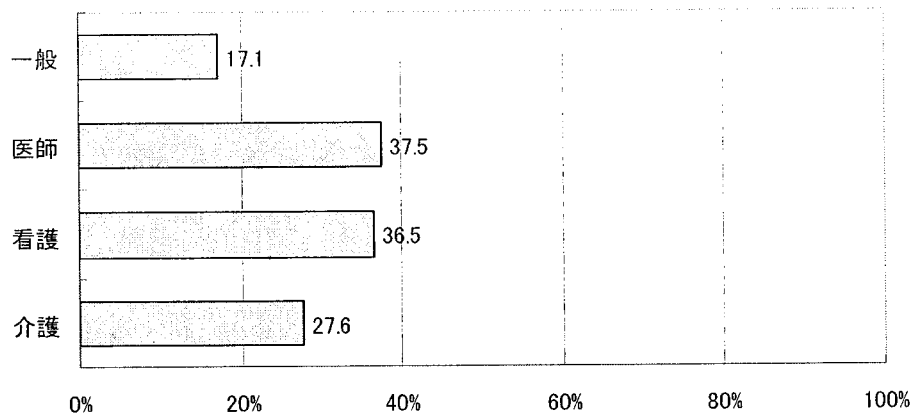
訪問看護体制が整っていない



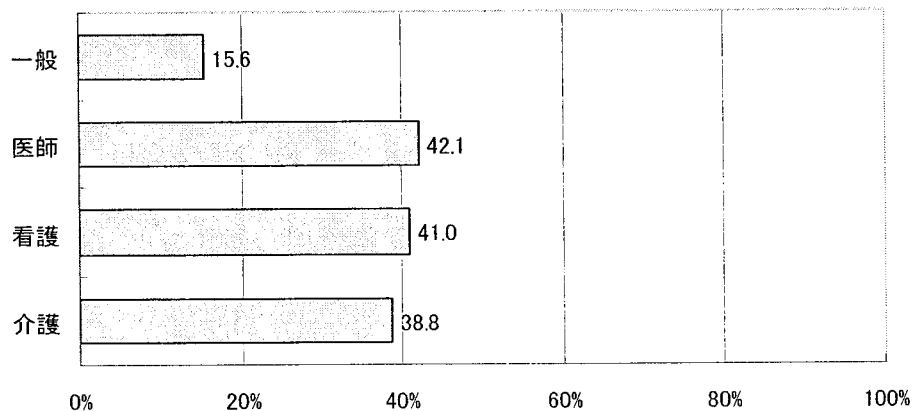
訪問介護体制が整っていない



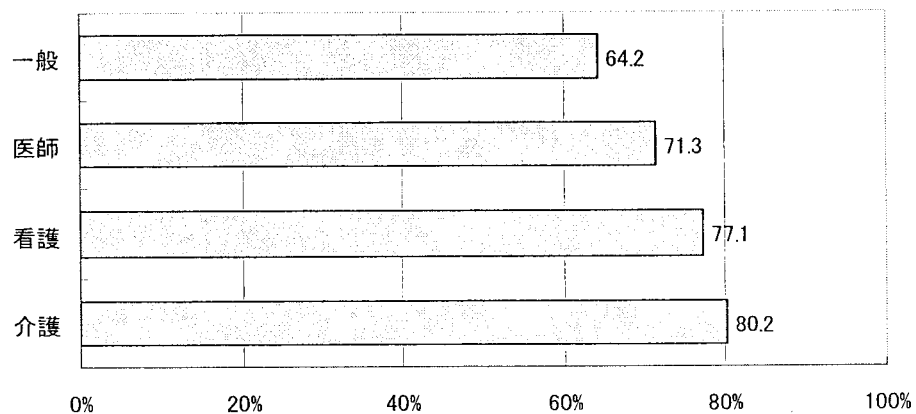
### 24時間相談にのってくれるところがない



### 介護してくれる家族がない

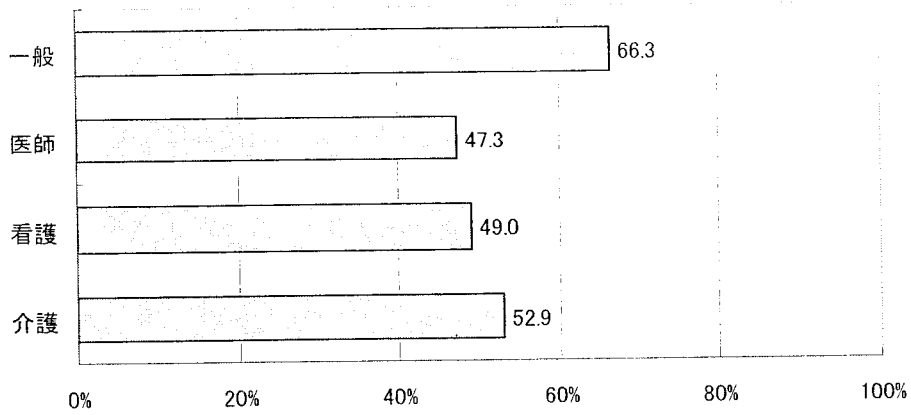


### 介護してくれる家族に負担がかかる

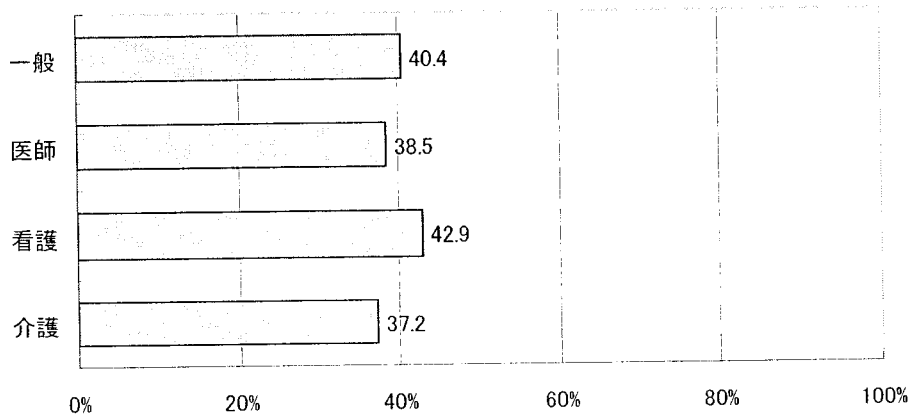




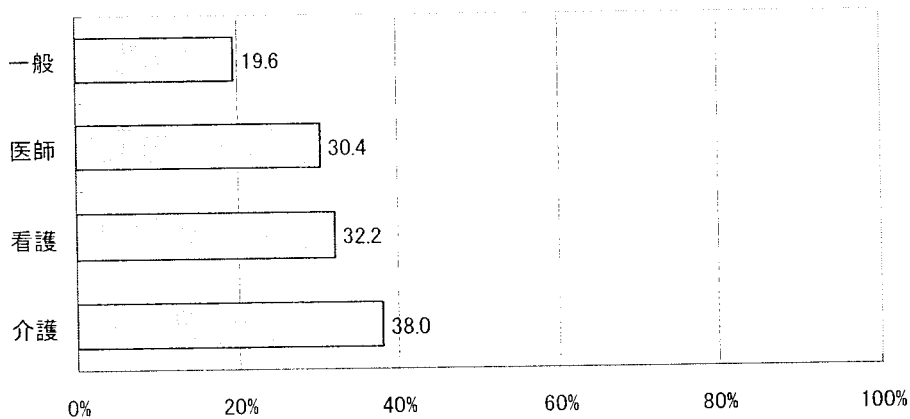
### 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安



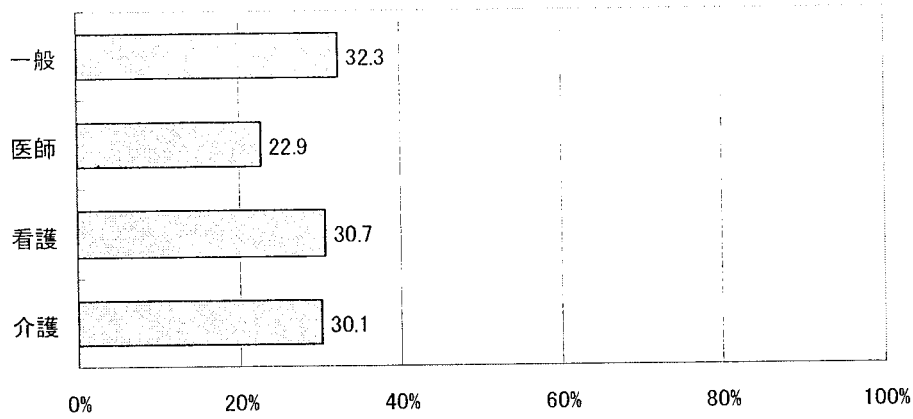
### 症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安



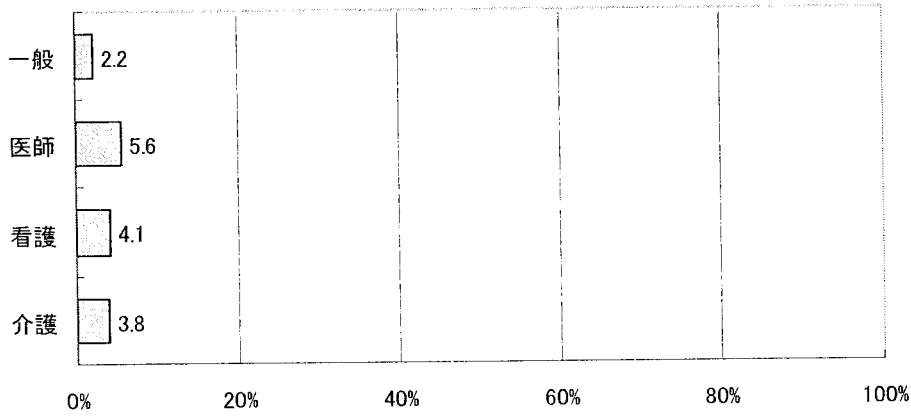
### 居住環境が整っていない



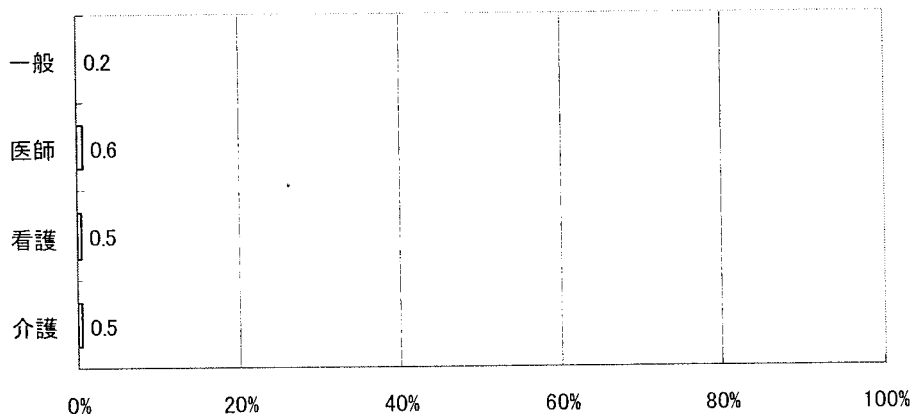
### 経済的に負担が大きい



### その他



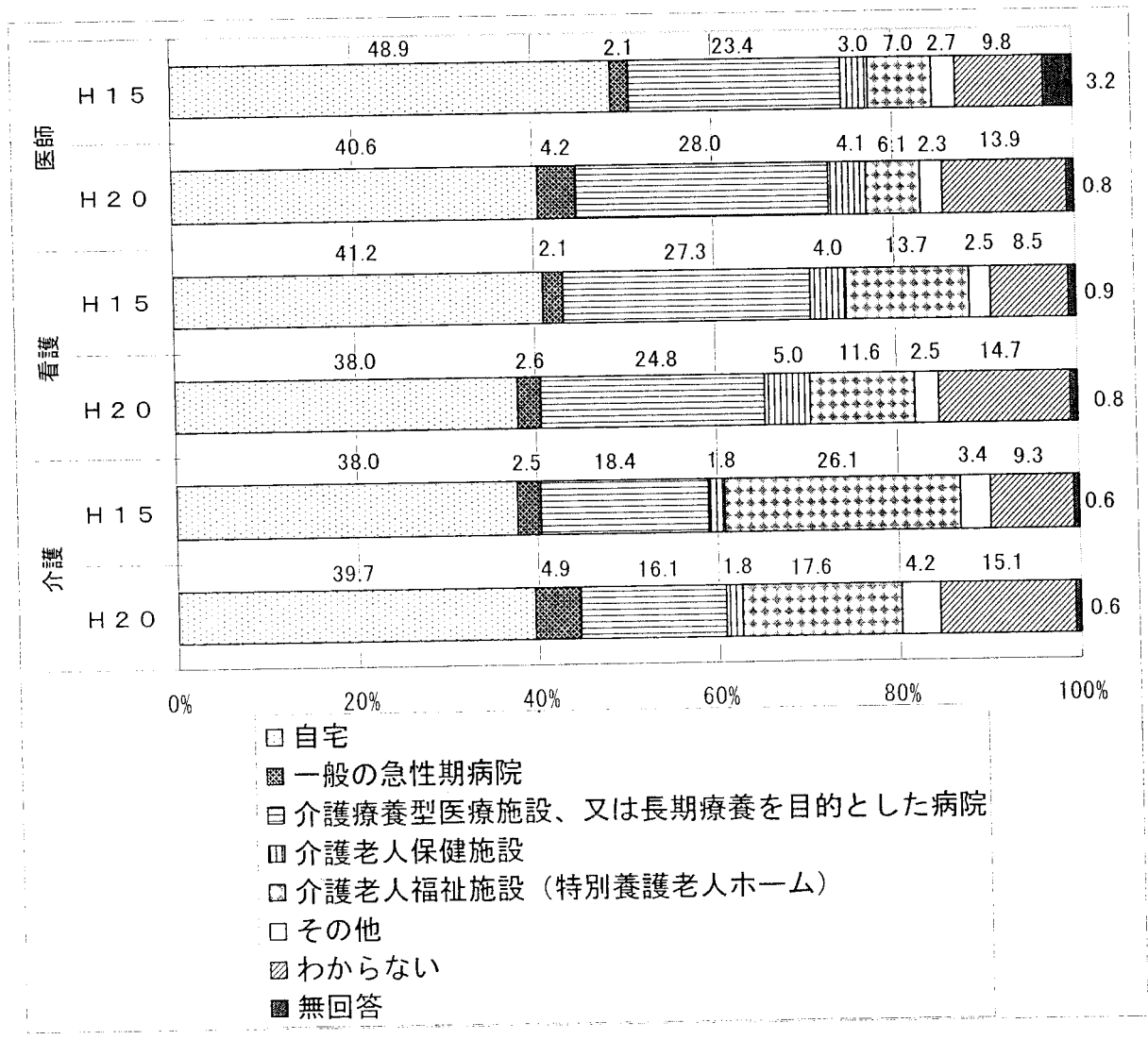
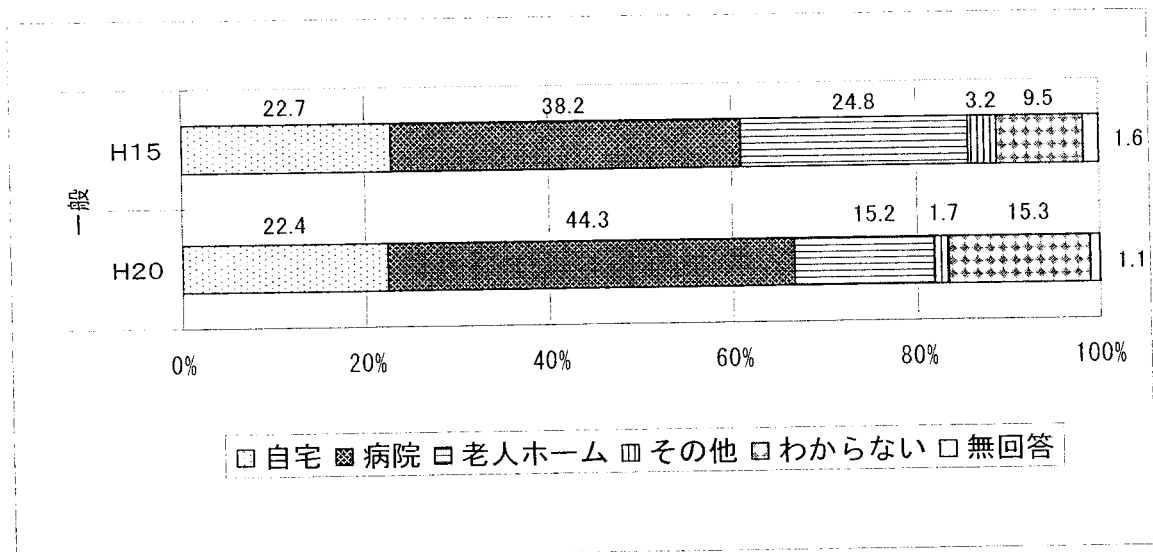
### 無回答



## 2) 脳血管障害や認知症によって全身状態が悪化した患者

【(一般) 問11, (医療従事者) 問16】

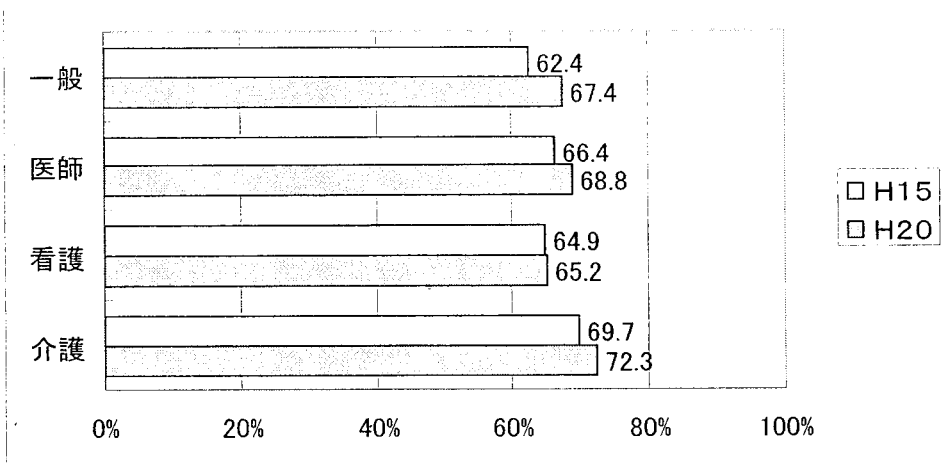
あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養したいですか。(〇は1つ)



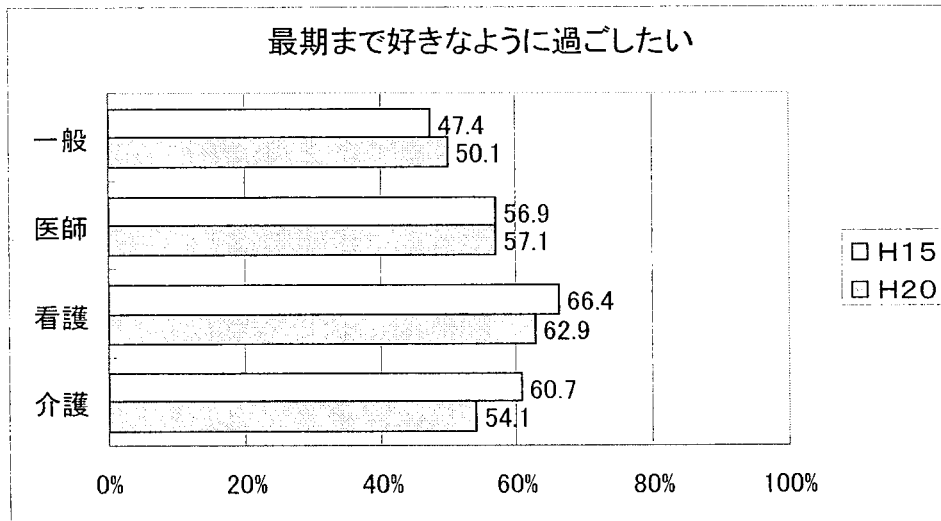
【(一般) 問11 補問1, (医療従事者) 問16 補問1】

(問11で「1 自宅」をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養したいと思いますか。

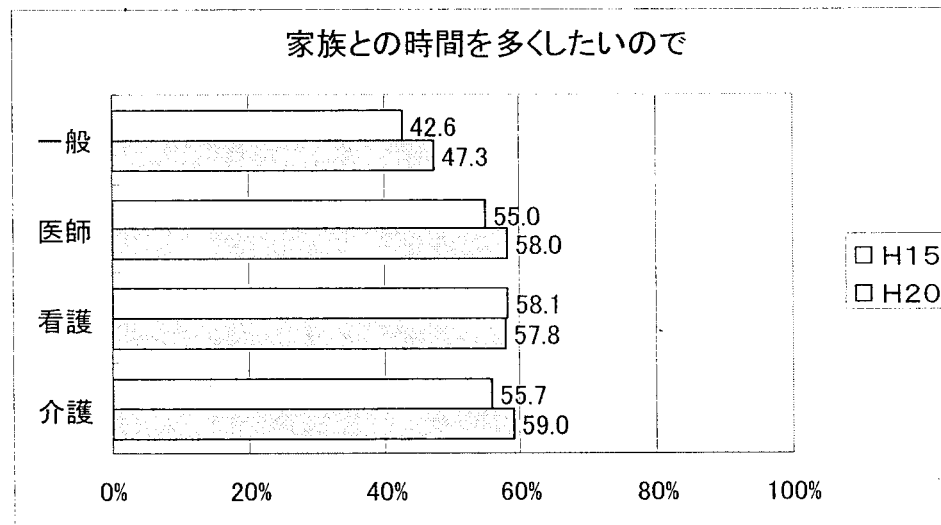
住み慣れた場所で最期を迎えたい



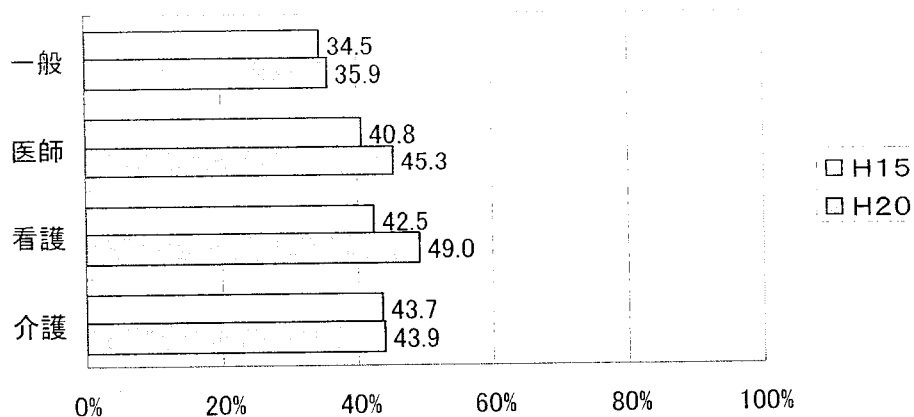
最期まで好きなように過ごしたい



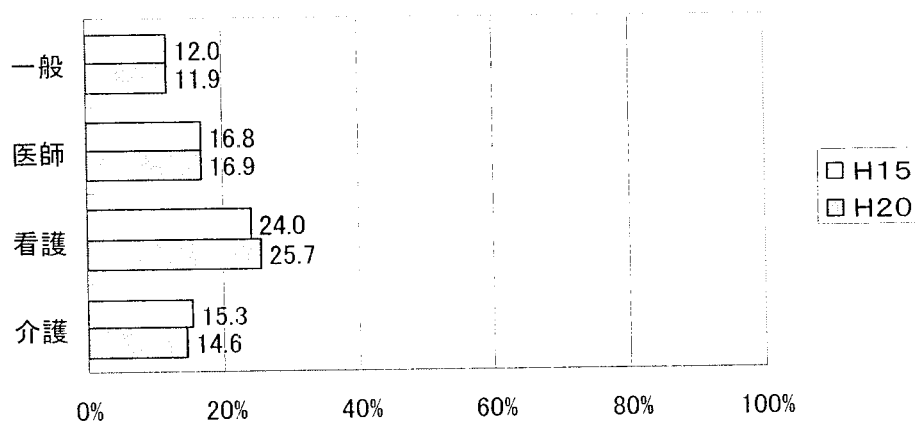
家族との時間を多くしたいので



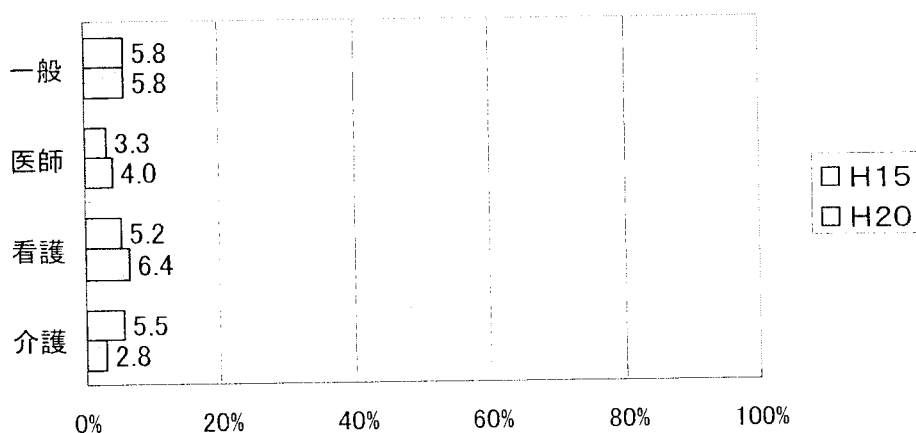
### 家族に看取られて最期を迎えたい



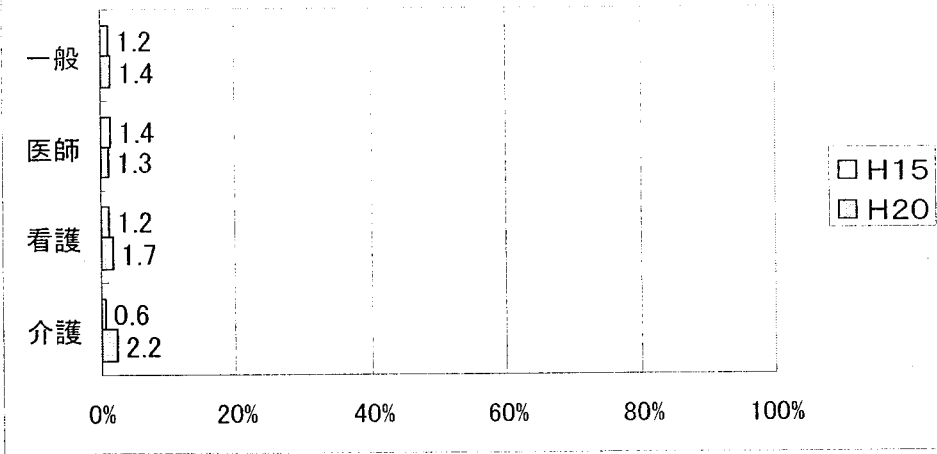
### 病院では望むような状態で死ねない



### 家族や知人が自宅で最期を迎えた

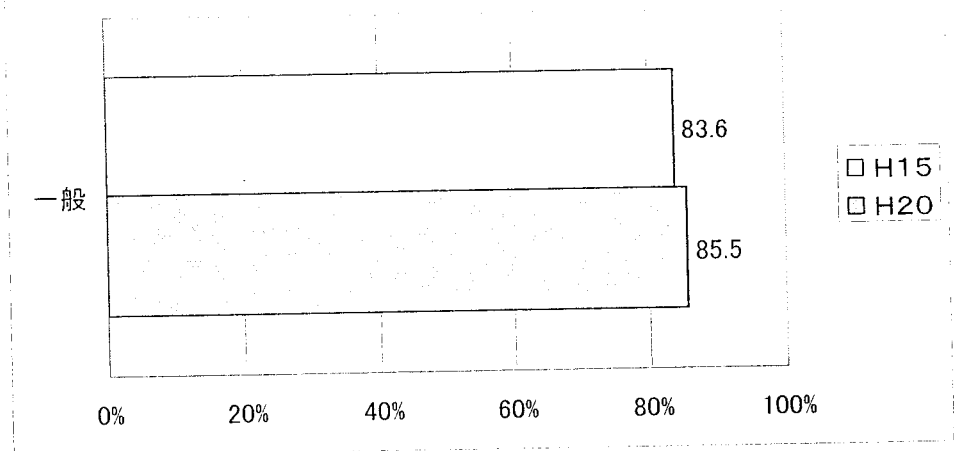


その他

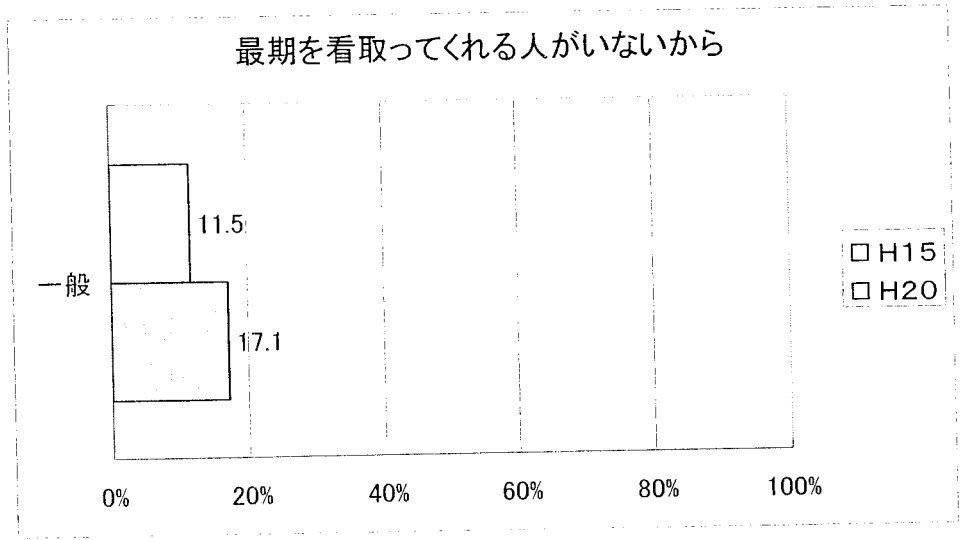


【(一般) 問 1 1 補問 2】(「2 病院」「3 老人ホーム」「4 その他」をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

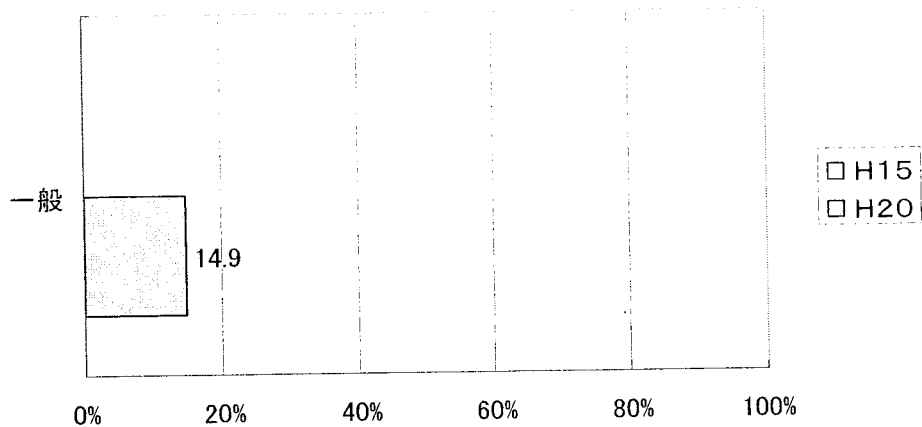
家族の介護などの負担が大きいから



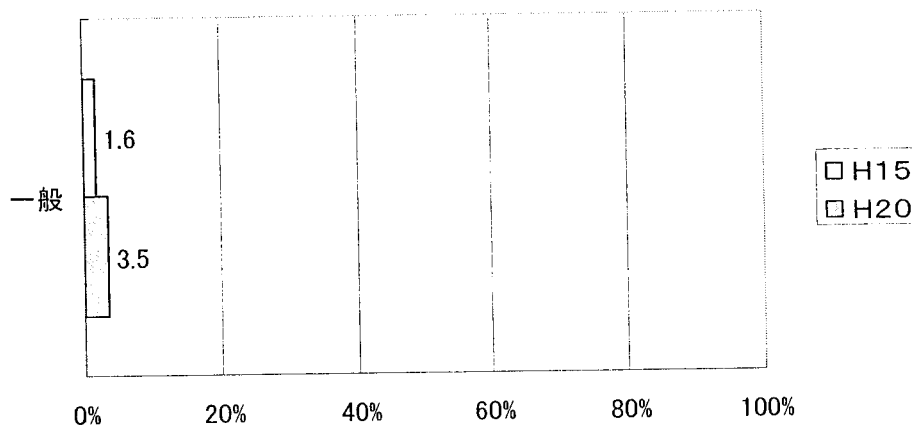
最期を看取ってくれる人がいないから



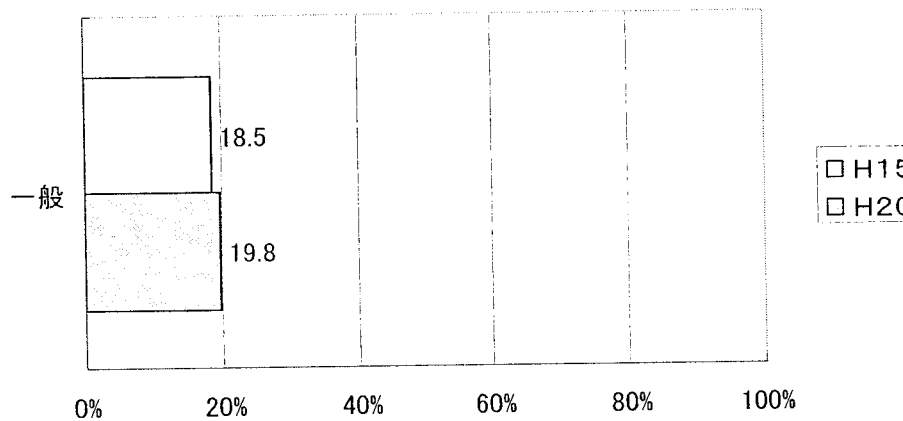
### 自宅では訪問看護体制が整っていない



### 自宅で最期を迎えるのは一般的ではないから

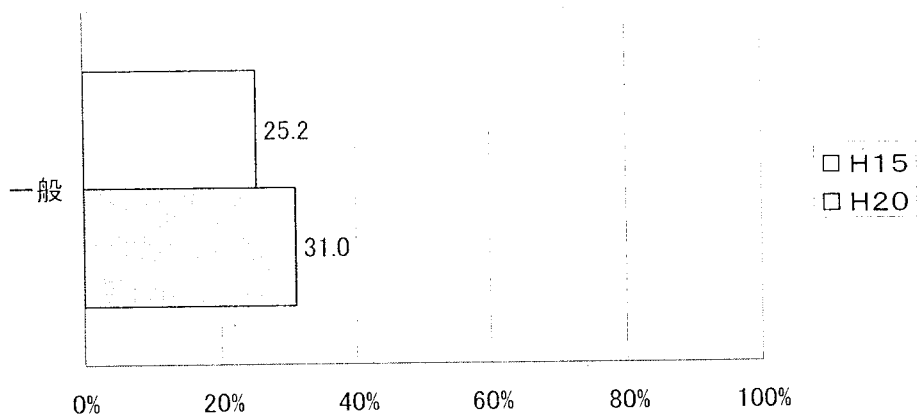


### 自宅で最期を迎えるのは経済負担が大きいから

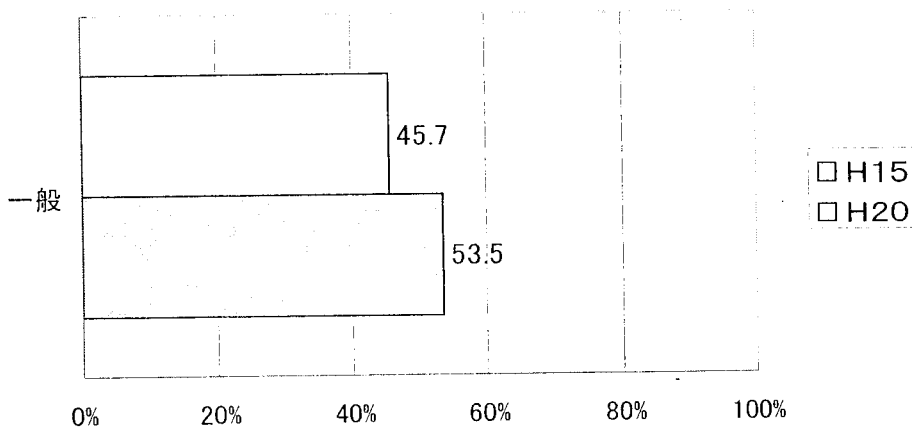




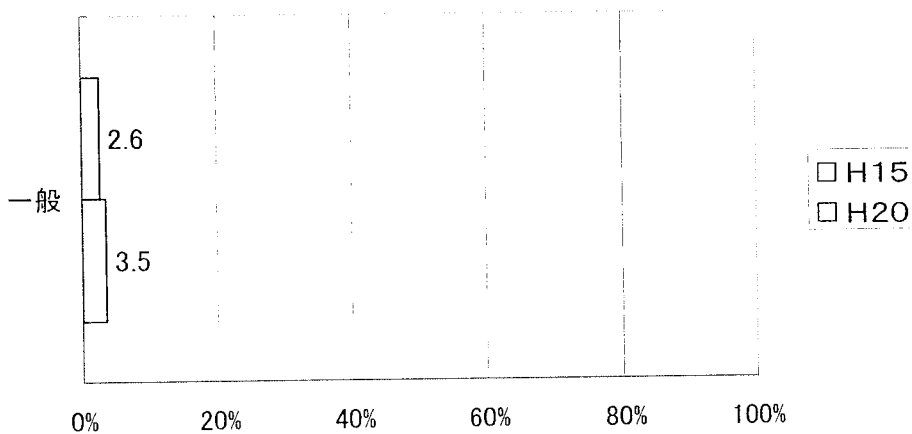
最期に痛み等に苦しむかもしれないから



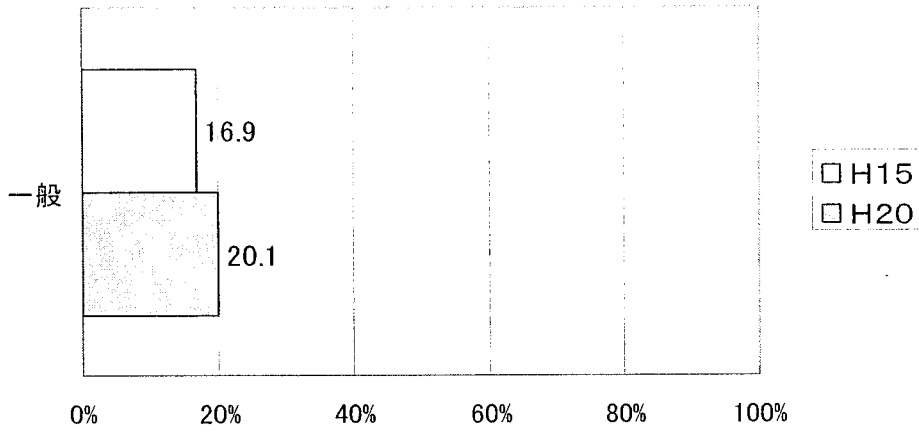
緊急時に迷惑をかけるかもしれないから



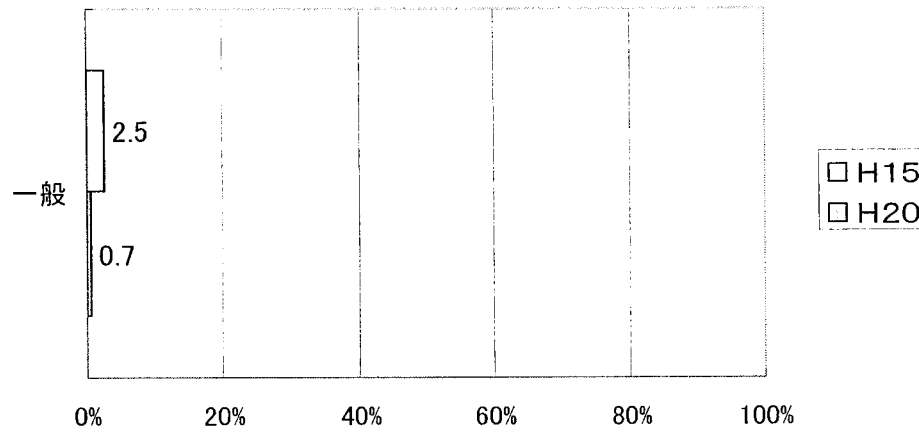
自宅療養について家族が希望しないから



今までの病院で最期までみてほしい

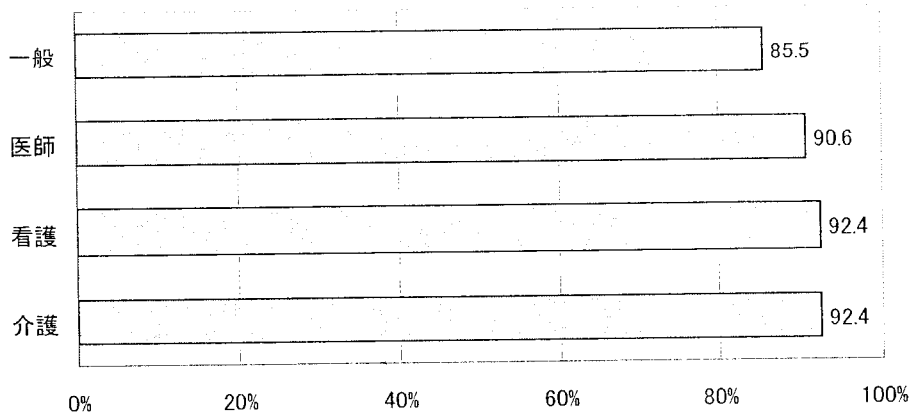


わからない

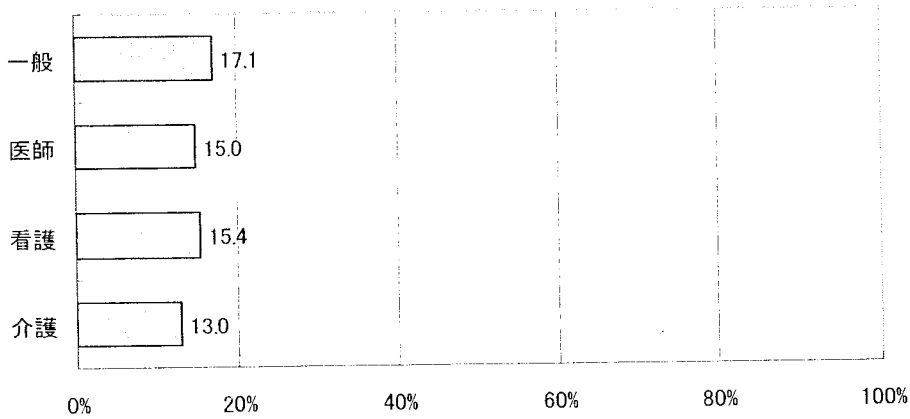


【(一般) 問1 1 補問2 (医療従事者) 問1 6 補問2】(「1 自宅」以外をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

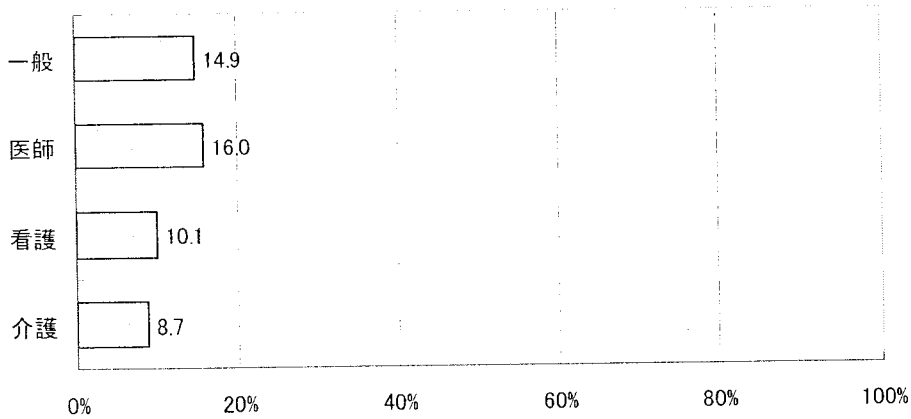
家族の介護などの負担が大きいから



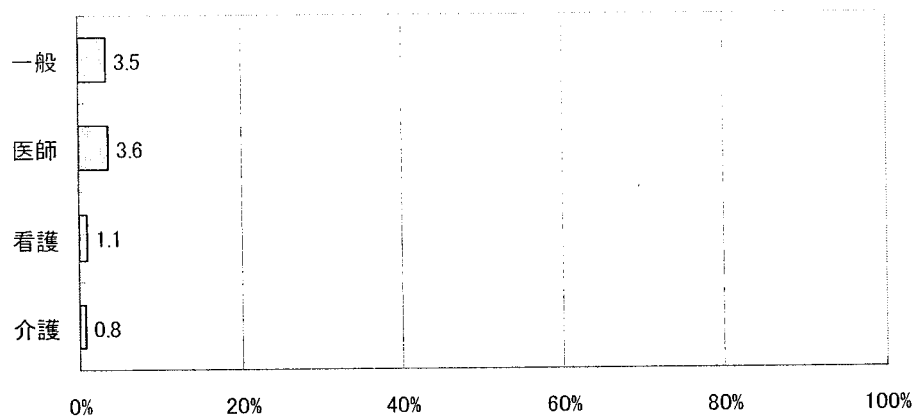
自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいない



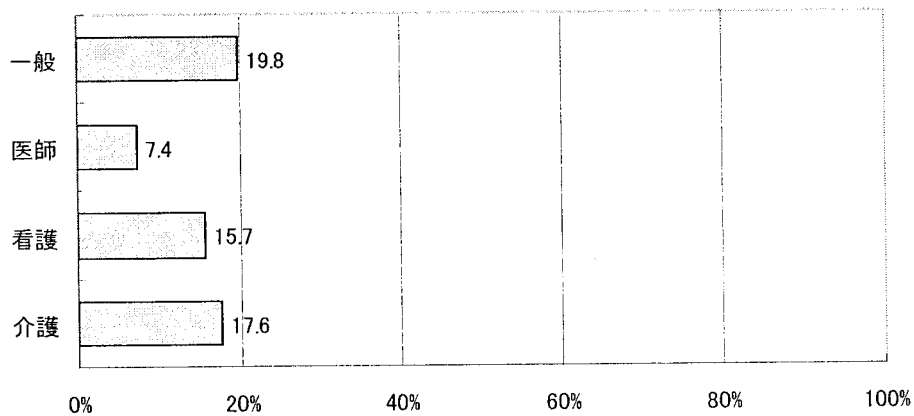
自宅では訪問看護体制が整っていないから



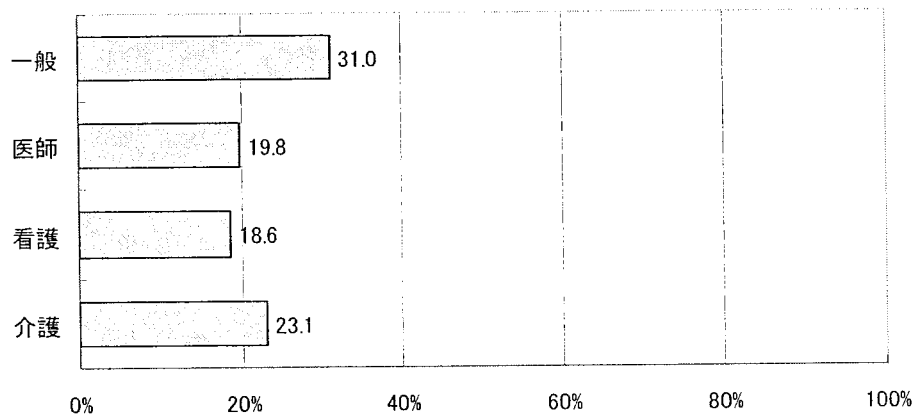
### 自宅で最後を迎えるのは一般的でないから



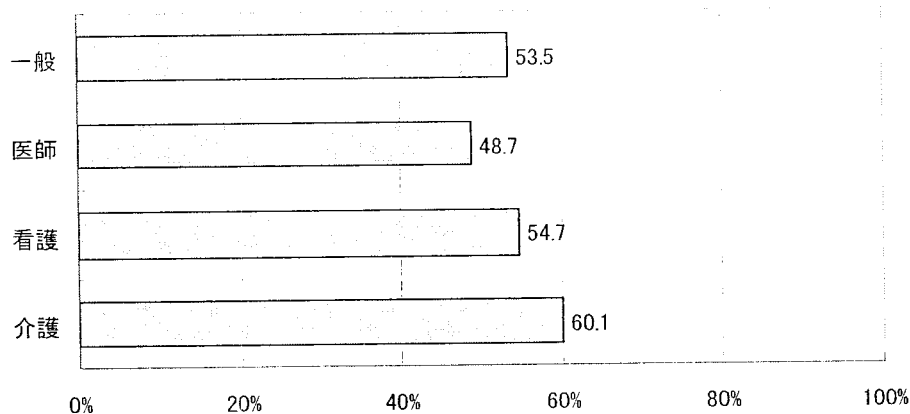
### 自宅で最後を迎えるのは経済的に負担が大きいから



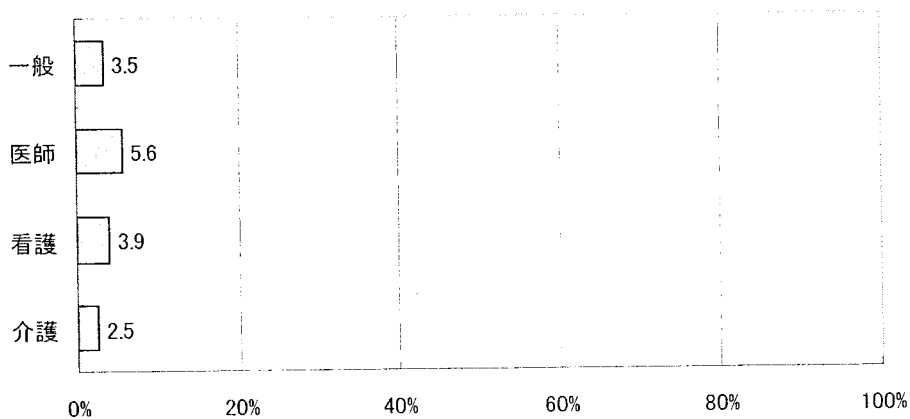
### 自宅では最期に痛み等に苦しむかもしれないから



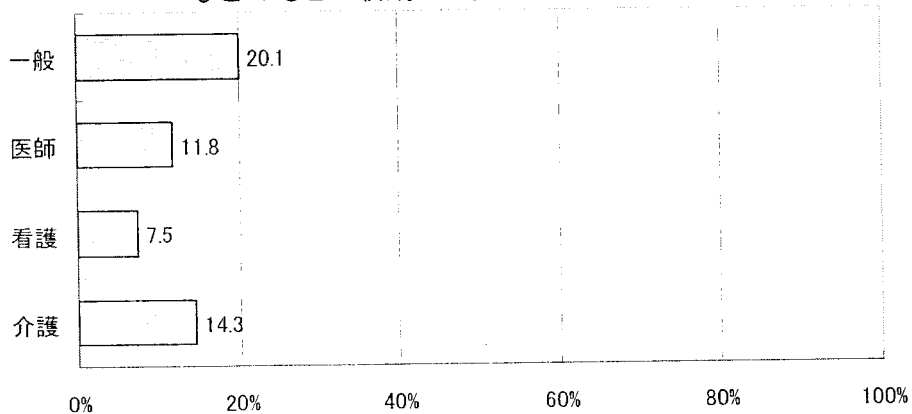
自宅では緊急時に家族に迷惑をかけるかもしれないから



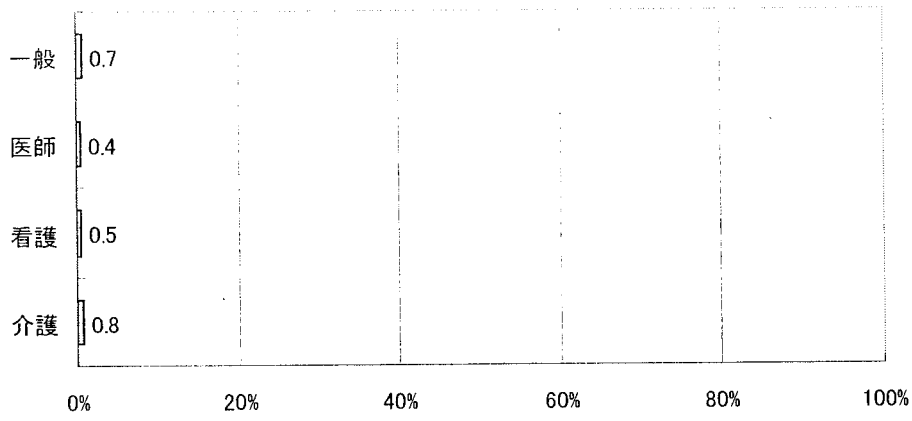
自宅での療養について、家族が希望しないから



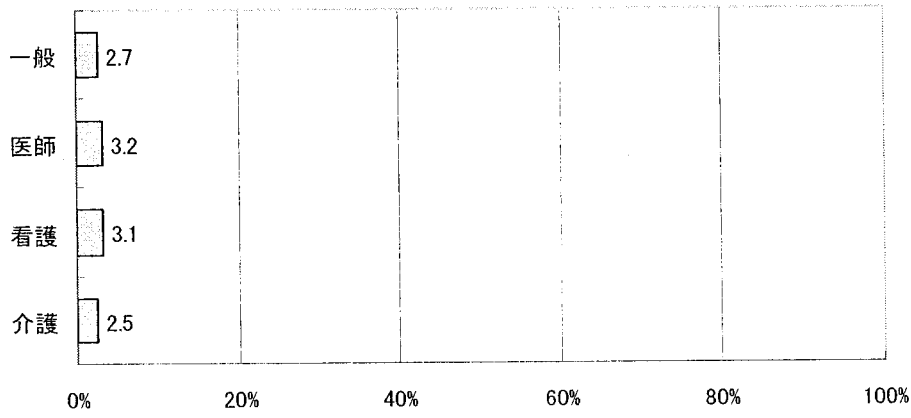
それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員  
などのもとで最期まで見てほしいから



### わからない

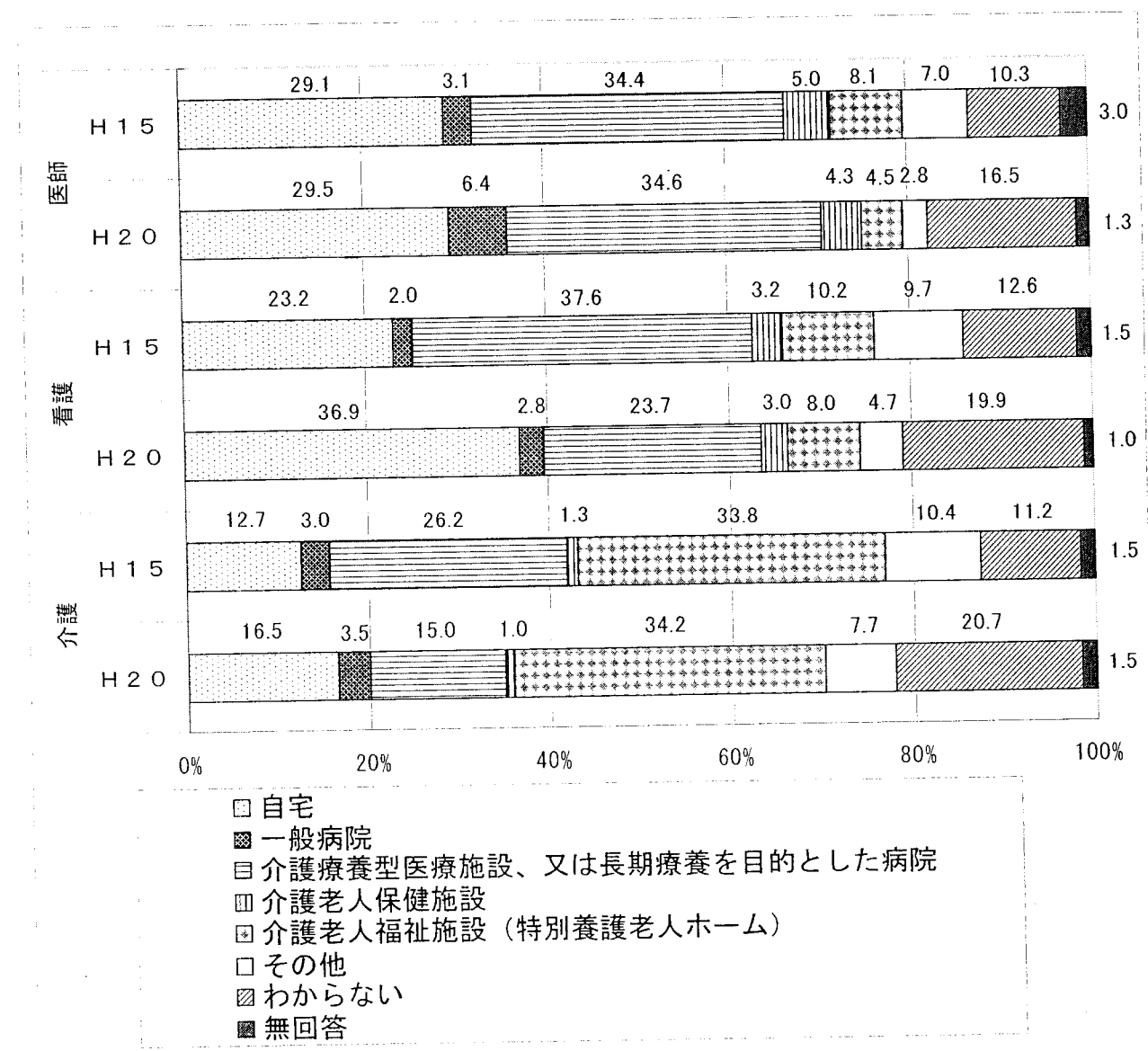
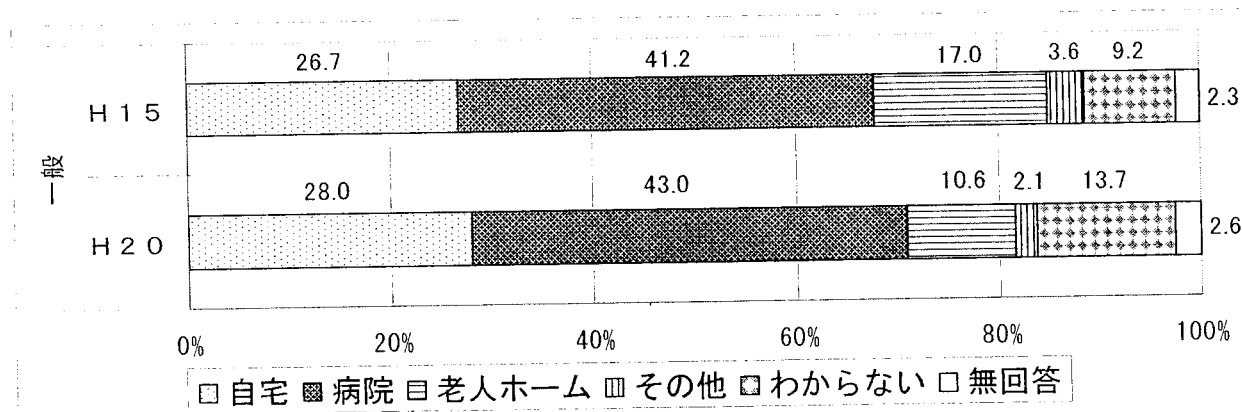


### 無回答



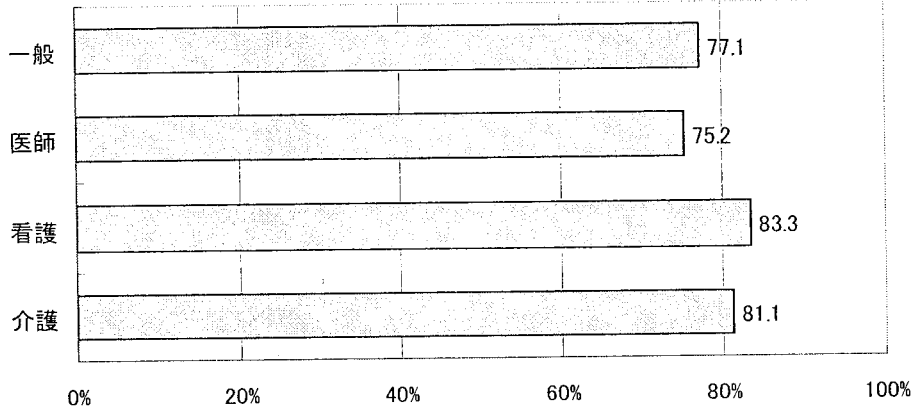
【(一般) 問13】あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(〇は1つ)

【(医療従事者) 問19】あなたの担当する患者(入所者)が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(〇は1つ)

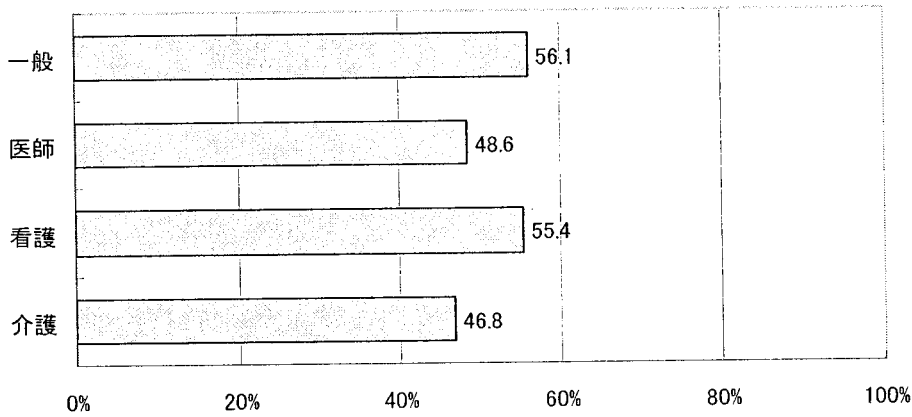


【(一般) 問13補問1 (医療従事者) 問19補問1】 (問13、19で「1自宅」をお選びの方へ)  
 なぜ、自宅で最期まで療養させたいと思いますか。(〇はいくつでも)

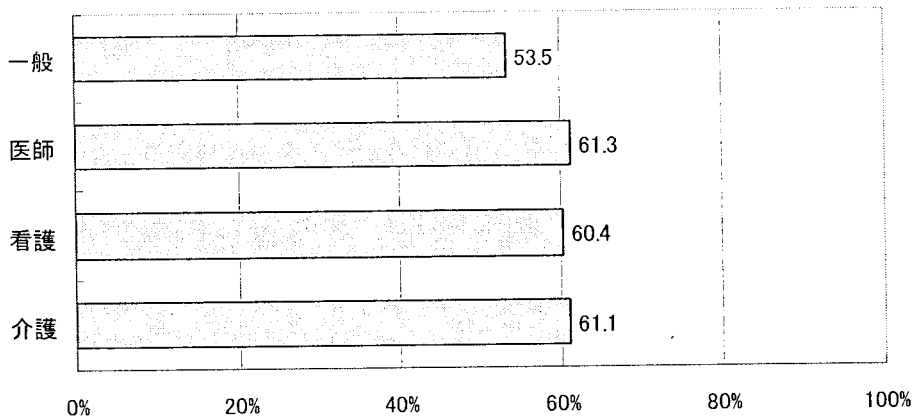
住み慣れた場所で最期を迎えさせたいので



最期まで自分の好きなように過ごさせたいので

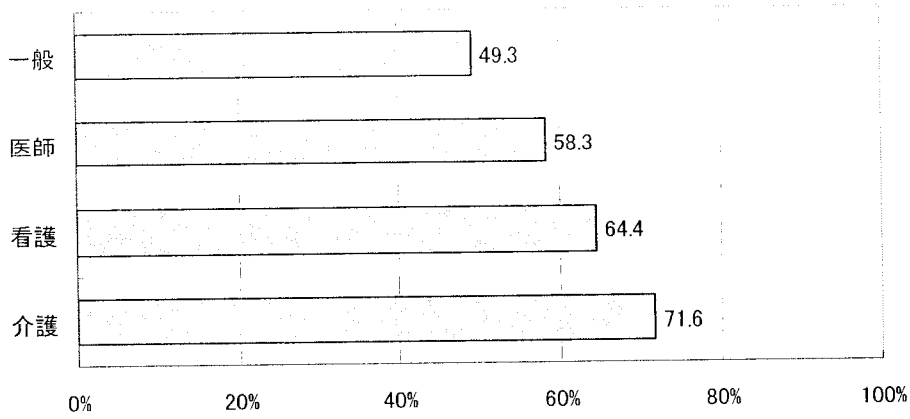


家族との時間を多くしたいので

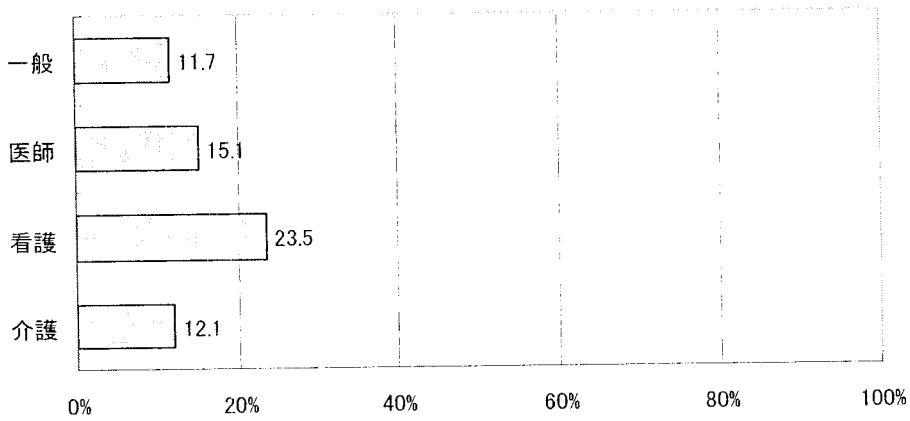




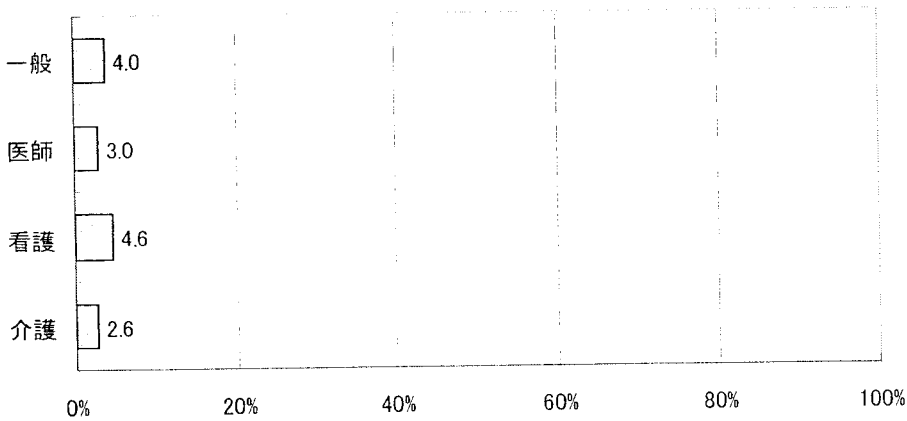
家族に看取られて最期を迎えさせたいので



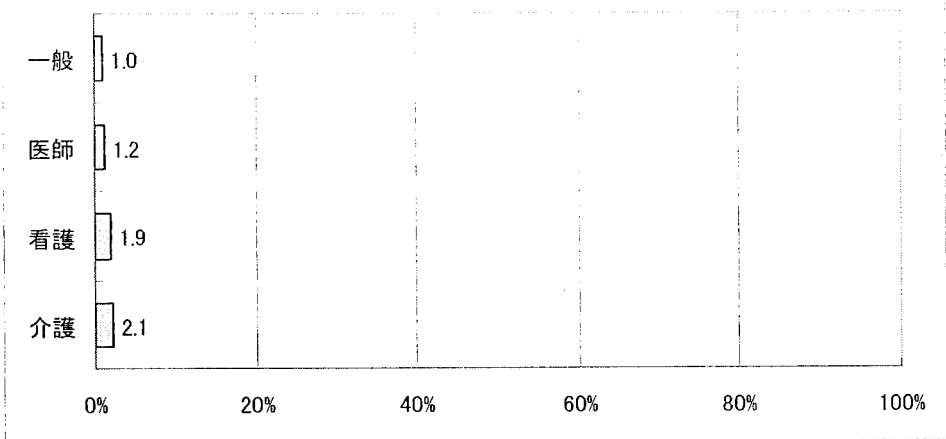
病院では本人の望むように最期を迎えられないので



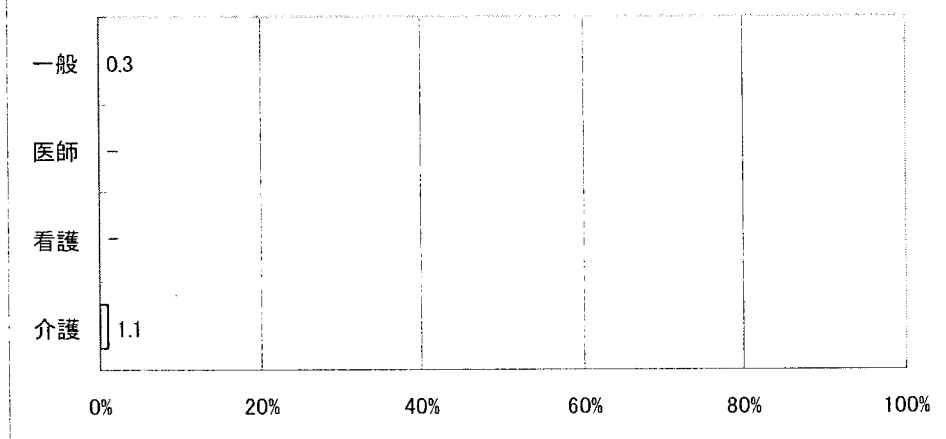
他の家族や知人が自宅で最期を迎えていたので



### その他

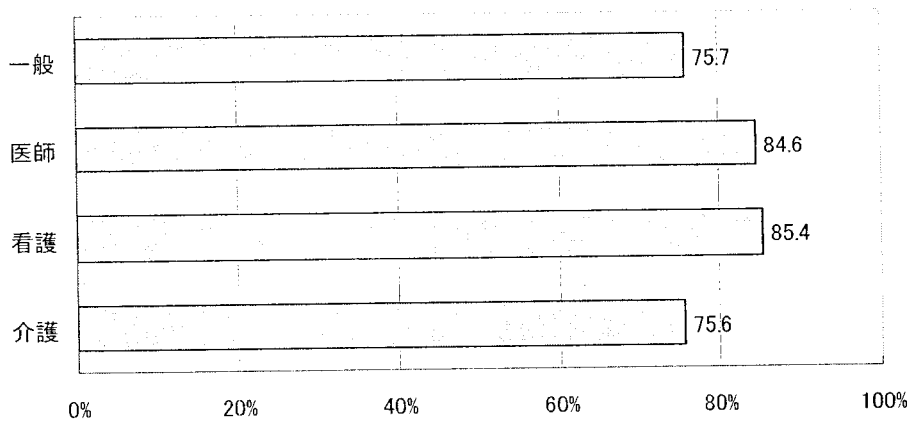


### 無回答

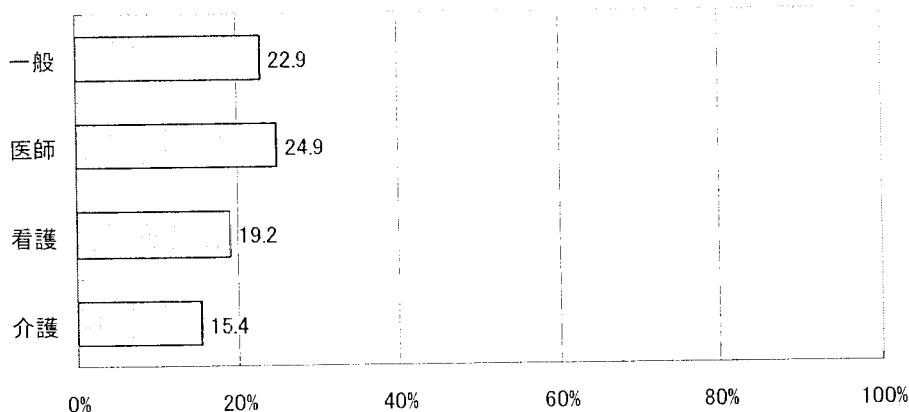


【(一般) 問13補問2 (医療従事者) 問19補問2】 (問13、19で「2 一般病院 3 介護療養型医療施設 4 介護老人保健施設」をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養させたいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

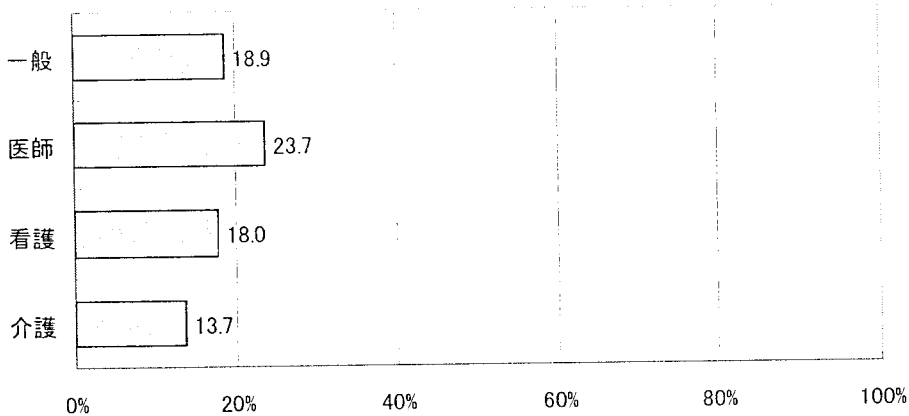
自宅では家族の介護などの負担が大きいため



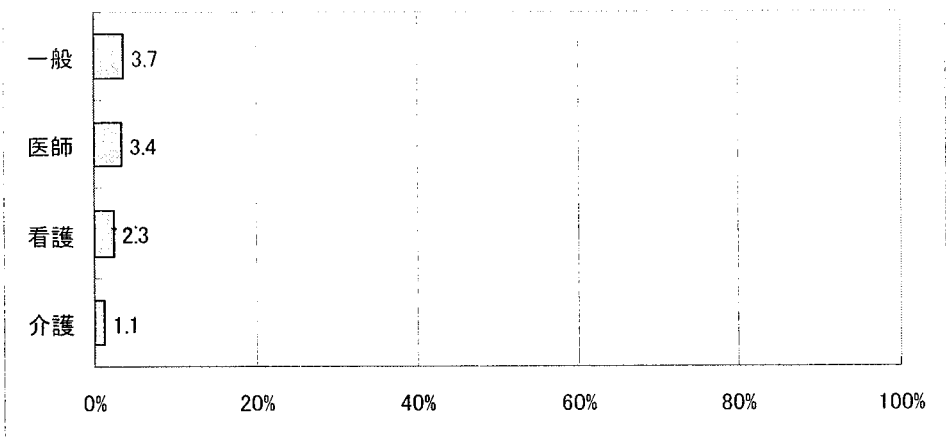
自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいない



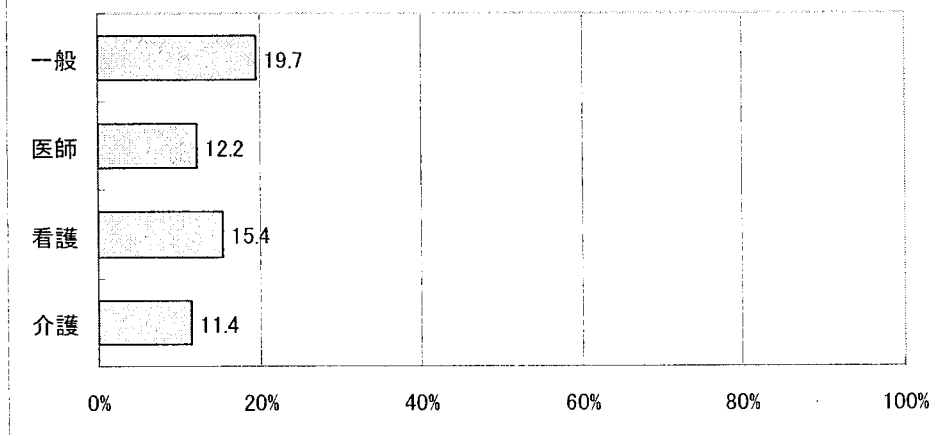
訪問看護(介護)体制が整っていないから



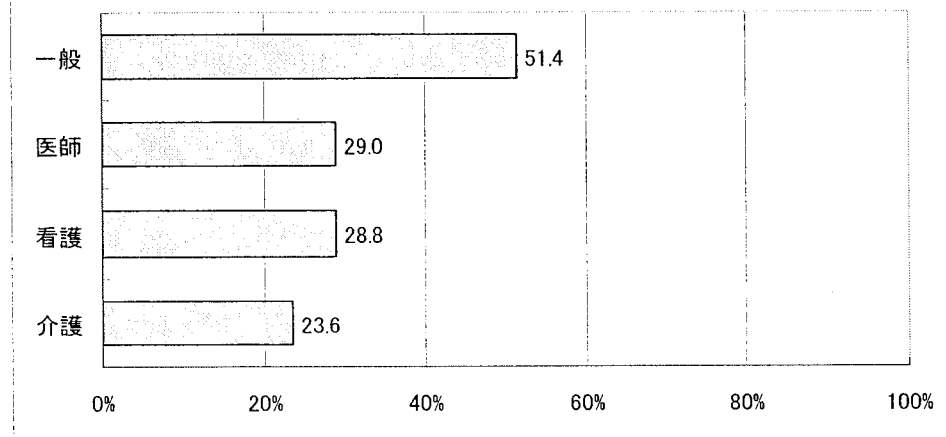
### 自宅で最期を迎えるのは、一般的でないため



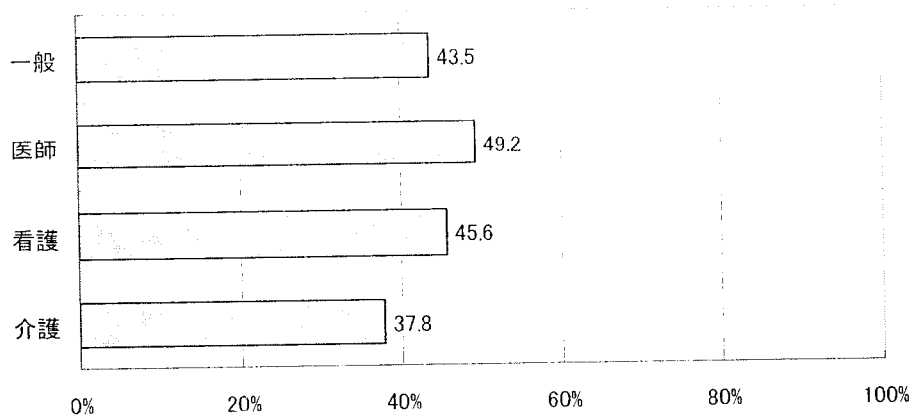
### 自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいから



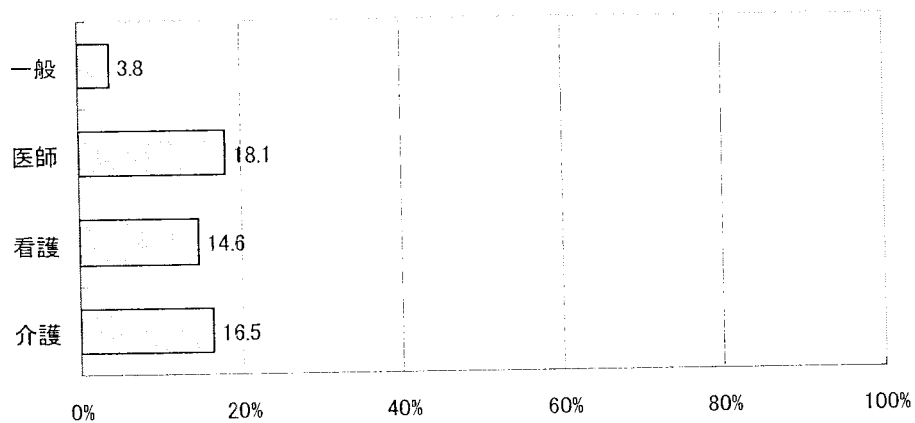
### 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから



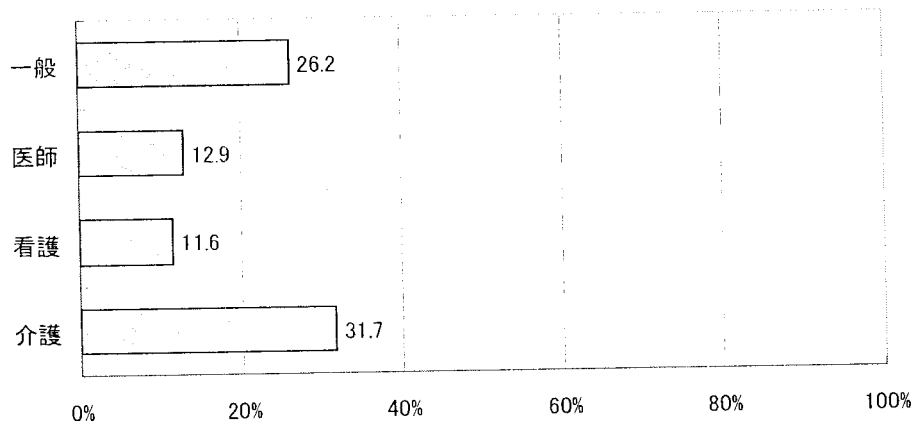
自宅では、緊急時に家族が大変になるかもしれないから



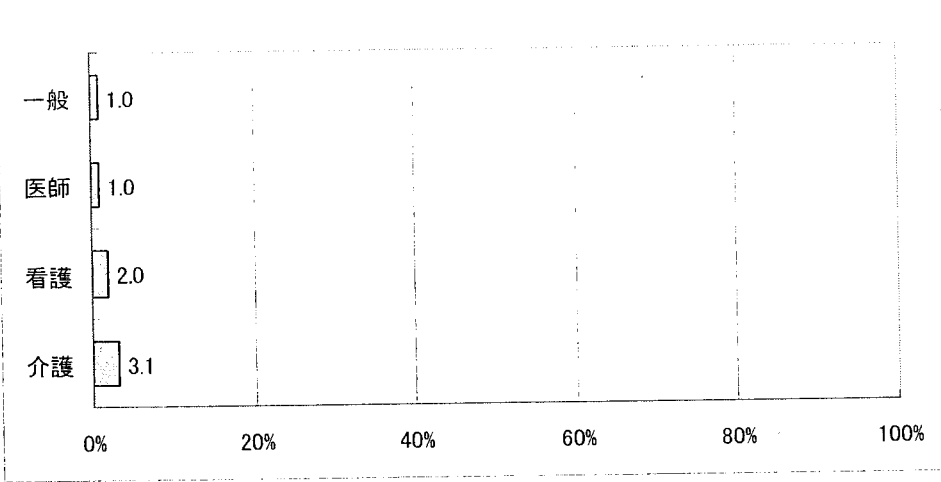
自宅での療養について、家族として希望しないから



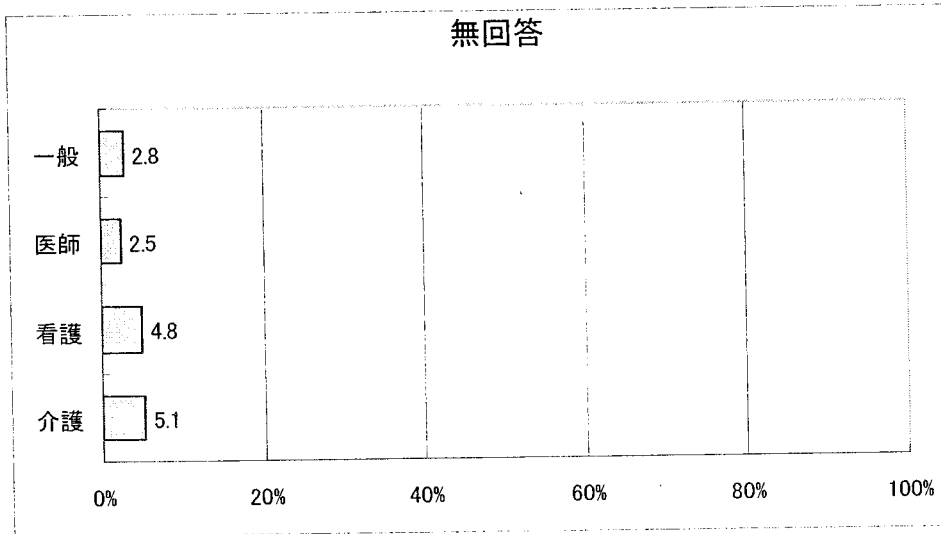
それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員  
などのもとで最期までみてほしいから



わからない



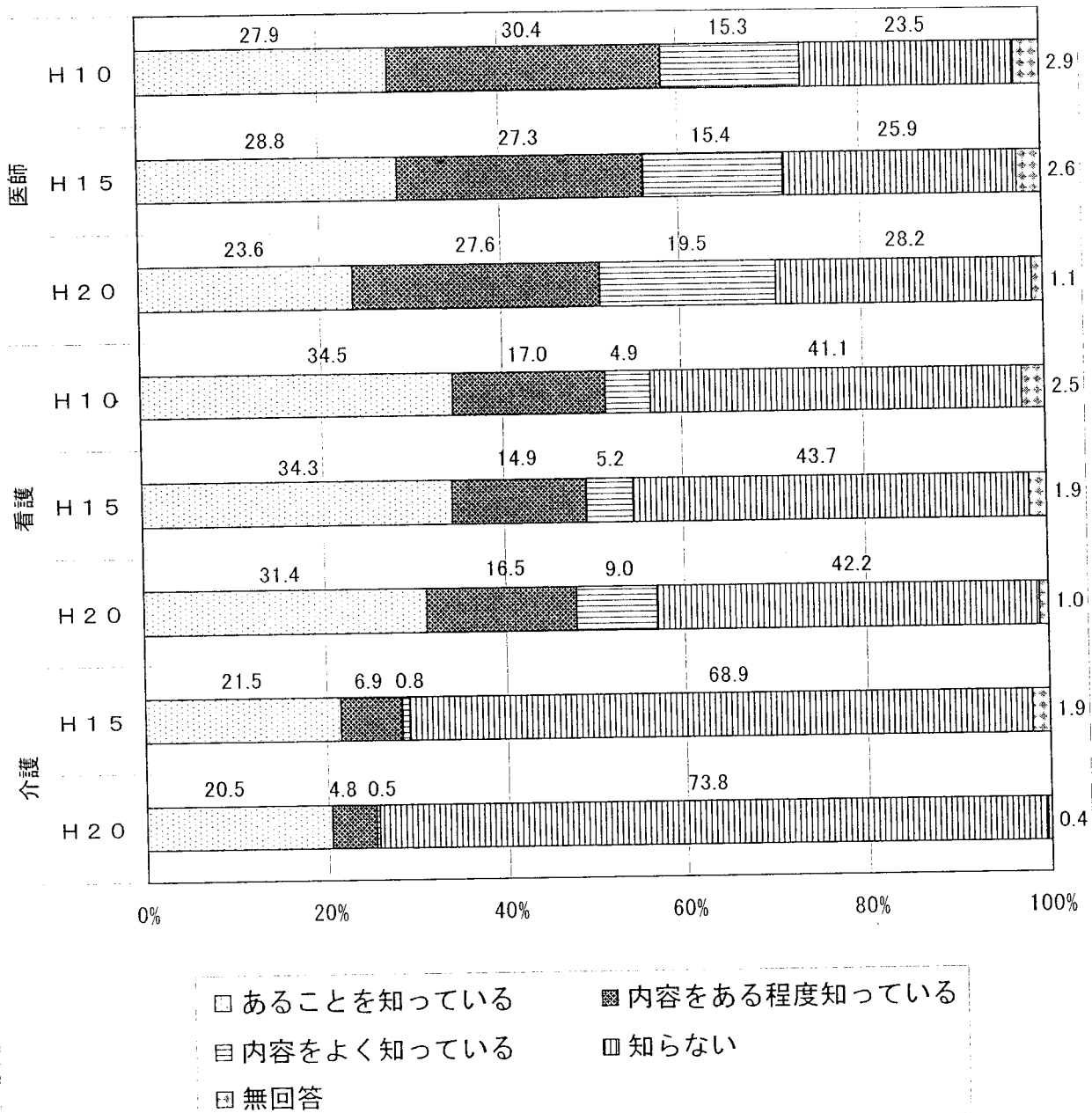
無回答



# (10) がん疼痛治療法とその説明

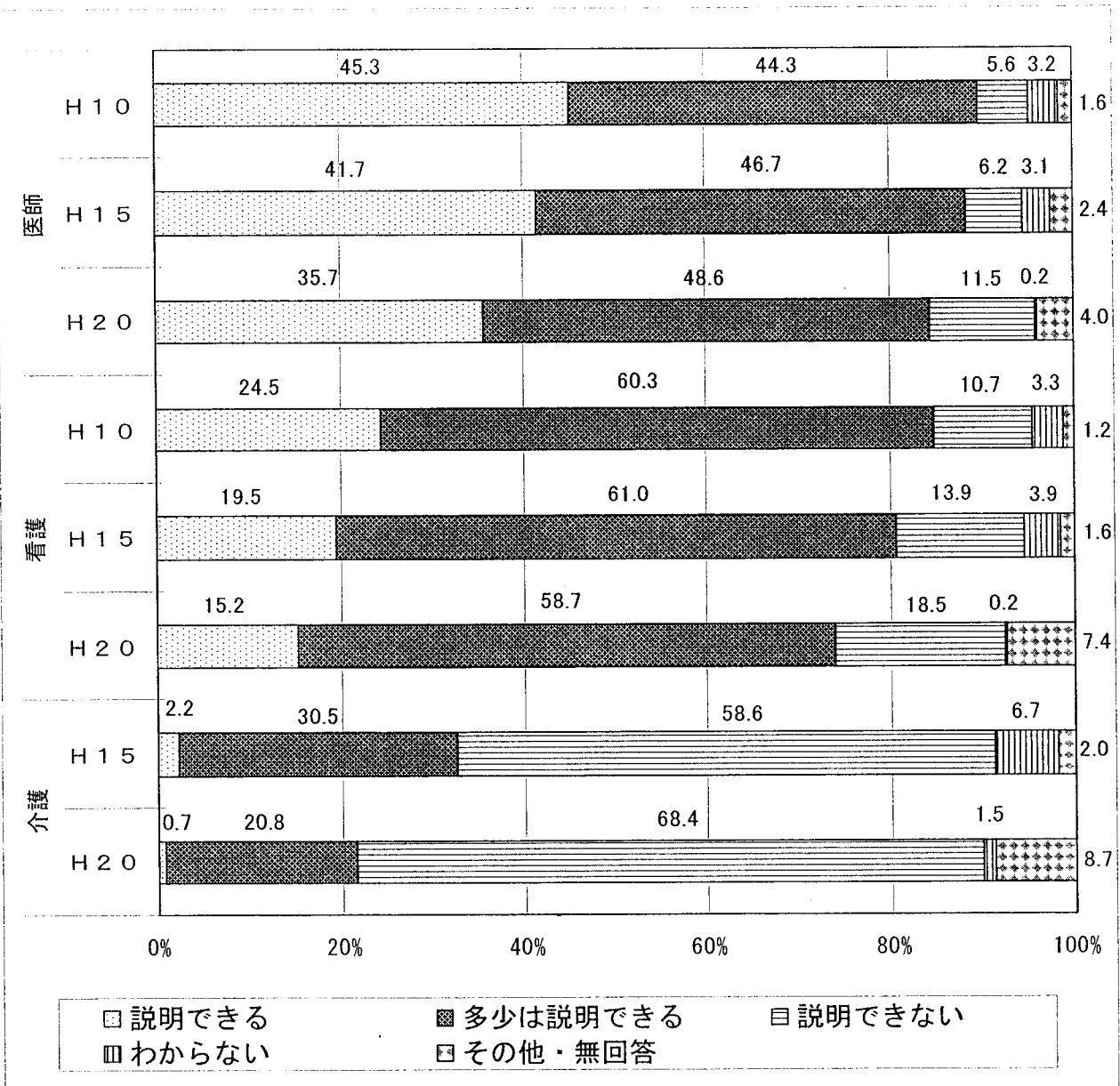
【(医療従事者) 問11-1】

あなたは世界保健機関 (WHO) が作成した「WHO方式癌疼痛治療法」をご存じですか。(〇は1つ)



【(医療従事者) 問11-2】

あなたは、モルヒネの使用にあたって、有効性と副作用について、患者（入所者）にわかりやすく具体的に説明することができますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）



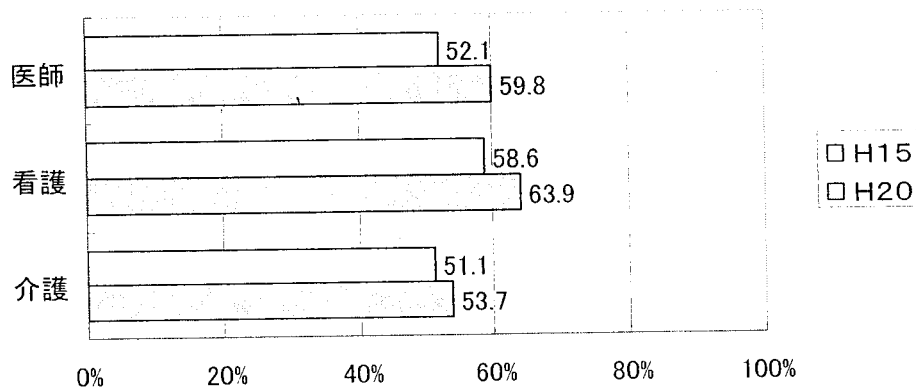


## (11) 終末期医療体制の充実

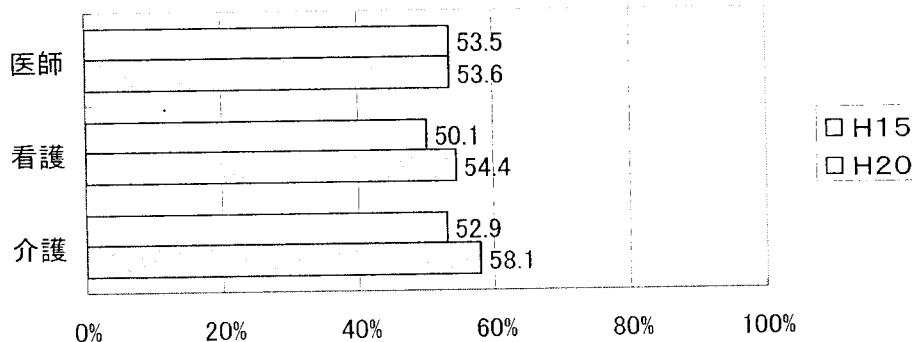
【(医療従事者) 問27】

あなたは、終末期医療の普及に関し、どのようなことを充実していくべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

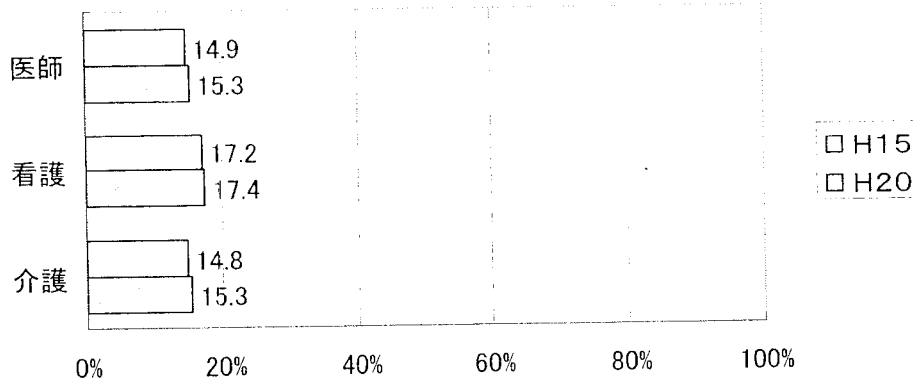
### 終末期医療従事者数の確保



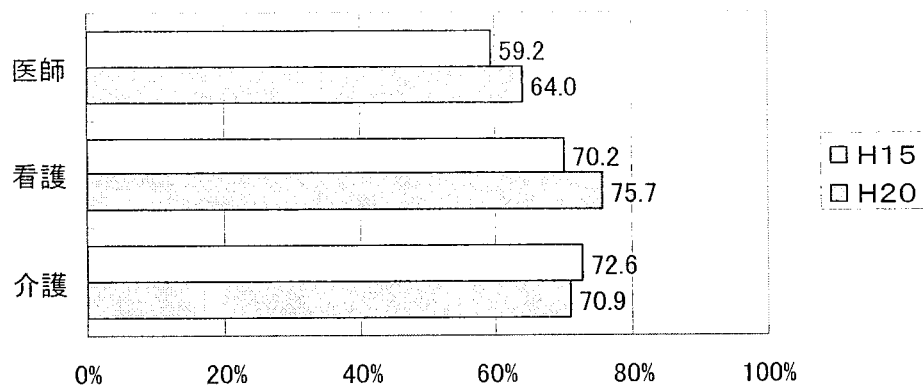
### 医療従事者や介護施設職員に対する教育、研修の充実



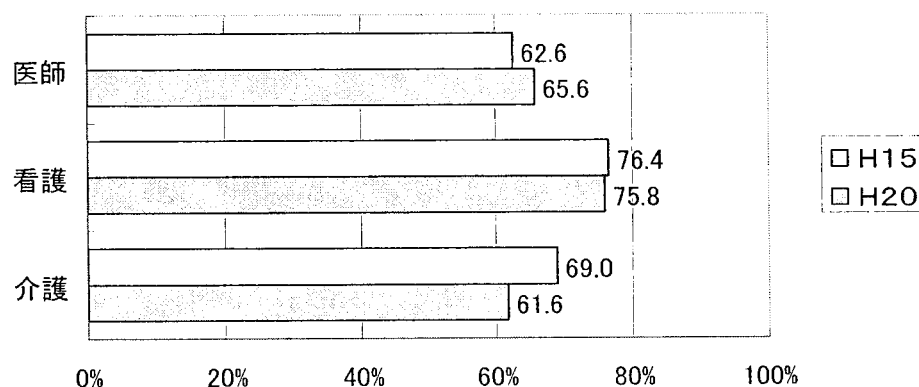
### 研究活動の推進



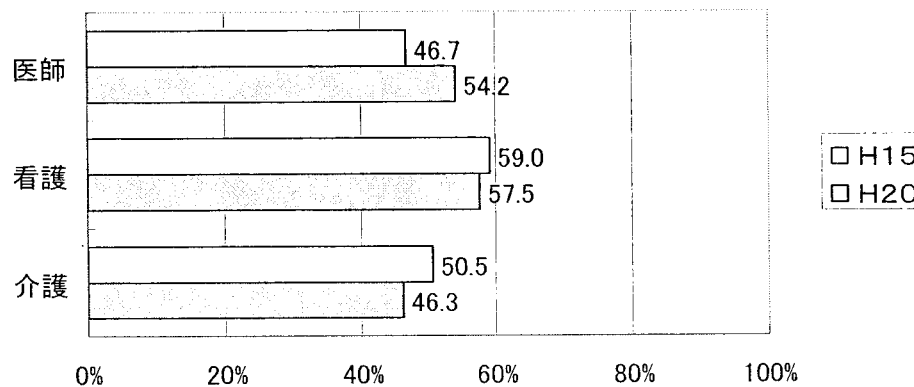
### 患者・入所者、家族への相談体制の充実



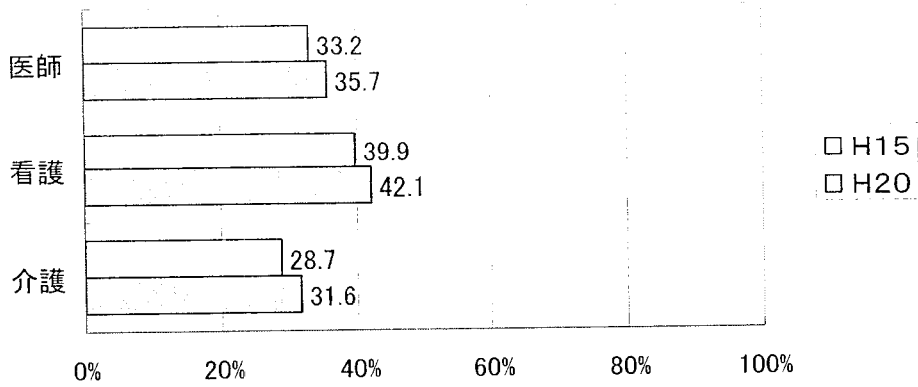
### 在宅終末期医療が行える体制づくり



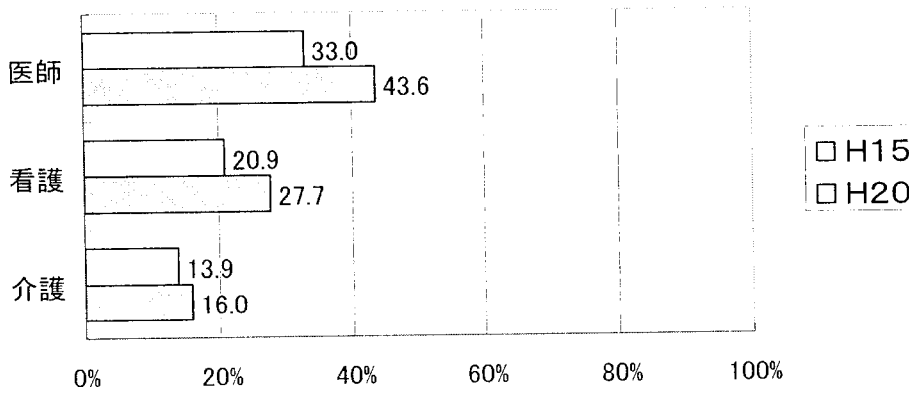
### 緩和ケア病棟の設置と拡充



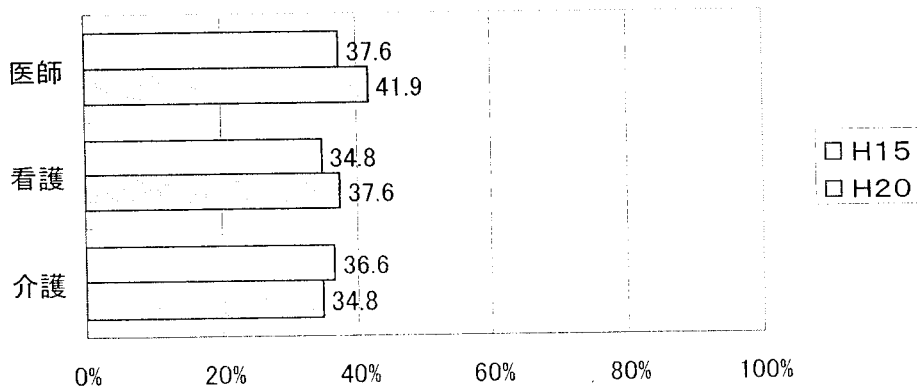
一般病棟での終末期医療が行えるの体制づくり



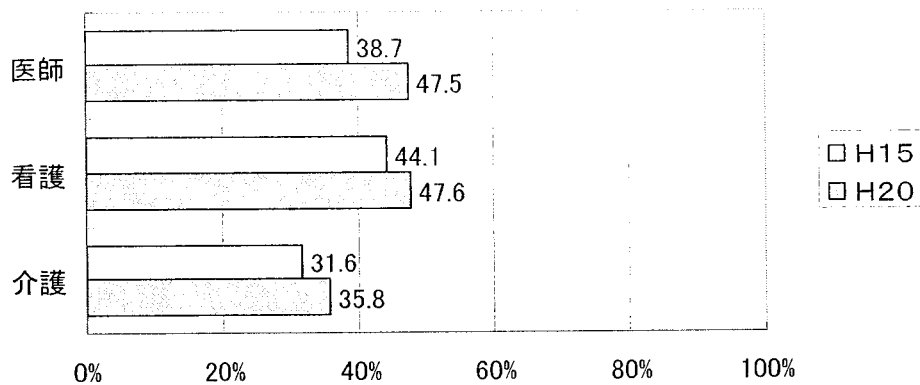
一般市民に対する教育活動



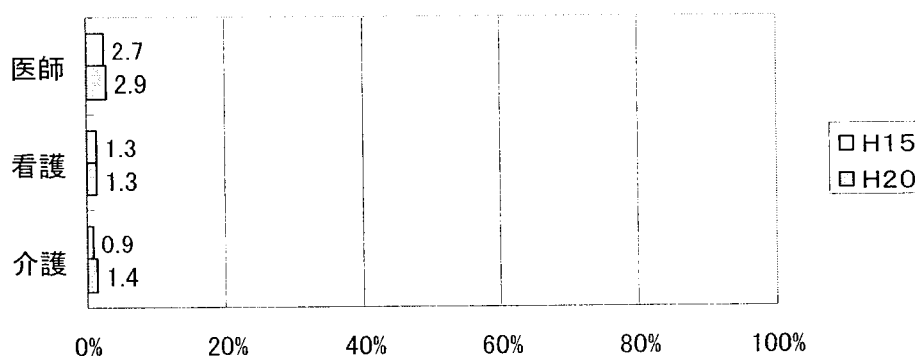
意思表示の事前文書などの法的整備



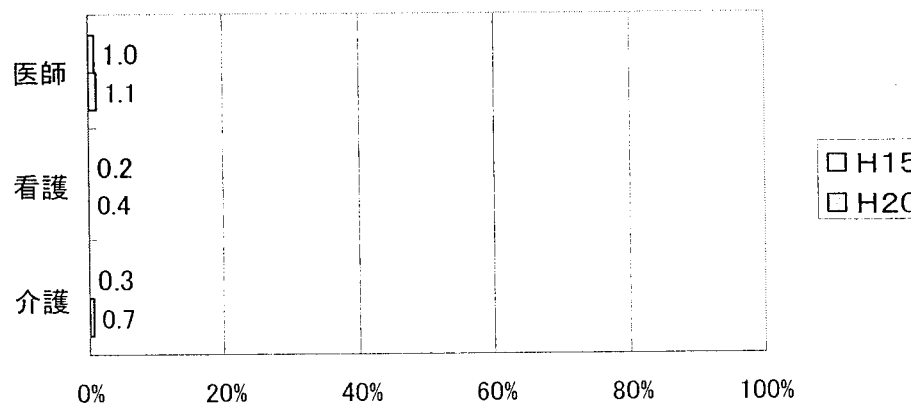
### 終末期医療への経済的評価



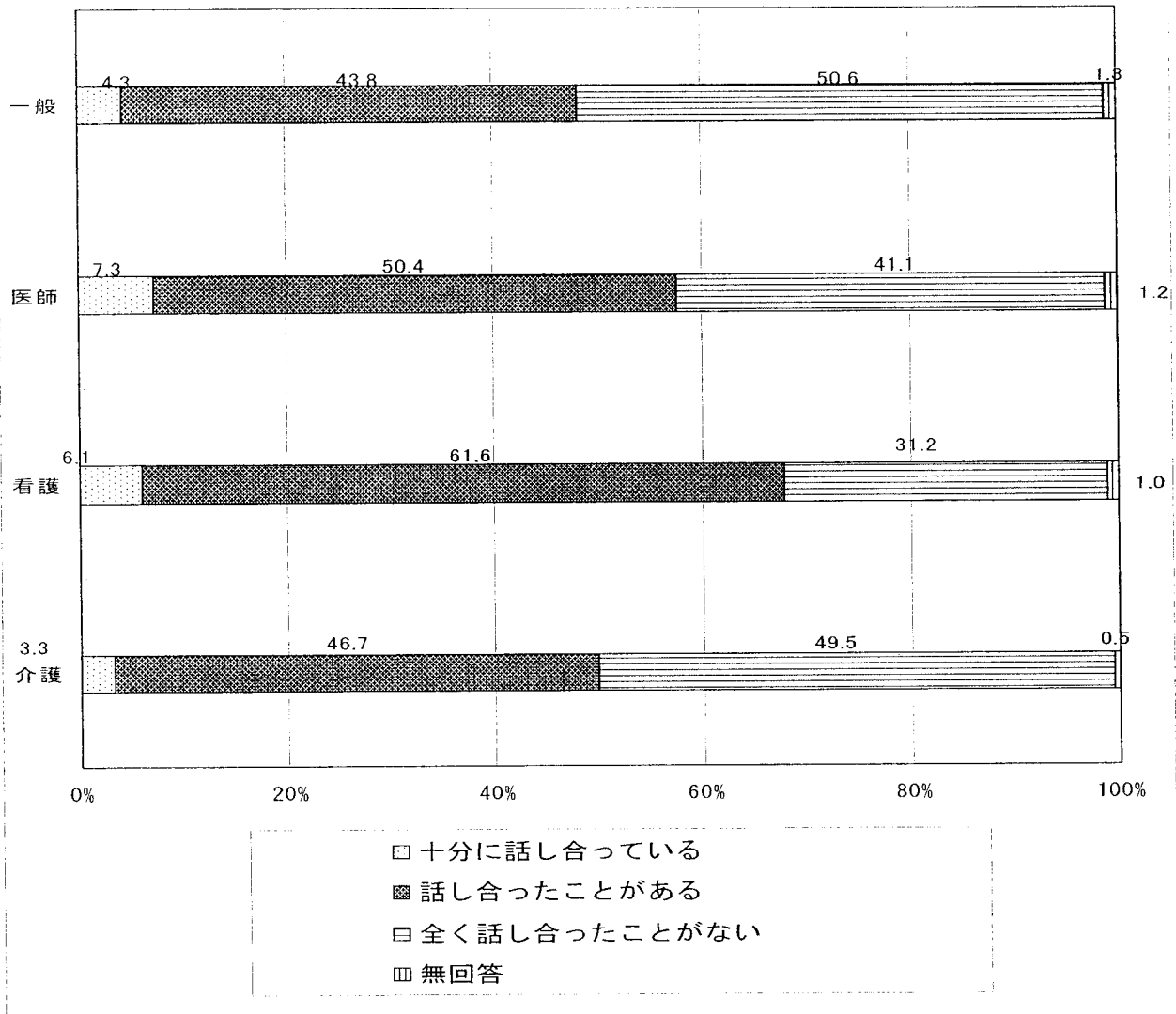
### その他



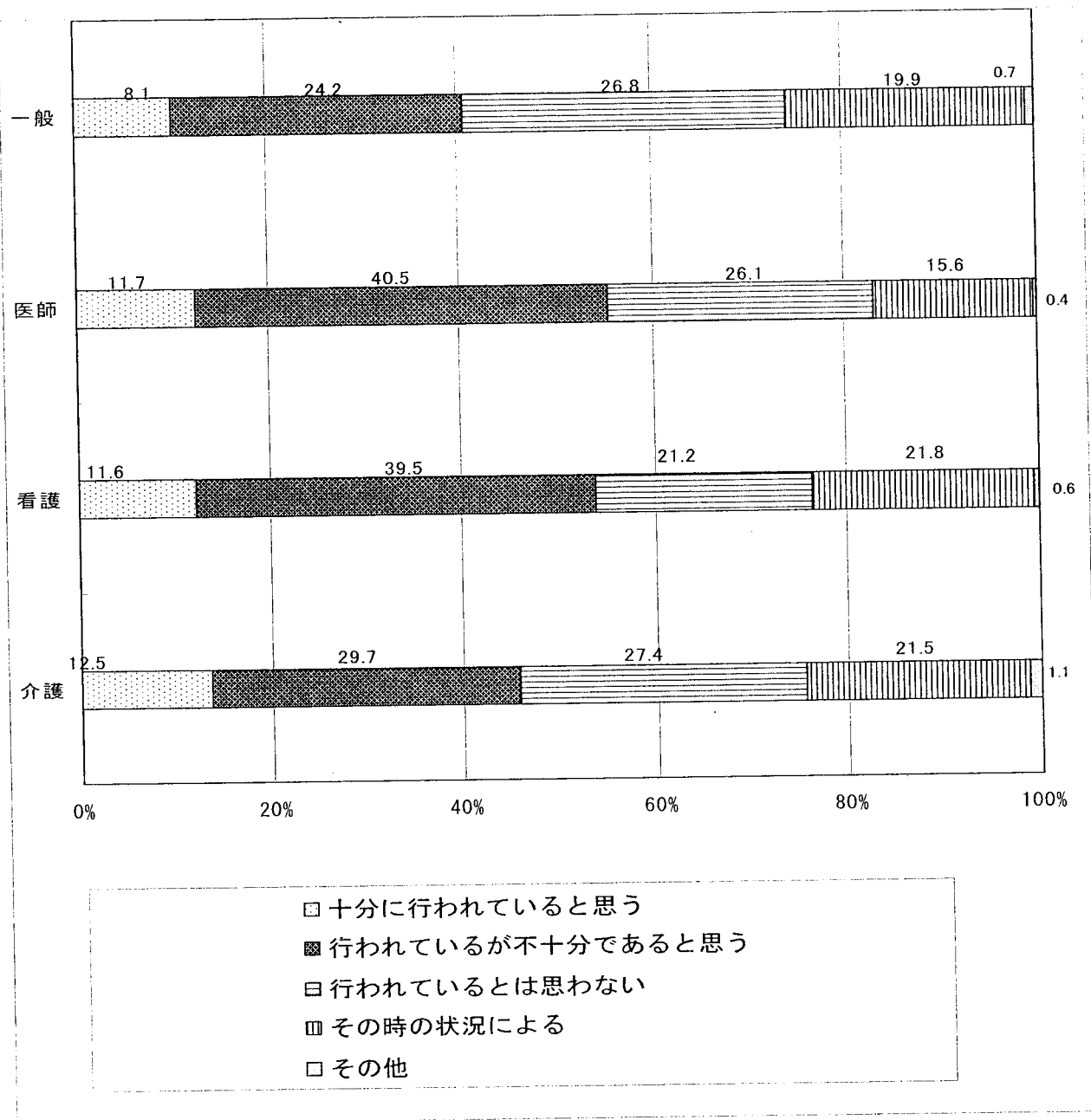
### 特になし



【(一般)問15 (医療従事者)問21】 あなたは、自分自身の延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、ご家族で話し合ったことがありますか。(○は1つ)

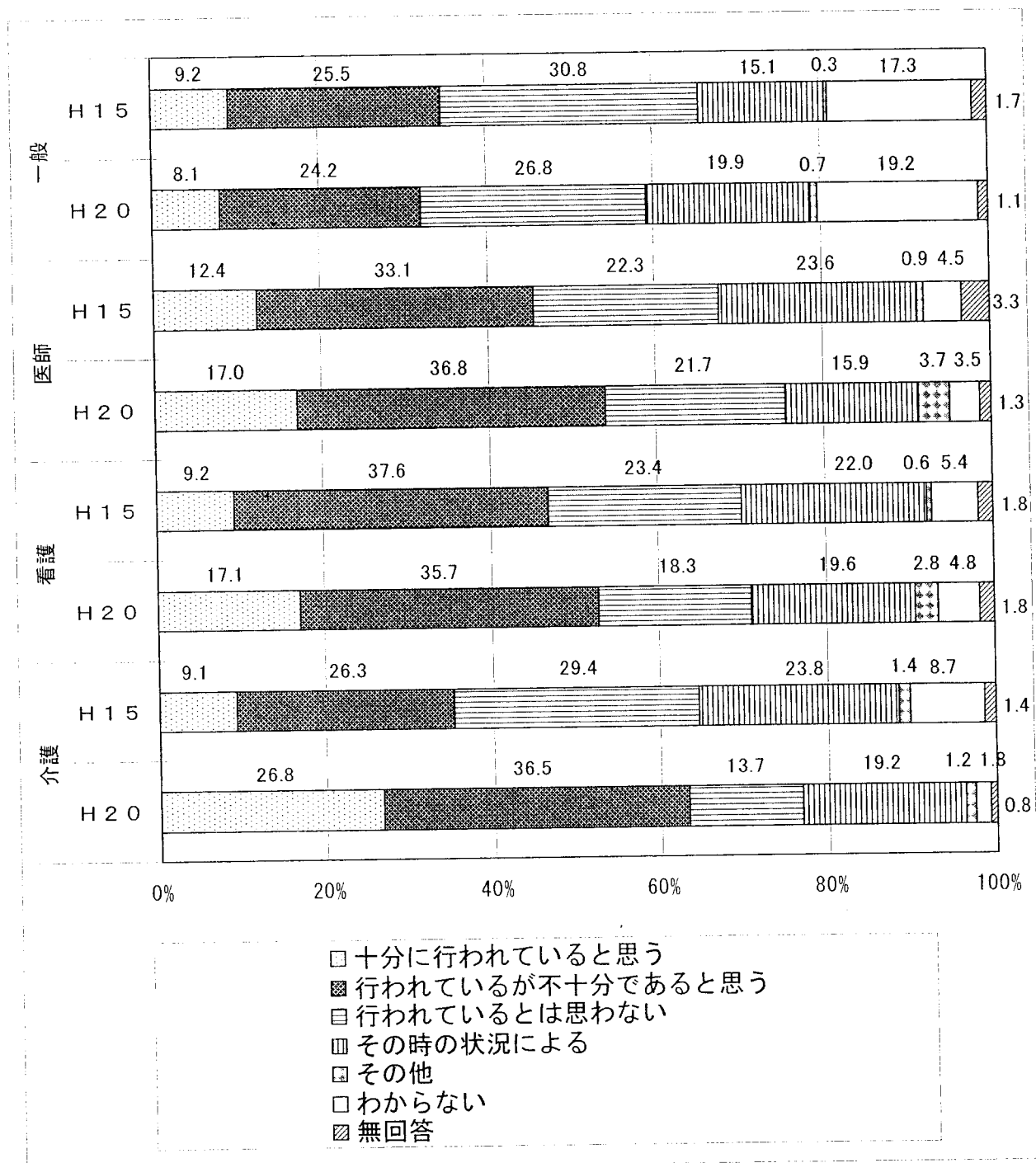


【(一般)問16、(医療従事者)問22】延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、医師と患者の間で十分な話し合いが行われていると思われますか。(○は1つ)

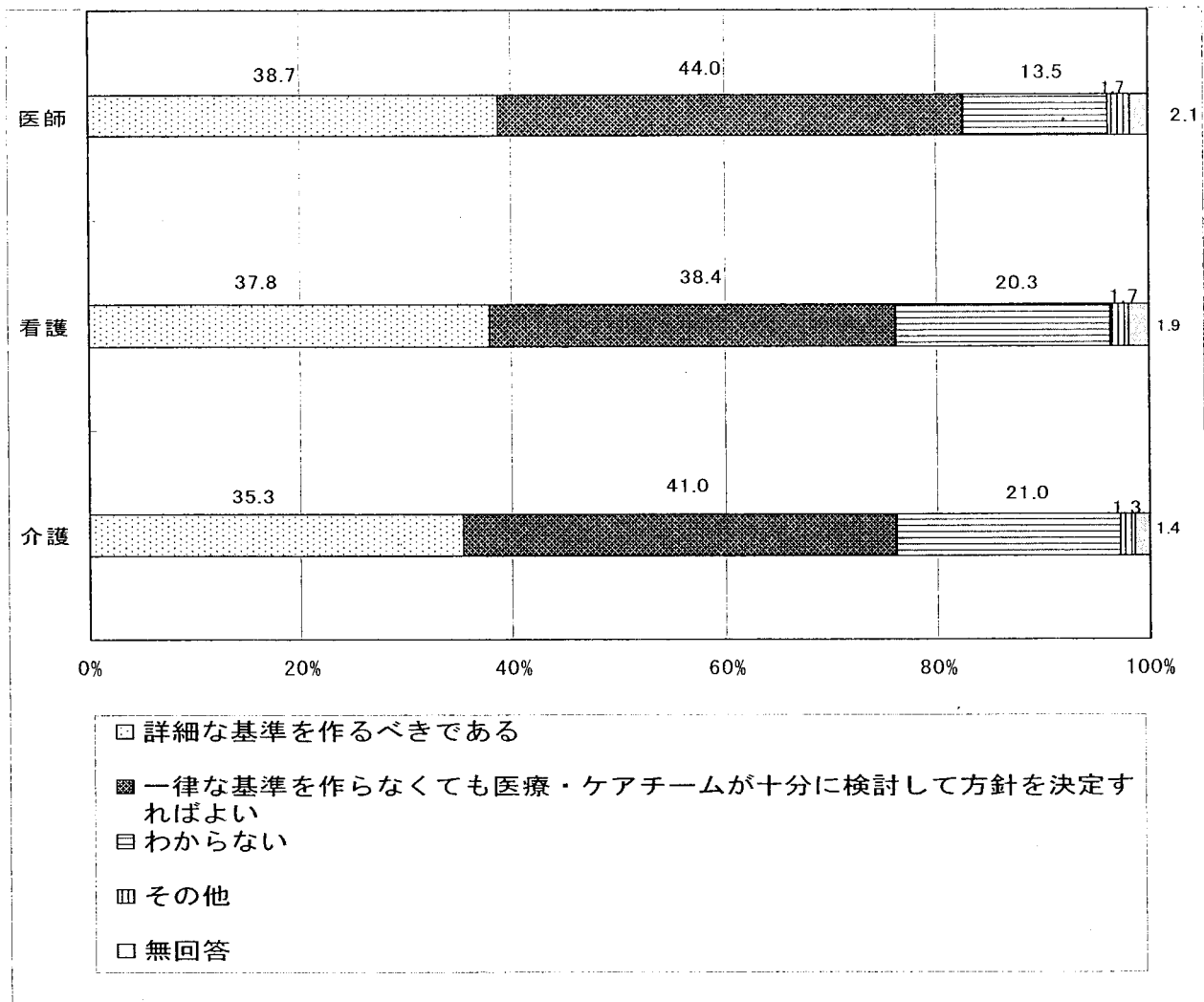


【(一般) 問16】 延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、医師と患者の間で十分な話し合いが行われていると思われますか。(〇は1つ)

【(医療従事者) 問23】 あなたの施設では、終末期医療における治療方針について、医師や看護・介護職員等の職員間で十分な話し合いが行われていると思いますか。

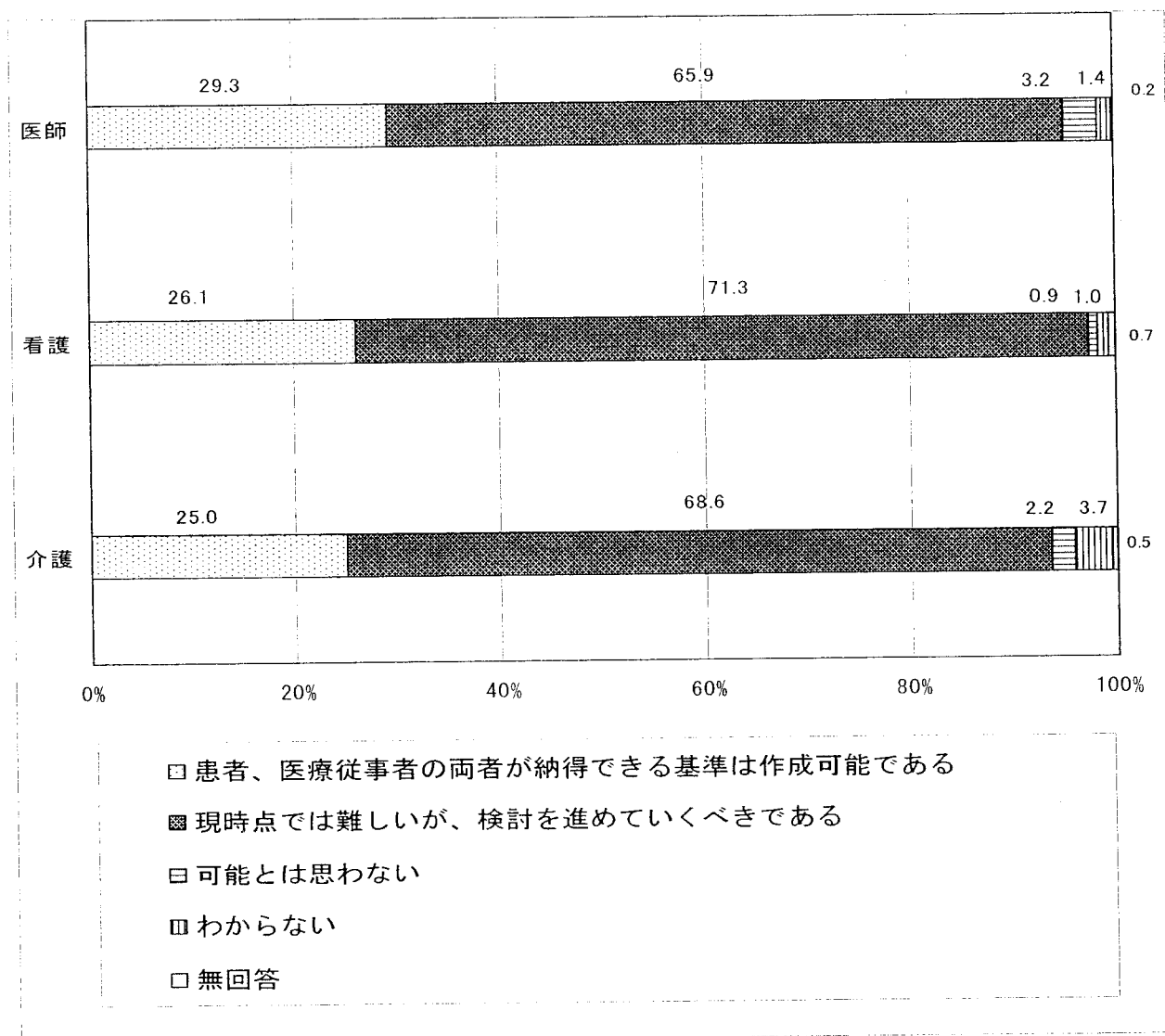


【(医療従事者) 問25】あなたは終末期状態の定義や延命治療の不開始、中止等に関する一律な判断基準についてどう考えますか。



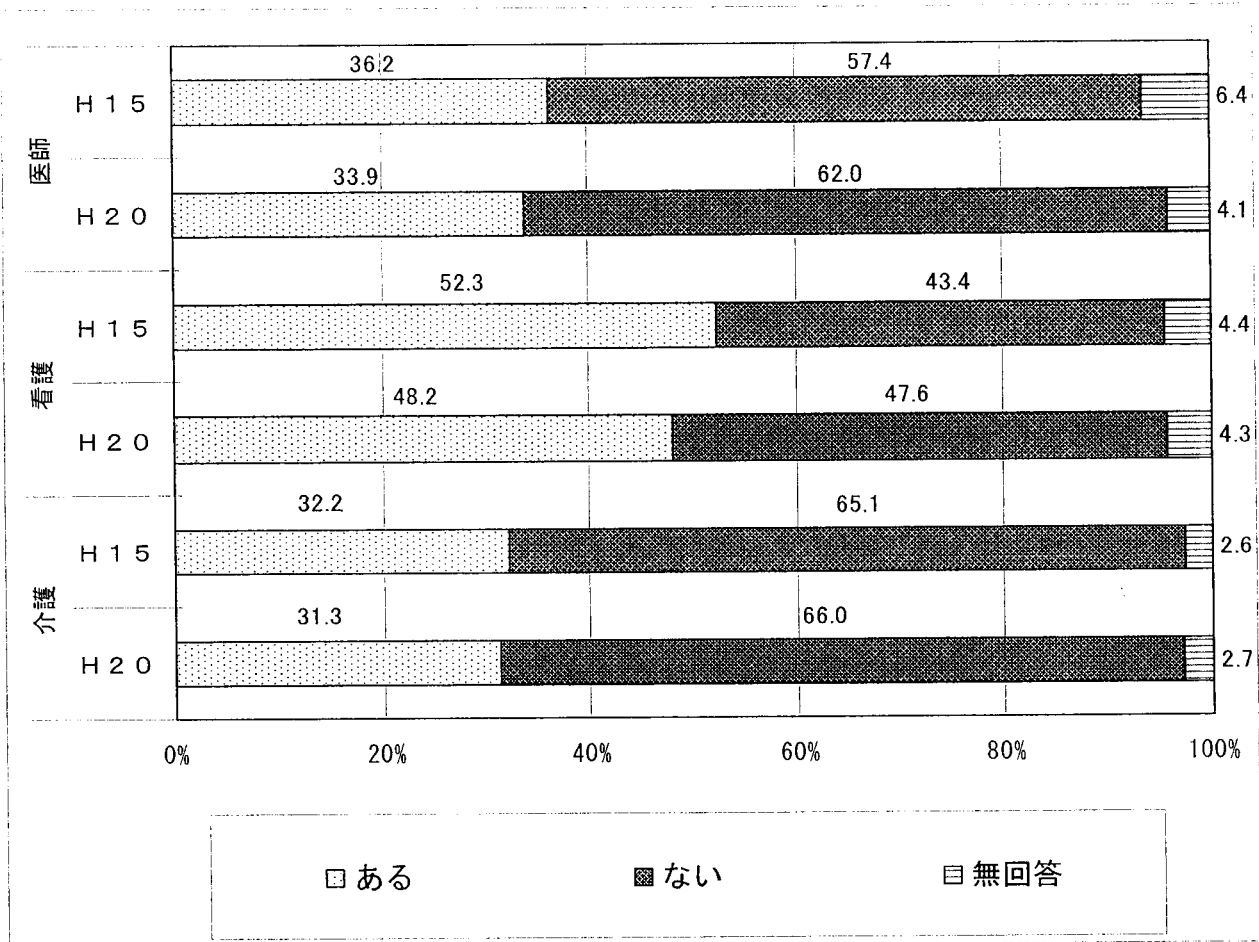


【(医療従事者) 問25補問】 (問25で「1 詳細な基準を作るべきである」をお選びの方に) 現時点で、そのような基準は作成可能だと思いますか



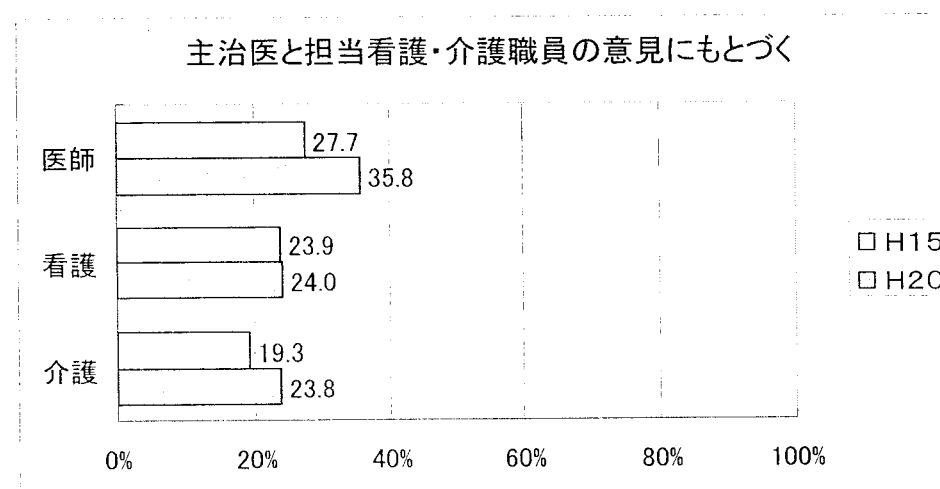
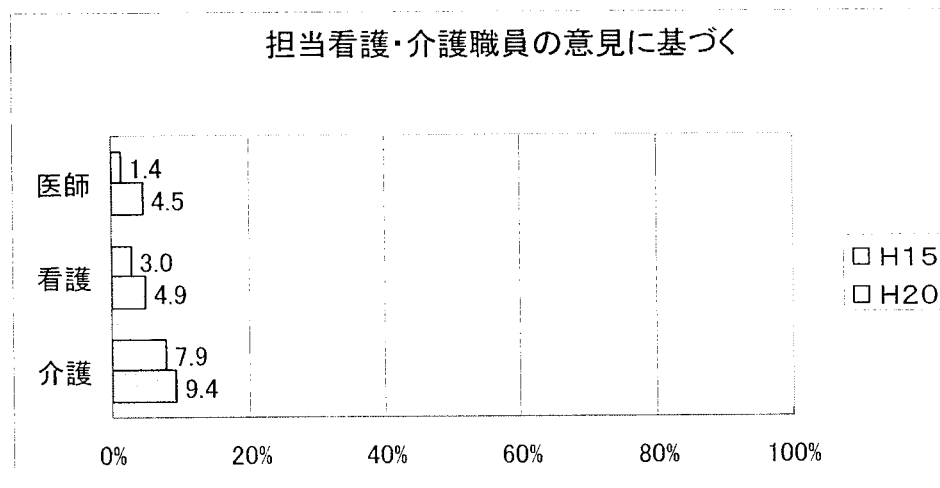
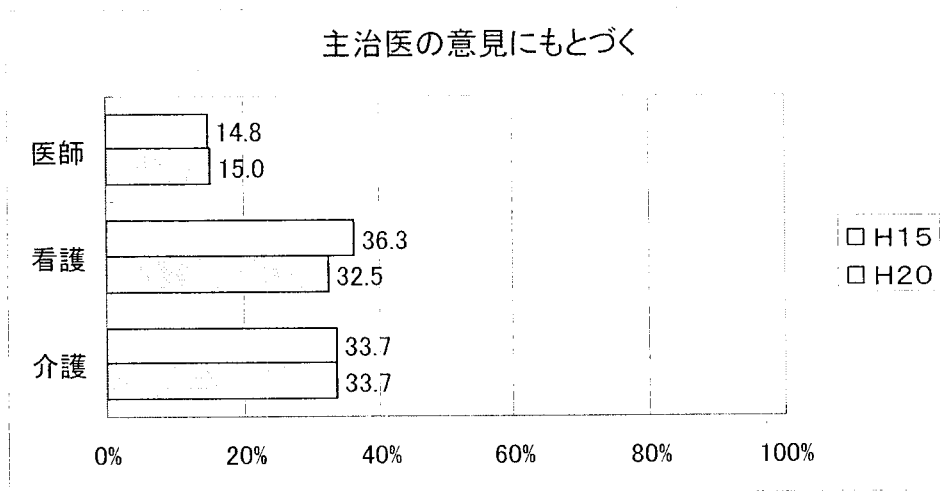
【(医療従事者) 問24】

終末期医療において、治療方針について医師や看護・介護職員等の中に意見の相違がおこったことがありますか。(〇は1つ)

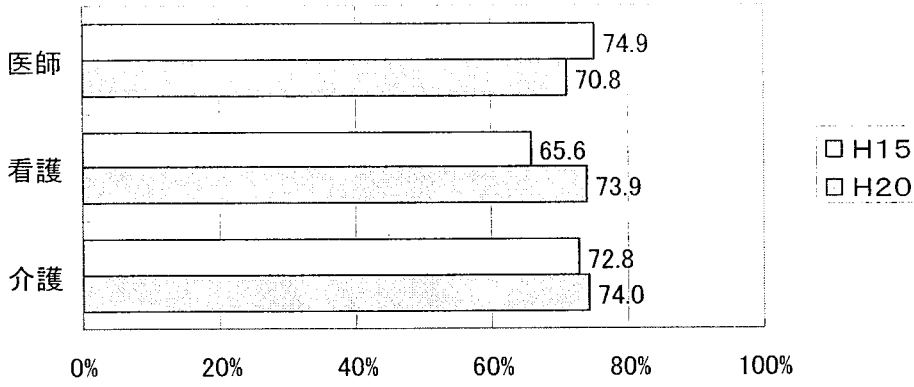


【(医療従事者) 問 2 4 補問】

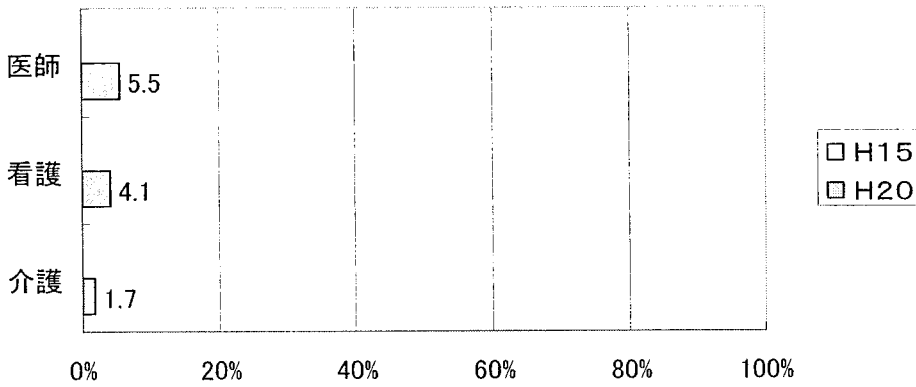
(「1ある」をお選びの方に) その場合、意見の調整を多くの場合どのように図ってきましたか。(〇はいくつでも)



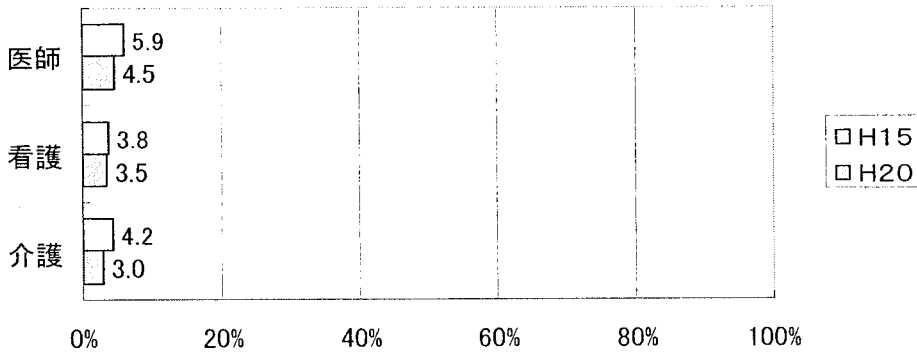
本人または家族との意見に基づく



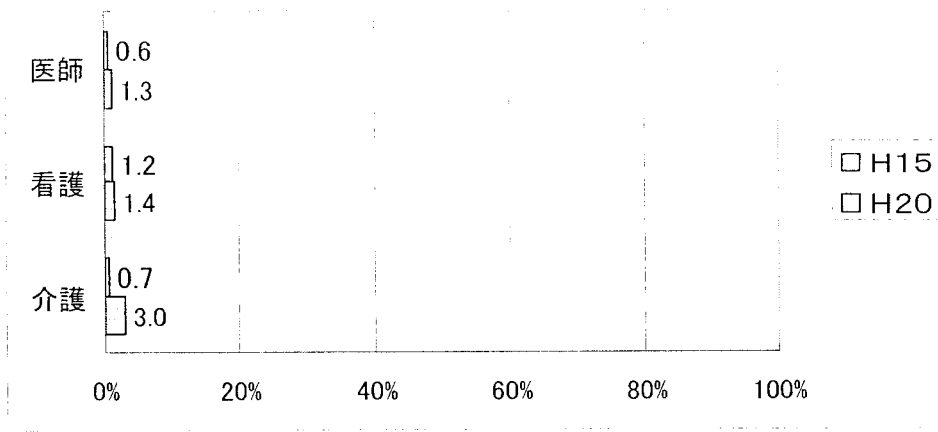
専門家からなる委員会の意見を参考にする



その他



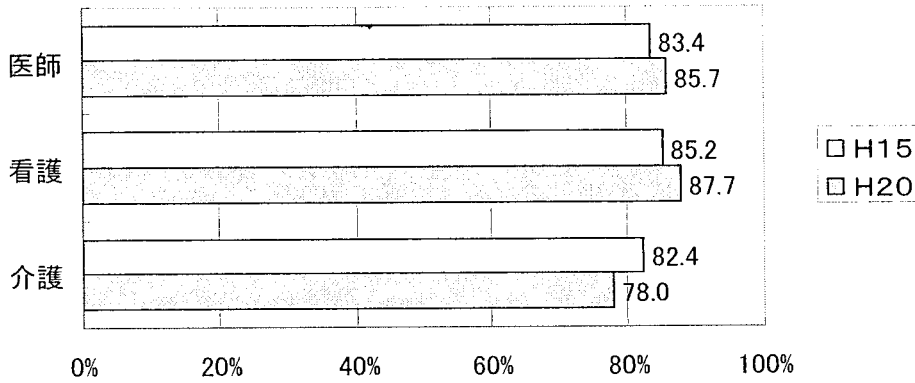
わからない



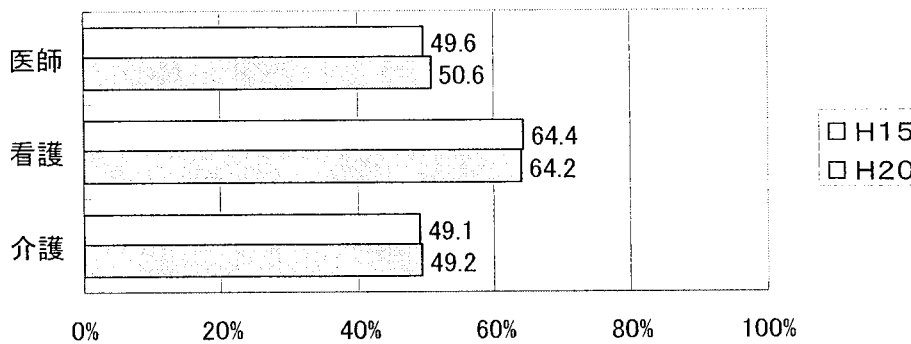
【(医療従事者) 問26】

あなたは、終末期医療において、どのようなことを今後重点的に行うべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

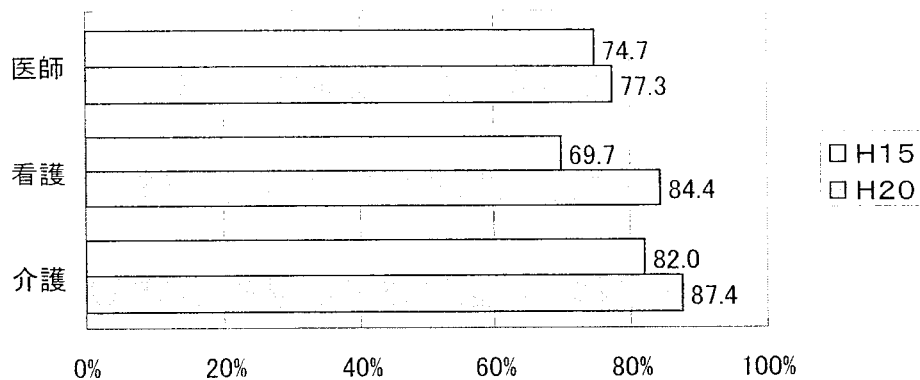
痛みなどの緩和方法の徹底と普及



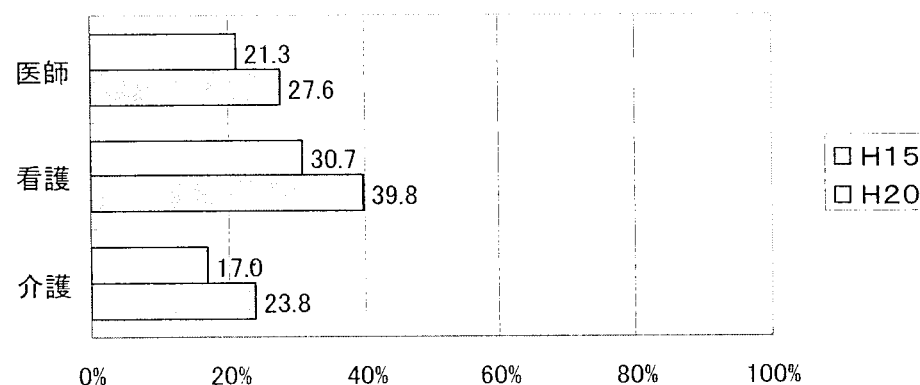
患者・入所者・家族へカウンセラー等が関与



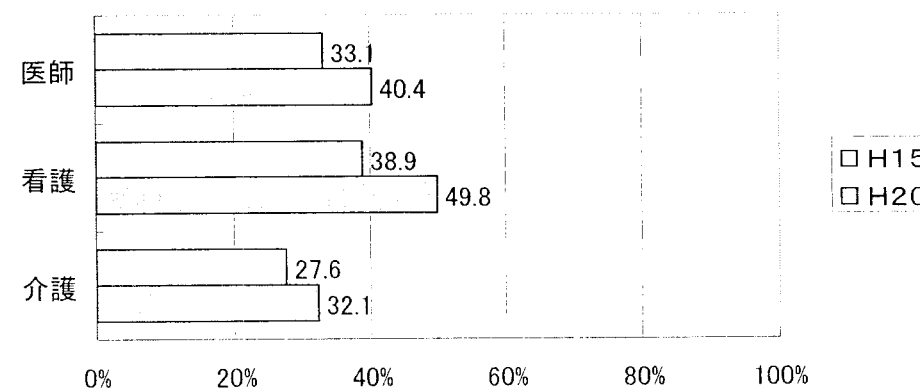
治療方針等に関する患者・入所者等との十分な話し合い



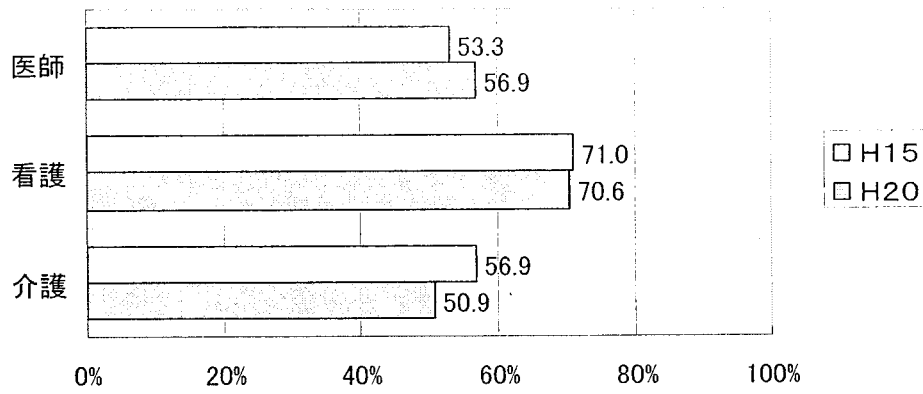
患者・入所者の死後、遺族への援助サービス



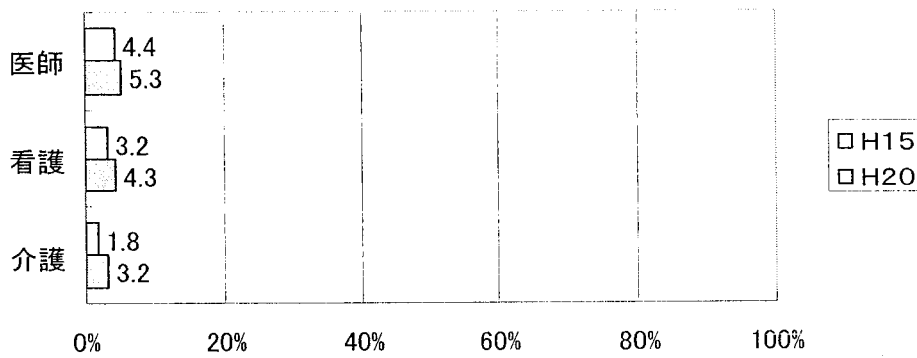
患者・入所者等の看護に関して看護師が関与



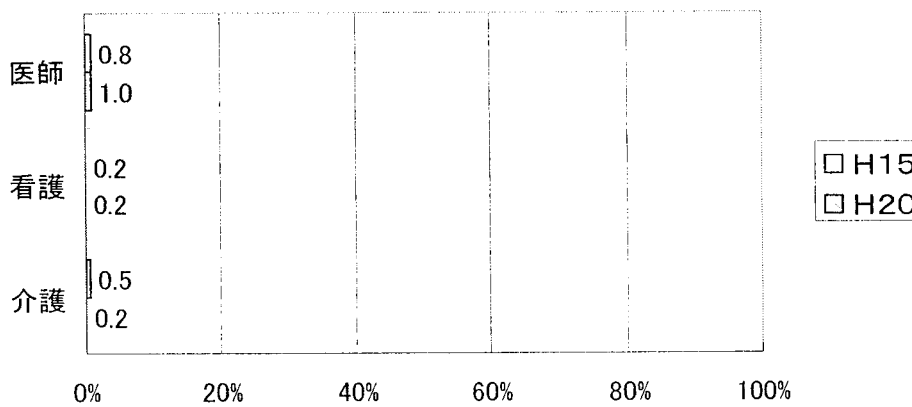
### 終末期医療におけるチーム医療充実



### その他

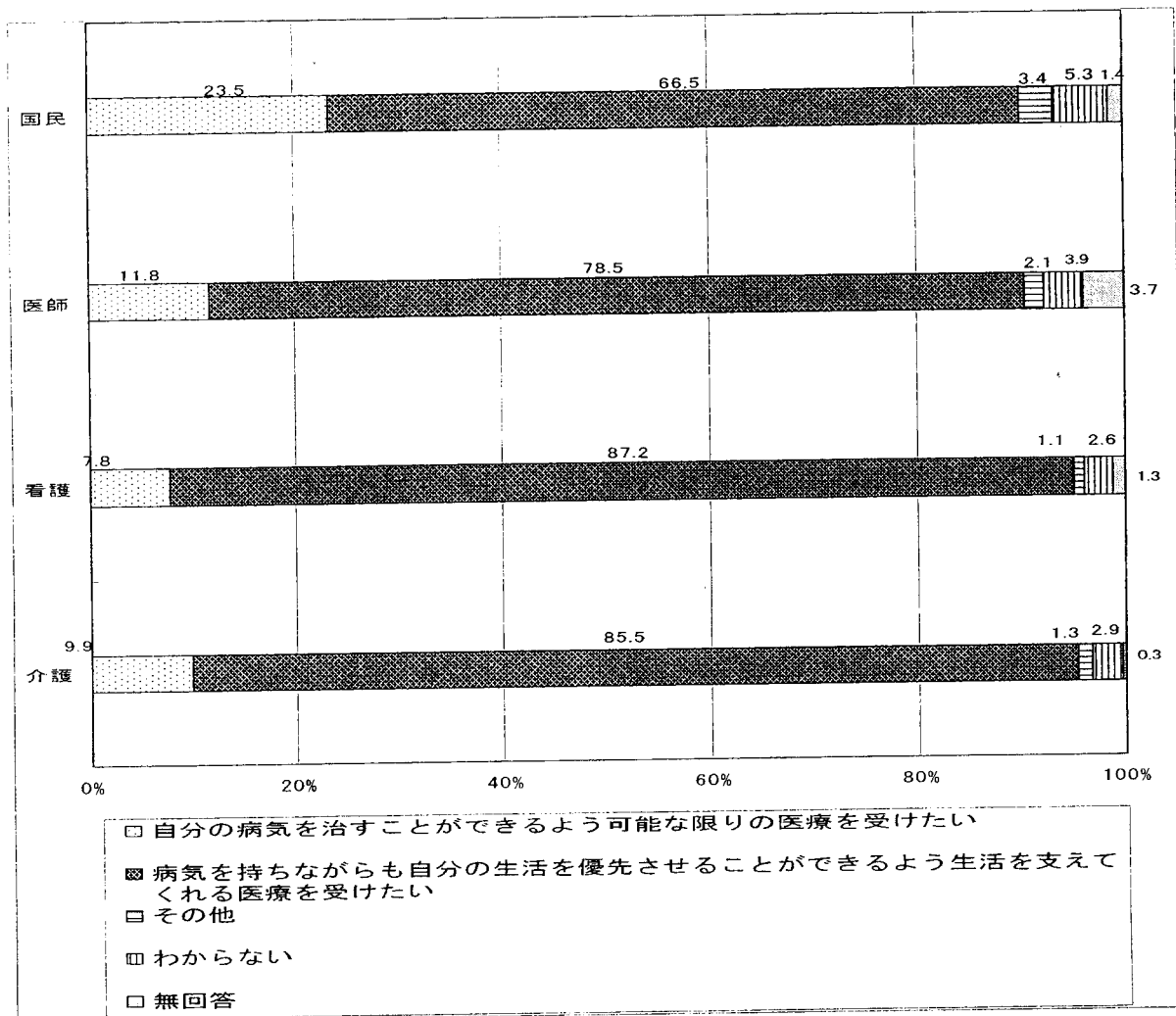


### 特になし





【(一般) 問17、(医療従事者) 問29】 あなたは医療に対してどのようなことを望みますか。(○は1つ)



## 調査票と結果の対照表

### 結果順

結果 ページ	調査票の問番号	
	一般国民	医療従事者
4	1	1
5	1 補問	1 補問
6	2	2
7	2 補問	2 補問
8		6
9		7
10		8
11	3	3
12	4	4
13	4 補問 1	4 補問 1
14	4 補問 2	4 補問 2
15	4 補問 3	9 補問 3
19	6	5
20	6 補問 1	5 補問 1
21	6 補問 2	5 補問 2
22	6	9
23	6 補問 1	9 補問 1
24	6 補問 2	9 補問 2
25	8	12
26	8 補問 1	12 補問 1
27	8 補問 2	12 補問 2
28	9	13
29	9 補問 1	13 補問 1
30	9 補問 2	13 補問 2
31	9	14
32		14 補問 1
33		14 補問 2
34	10	15
35	10 補問 1	15 補問 1
36	10 補問 2	15 補問 2
37	12	17
38	12 補問 1	17 補問 1
39	12 補問 2	17 補問 2
40		18
41		18 補問 1

結果 ページ	調査票の問番号	
	一般国民	医療従事者
42		18 補問 2
43	14 の 1	20 の 1
44	14 の 1 補問 1	20 の 1 補問 1
45	14 の 1 補問 2	20 の 1 補問 2
46	14 の 1 補問 3	20 の 1 補問 3
47	14 の 2	20 の 2
48	14 の 3	20 の 3
49	14 の 4	20 の 4
50	14 の 5	
51	14 の 6	20 の 5
52		28
53		28 補問
57	5 の 1	
58	5 の 2	10 の 2
59	5 の 2 補問	10 の 2 補問
63	7 の 1	10 の 1
64	7 の 2	10 の 2
65	7 の 2 補問	10 の 2 補問
69	11	16
70	11 補問 1	16 補問 1
73	11 補問 2	16 補問 2
81	13	19
82	13 補問 1	19 補問 1
85	13 補問 2	19 補問 2
89		11 の 1
90		11 の 2
91		27
95	15	21
96	16	22
97	16	23
98		25
99		25 補問
100		24
101		24 補問
107	17	29

一般国民問い順

調査票の問番号		結果
一般国民	医療従事者	ページ
1	1	4
1 補問	1 補問	5
2	2	6
2 補問	2 補問	7
3	3	11
4	4	12
4 補問 1	4 補問 1	13
4 補問 2	4 補問 2	14
4 補問 3	9 補問 3	15
5 の 1		57
5 の 2	10 の 2	58
5 の 2 補問	10 の 2 補問	59
6	5	19
6	9	22
6 補問 1	5 補問 1	20
6 補問 1	9 補問 1	23
6 補問 2	5 補問 2	21
6 補問 2	9 補問 2	24
7 の 1	10 の 1	63
7 の 2	10 の 2	64
7 の 2 補問	10 の 2 補問	65
8	12	25
8 補問 1	12 補問 1	26
8 補問 2	12 補問 2	27
9	13	28
9	14	31
9 補問 1	13 補問 1	29
9 補問 2	13 補問 2	30
10	15	34
10 補問 1	15 補問 1	35
10 補問 2	15 補問 2	36
11	16	69
11 補問 1	16 補問 1	70
11 補問 2	16 補問 2	73
12	17	37

調査票の問番号		結果
一般国民	医療従事者	ページ
12 補問 1	17 補問 1	38
12 補問 2	17 補問 2	39
13	19	81
13 補問 1	19 補問 1	82
13 補問 2	19 補問 2	85
14 の 1	20 の 1	43
14 の 1 補問 1	20 の 1 補問 1	44
14 の 1 補問 2	20 の 1 補問 2	45
14 の 1 補問 3	20 の 1 補問 3	46
14 の 2	20 の 2	47
14 の 3	20 の 3	48
14 の 4	20 の 4	49
14 の 5		50
14 の 6	20 の 5	51
15	21	95
16	22	96
16	23	97
17	29	107
	6	8
	7	9
	8	10
	11 の 1	89
	11 の 2	90
	14 補問 1	32
	14 補問 2	33
	18	40
	18 補問 1	41
	18 補問 2	42
	24	100
	24 補問	101
	25	98
	25 補問	99
	27	91
	28	52
	28 補問	53

医療従事者問い順

調査票の問番号		結果
医療従事者	一般国民	ページ
1	1	4
1 補問	1 補問	5
2	2	6
2 補問	2 補問	7
3	3	11
4	4	12
4 補問 1	4 補問 1	13
4 補問 2	4 補問 2	14
5	6	19
5 補問 1	6 補問 1	20
5 補問 2	6 補問 2	21
6		8
7		9
8		10
9	6	22
9 補問 1	6 補問 1	23
9 補問 2	6 補問 2	24
9 補問 3	4 補問 3	15
10 の 1	7 の 1	63
10 の 2	5 の 2	58
10 の 2	7 の 2	64
10 の 2 補問	5 の 2 補問	59
10 の 2 補問	7 の 2 補問	65
11 の 1		89
11 の 2		90
12	8	25
12 補問 1	8 補問 1	26
12 補問 2	8 補問 2	27
13	9	28
13 補問 1	9 補問 1	29
13 補問 2	9 補問 2	30
14	9	31
14 補問 1		32
14 補問 2		33
15	10	34

調査票の問番号		結果
医療従事者	一般国民	ページ
15 補問 1	10 補問 1	35
15 補問 2	10 補問 2	36
16	11	69
16 補問 1	11 補問 1	70
16 補問 2	11 補問 2	73
17	12	37
17 補問 1	12 補問 1	38
17 補問 2	12 補問 2	39
18		40
18 補問 1		41
18 補問 2		42
19	13	81
19 補問 1	13 補問 1	82
19 補問 2	13 補問 2	85
20 の 1	14 の 1	43
20 の 1 補問 1	14 の 1 補問 1	44
20 の 1 補問 2	14 の 1 補問 2	45
20 の 1 補問 3	14 の 1 補問 3	46
20 の 2	14 の 2	47
20 の 3	14 の 3	48
20 の 4	14 の 4	49
20 の 5	14 の 6	51
21	15	95
22	16	96
23	16	97
24		100
24 補問		101
25		98
25 補問		99
27		91
28		52
28 補問		53
29	17	107
	5 の 1	57
	14 の 5	50